
協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書

平成 30 年 11 月
(平成 30 年 6 月実施)

豊 島 区

目次

I. 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査内容	1
4 回収結果	1
5 報告書を見る際の注意事項	1
6 回答者の基本属性	2

II. 調査結果

第1章 豊島区の印象について	7
1-① 住み心地〔問1〕	7
1-② 住み心地の変化〔問2〕	10
2 定住意向〔問3〕	13
3 地域への愛着〔問4〕	16
4 豊島区のイメージ〔問5〕	19
第2章 地域の生活環境について	23
〔設問設定の考え方〕	23
1 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問6〕	26
① 参画・協働	26
② 平和・人権	27
③ 福祉	28
④ 健康・保健	29
⑤ 子育て	30
⑥ 教育	31
⑦ みどり・環境	32
⑧ 都市再生・交通	33
⑨ 防災・治安	34
⑩ 商工・観光	35
⑪ 文化	36
2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問6〕	38
① 参画・協働	38
② 平和・人権	39
③ 福祉	40
④ 健康・保健	41
⑤ 子育て	42
⑥ 教育	43
⑦ みどり・環境	44
⑧ 都市再生・交通	45
⑨ 防災・治安	46
⑩ 商工・観光	47
⑪ 文化	48

3 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問6〕	49
① 参画・協働	50
② 平和・人権	52
③ 福祉	54
④ 健康・保健	56
⑤ 子育て	58
⑥ 教育	60
⑦ みどり・環境	62
⑧ 都市再生・交通	64
⑨ 防災・治安	66
⑩ 商工・観光	68
⑪ 文化	70
4 総合分析の経年比較〔問6〕	72
① 参画・協働	72
② 平和・人権	73
③ 福祉	74
④ 健康・保健	75
⑤ 子育て	76
⑥ 教育	77
⑦ みどり・環境	78
⑧ 都市再生・交通	79
⑨ 防災・治安	80
⑩ 商工・観光	81
⑪ 文化	82
第3章 区の政策等について	83
1 区政への参加について	83
1-① 区に関する情報の入手方法〔問7〕	83
1-② 区政への関心〔問8〕	86
1-③ 区の政策に区民の意見が反映されているか〔問9〕	89
1-④ 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問10〕	91
2 地域との関わりについて	93
2-① 地域のために何か役に立ちたいか〔問11〕	93
2-② 町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問12〕	95
3 東アジア文化都市について	97
3-① 豊島区が2019年「東アジア文化都市」に決定したことの認知〔問13〕	97
3-② 「東アジア文化都市2019豊島」への興味関心〔問14〕	99
3-③ 中国、韓国の文化への興味関心〔問15〕	101
4 多様な性自認・性的指向の人々（いわゆる性的少数者）について	103
4-① 性的少数者（LGBT等）という言葉の認知〔問16〕	103
4-② 性的少数者（LGBT等）の考えやイメージ〔問17〕	105
4-③ 性的少数者（LGBT等）が困っていること〔問18〕	111

5	東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて	113
5-①	東京 2020 大会へ向けて区が力を入れること〔問 19〕	113
5-②	スポーツの実施頻度〔問 20〕	116
5-③	スポーツをしない理由〔問 20-1〕	118
6	多文化共生のまちづくりについて	120
6-①	近所に外国人が住むことについてどう感じるか〔問 21〕	120
6-②	近所の外国人との付き合い〔問 22〕	124
6-③	「多文化共生のまちづくり」のためにできること〔問 23〕	128
6-④	「多文化共生のまちづくり」のために区が力を入れるべきこと〔問 24〕	132
7	観光資源・イベントについて	136
7-①	お薦めしたい区内の観光スポット・イベント等〔問 25〕	136
8-①	区政全般への要望（現在、区が力を入れていると思う施策）〔問 26〕	140
8-②	区政全般への要望（特に力を入れてほしいと思う施策）〔問 26〕	144
9	自由意見	149
Ⅲ.	調査票	151

I. 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、区民をはじめ、町会や自治会、商店街、NPO、企業、学校など、地域の多様な主体との協働を基本とした区政運営を実現するため、区民の地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等についての意見や要望を把握し、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等に活用するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の設計

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数：区民 5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成30年6月6日（水）～6月29日（金）

3 調査内容

- 豊島区の印象について
- 地域の生活環境について
- 区の政策等について
- 調査対象者の基本属性について

4 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,841件	36.8%

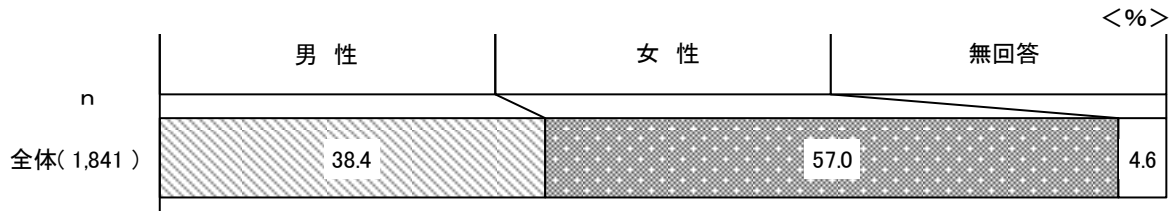
5 報告書を見る際の注意事項

- 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- 図表中の「-」は当該選択肢を選んだ回答者がいないことを示す。
- 複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。なお、その場合には、グラフ中に「※3つまで選択」や「※あてはまるものすべて選択」などと記載している。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。

6 回答者の基本属性

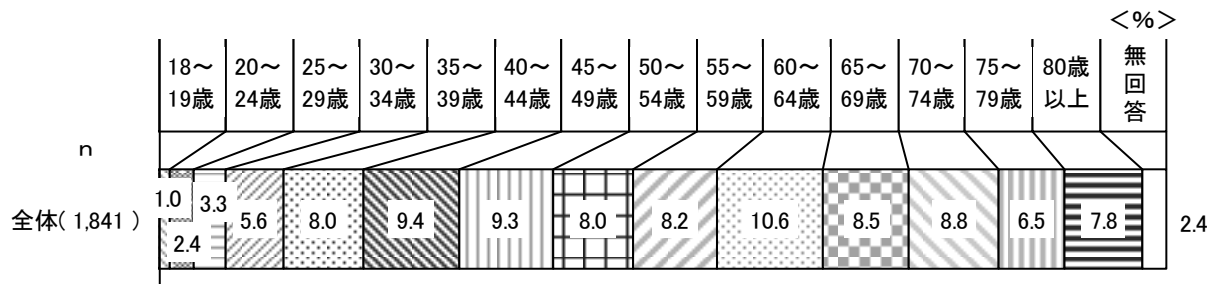
(1) 性別

● 「女性」(57.0%) が6割弱、「男性」(38.4%) が4割弱である。



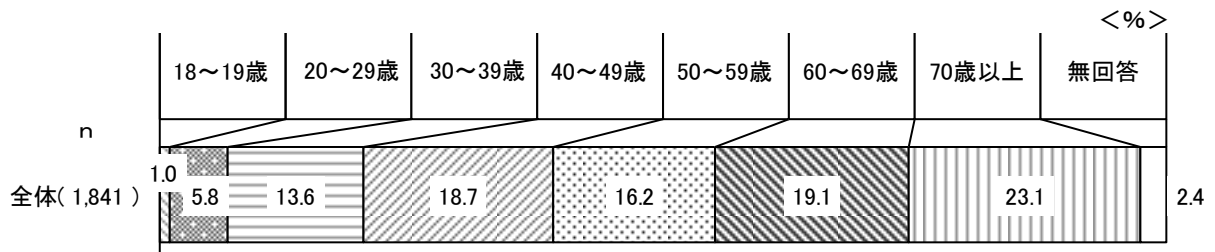
(2) 年齢

● 「60～64歳」(10.6%)、「40～44歳」(9.4%)、「45～49歳」(9.3%) がそれぞれ約1割となっている。



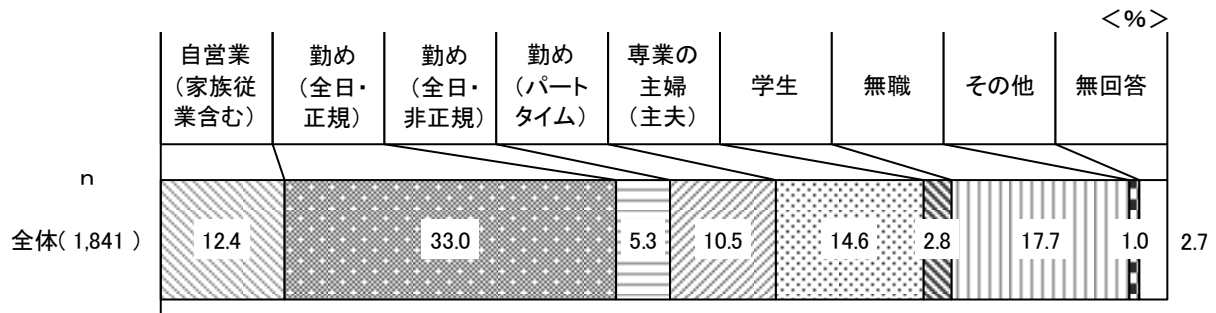
【10歳区分】

● 「70歳以上」(23.1%) が2割台半ば、「60～69歳」(19.1%) が約2割となっている。



(3) 職業

●「勤め（全日・正規）」（33.0%）が3割台半ばと最も高く、次いで、「無職」（17.7%）、「専業主婦（主夫）」（14.6%）となっている。



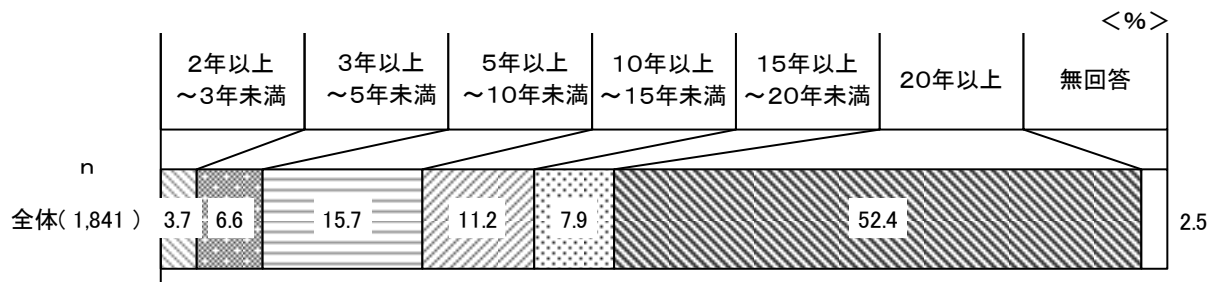
(4) 居住歴

●「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」（26.9%）が2割台半ば、「他の地域からきた」（70.0%）は7割となっている。



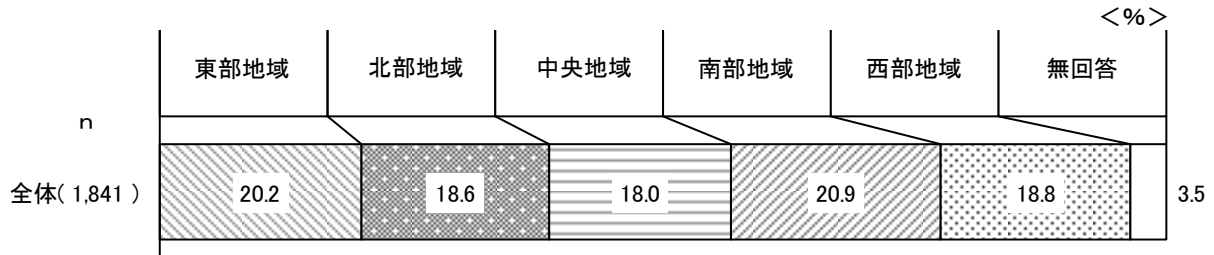
(5) 居住年数

●「20年以上」（52.4%）が5割強と最も高く、次いで、「5年以上～10年未満」（15.7%）、「10年以上～15年未満」（11.2%）となっている。



(6) 居住地域

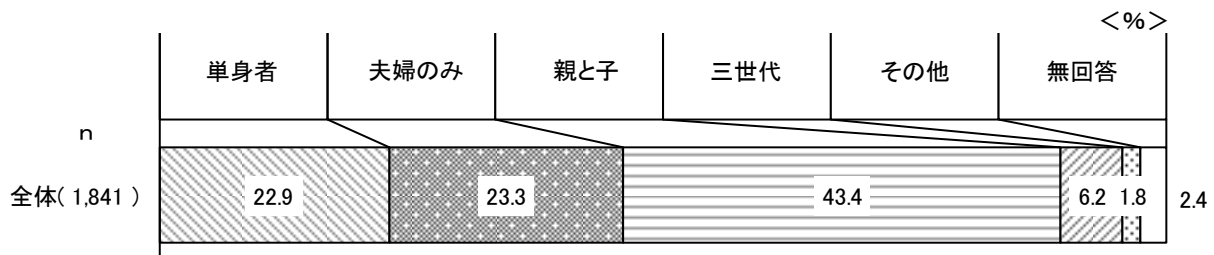
●5地区区分では、東部・南部地域が約2割、北部・中央・西部地域が2割弱となっている。



注) 5地区の町丁構成
 東部地域 (駒込、巢鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
 北部地域 (西巢鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

(7) 世帯構成

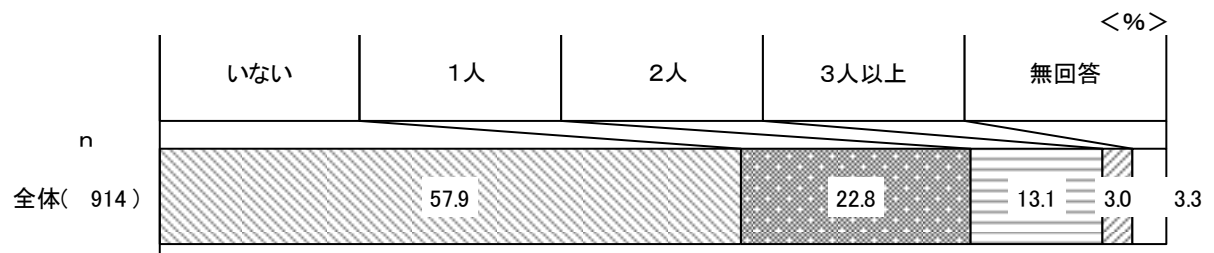
●「親と子」(43.4%)の世帯構成が4割台半ばと最も高く、次いで、「夫婦のみ」(23.3%)が2割台半ば、「単身者」(22.9%)が2割強と続いている。



(8) 中学生以下の子どもの有無

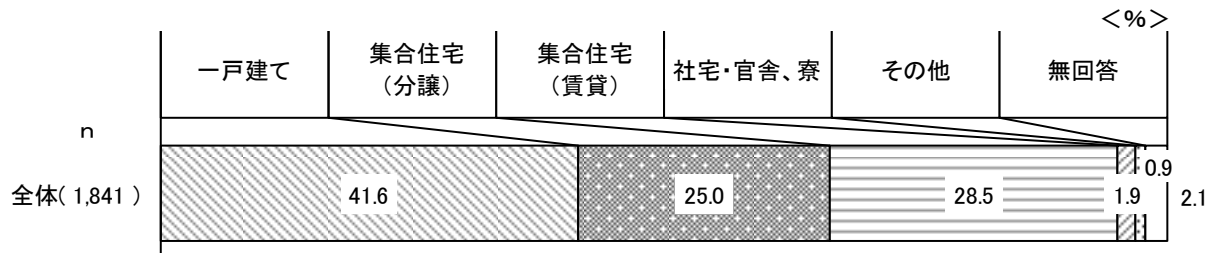
●「親と子」及び「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは)いない」(57.9%)が6割弱となっている。

●中学生以下の子どもがいる場合の子どもの数は、「1人」(22.8%)が最も高く、「2人」(13.1%)、「3人以上」(3.0%)の順となっている。



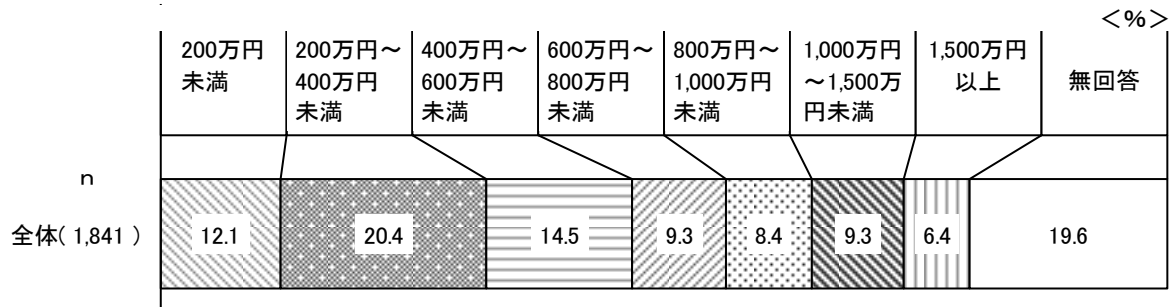
(9) 住まい形態

- 「一戸建て」(41.6%) が4割強と最も高く、次いで、「集合住宅(賃貸)」(28.5%) が3割弱、「集合住宅(分譲)」(25.0%) が2割台半ばとなっている。



(10) 世帯年収

- 「200万円～400万円未満」(20.4%) が約2割で最も高く、次いで、「400万円～600万円未満」(14.5%) が1割台半ばとなっている。



《今回調査と過去調査（平成 29 年度、平成 28 年度、平成 25 年度）の回答者の基本属性比較》

(%)

		平成 30 年度 調査（今回） (n=1, 841)	平成 29 年度 調査（前回） (n=1, 913)	平成 28 年度 調査（前々回） (n=1, 967)	平成 25 年度 調査（3 回前） (n=1, 757)
①性別	男性	38.4	39.5	39.5	37.5
	女性	57.0	56.6	57.1	58.0
	無回答	4.6	3.9	3.5	4.5
②年齢	18～19 歳	1.0	0.7	0.7	1.0
	20～29 歳	5.8	7.0	7.1	6.7
	30～39 歳	13.6	13.1	13.3	13.7
	40～49 歳	18.7	18.7	20.9	18.3
	50～59 歳	16.2	15.6	15.7	14.7
	60～69 歳	19.1	19.0	18.6	19.5
	70 歳以上	23.1	23.7	21.7	21.9
	無回答	2.4	2.3	2.0	4.1
③職業	自営業（家族従業員含む）	12.4	12.5	11.7	
	（3 回前）自営業主				10.2
	（3 回前）家族従業員				1.9
	勤め（全日・正規）	33.0	29.4	30.5	30.2
	勤め（全日・非正規）	5.3	5.5	6.7	
	勤め（パートタイム）	10.5	11.4	10.2	10.5
	専業主婦（主婦）	14.6	14.2	16.1	16.6
	学生	2.8	2.8	3.5	3.4
	無職	17.7	20.4	16.9	19.0
	その他	1.0	1.0	1.0	3.2
無回答	2.7	2.7	3.4	5.0	
④居住歴	ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）	26.9	26.2	27.6	29.3
	他の地域からきた	70.0	71.3	71.7	66.5
	無回答	3.0	2.5	0.7	4.2
⑤居住年数	2 年以上～3 年未満	3.7	4.7	3.8	
	3 年以上～5 年未満	6.6	6.3	6.0	11.4
	5 年以上～10 年未満	15.7	14.6	15.0	11.5
	10 年以上～15 年未満	11.2	10.8	11.5	
	15 年以上～20 年未満	7.9	7.5	8.9	18.6
	20 年以上	52.4	53.9	52.2	54.7
	無回答	2.5	2.2	2.5	3.8
⑥居住地域	東部地域	20.2	20.7	21.2	20.1
	北部地域	18.6	18.0	17.2	18.4
	中央地域	18.0	17.7	20.0	15.8
	南部地域	20.9	20.9	20.4	19.8
	西部地域	18.8	19.6	18.2	20.8
	無回答	3.5	3.1	2.9	5.0
⑦世帯構成	単身者	22.9	21.4	21.7	17.0
	夫婦のみ	23.3	23.6	24.3	22.3
	親と子	43.4	43.8	43.6	46.4
	三世帯	6.2	7.2	5.9	7.5
	その他	1.8	1.3	1.5	4.0
	無回答	2.4	2.7	3.0	2.8
⑧中学生以下の子どもの有無	いない	57.9	61.7	61.3	62.0
	1 人	22.8	20.0	21.5	19.4
	2 人	13.1	12.5	11.3	12.4
	3 人以上	3.0	4.1	3.6	3.4
	無回答	3.3	1.6	2.4	2.9
⑨住まい形態	一戸建て	41.6	43.0	42.1	44.3
	集合住宅（分譲）	25.0	26.1	26.3	24.2
	集合住宅（賃貸）	28.5	26.7	25.9	26.6
	社宅・官舎・寮	1.9	1.4	1.6	
	その他	0.9	0.8	0.8	2.8
	無回答	2.1	2.0	3.2	2.0
⑩世帯年収	200 万円未満	12.1	12.4	12.1	
	200 万円～400 万円未満	20.4	21.7	19.6	
	400 万円～600 万円未満	14.5	14.4	16.6	
	600 万円～800 万円未満	9.3	9.1	9.7	
	800 万円～1,000 万円未満	8.4	7.8	7.9	
	1,000 万円～1,500 万円未満	9.3	9.4	8.7	
	1,500 万円以上	6.4	5.0	5.4	
	無回答	19.6	20.2	20.0	

注) 平成 29 年度調査は、平成 29 年 6 月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。

注) 平成 28 年度調査は、平成 28 年 9 月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。

注) 平成 25 年度調査は、平成 25 年 7 月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。

注) ⑧中学生以下の子どもの有無は、⑦世帯構成で「親と子」「三世帯」に回答した人のみが回答。

(該当する回答者数は、平成 30 年度が 914 人、平成 29 年度が 974 人、平成 28 年度が 974 人、平成 25 年度が 947 人)

Ⅱ. 調査結果

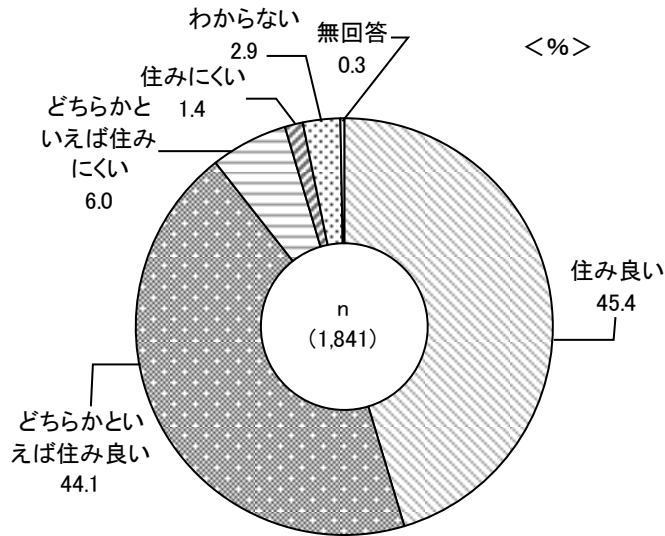
第1章

豊島区の印象について

第1章 豊島区の印象について

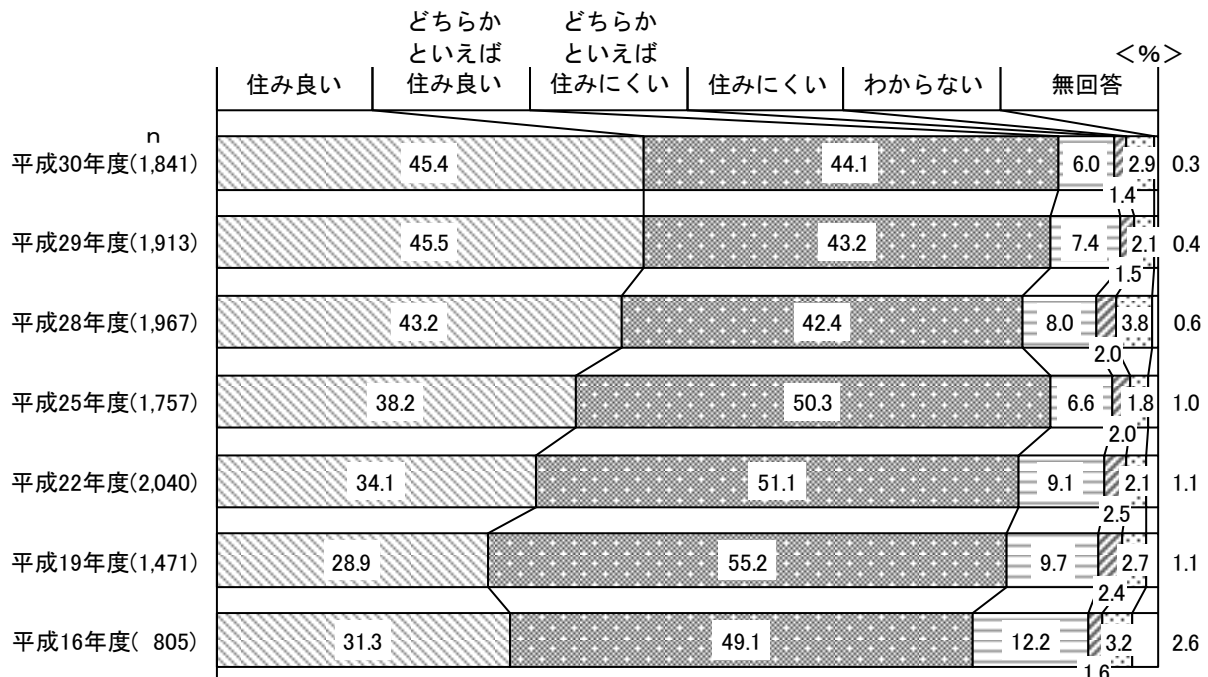
1-① 住み心地〔問1〕

- 豊島区の住み心地を聞いたところ、「住み良い」(45.4%)が最も高く、「どちらかといえば住み良い」(44.1%)と合わせた“住み良い”(89.5%)としてみると、約9割となっている。
- 「どちらかといえば住みにくい」(6.0%)と「住みにくい」(1.4%)を合わせた“住みにくい”(7.4%)としてみると、1割弱となっている。



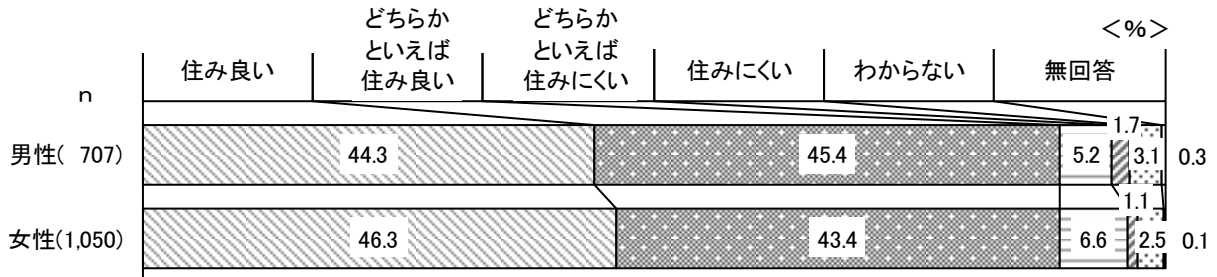
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、“住み良い”は平成28年度以降で増加している。



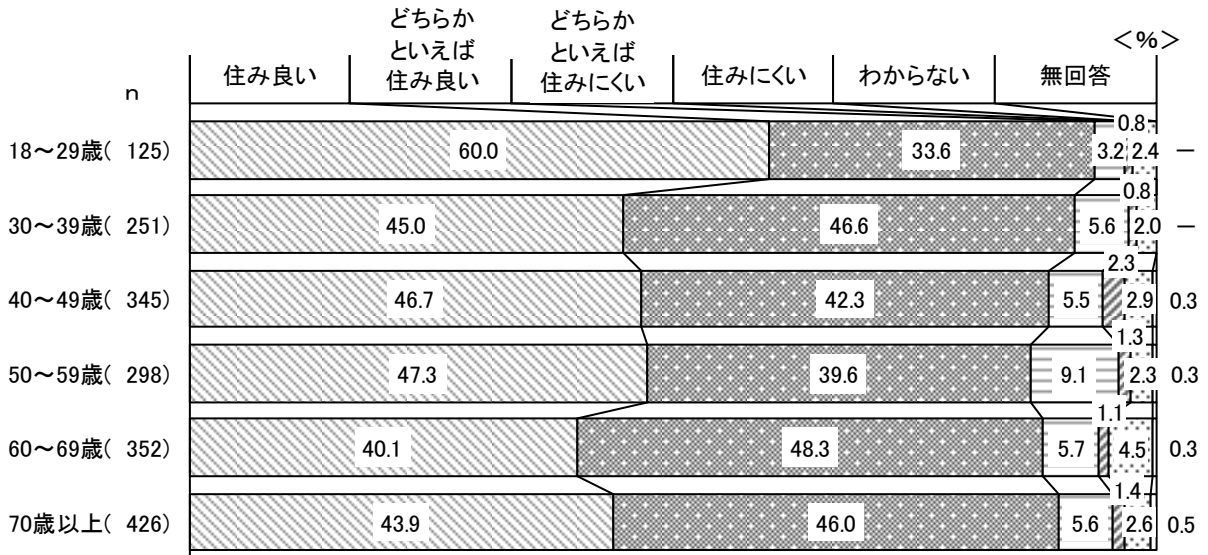
【性別】

- “住み良い” は男性（89.7%）、女性（89.7%）とも同じ値となっている。



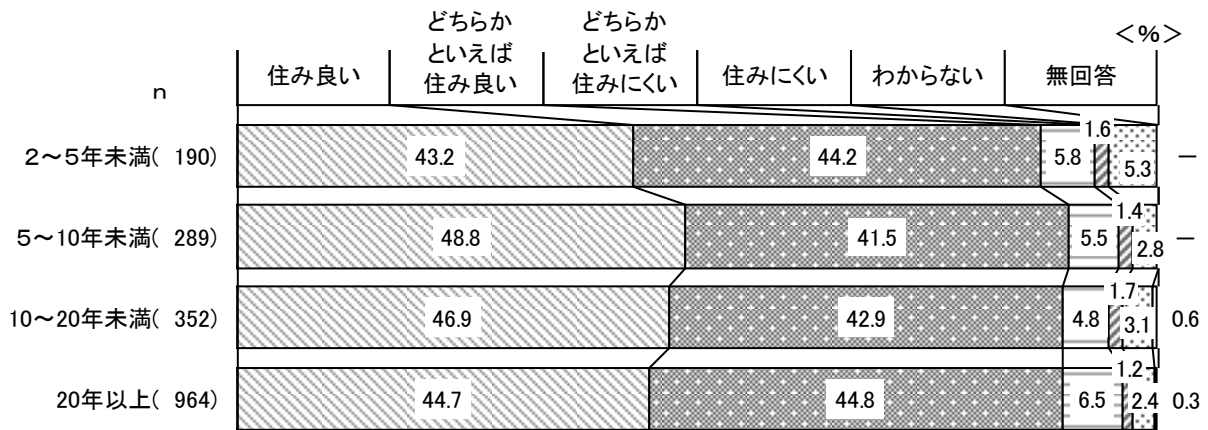
【年齢別】

- “住み良い” は18～29歳（93.6%）で最も高くなっている。
- “住みにくい” は50～59歳（10.4%）で1割を超えている。



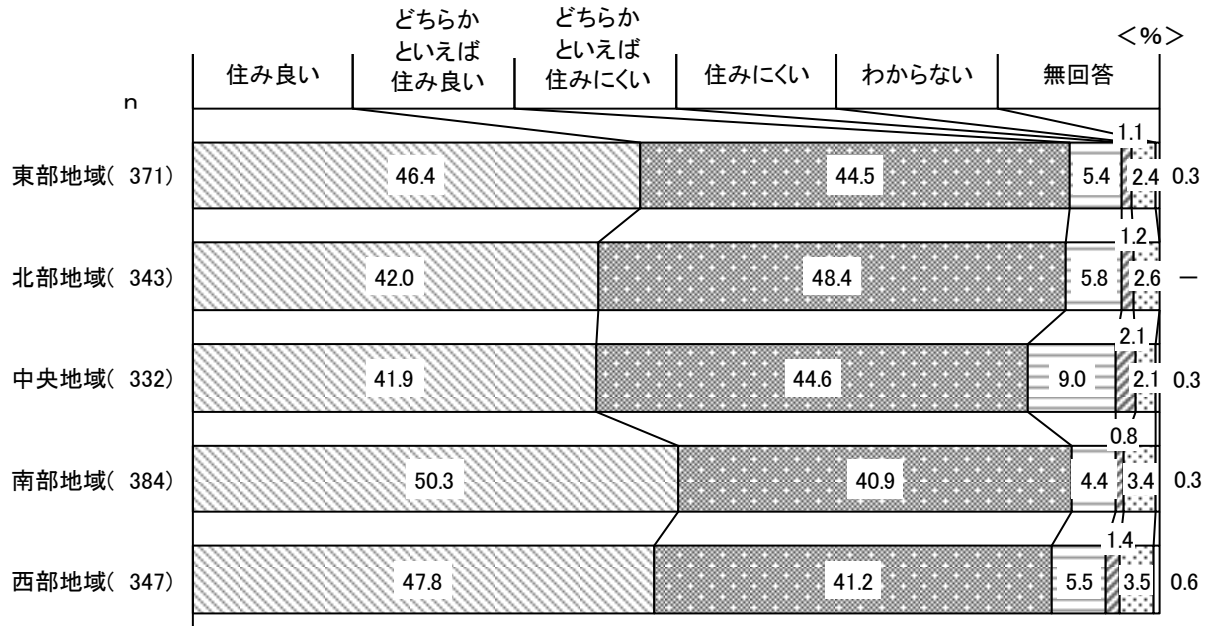
【居住年数別】

- “住み良い” は5～10年未満（90.3%）で最も高くなっている。



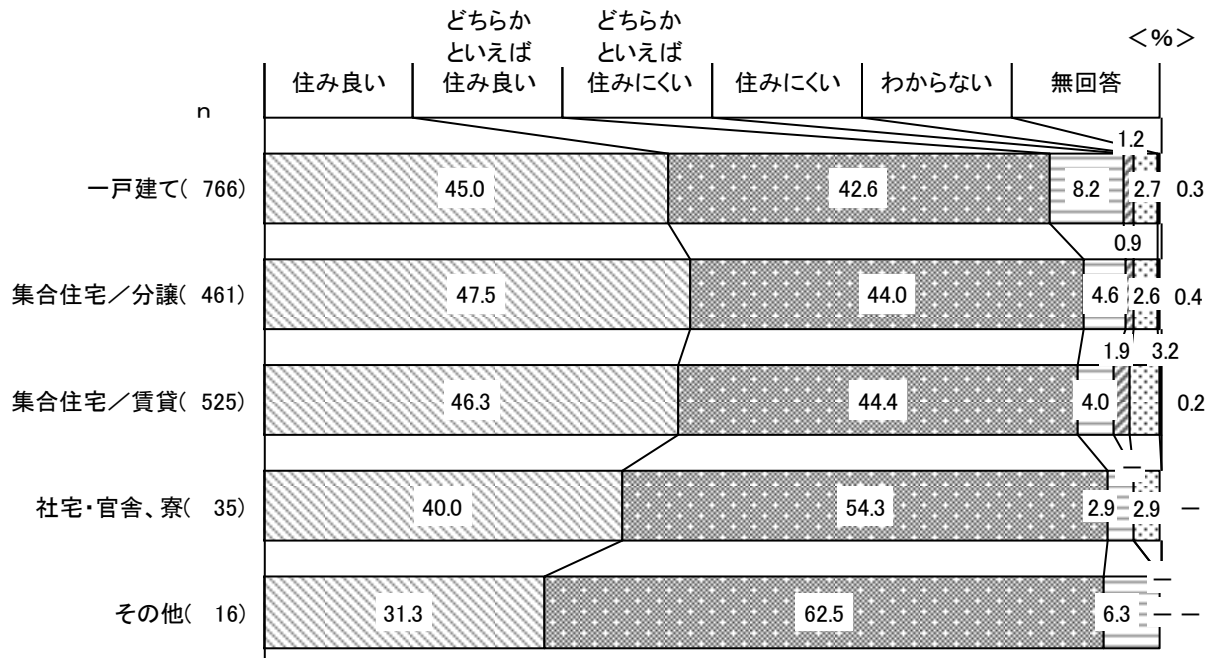
【地域別】

- “住み良い” は南部地域（91.2%）が最も高く、東部地域（90.9%）、北部地域（90.4%）も9割を超えている。
- “住みにくい” は中央地域（11.1%）で1割を超えている。



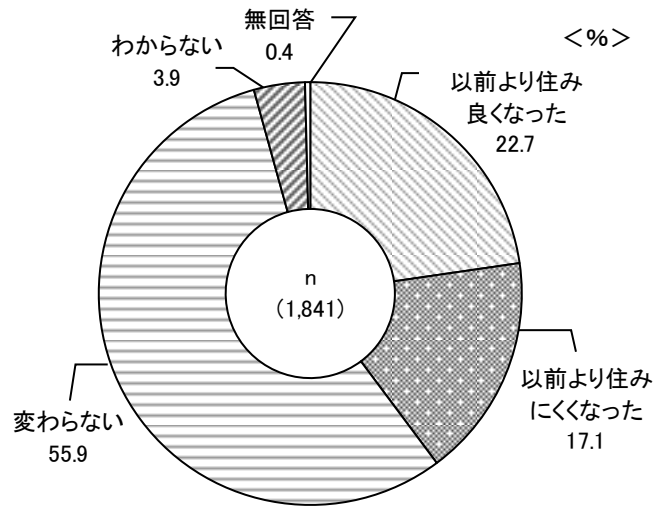
【住まい形態別】

- 「住み良い」は集合住宅（分譲）（47.5%）で最も高くなっている。



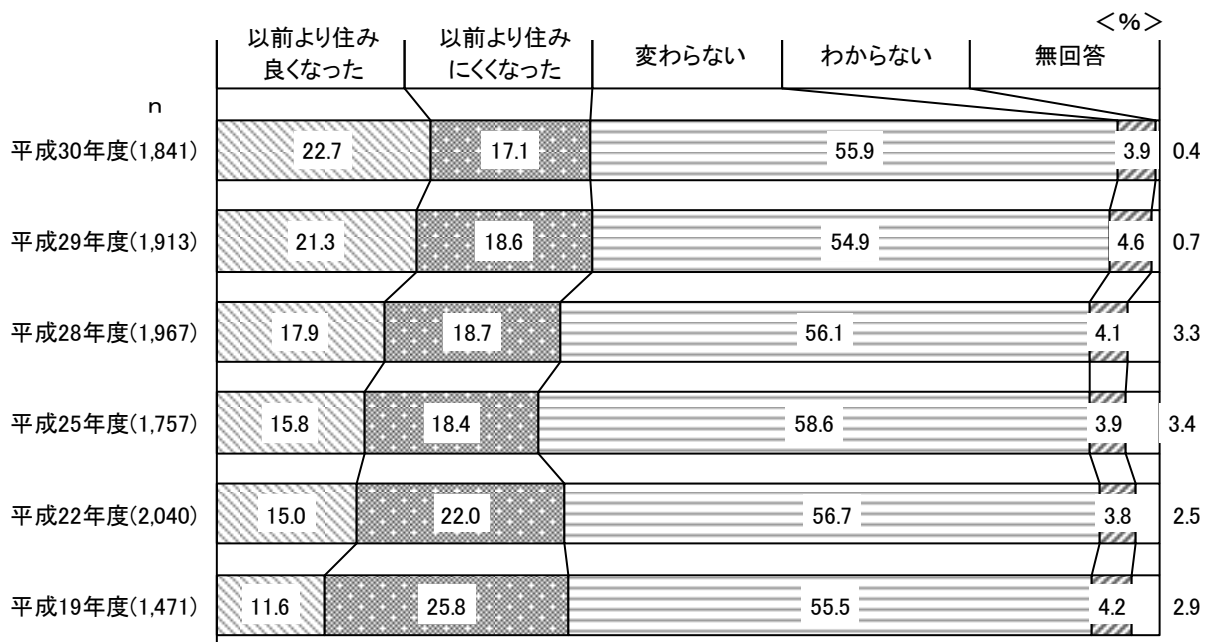
1-② 住み心地の変化〔問2〕

- 以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(55.9%)が5割台半ばで最も高くなっている。
- 「以前より住み良くなった」(22.7%)が、「以前より住みにくくなった」(17.1%)よりも5.6ポイント高くなっている。



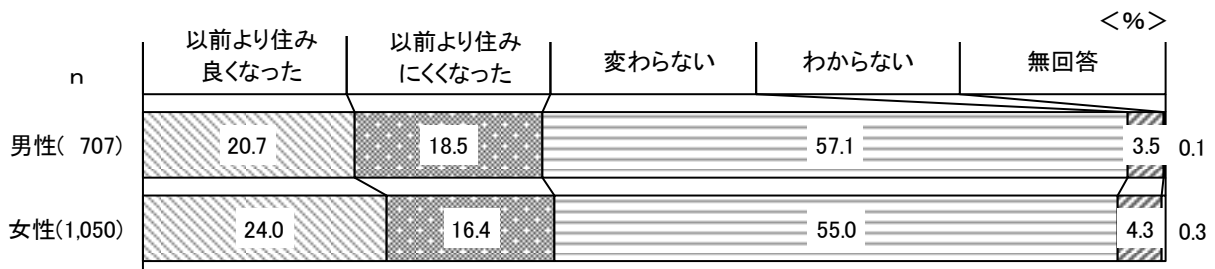
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「以前より住み良くなった」は平成19年度以降、増加傾向が続いている。



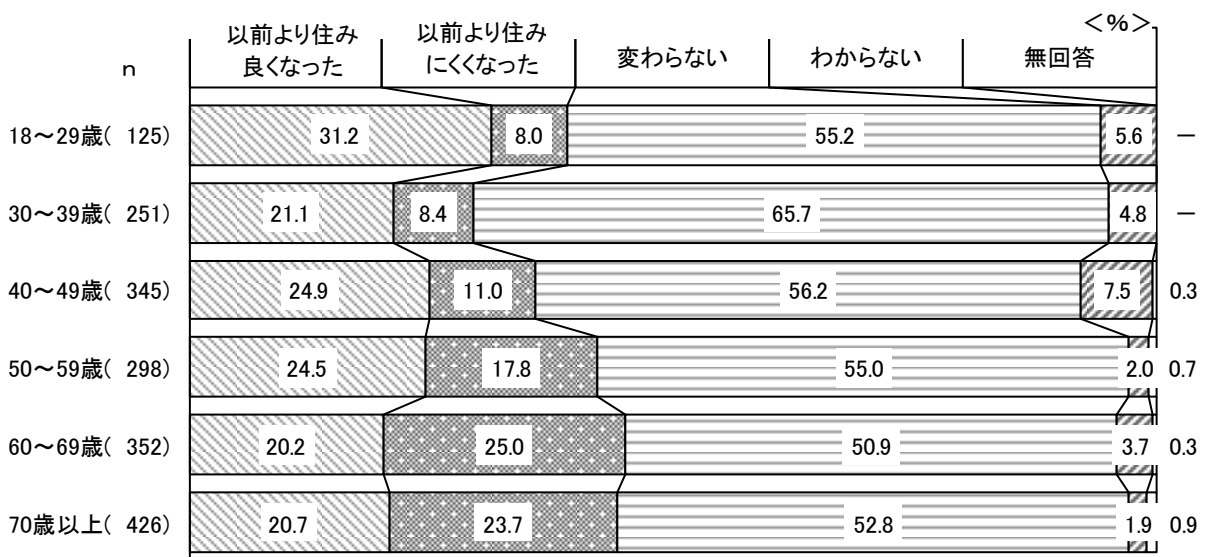
【性別】

- 「以前より住み良くなった」は女性（24.0%）が男性（20.7%）に比べて高くなっている。



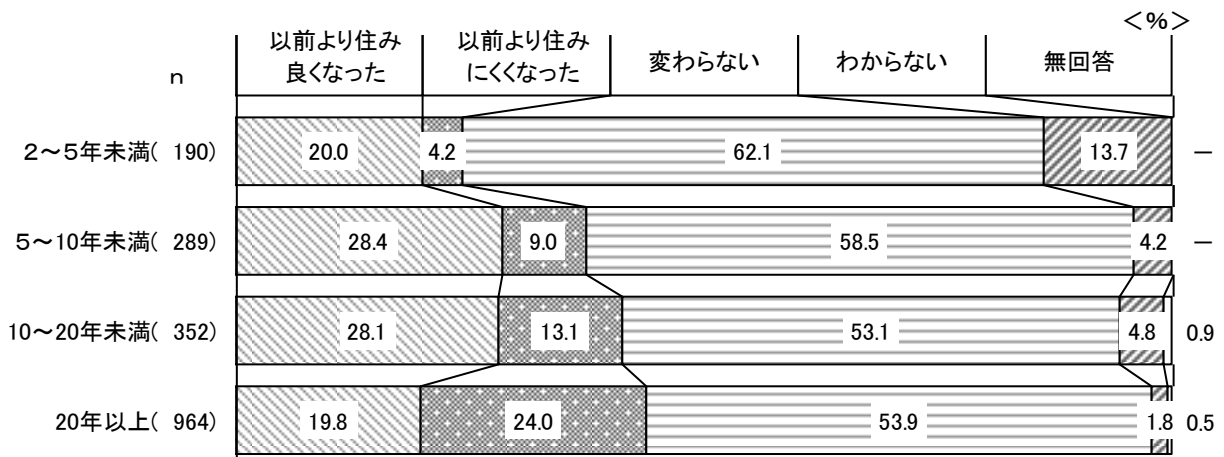
【年齢別】

- 「以前より住み良くなった」は18～29歳（31.2%）が3割強で最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」は60～69歳（25.0%）、70歳以上（23.7%）が2割台半ばで高くなっている。



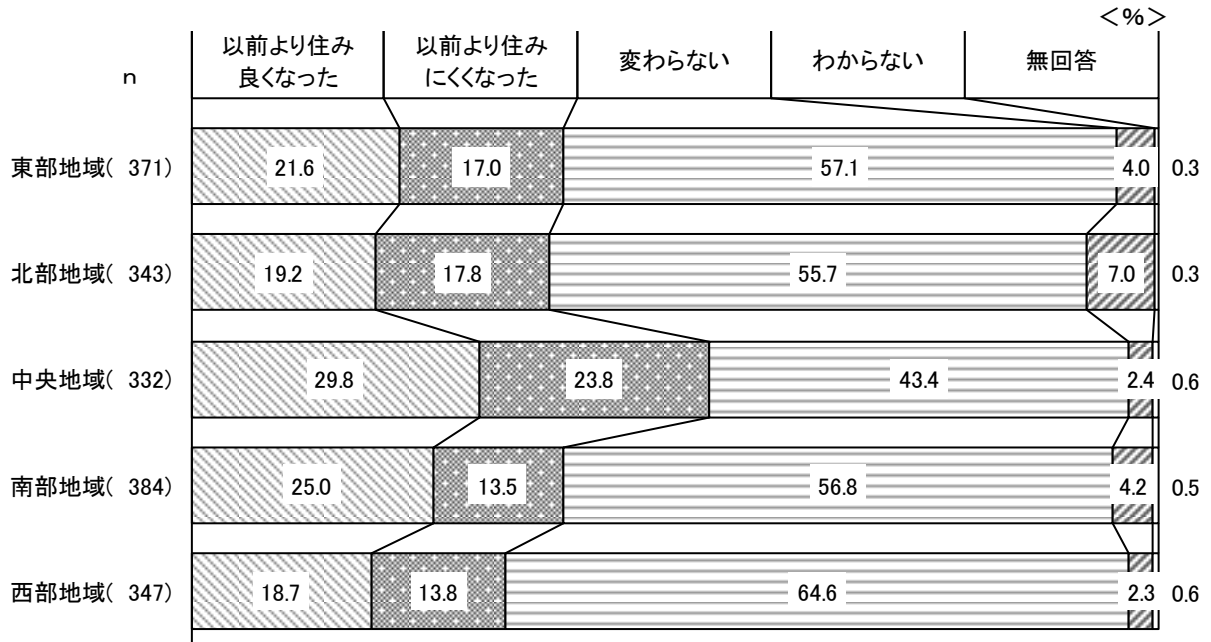
【居住年数別】

- 「以前より住み良くなった」は5～10年未満（28.4%）、10～20年未満（28.1%）が3割弱で高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」は20年以上（24.0%）で最も高くなっている。



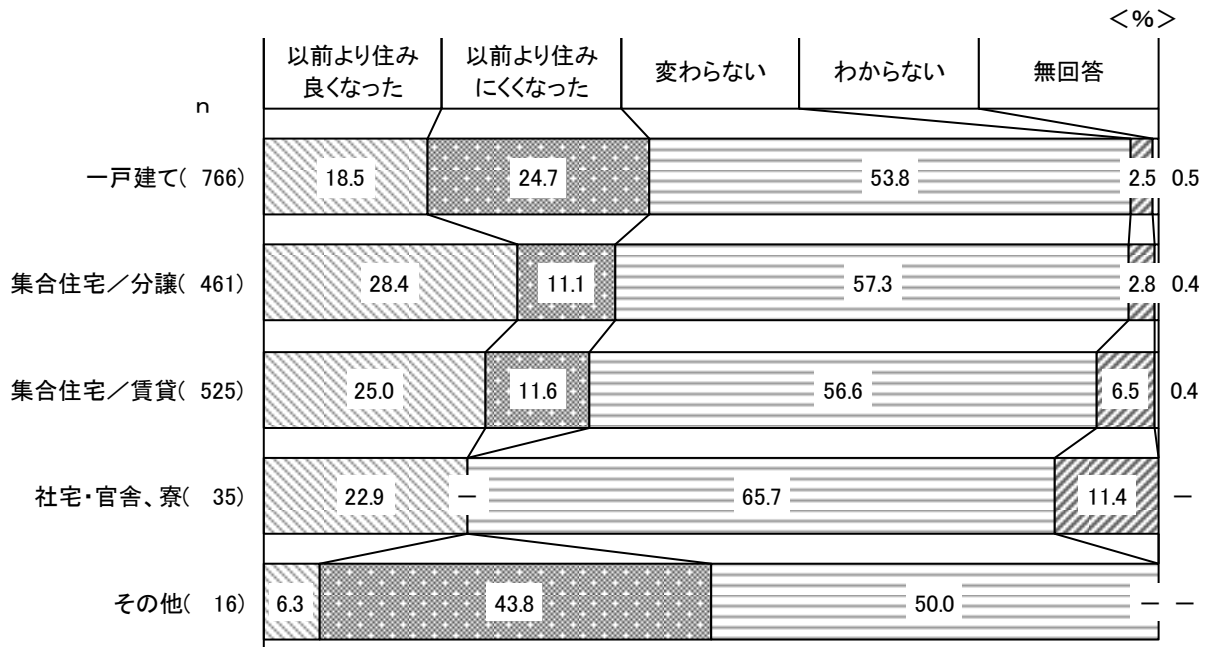
【地域別】

- 「以前より住み良くなった」は中央地域（29.8%）で約3割と最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」は中央地域（23.8%）で2割台半ばと最も高くなっている。



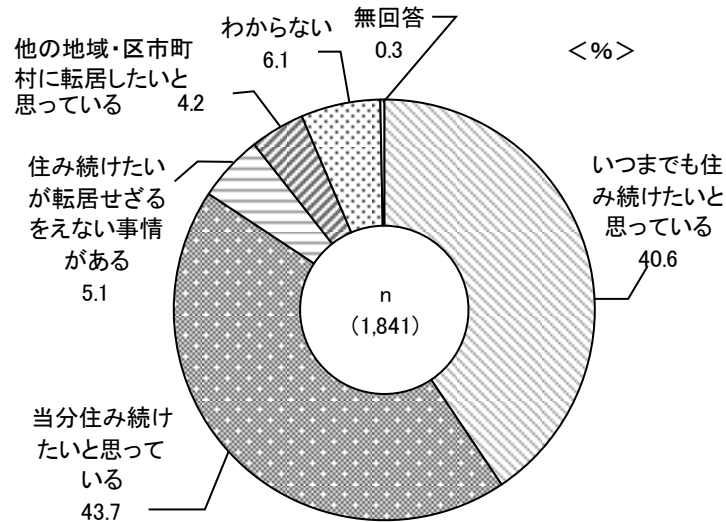
【住まい形態別】

- 「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（28.4%）で3割弱と最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」は一戸建て（24.7%）で2割台半ばと高くなっている。



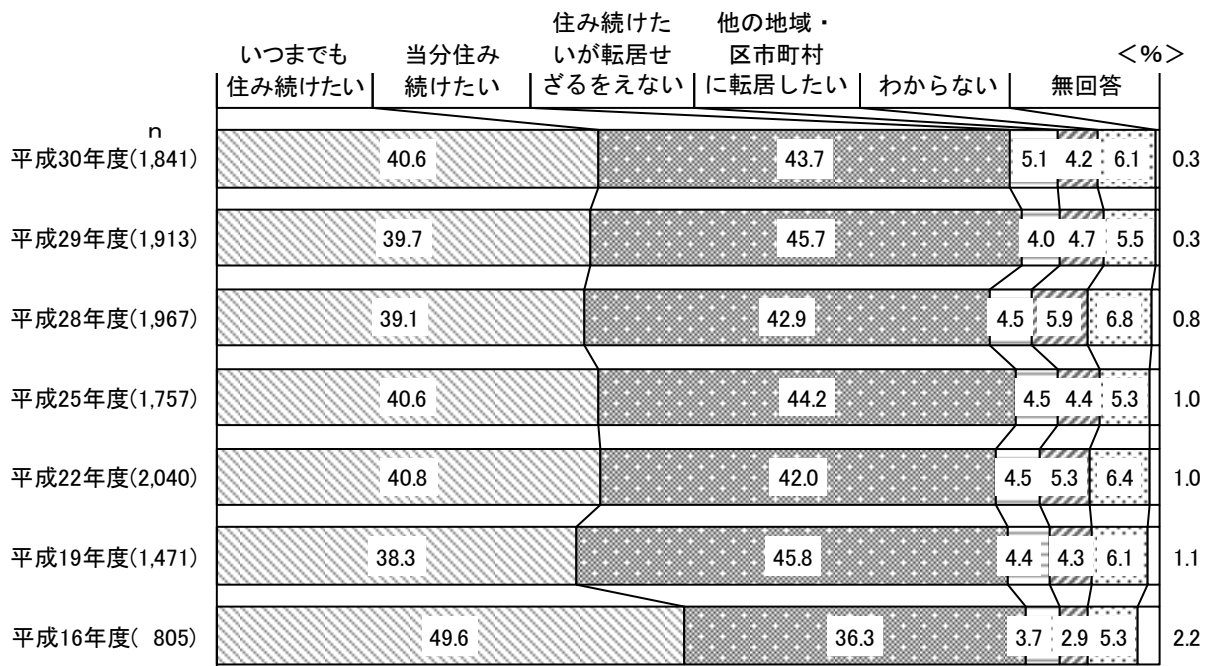
2 定住意向〔問3〕

- 定住意向について聞いたところ、「当分住み続けたいと思っている」(43.7%)が最も高く、「いつまでも住み続けたいと思っている」(40.6%)と合わせた“住み続けたい”(84.3%)としてみると、8割台半ばとなっている。
- 「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(5.1%)、「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(4.2%)はともに1割を下回っている。



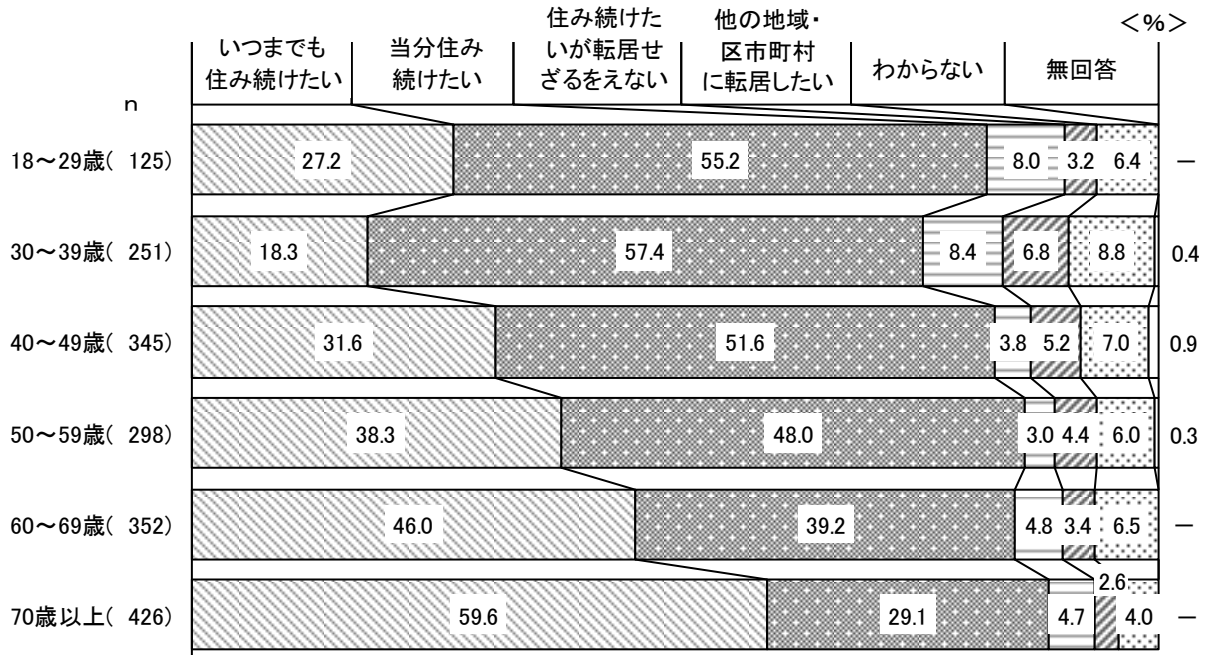
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、“住み続けたい”は平成29年度から1.1ポイント減少している。



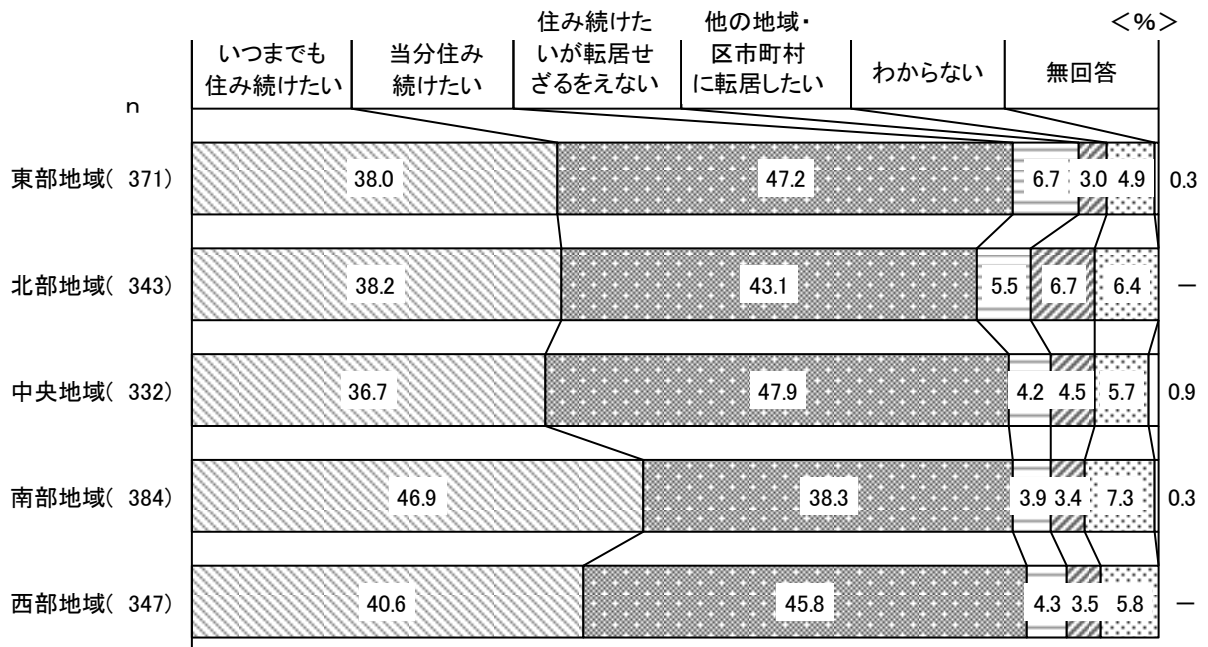
【年齢別】

- 「いつまでも住み続けたい」は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、70歳以上（59.6%）で約6割となっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したい」は30～39歳（6.8%）でやや高くなっている。



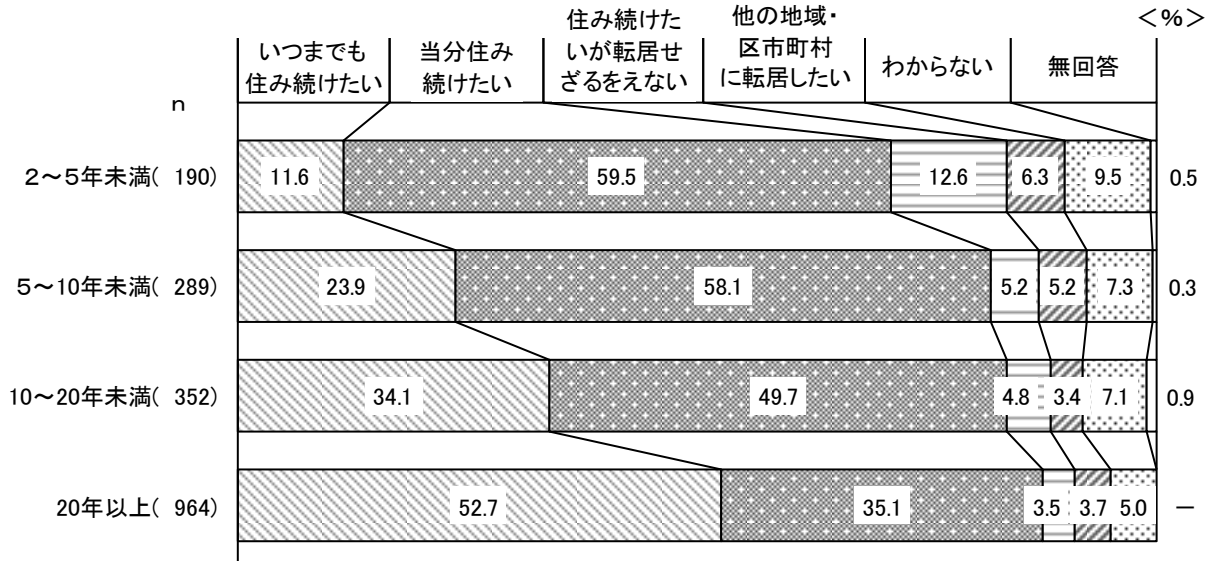
【地域別】

- 「いつまでも住み続けたい」は南部地域（46.9%）で4割台半ばと最も高くなっている。



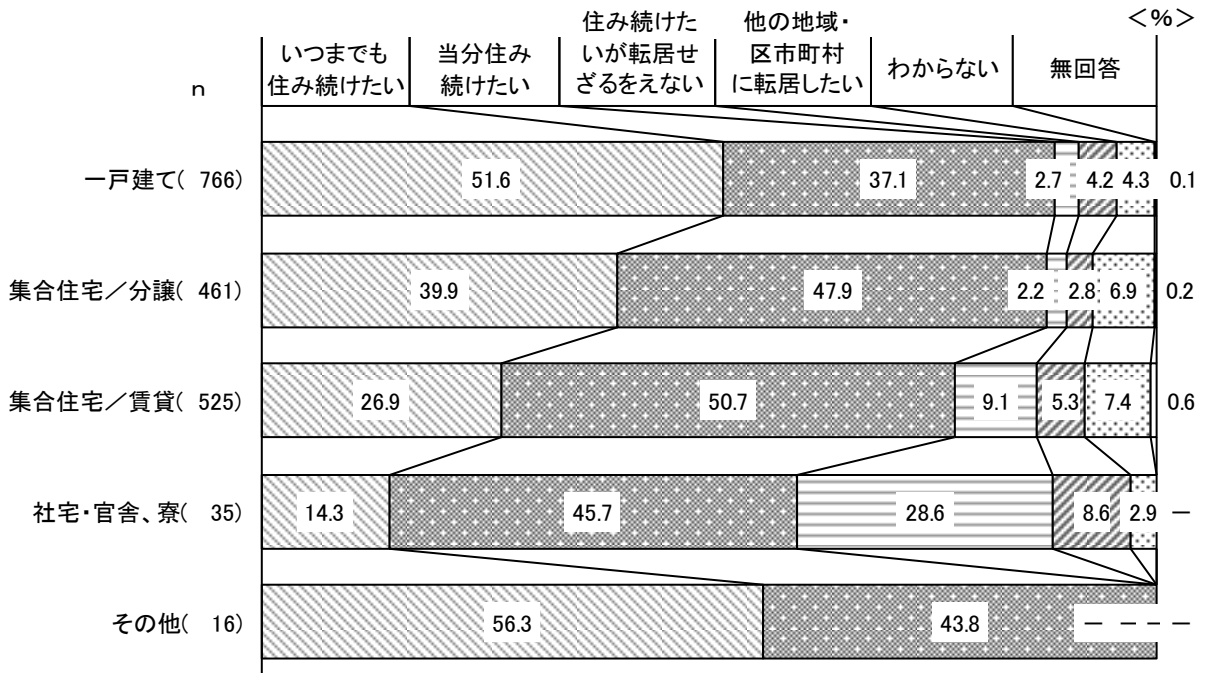
【居住年数別】

● “住み続けたい” は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（87.8%）で最も高くなっている。



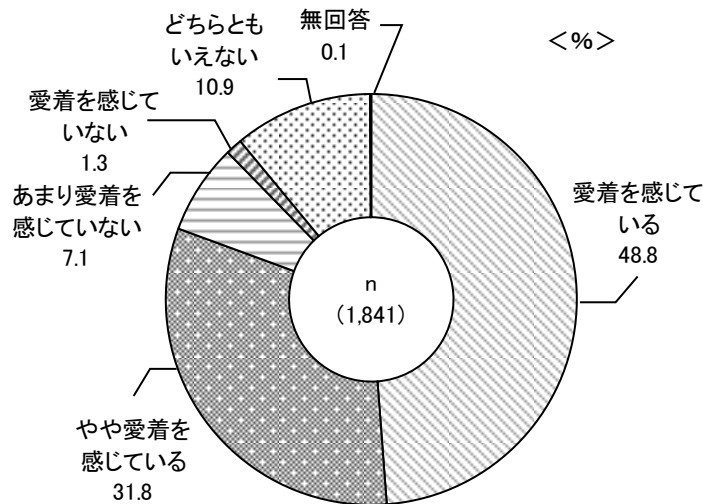
【住まい形態別】

● “住み続けたい” は一戸建て（88.7%）で9割弱と最も高くなっている。



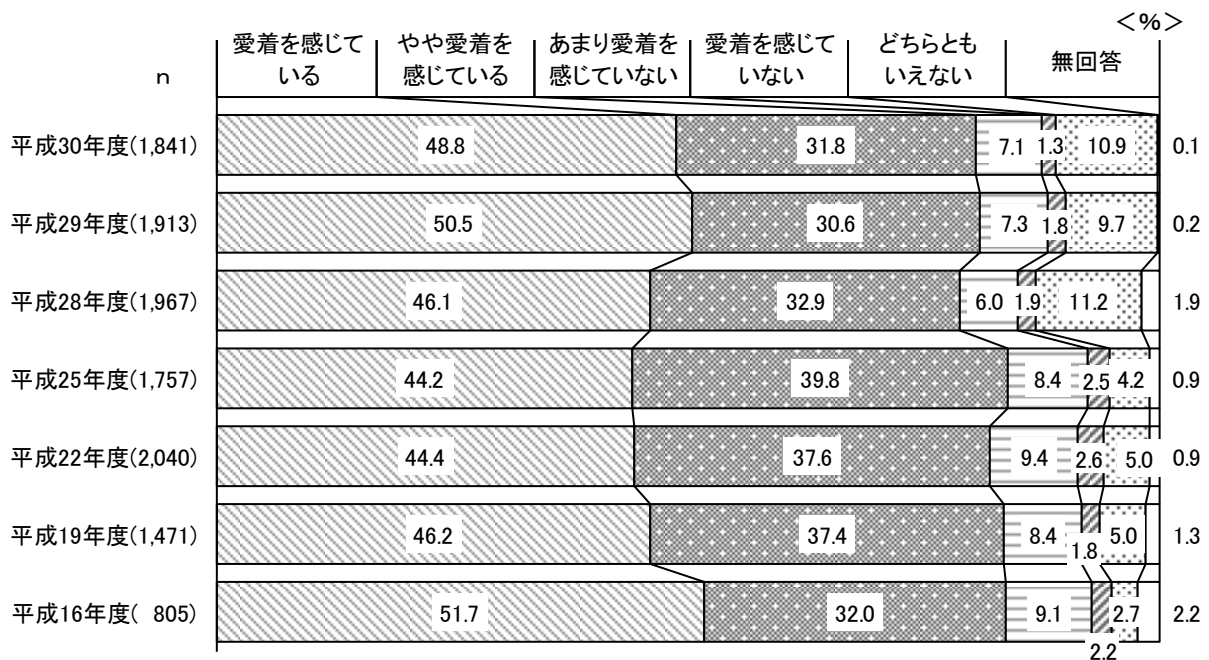
3 地域への愛着〔問4〕

- 地域への愛着について聞いたところ、「愛着を感じている」(48.8%) が5割弱と最も高く、「やや愛着を感じている」(31.8%) と合わせた“愛着を感じている” (80.6%) としてみると、約8割となっている。
- 「あまり愛着を感じていない」(7.1%) と「愛着を感じていない」(1.3%) を合わせた“愛着を感じていない” (8.4%) としてみると、1割を下回っている。



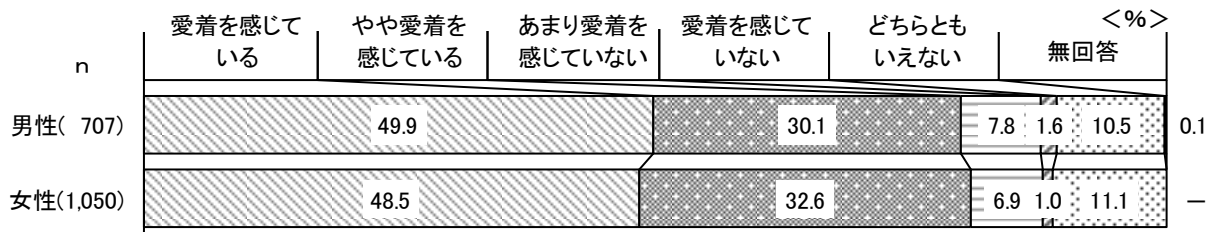
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「愛着を感じている」(48.8%) は平成 29 年度から 1.7 ポイント低くなっている。



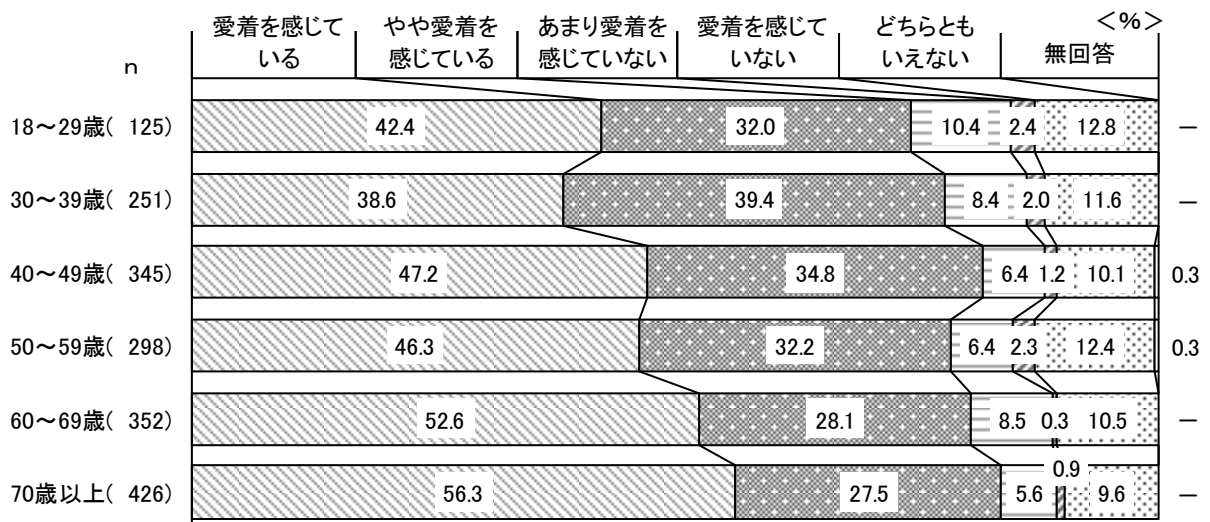
【性別】

- 「愛着を感じている」は男性（49.9%）が女性（48.5%）に比べ高くなっている。



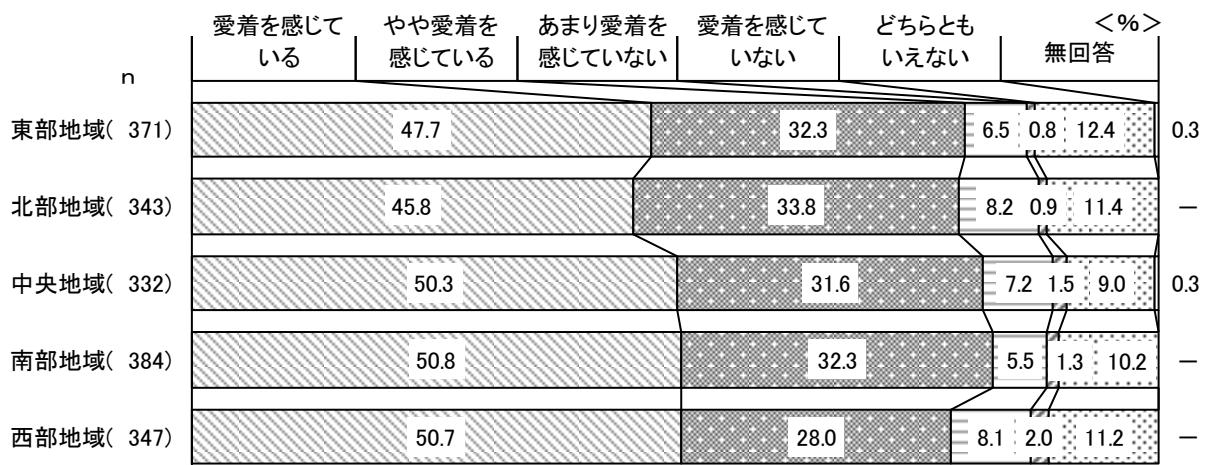
【年齢別】

- “愛着を感じている”は、70歳以上（83.8%）で8割台半ばと最も高くなっている。



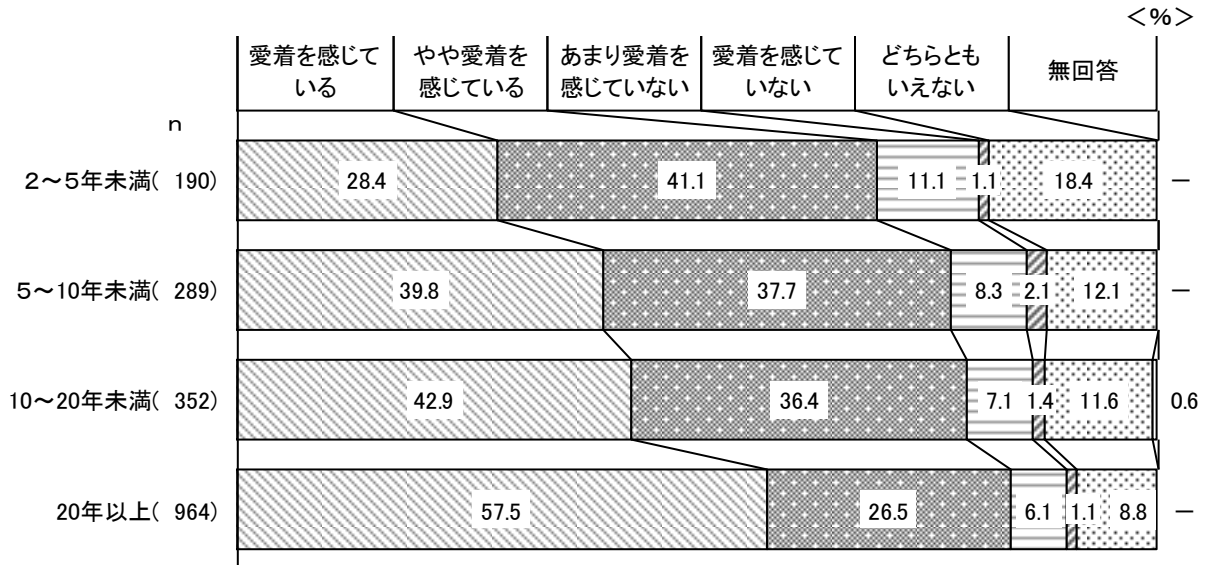
【地域別】

- “愛着を感じている”は、南部地域（83.1%）で8割台半ばと最も高くなっている。
- “愛着を感じていない”は、西部地域（10.1%）が約1割となっている。



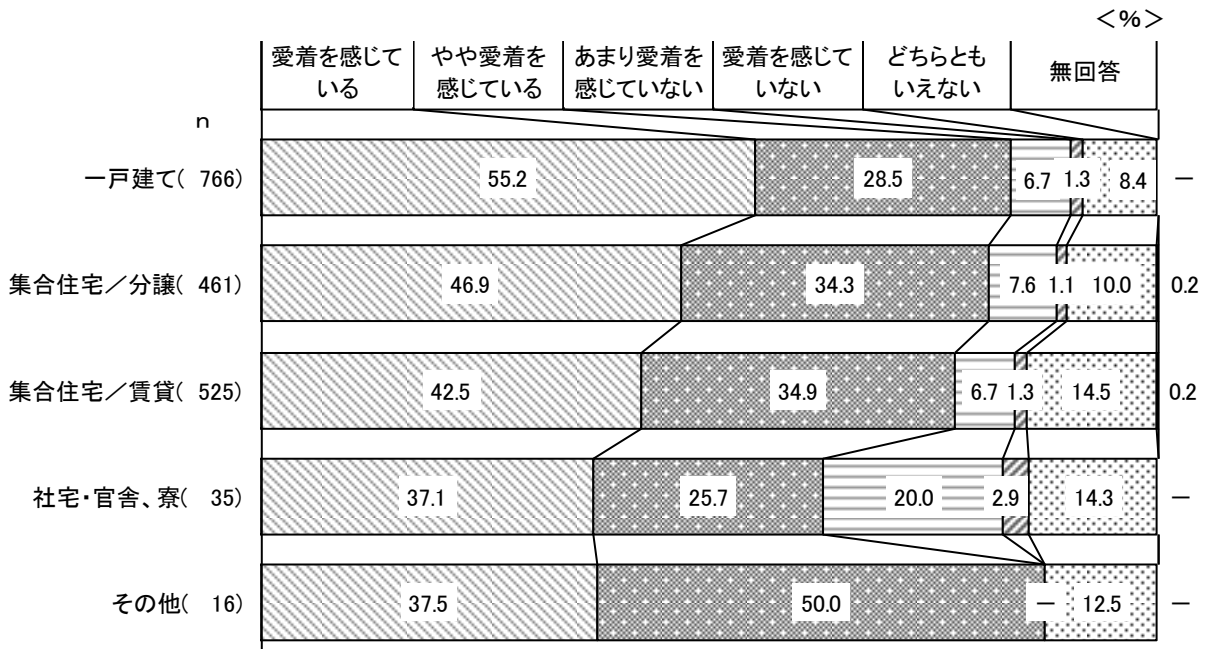
【居住年数別】

- “愛着を感じている” は20年以上（84.0%）で8割台半ばと最も高くなっている。
- “愛着を感じていない” は2～5年未満（12.2%）で1割強となっている。



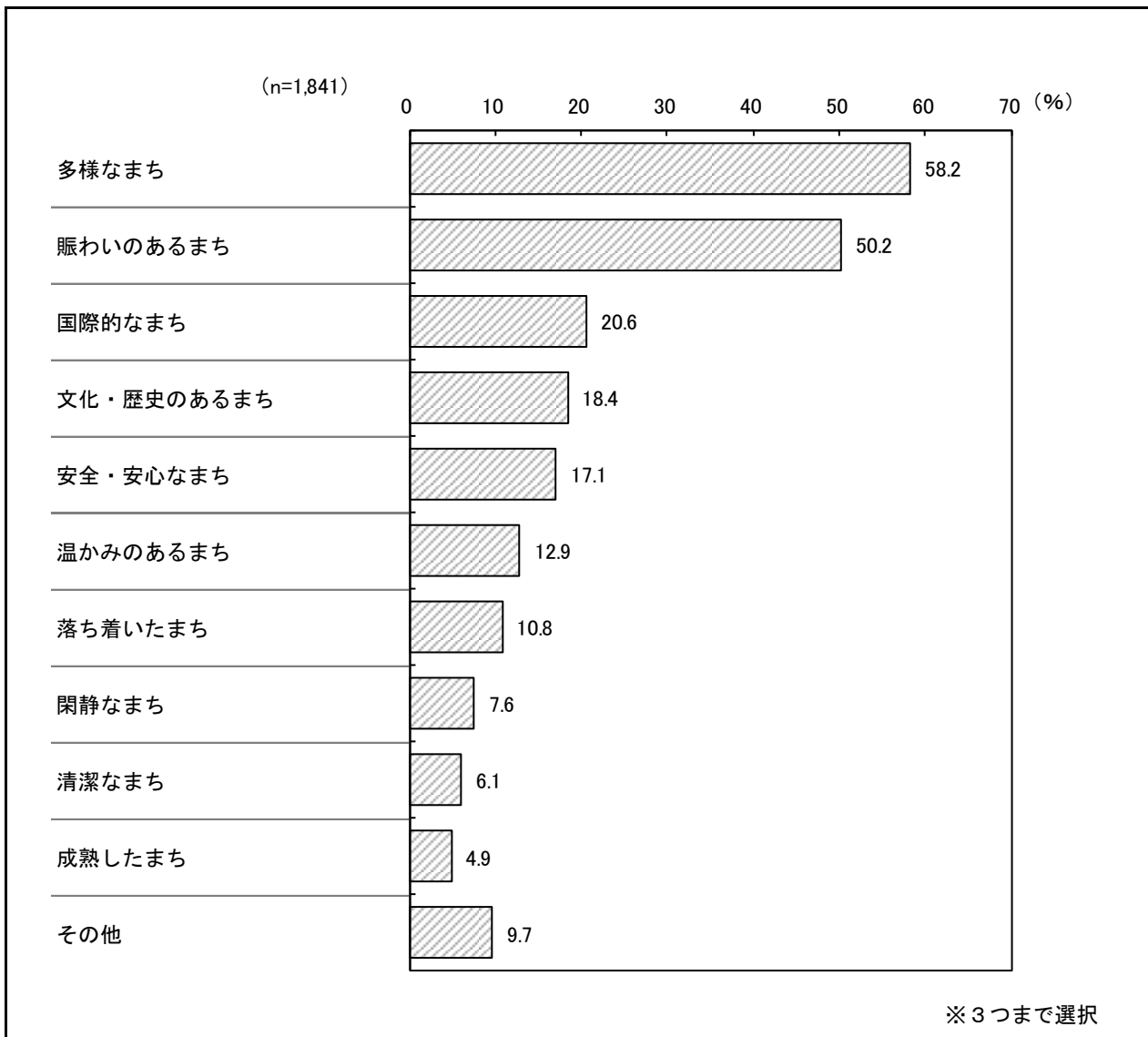
【住まい形態別】

- “愛着を感じている” は一戸建て（83.7%）で8割台半ばと最も高くなっている。
- “愛着を感じていない” は社宅・官舎、寮（22.9%）で2割強となっている。



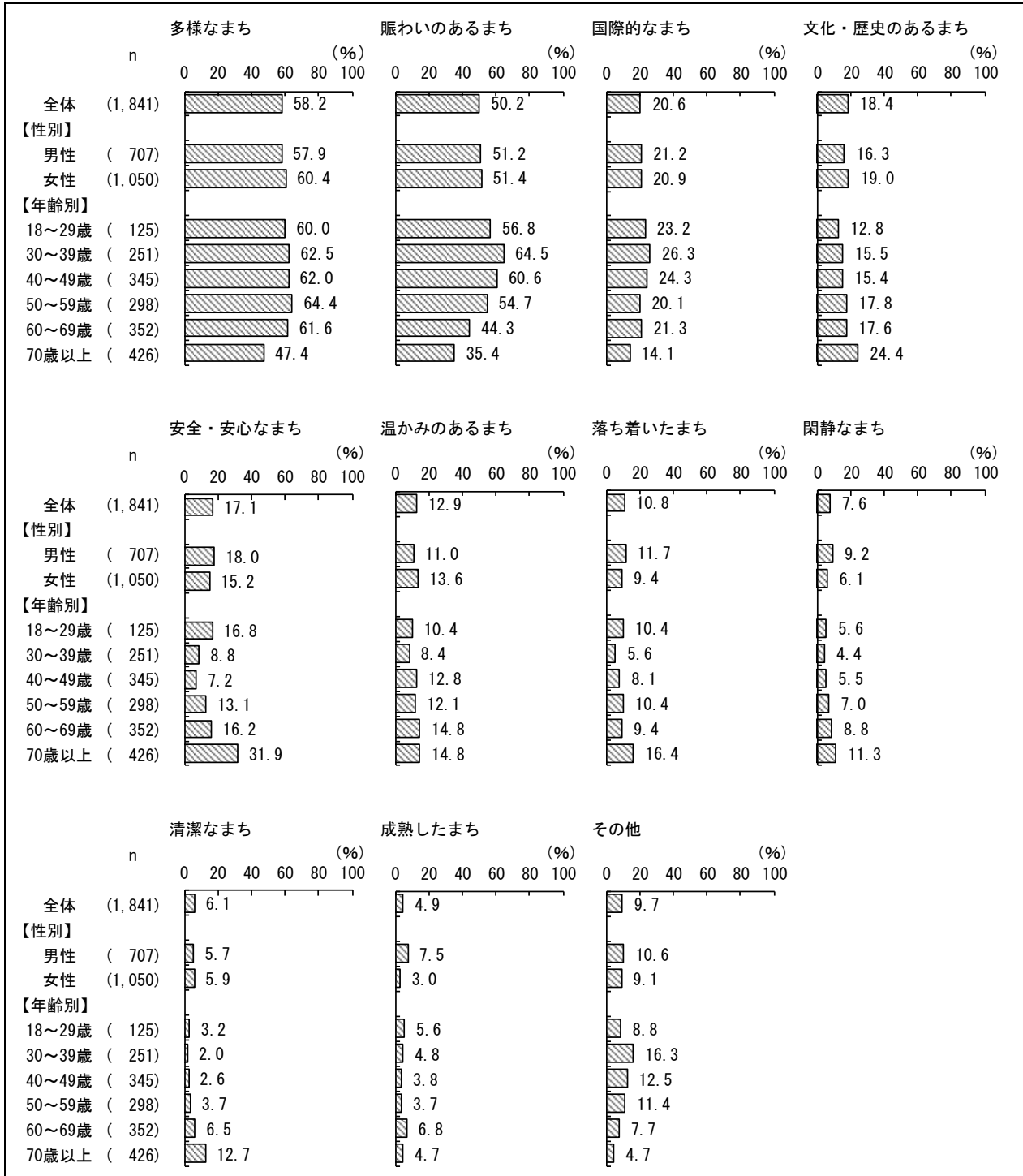
4 豊島区のイメージ〔問5〕

- 現在の豊島区のイメージを表すとしたら、どのような表現がふさわしいと思うかを聞いたところ、「多様なまち」(58.2%)が6割弱と最も高く、以下「賑わいのあるまち」(50.2%)、「国際的なまち」(20.6%)、「文化・歴史のあるまち」(18.4%)、「安全・安心なまち」(17.1%)などとなっている。



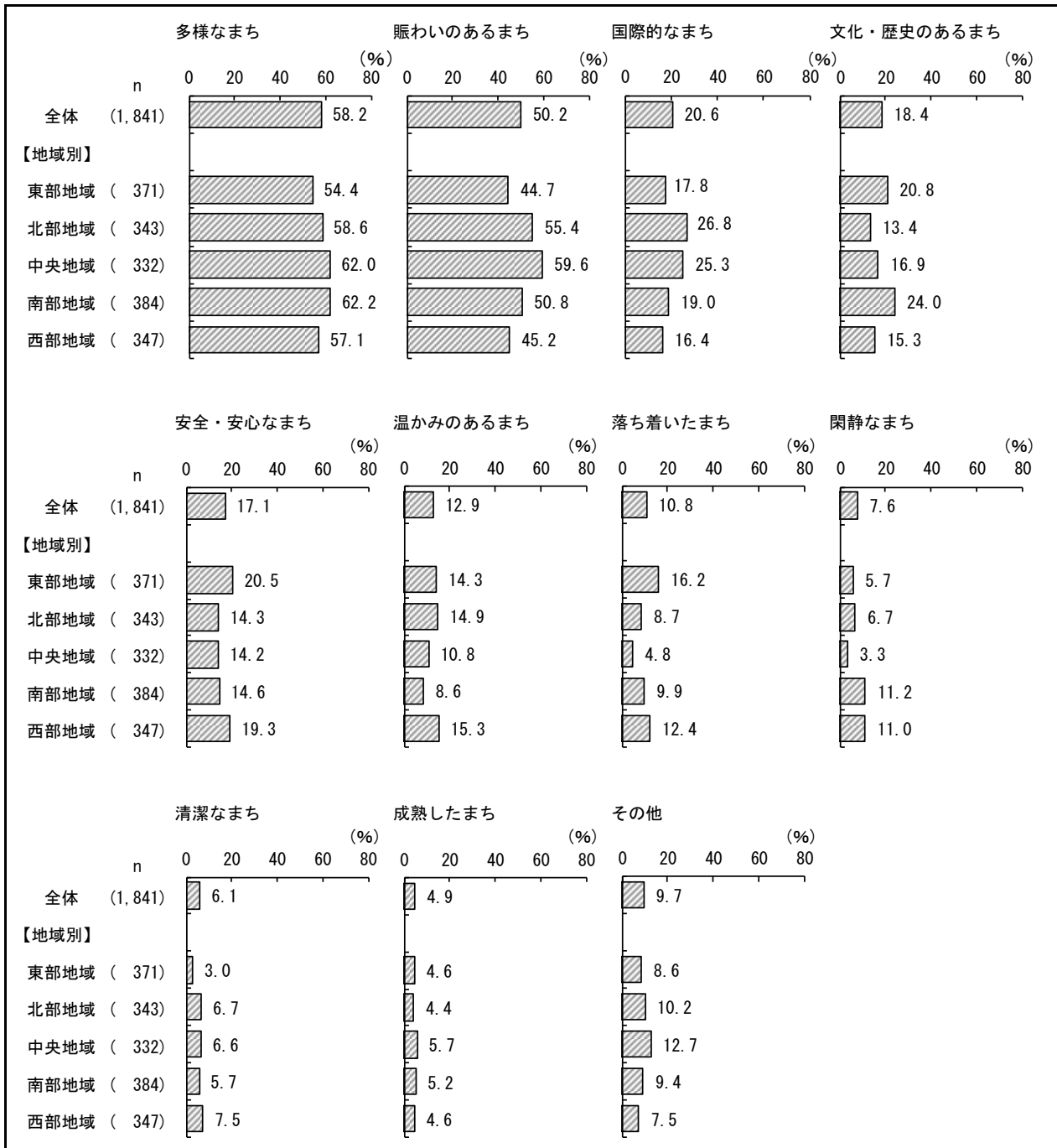
【性別・年齢別】

- 「多様なまち」は、50～59歳（64.4%）で6割台半ばと最も高くなっている。
- 「賑わいのあるまち」は、30～39歳（64.5%）で6割台半ばと最も高くなっている。
- 「国際的なまち」は、30～39歳（26.3%）で2割台半ばと最も高くなっている。
- 「文化・歴史のあるまち」は、70歳以上（24.4%）で2割台半ばと最も高くなっている。
- 「安全・安心なまち」は、70歳以上（31.9%）で3割強と最も高くなっている。



【地域別】

- 「多様なまち」は、南部地域（62.2%）、中央地域（62.0%）で6割強と高くなっている。
- 「賑わいのあるまち」は、中央地域（59.6%）で約6割と最も高くなっている。
- 「国際的なまち」は、北部地域（26.8%）、中央地域（25.3%）で2割台半ばと高くなっている。
- 「文化・歴史のあるまち」は、南部地域（24.0%）で2割台半ばと最も高くなっている。
- 「安全・安心なまち」は、東部地域（20.5%）、西部地域（19.3%）で約2割と高くなっている。



第2章

地域の生活環境について

第2章 地域の生活環境について

〔設問設定の考え方〕

「豊島区基本計画」（平成28年3月策定）及び「豊島区未来戦略推進プラン」の施策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく11のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」は、全部で72項目あり、11のグループごとに、各項目について、「現在の評価」と「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

《調査にあたり設定した11のグループ》

①参画・協働	⑦みどり・環境
②平和・人権	⑧都市再生・交通
③福祉	⑨防災・治安
④健康・保健	⑩商工・観光
⑤子育て	⑪文化
⑥教育	

《各項目についての調査内容》

①目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

- ※ “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思わない” の3つから実感に近いものを選択。
- ※ “どちらかというと思う” から “どちらかというと思わない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

②目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- ※ 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つ又は3つ選択。

《グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧》

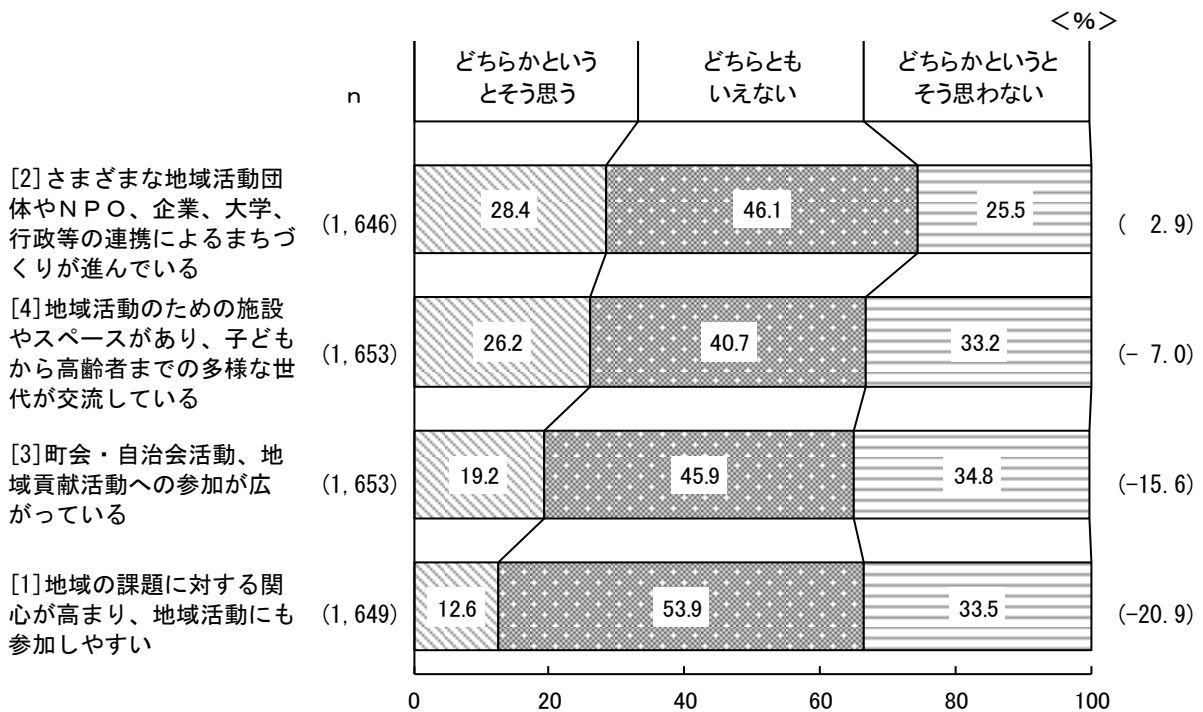
グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
② 平和・人権	5	外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている
	6	地域で外国人との交流がある
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている
	8	性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる
	9	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解が深まっている
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
④ 健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる
⑤ 子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある
	23	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている
	24	子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている
⑥ 教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている
	28	学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている
	29	学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている
	30	信頼される実践力の高い教員が育成されている
	31	家庭での教育に対する支援が充実している
	32	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている
	33	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている
	34	豊島区ならではの特色ある教育が進められている
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
⑦ みどり・環境	36	みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的大きな公園がある
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	38	CO ₂ 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	43	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている
⑧ 都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	47	新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	50	鉄道・バス等の交通が便利である
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる
⑨ 防災・治安	52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている
	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています
	56	電柱のない道路が増えている
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	58	治安がよく、安心して暮らせる
⑩ 商工・観光	59	交通事故が少ない
	60	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている
	61	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
	63	区内の観光スポットがにぎわっている
	64	区内の観光情報が国内外にPRされている
	65	区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている
⑪ 文化	66	多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い
	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	68	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる
	69	豊島区の文化芸術の魅力が国内外に発信されている
	70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある
	71	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある
	72	地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている

1 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問6〕

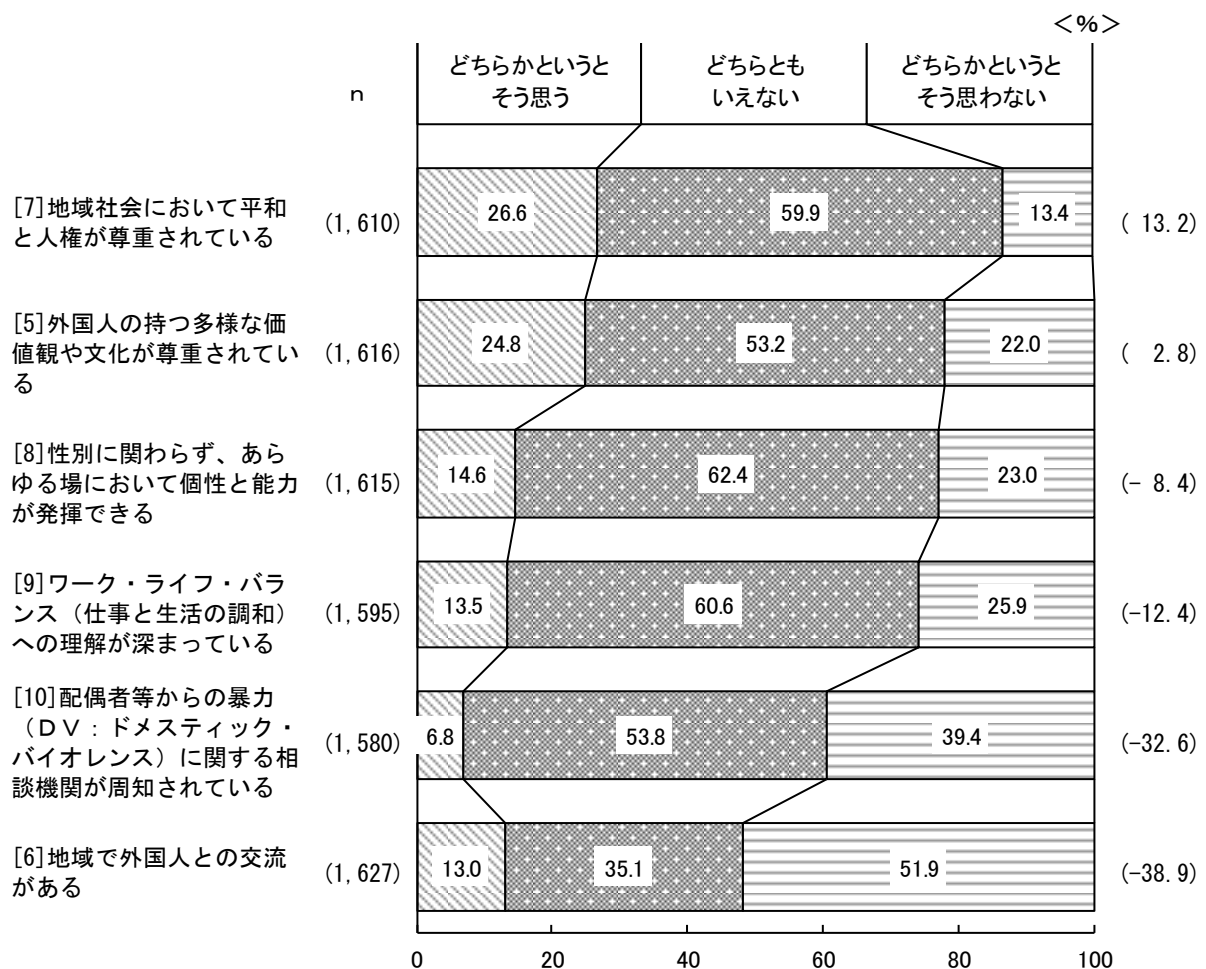
① 参画・協働

- 参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」であり、以下、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」である。



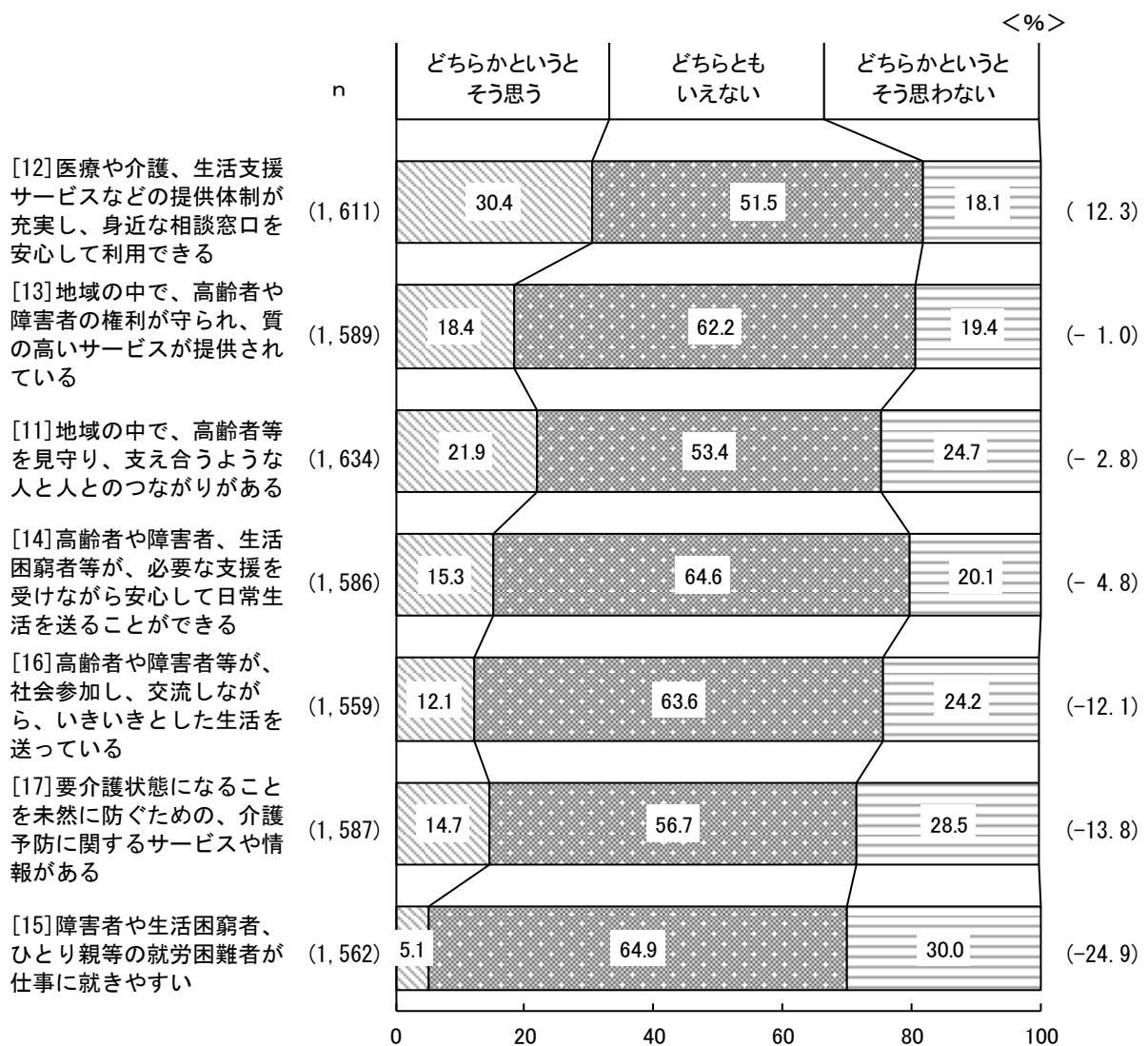
② 平和・人権

- 平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域社会において平和と人権が尊重されている」であり、以下、「外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている」、「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。



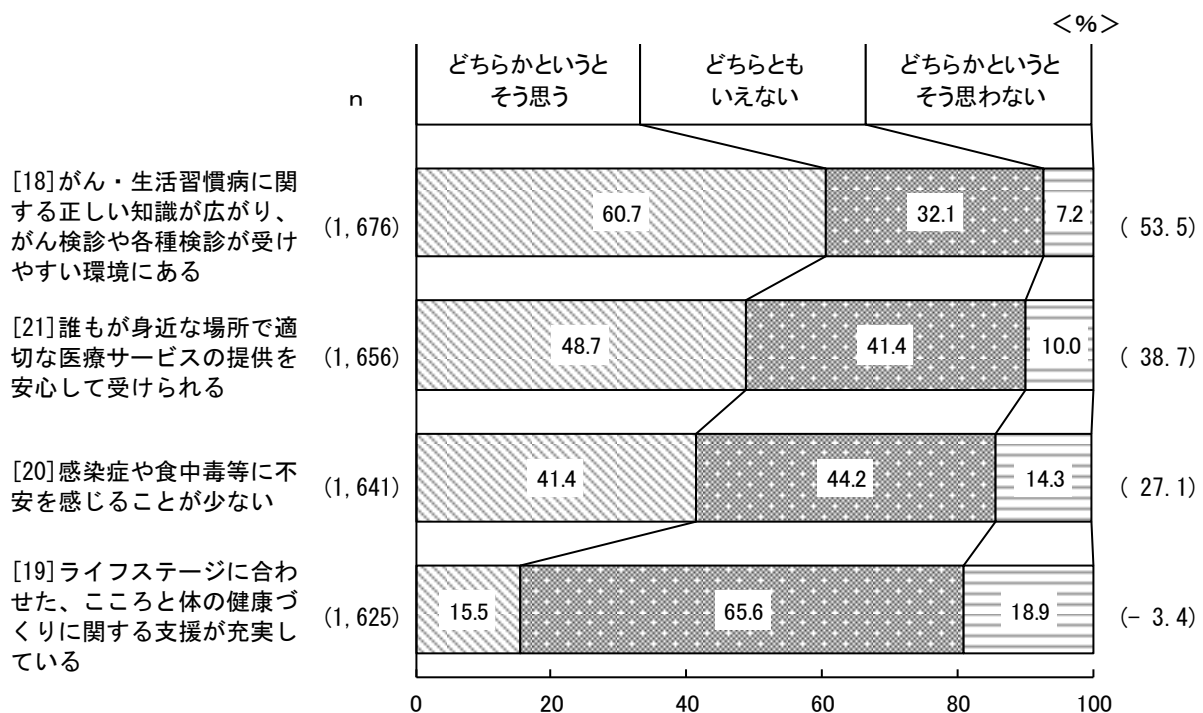
③ 福祉

- 福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」であり、以下、「地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている」、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい」である。



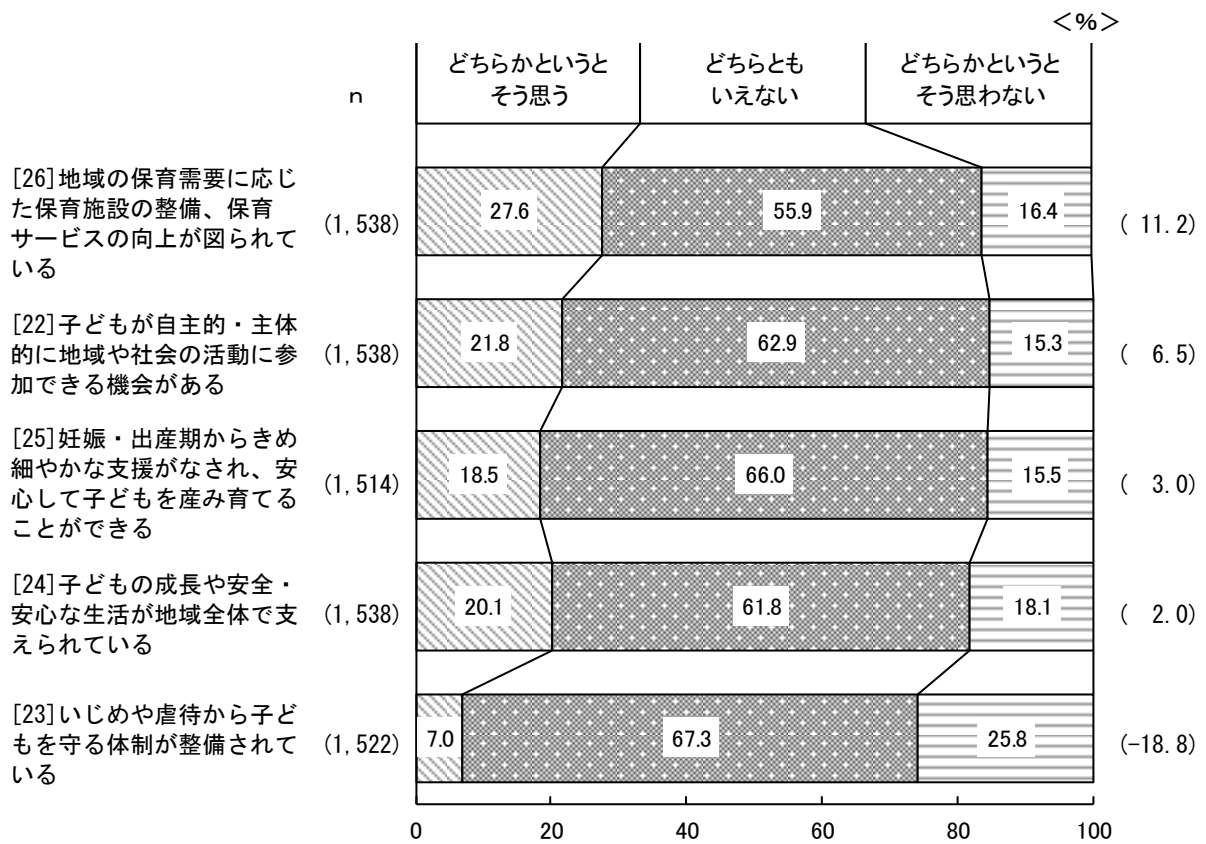
④ 健康・保健

- 健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」であり、以下、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」である。



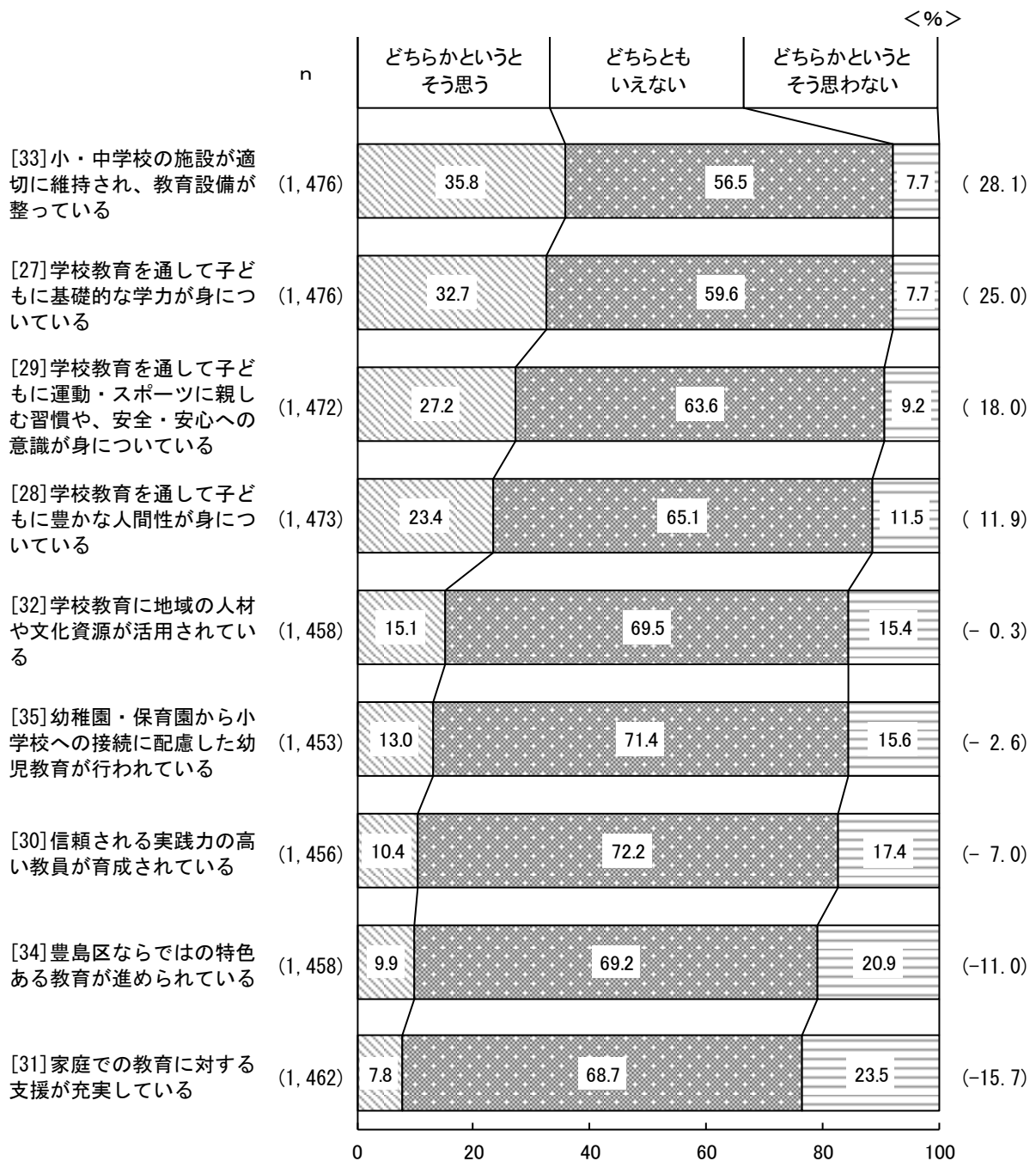
⑤ 子育て

- 子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」であり、以下、「子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある」、「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」である。



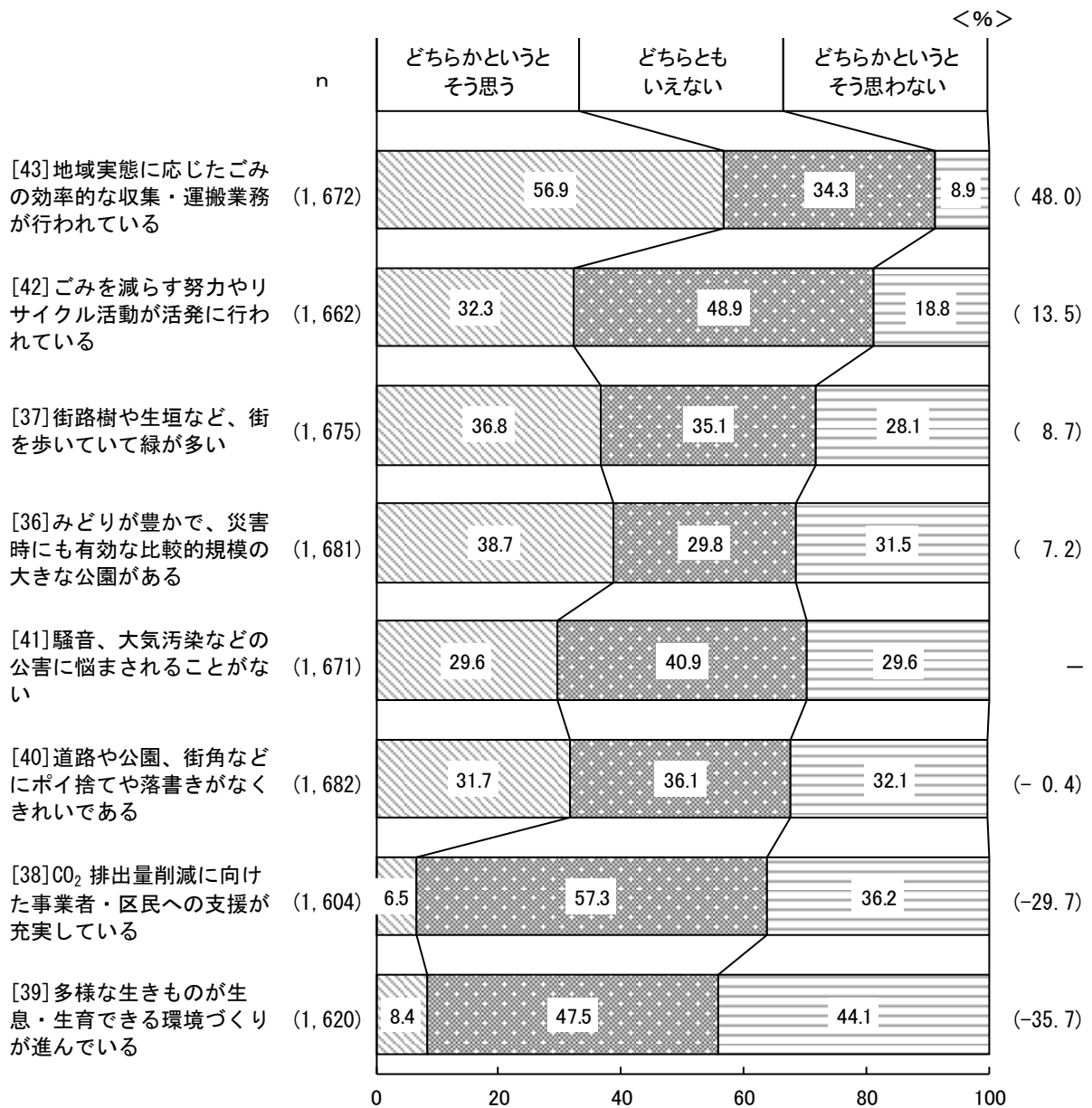
⑥ 教育

- 教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」であり、以下、「学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている」、「学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭での教育に対する支援が充実している」である。



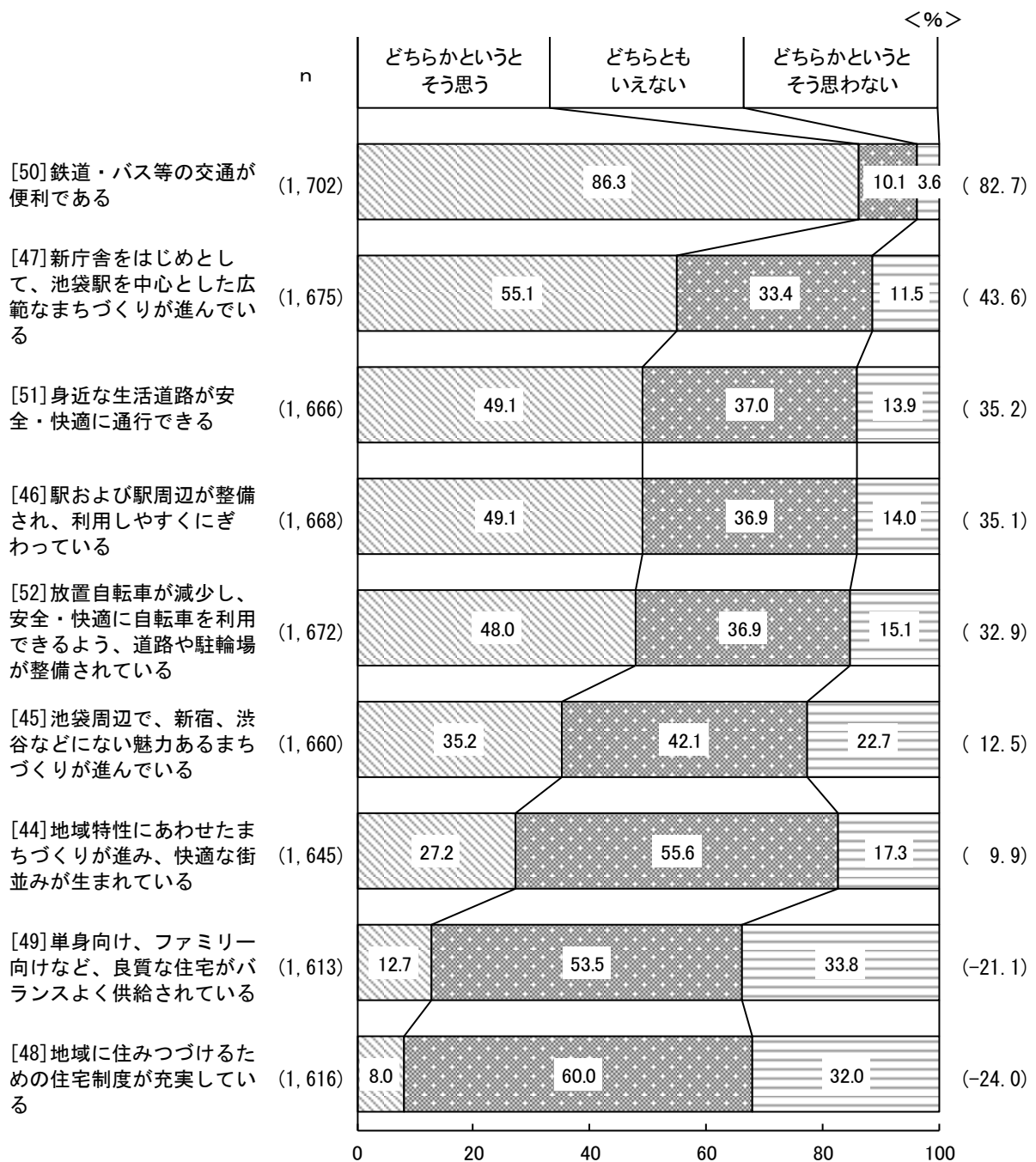
⑦ みどり・環境

- みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い(満足度が高い)ものは、「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」であり、以下、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い(満足度が低い)ものは、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」である。



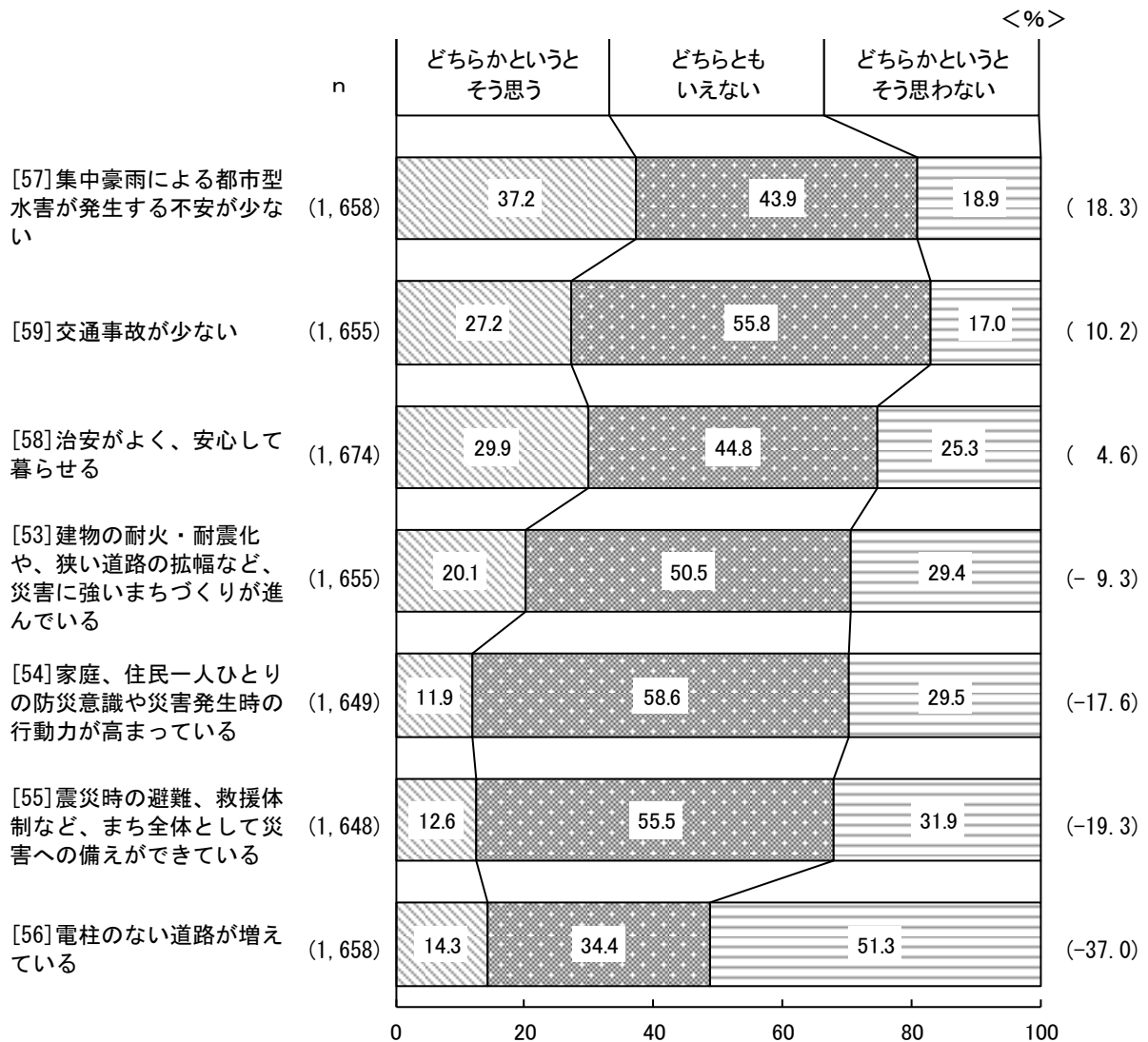
⑧ 都市再生・交通

- 都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、以下、「新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる」、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」である。



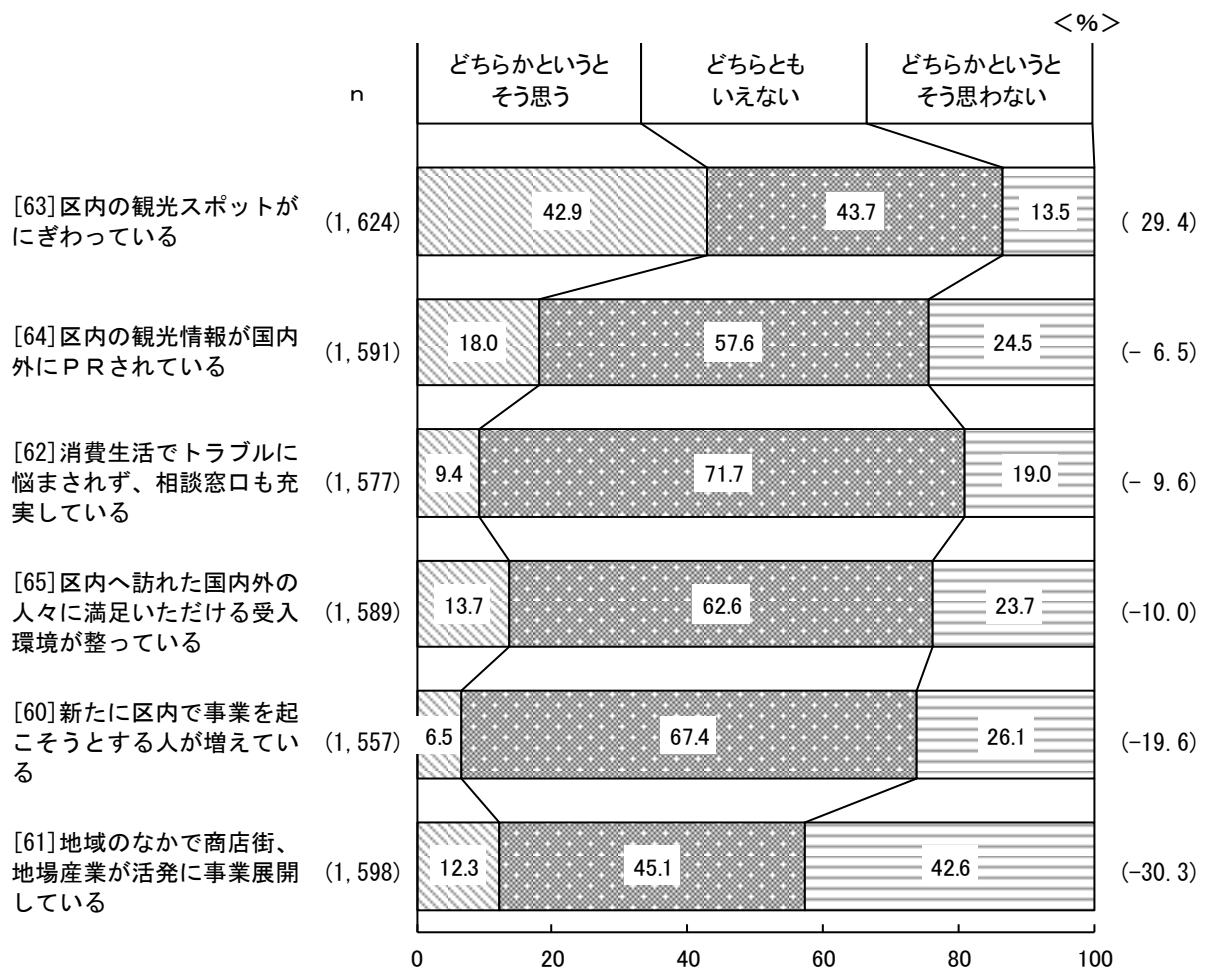
⑨ 防災・治安

- 防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、以下、「交通事故が少ない」、「治安がよく、安心して暮らせる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「電柱のない道路が増えている」である。



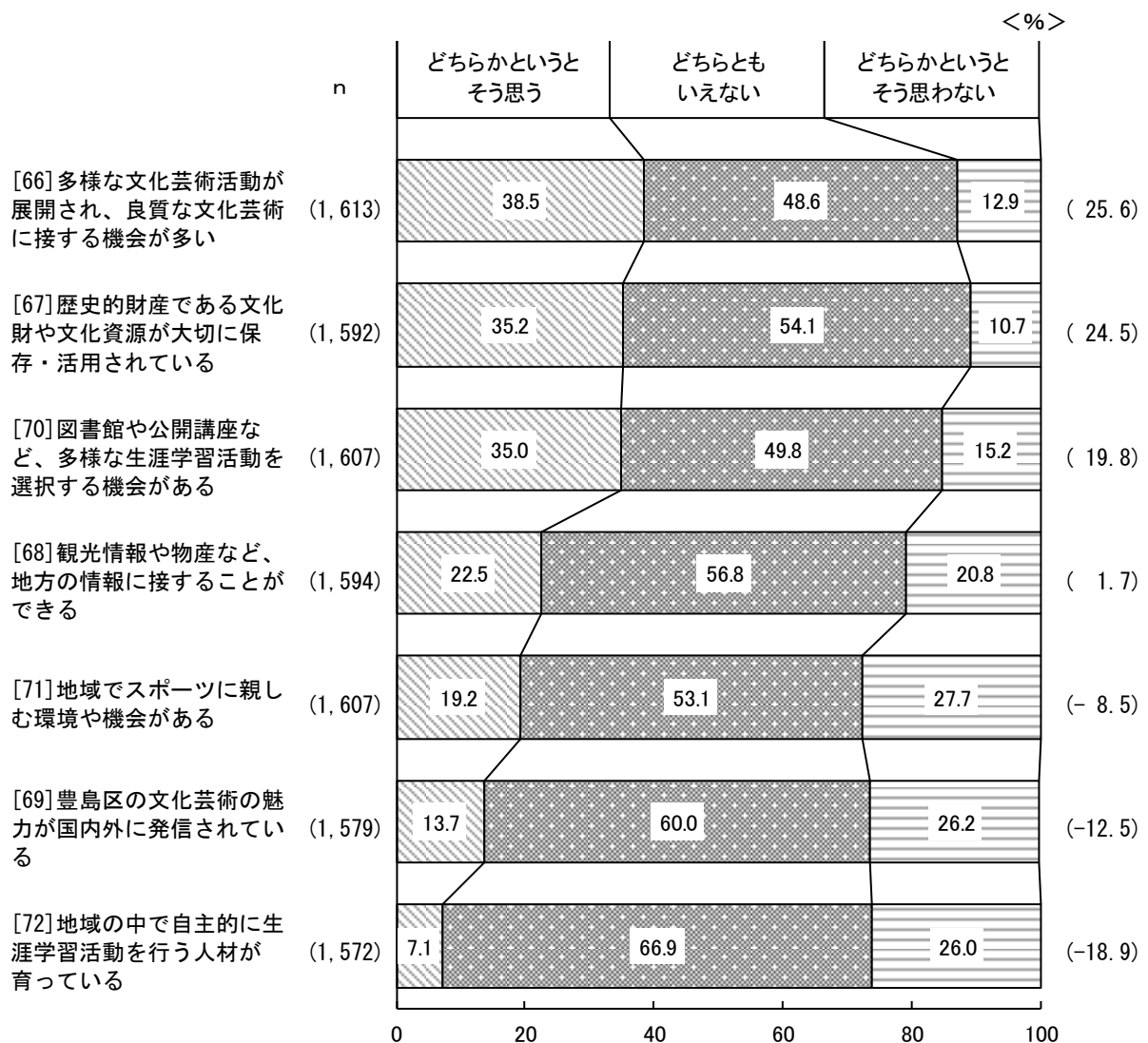
⑩ 商工・観光

- 商工・観光に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「区内の観光スポットがにぎわっている」であり、以下、「区内の観光情報が国内外にPRされている」、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」である。



⑪ 文化

- 文化に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」であり、以下、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている」である。



● グループ全体を通してみた「現在の評価」

注) 表中の満足度欄の()書きは前回調査(平成 29 年度調査)の数値

ア「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全 72 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い(満足度が高い)項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第 1 位	⑧都市再生・交通	[50] 鉄道・バス等の交通が便利である	82.7 (81.9)
第 2 位	④健康・保健	[18] がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある	53.5 (48.2)
第 3 位	⑦みどり・環境	[43] 地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	48.0 (46.8)
第 4 位	⑧都市再生・交通	[47] 新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	43.6 (36.5)
第 5 位	④健康・保健	[21] 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	38.7 (37.0)
第 6 位	⑧都市再生・交通	[51] 身近な生活道路が安全・快適に通行できる	35.2 (35.0)
第 7 位	⑧都市再生・交通	[46] 駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	35.1 (34.5)
第 8 位	⑧都市再生・交通	[52] 放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	32.9 (30.8)
第 9 位	⑩商工・観光	[63] 区内の観光スポットがにぎわっている	29.4 (26.8)
第 10 位	⑥教育	[33] 小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	28.1 (30.3)

イ「現在の評価」が低い項目

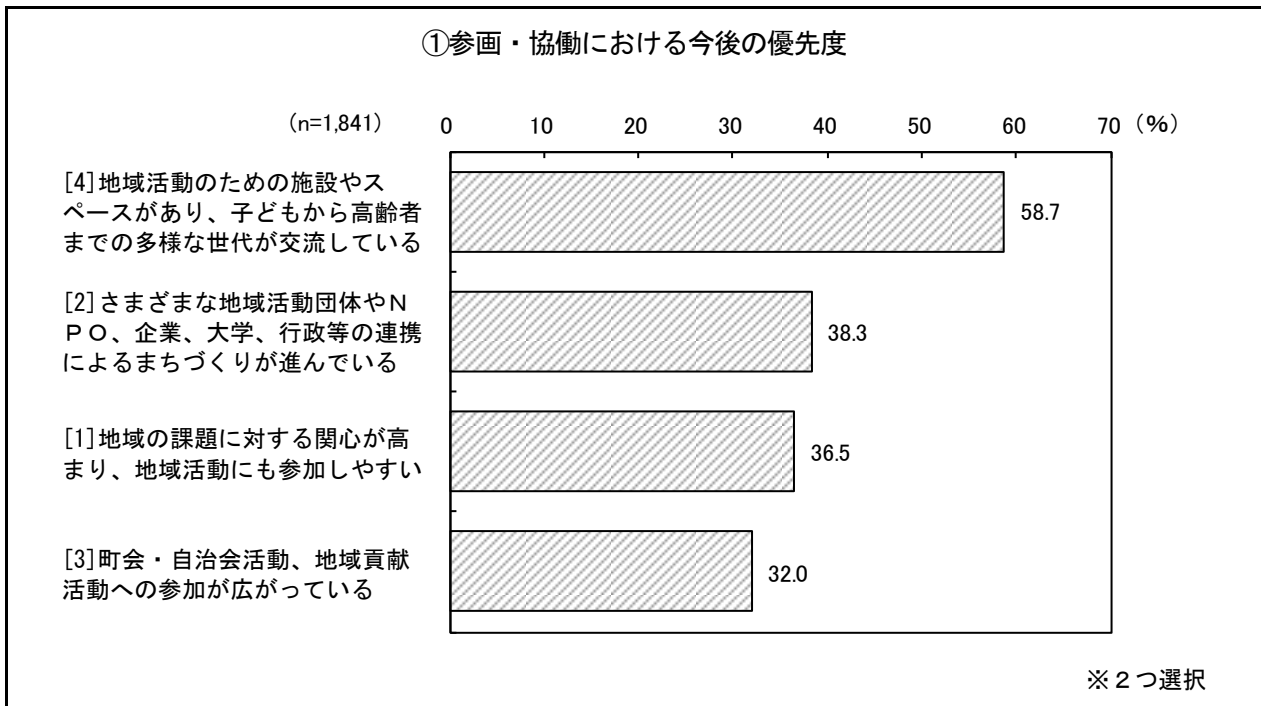
生活環境について設定した全 72 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い(満足度が低い)項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第 1 位	②平和・人権	[06] 地域で外国人との交流がある	-38.9 (-38.9)
第 2 位	⑨防災・治安	[56] 電柱のない道路が増えている	-37.0 (-37.0)
第 3 位	⑦みどり・環境	[39] 多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	-35.7 (-35.8)
第 4 位	②平和・人権	[10] 配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている	-32.6 (-29.6)
第 5 位	⑩商工・観光	[61] 地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	-30.3 (-30.0)
第 6 位	⑦みどり・環境	[38] CO ₂ 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-29.7 (-30.9)
第 7 位	③福祉	[15] 障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	-24.9 (-26.6)
第 8 位	⑧都市再生・交通	[48] 地域に住みつけるための住宅制度が充実している	-24.0 (-25.8)
第 9 位	⑧都市再生・交通	[49] 単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	-21.1 (-21.7)
第 10 位	①参画・協働	[01] 地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	-20.9 (-20.4)

2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問6〕

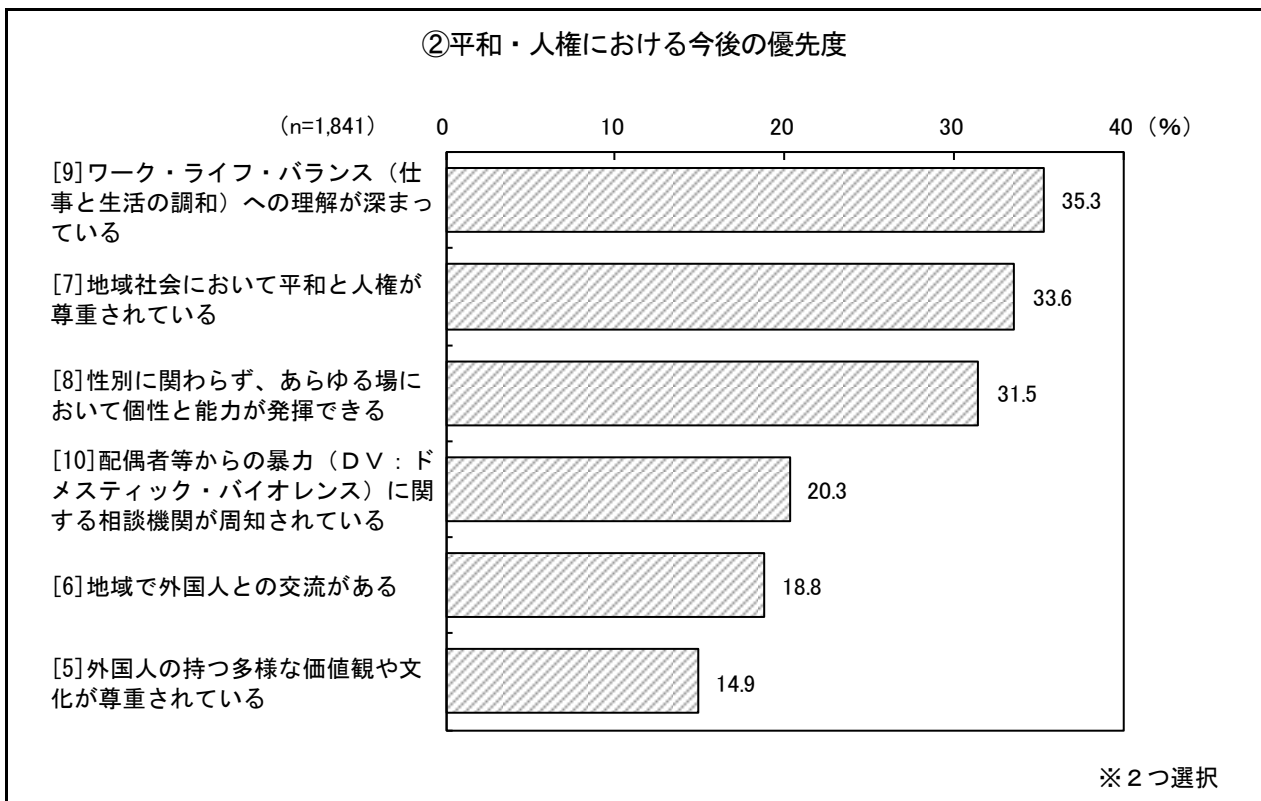
① 参画・協働

●参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(58.7%)が6割弱と最も高く、以下、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(38.3%)、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」(36.5%)などとなっている。



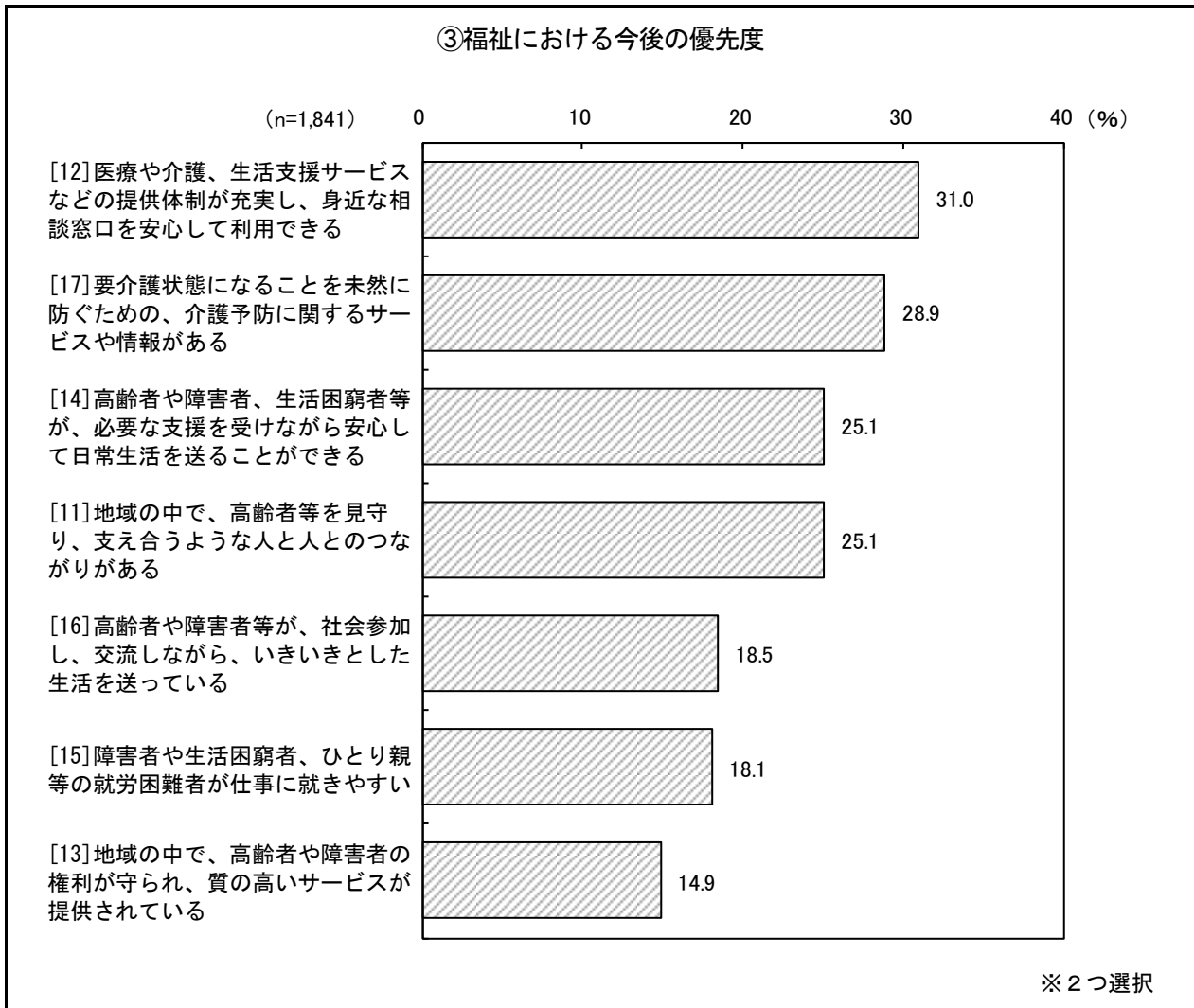
② 平和・人権

- 平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解が深まっている」（35.3%）と「地域社会において平和と人権が尊重されている」（33.6%）の2つが、それぞれ3割台半ばと高く、以下、「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」（31.5%）、「配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている」（20.3%）などとなっている。



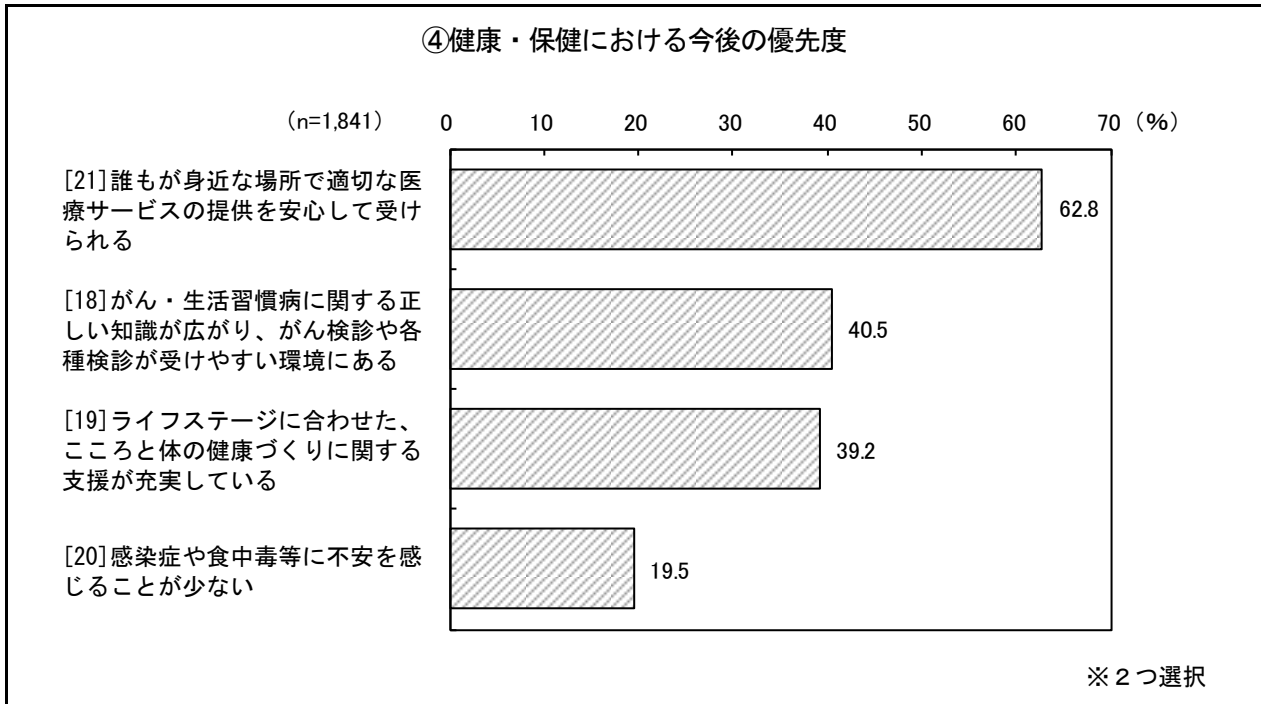
③ 福祉

- 福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」(31.0%) が3割強と最も高く、以下、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」(28.9%)、「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」(ともに 25.1%) などとなっている。



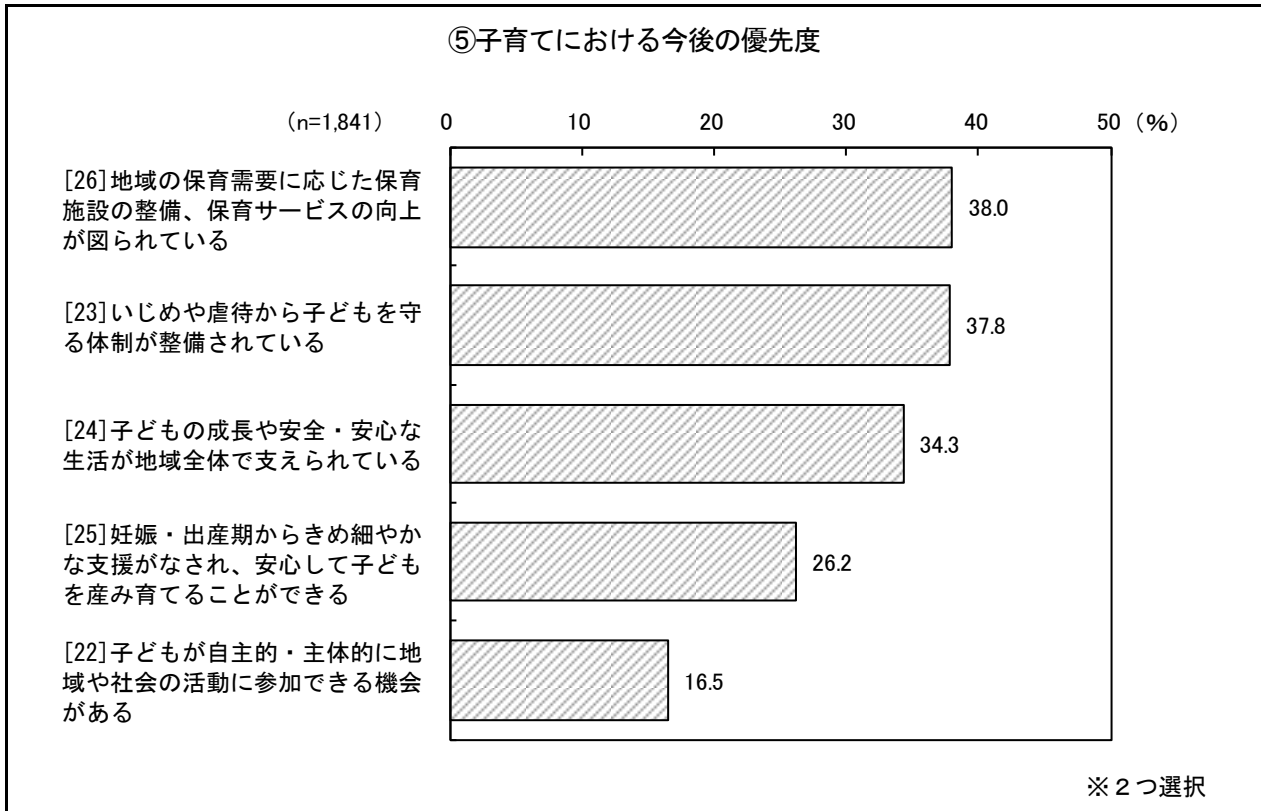
④ 健康・保健

- 健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(62.8%)が6割強と最も高く、以下、「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」(40.5%)、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」(39.2%) などとなっている。



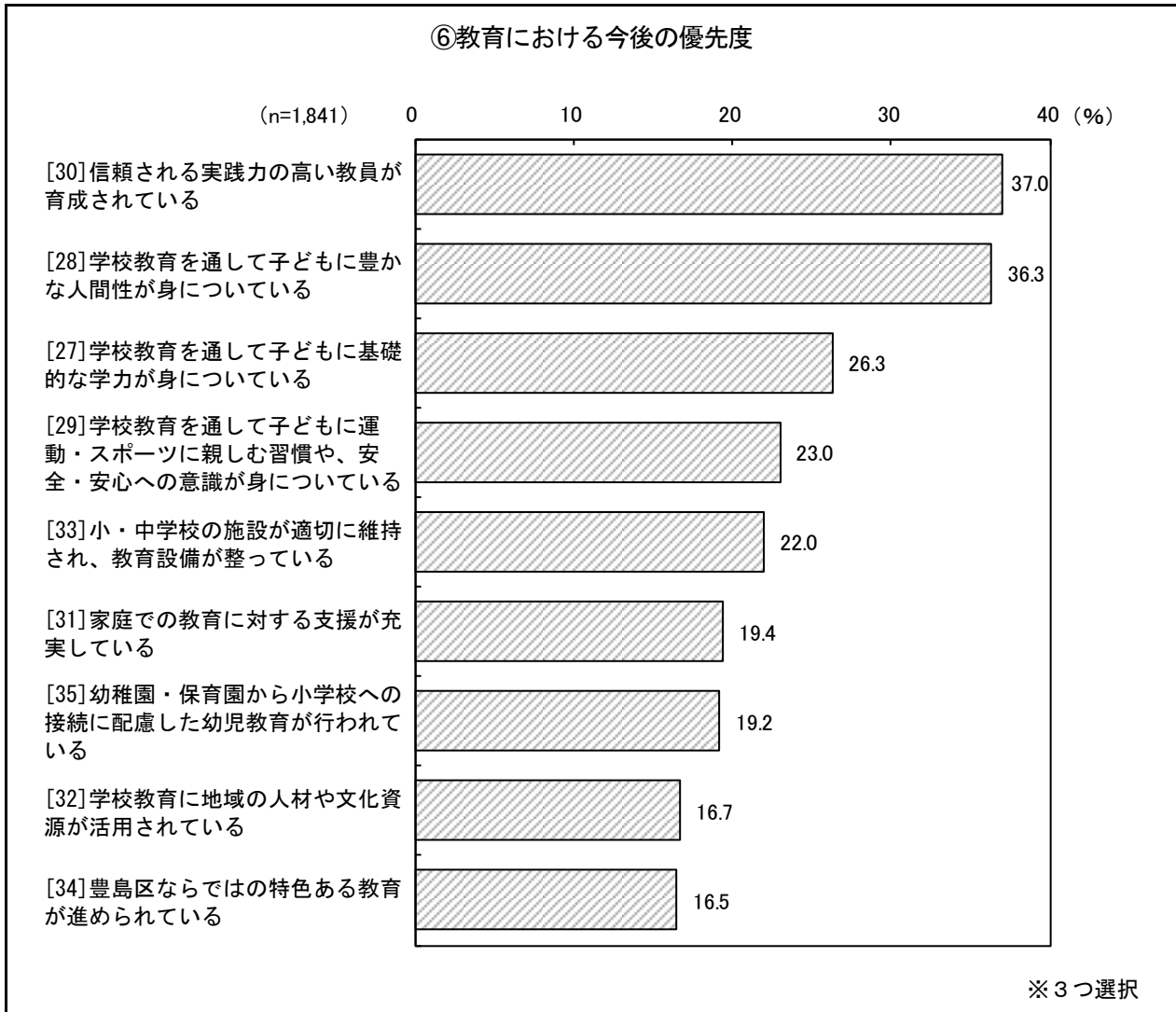
⑤ 子育て

- 子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」(38.0%)と「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」(37.8%)の2つが、それぞれ4割弱と高く、以下、「子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている」(34.3%)などとなっている。



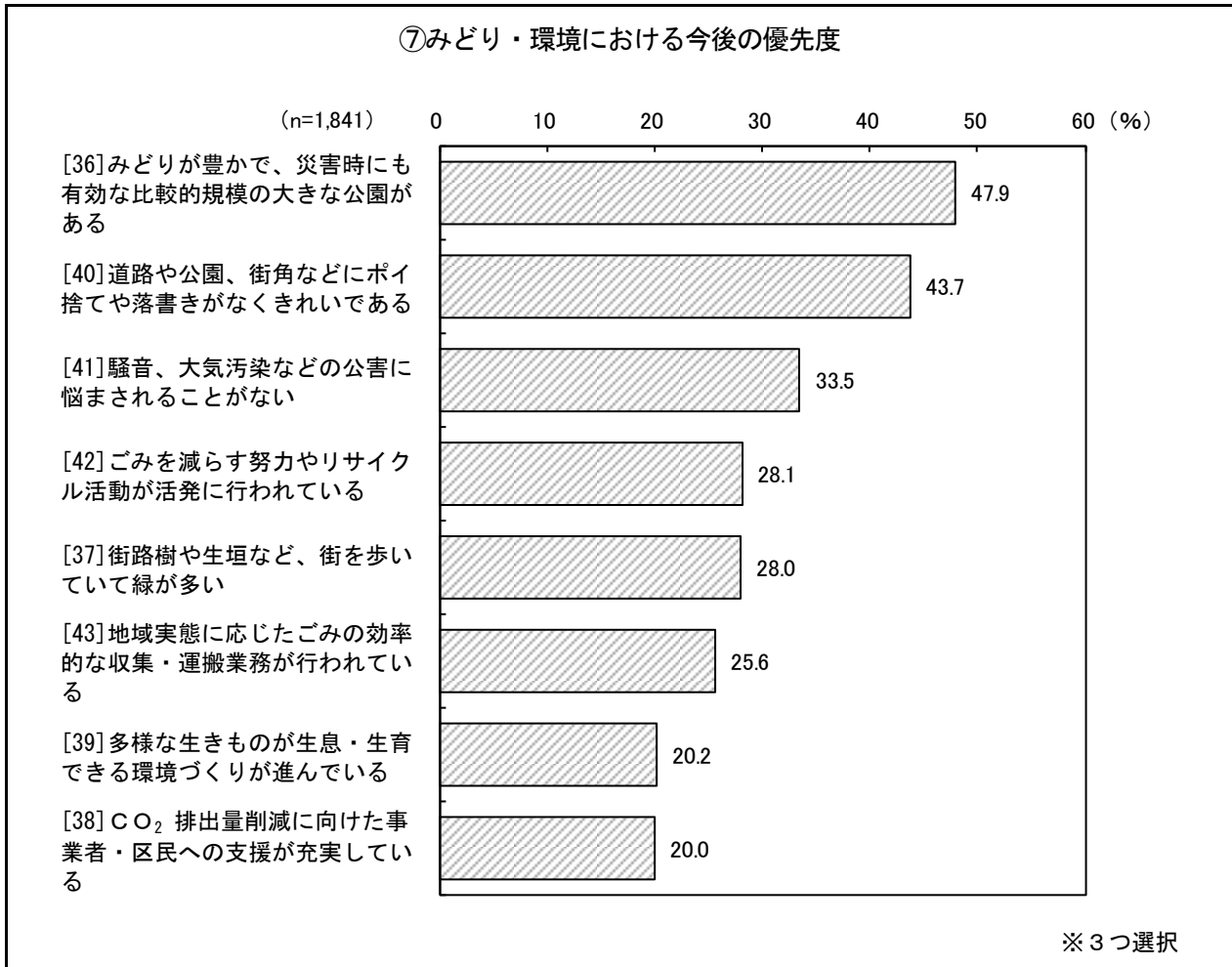
⑥ 教育

- 教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「信頼される実践力の高い教員が育成されている」(37.0%) が4割弱と最も高く、以下、「学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている」(36.3%)、「学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている」(26.3%)、「学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている」(23.0%) などとなっている。



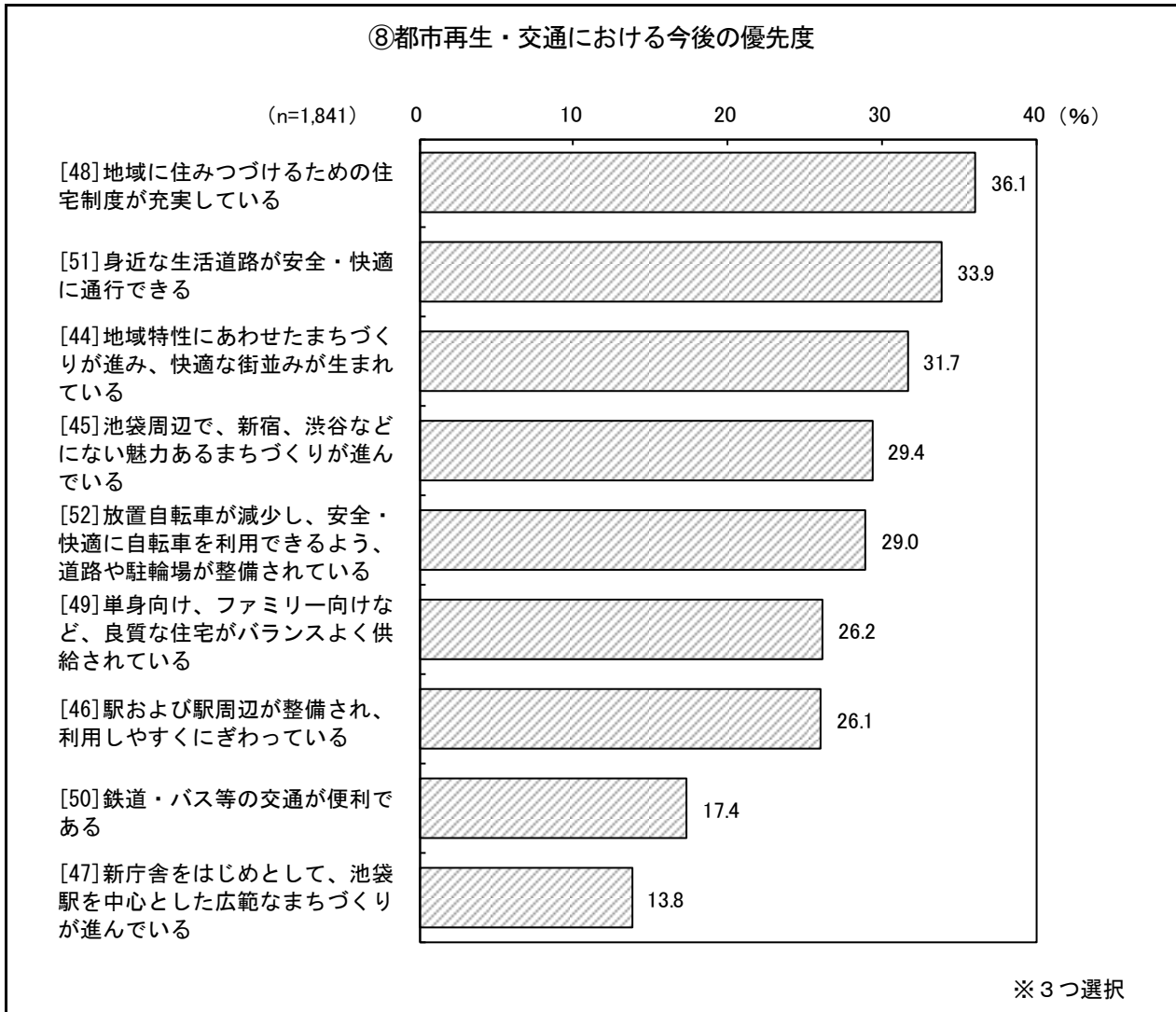
⑦ みどり・環境

●みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的大きな公園がある」(47.9%)が5割弱と最も高く、以下、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(43.7%)、「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」(33.5%)、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」(28.1%) などとなっている。



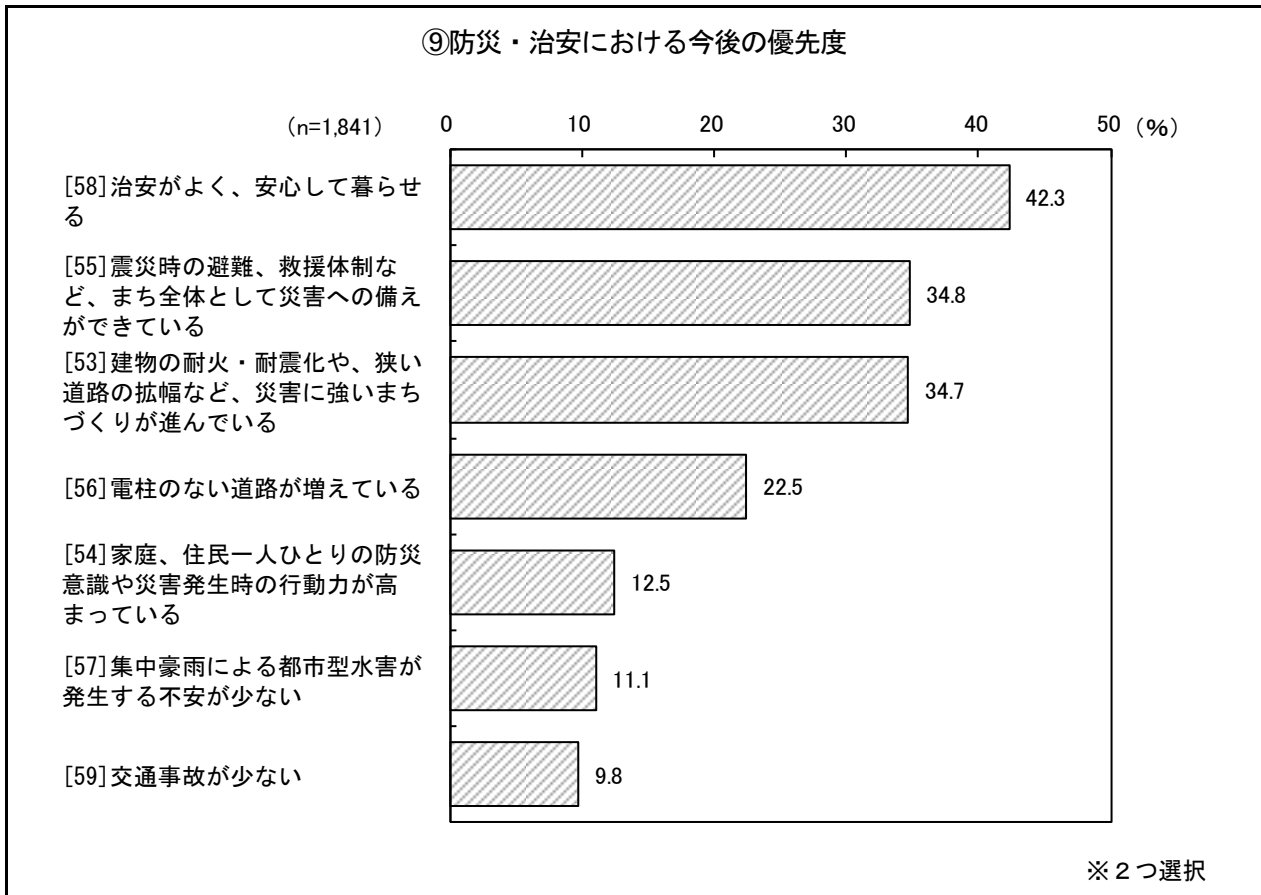
⑧ 都市再生・交通

●都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」(36.1%)と「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」(33.9%)の2つが、それぞれ3割台半ばと高く、以下、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(31.7%)、「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」(29.4%)などとなっている。



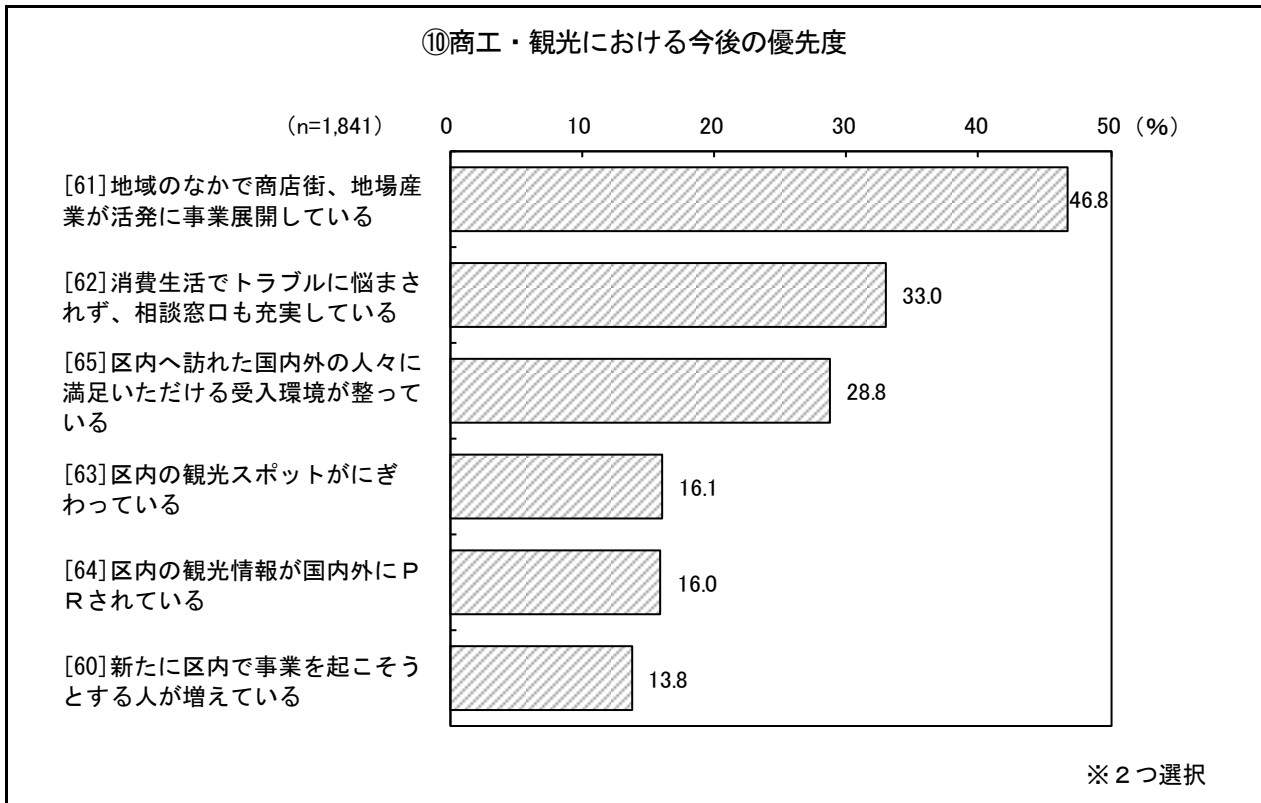
⑨ 防災・治安

- 防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(42.3%)が4割強と最も高く、以下、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができている」(34.8%)、「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(34.7%) などとなっている。



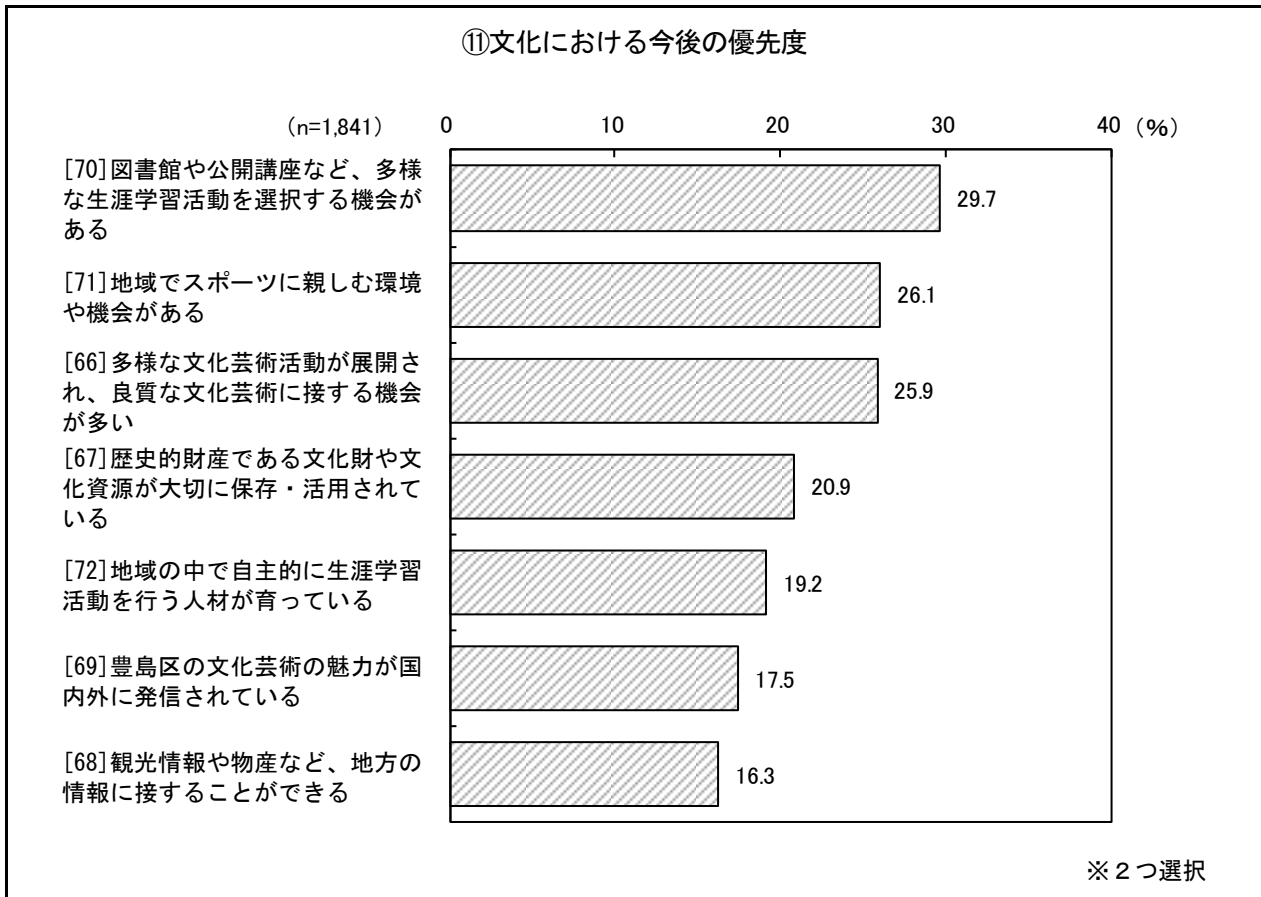
⑩ 商工・観光

●商工・観光に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」(46.8%)が4割台半ばと最も高く、以下、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(33.0%)、「区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている」(28.8%)などとなっている。



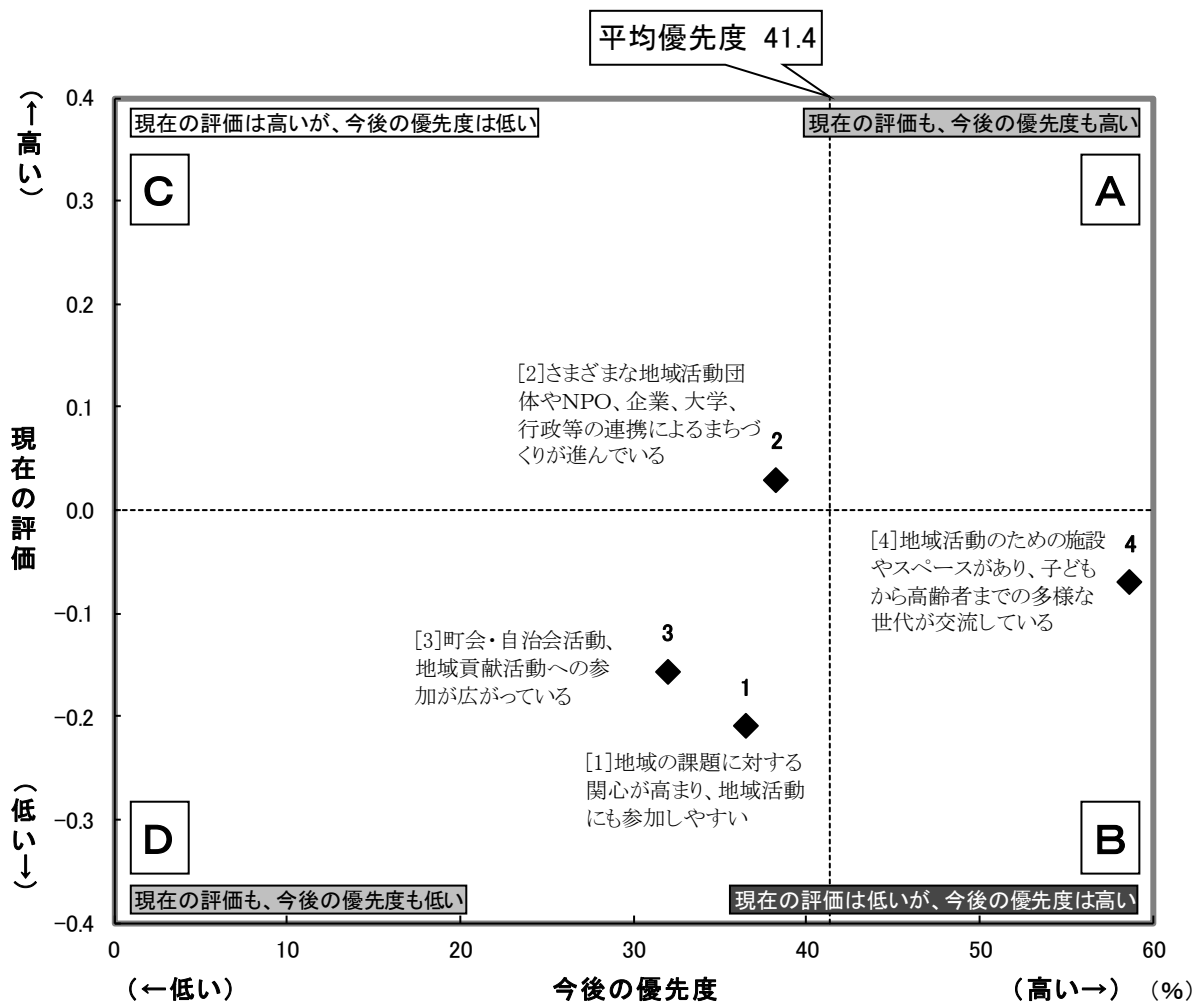
⑪ 文化

●文化に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある」(29.7%)が約3割と最も高く、以下、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(26.1%)、「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」(25.9%)などとなっている。

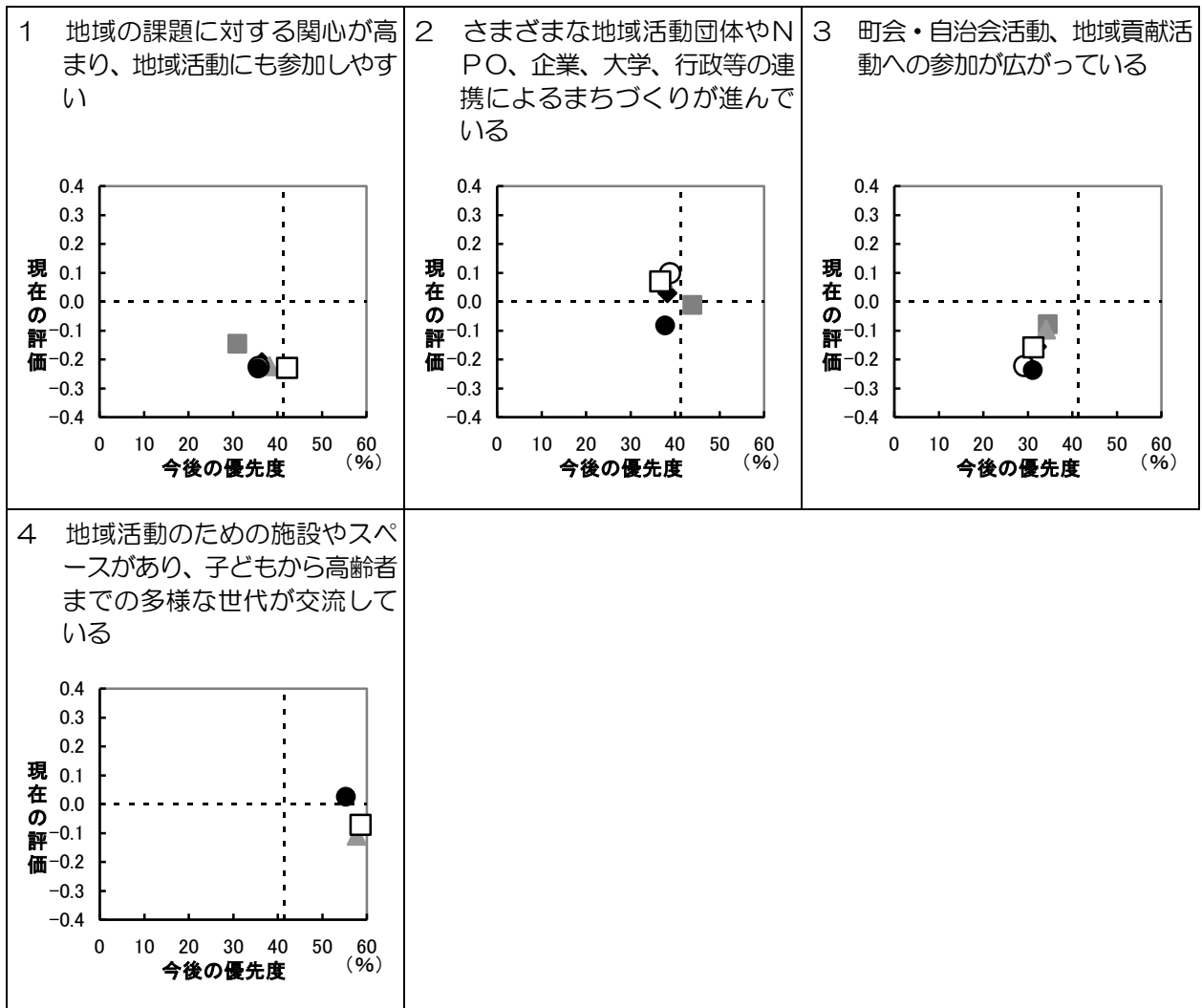


① 参画・協働

- 参画・協働に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が位置している。



【地域別比較】

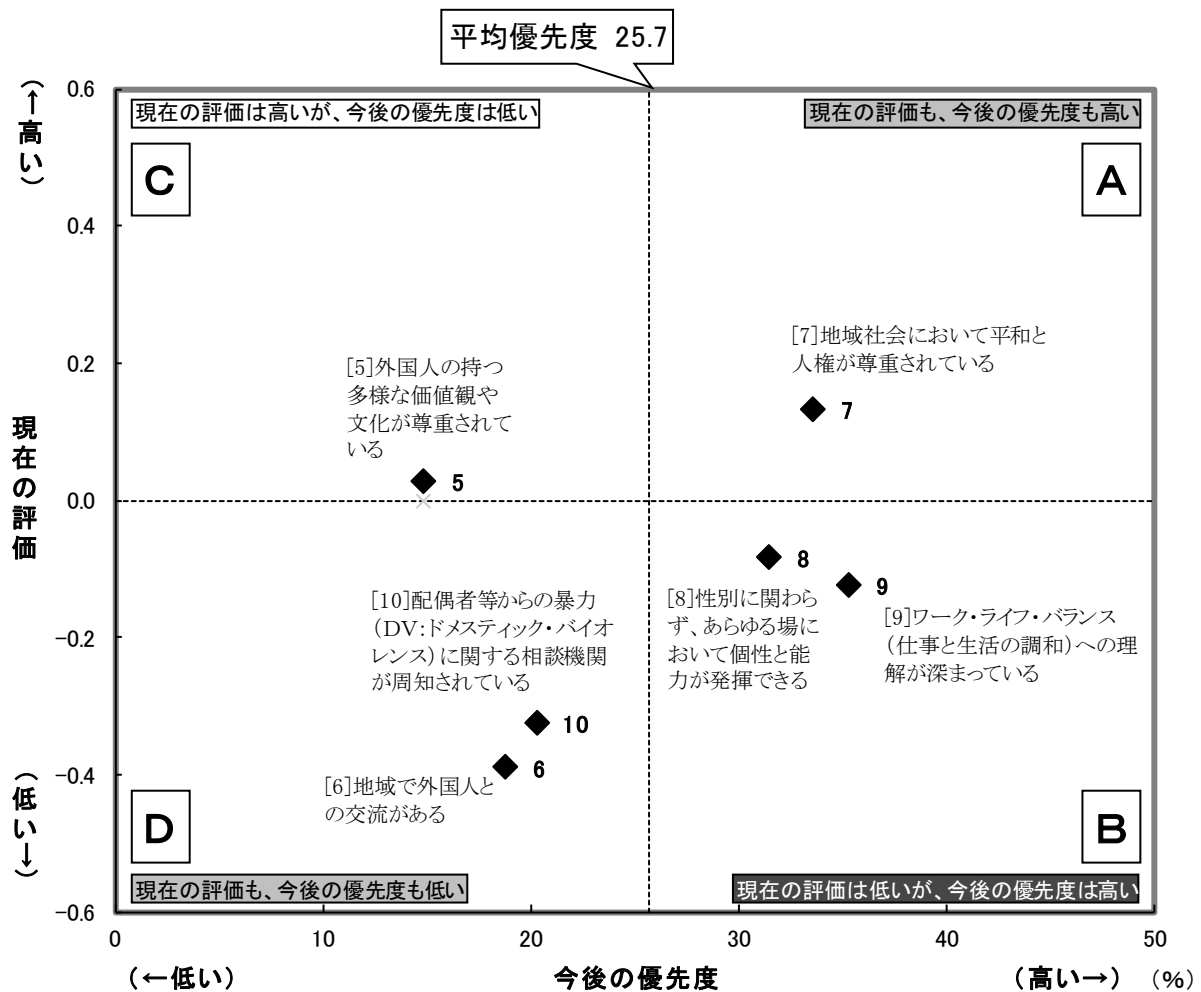


【凡例】			
全 (◆) : 区全体	東 (■) : 東部地域	西 (●) : 西部地域	南 (□) : 南部地域
北 (▲) : 北部地域	中 (○) : 中央地域		

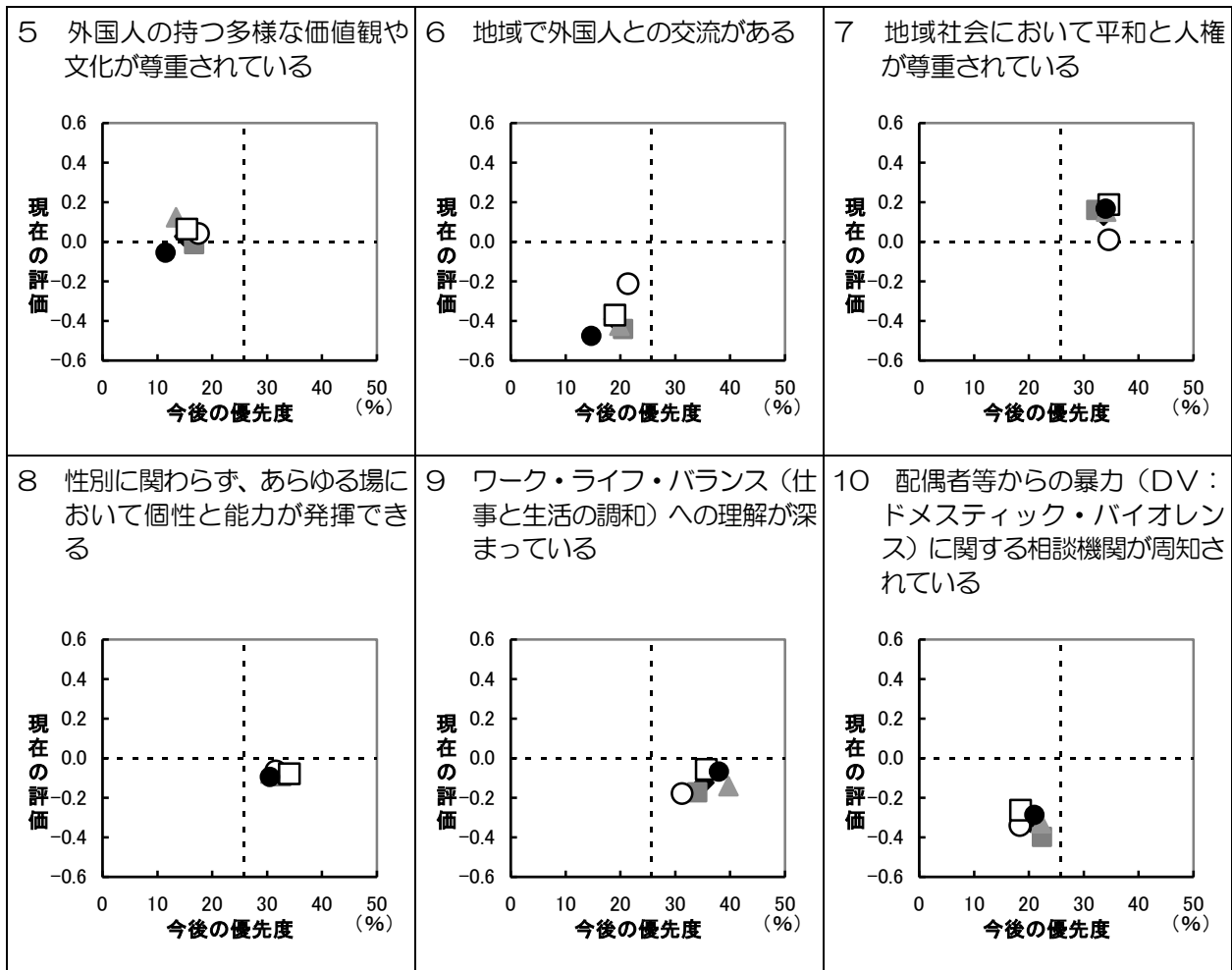
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

② 平和・人権

- 平和・人権に関する生活環境では、6項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への理解が深まっている」「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」が位置している。



【地域別比較】



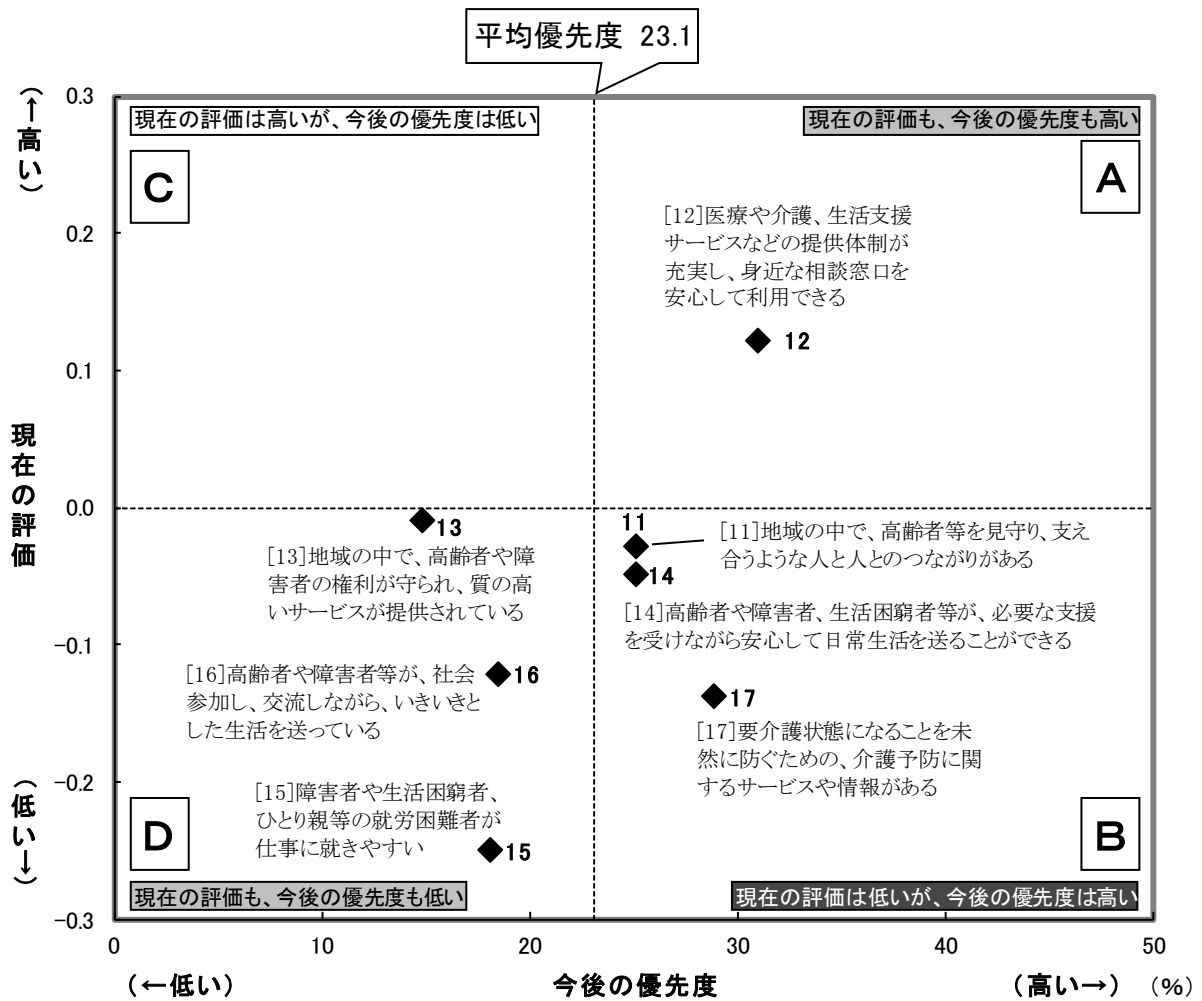
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

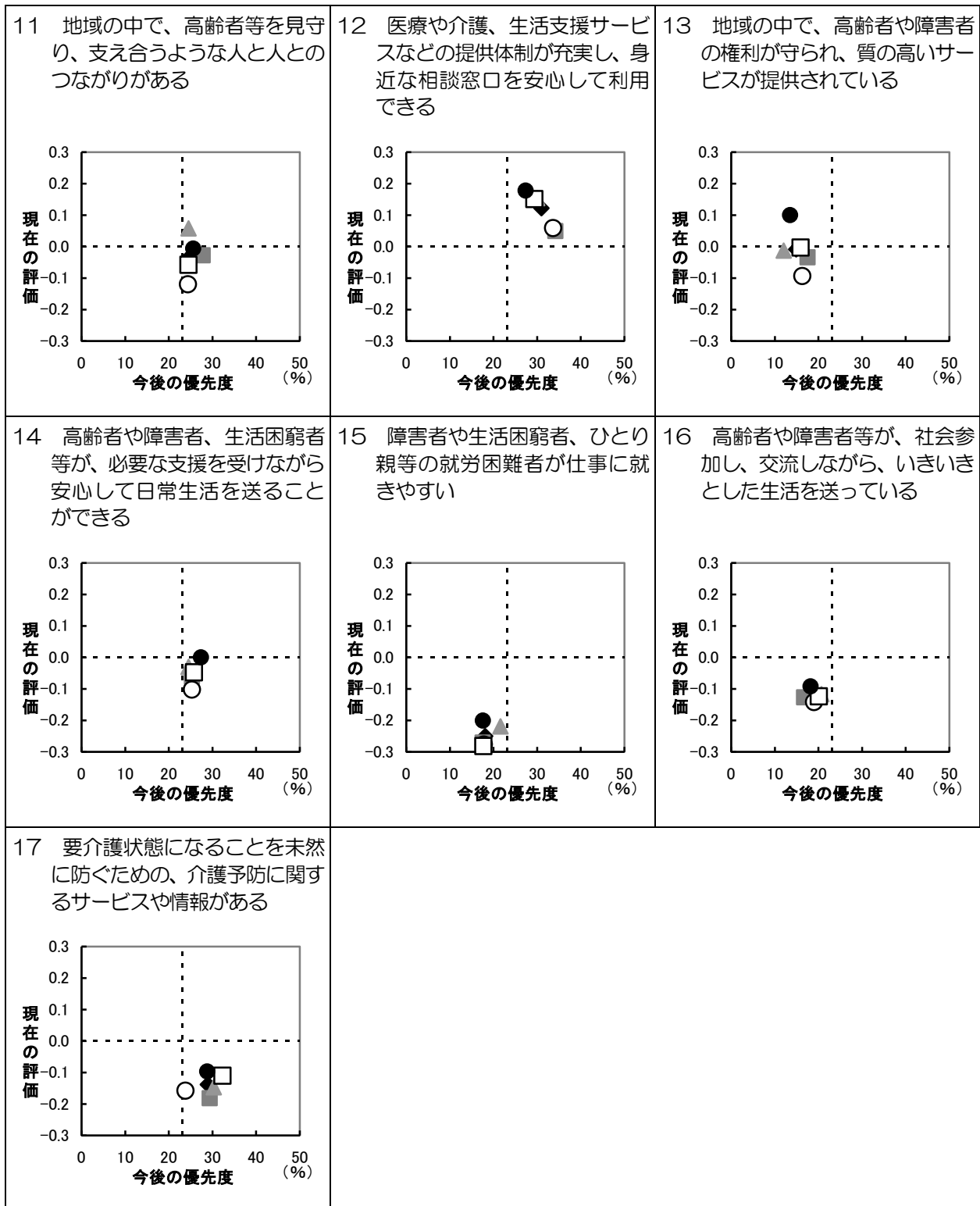
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

③ 福祉

- 福祉に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」が位置している。



【地域別比較】



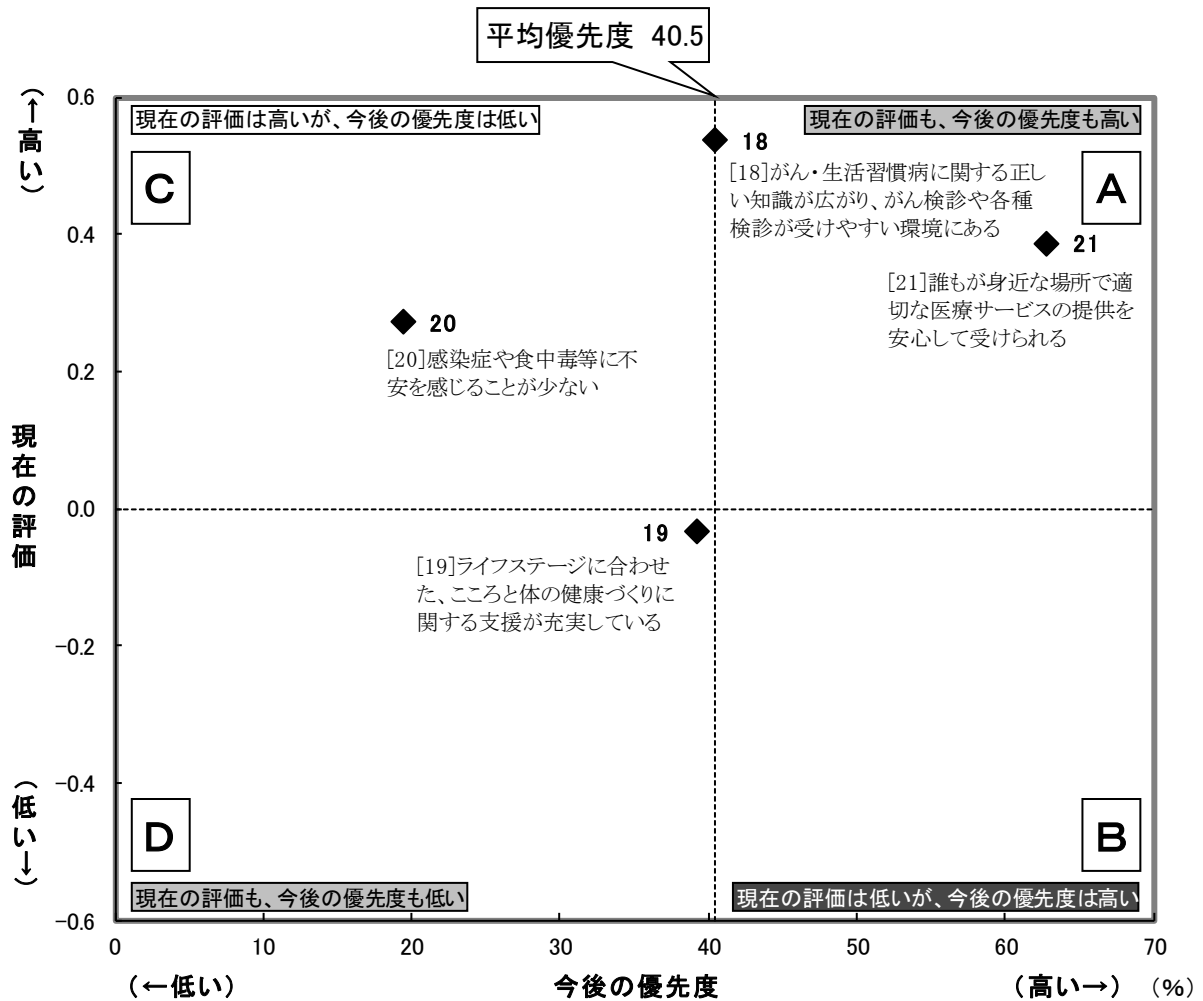
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

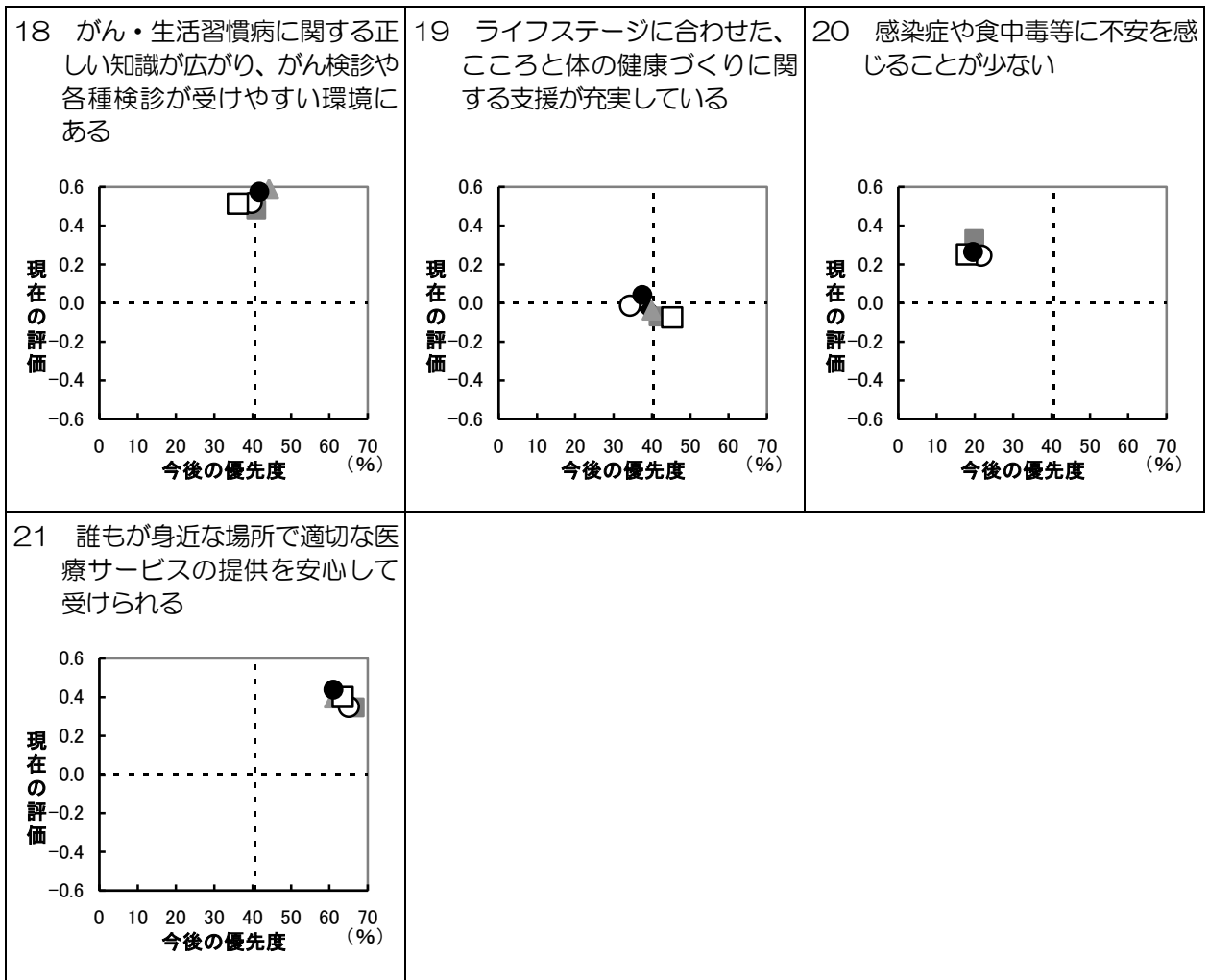
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

④ 健康・保健

- 健康・保健に関する生活環境では、4項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。



【地域別比較】



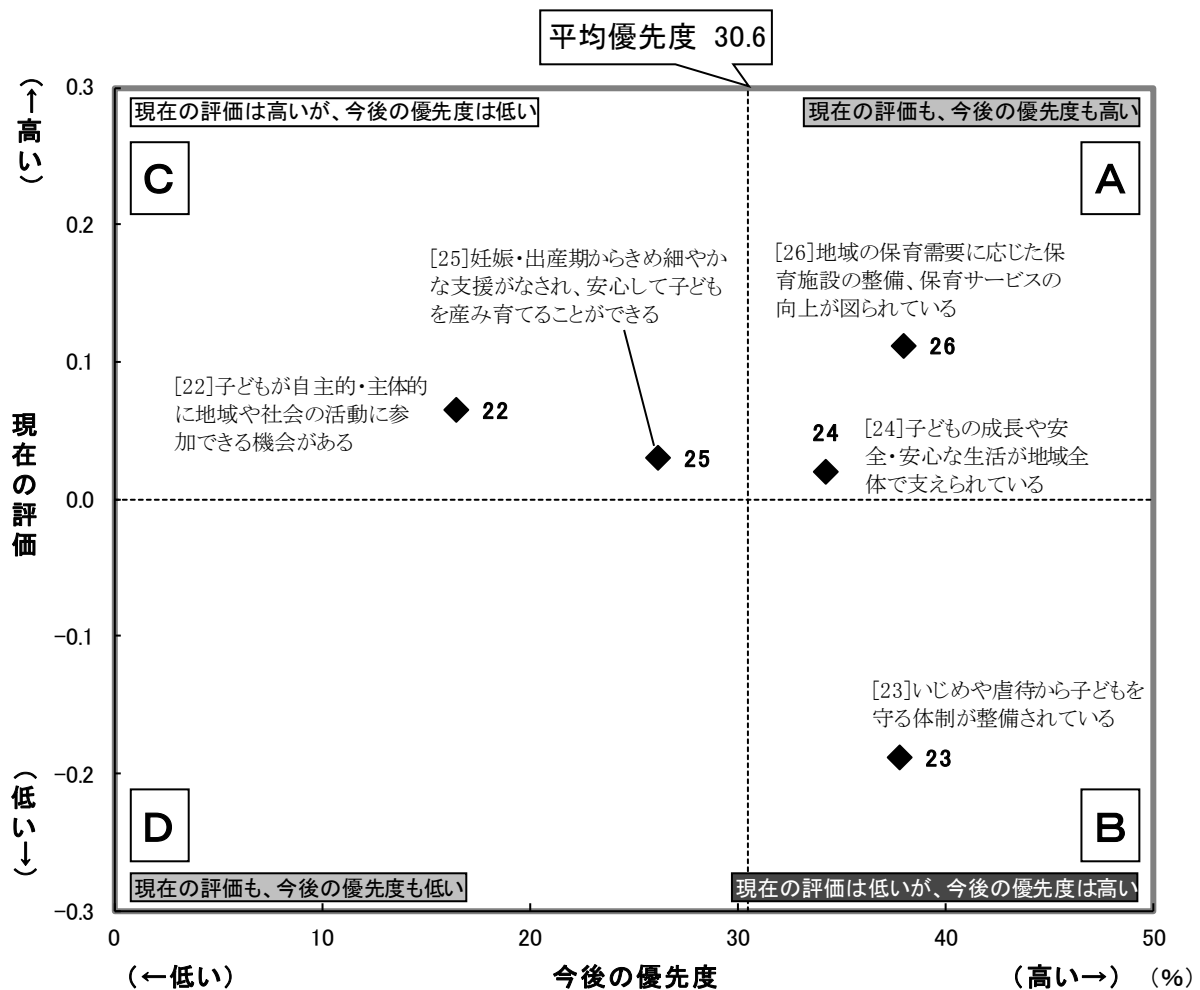
【凡例】

全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

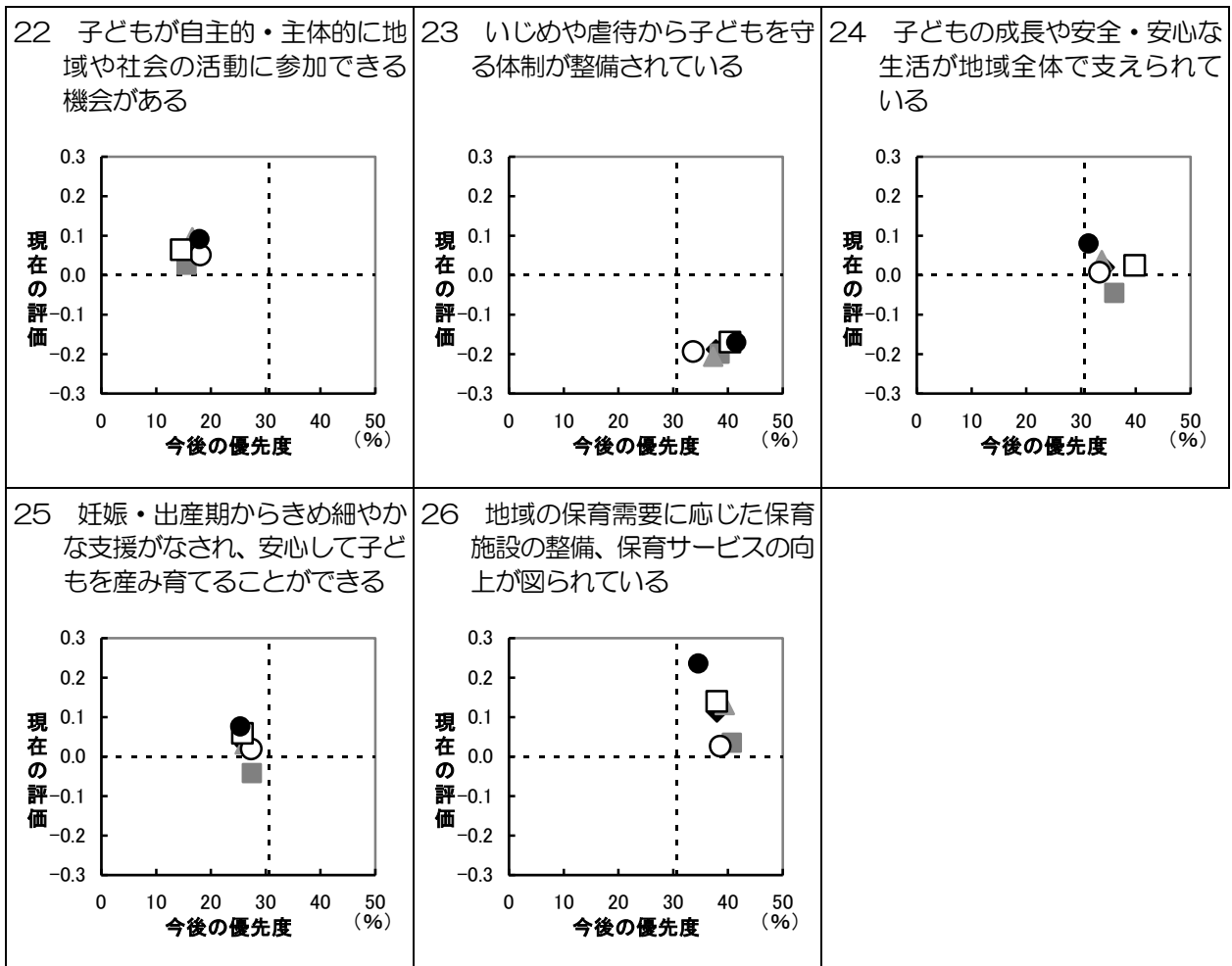
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑤ 子育て

- 子育てに関する生活環境では、5項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」が位置している。



【地域別比較】



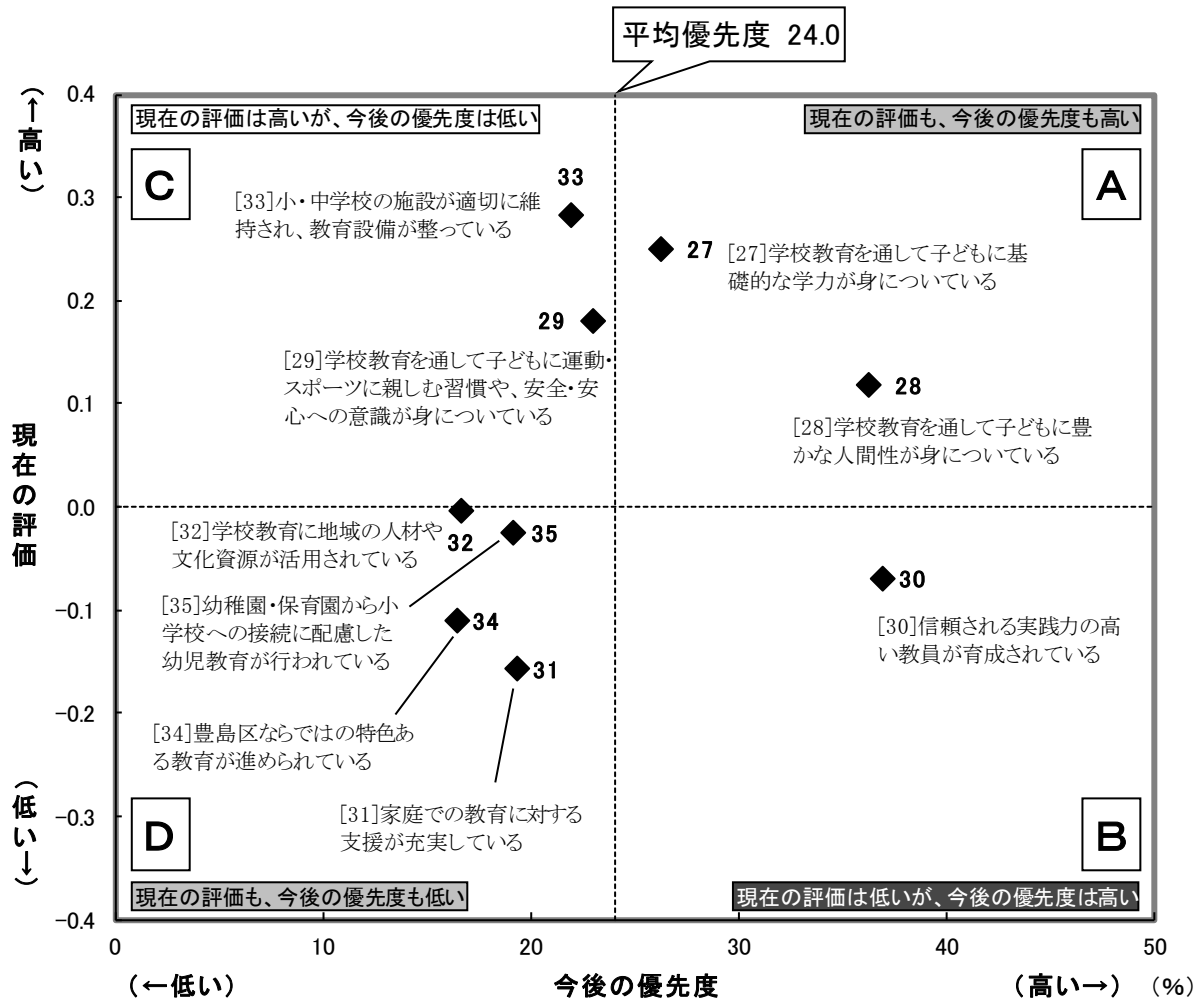
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

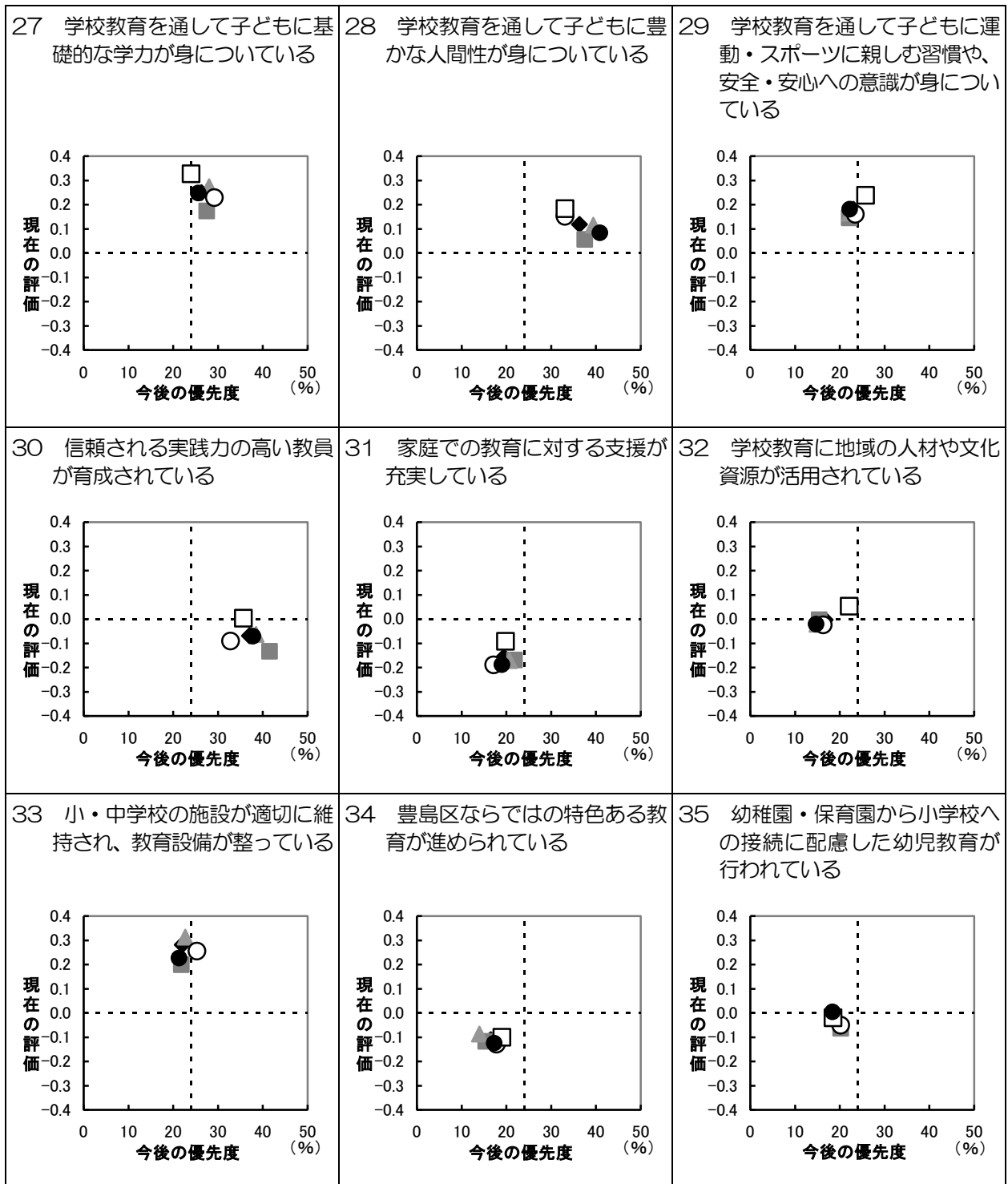
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑥ 教育

- 教育に関する生活環境では、9項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、4項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「信頼される実践力の高い教員が育成されている」が位置している。



【地域別比較】



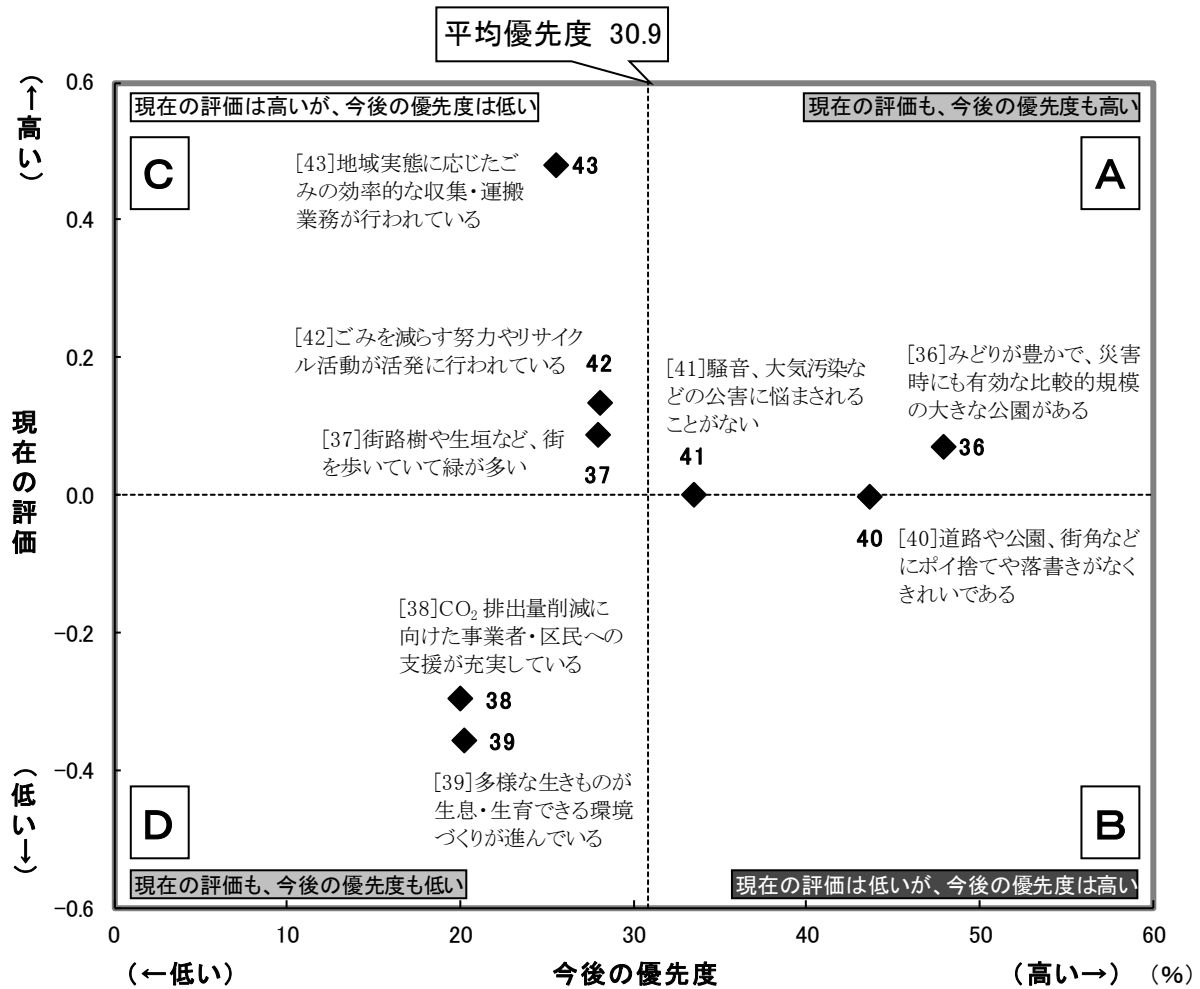
【凡例】

全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

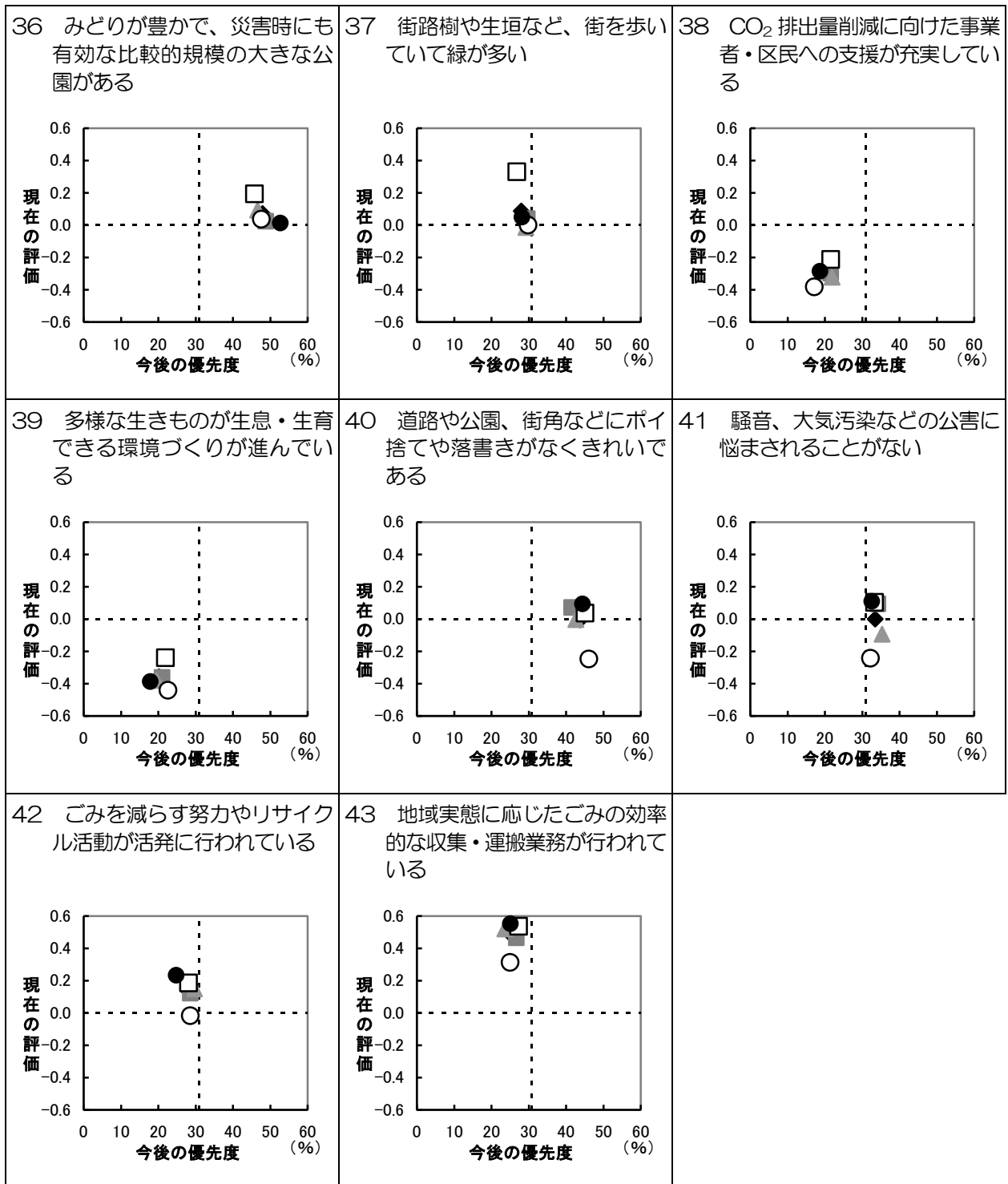
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑦ みどり・環境

- みどり・環境に関する生活環境では、8項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」が位置している。



【地域別比較】



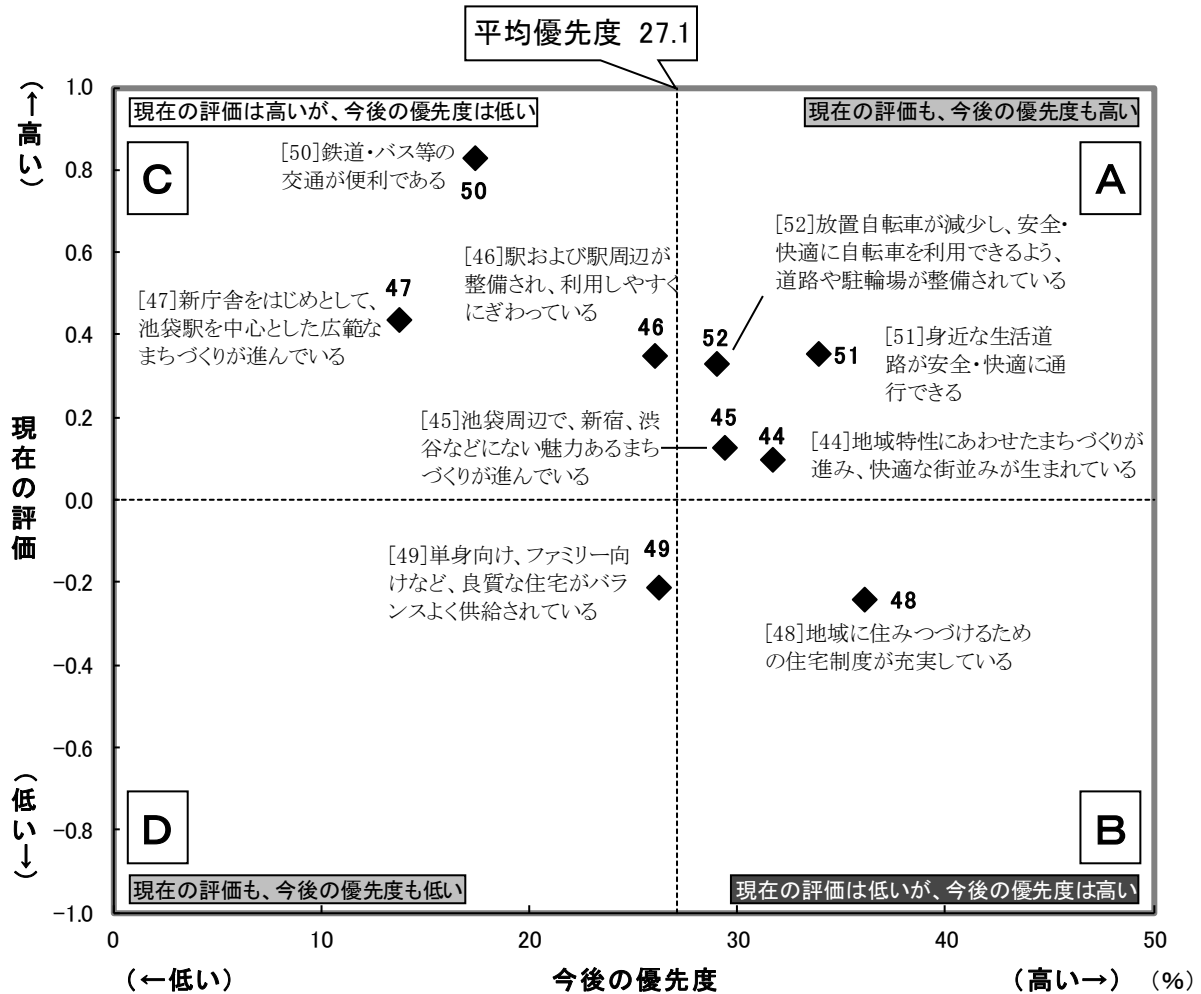
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

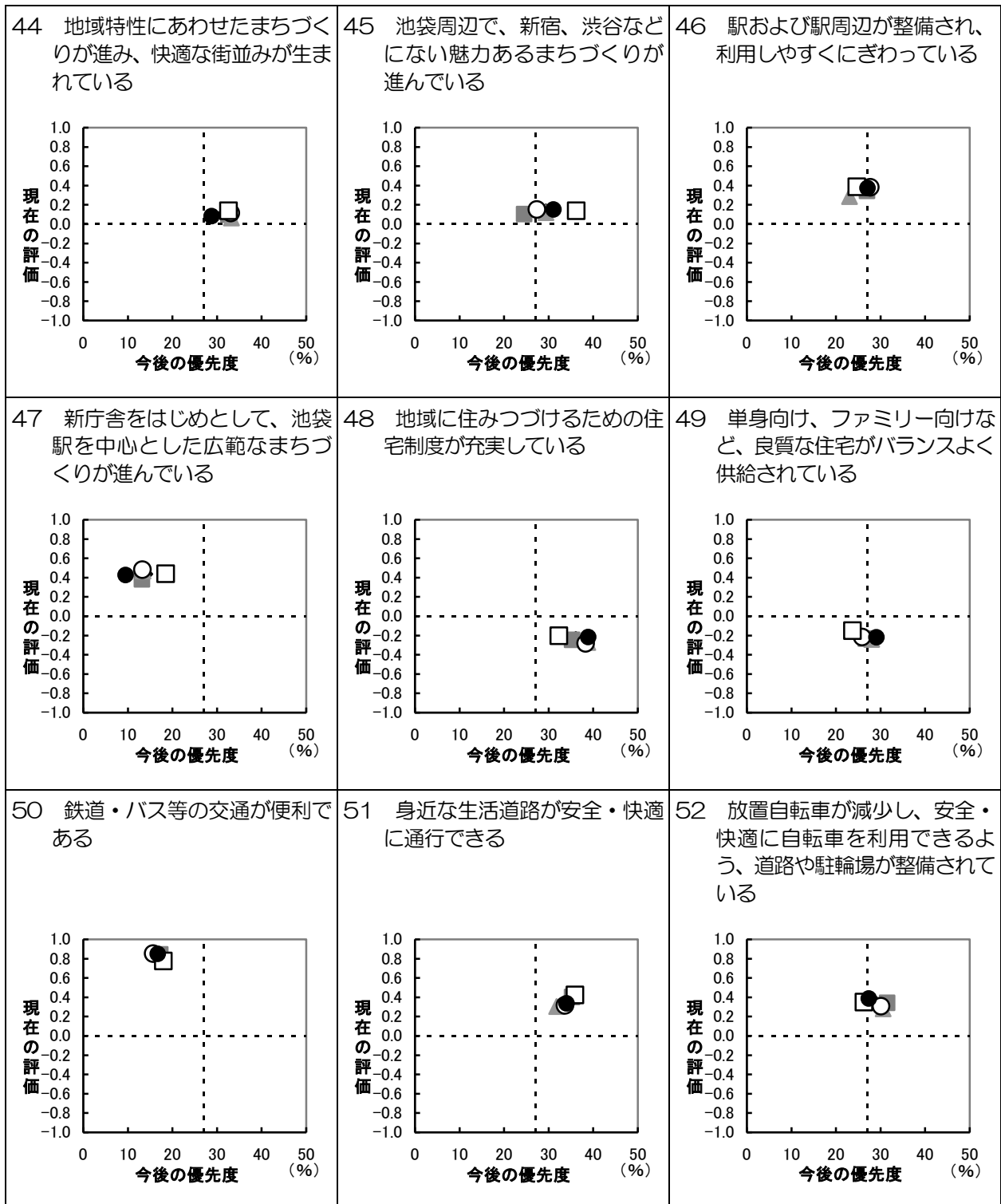
※ 地域の具体的な区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑧ 都市再生・交通

- 都市再生・交通に関する生活環境では、9項目のうち4項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」が位置している。



【地域別比較】



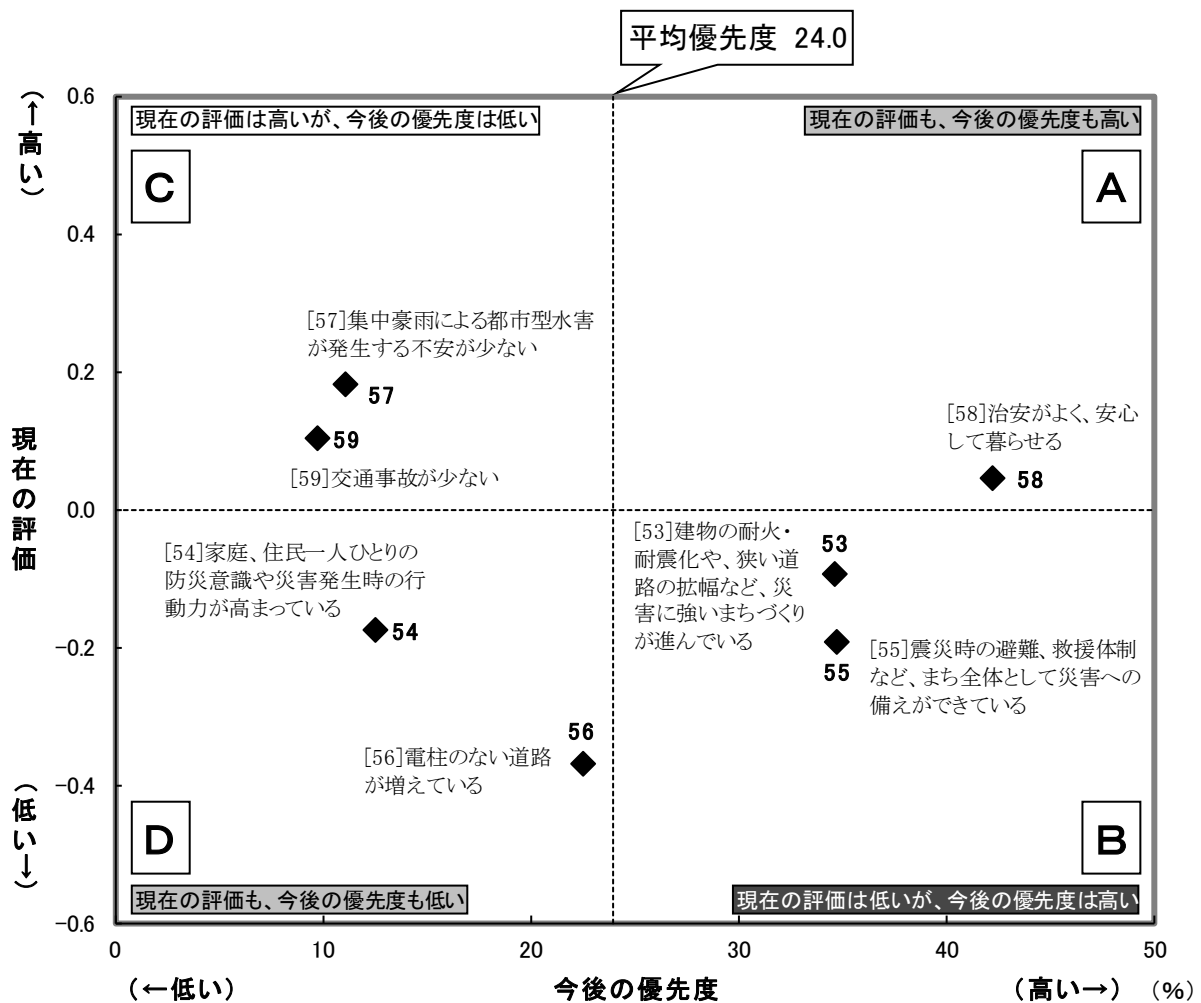
【凡例】

全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

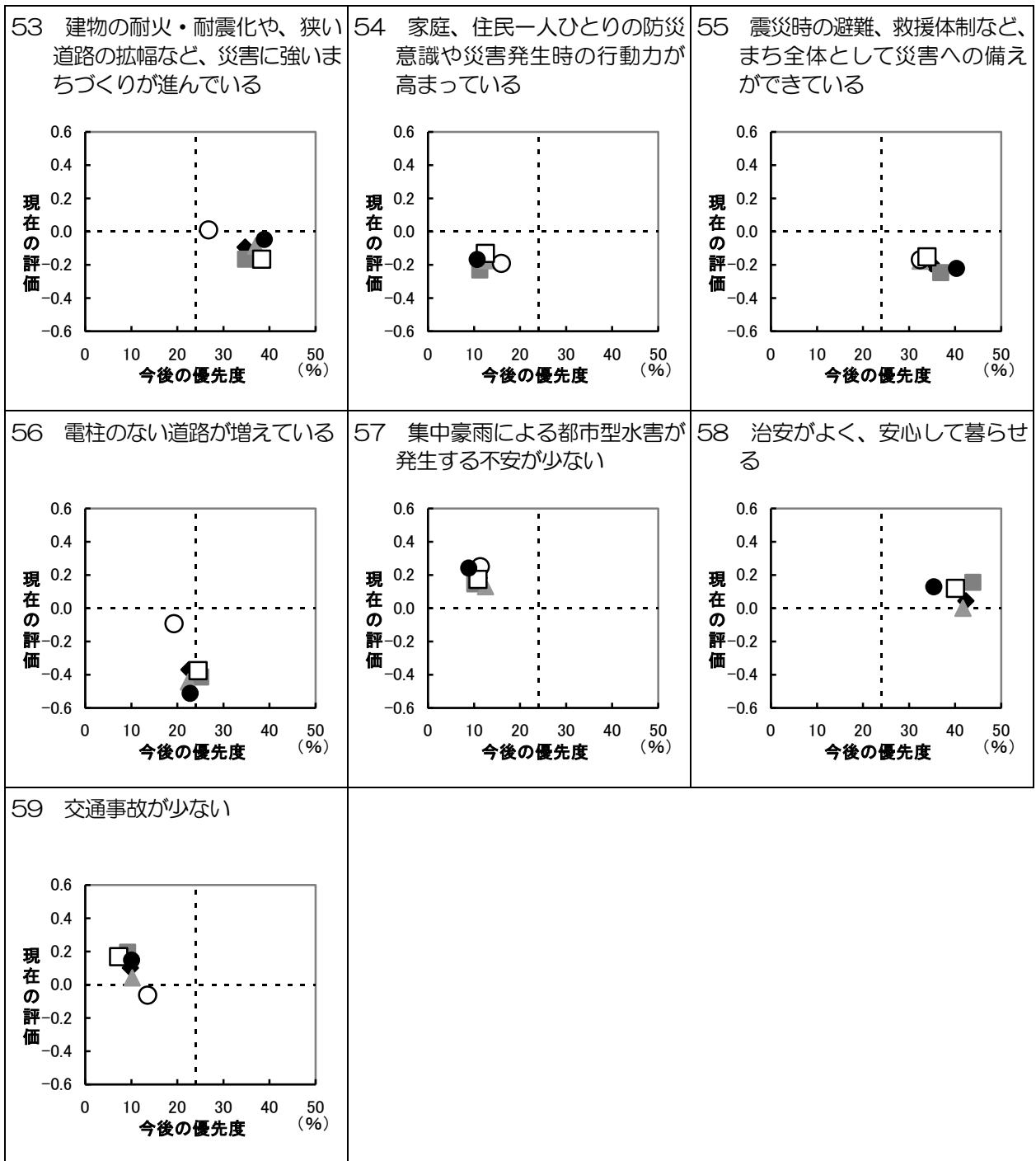
※ 地域の具体的な区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑨ 防災・治安

- 防災・治安に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができていない」「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいない」が位置している。



【地域別比較】



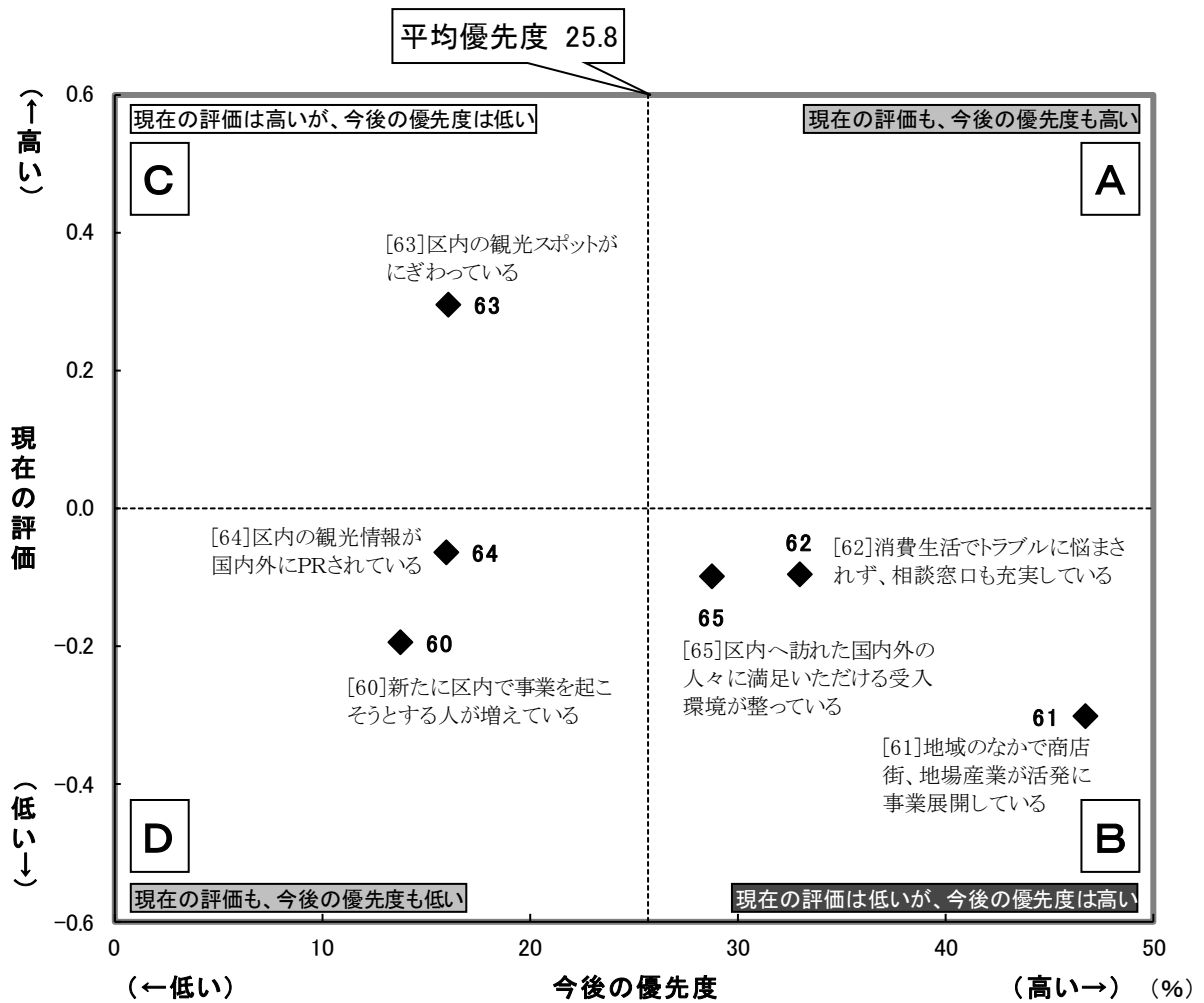
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

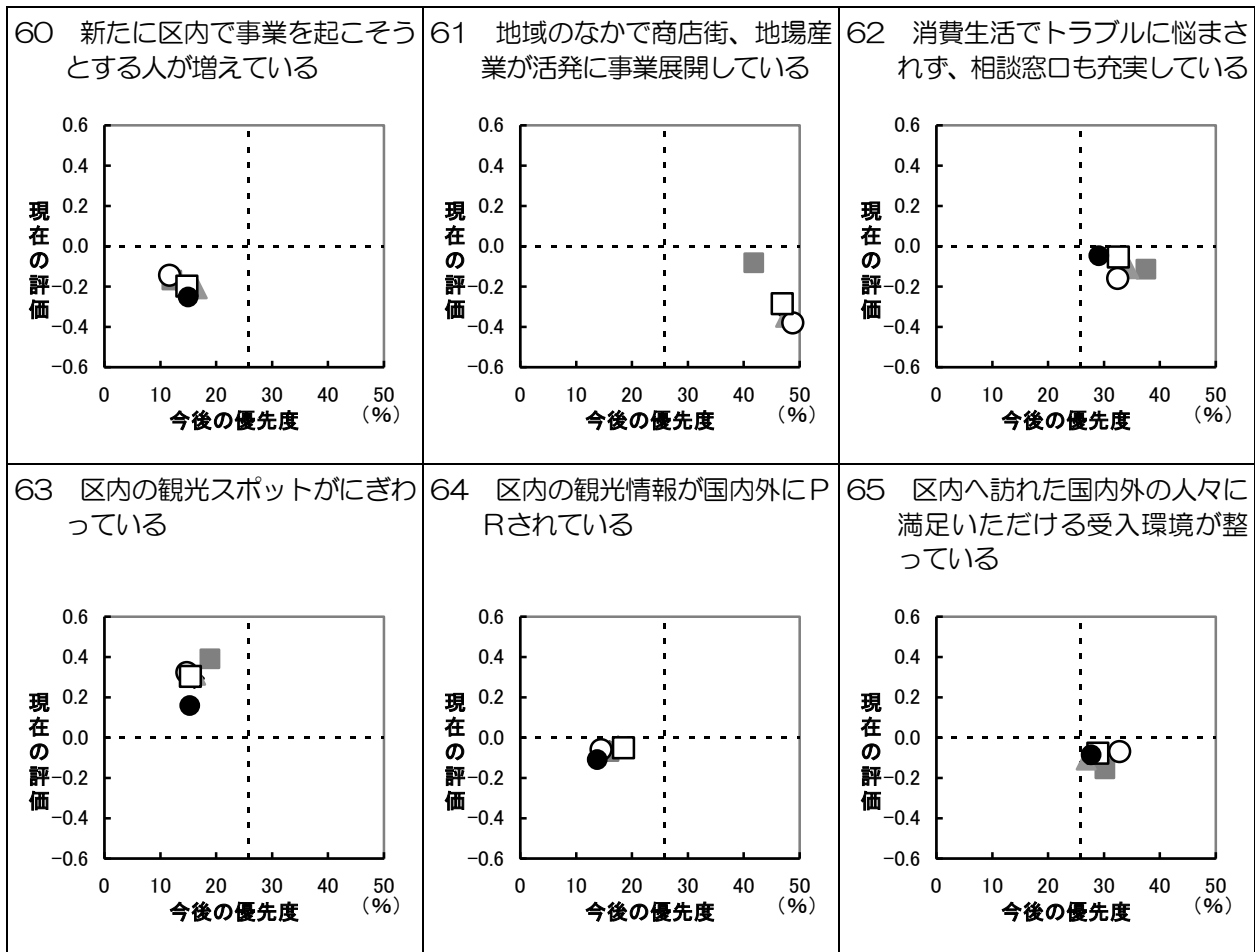
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑩ 商工・観光

- 商工・観光に関する生活環境では、6項目のうち3項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」「区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている」が位置している。



【地域別比較】



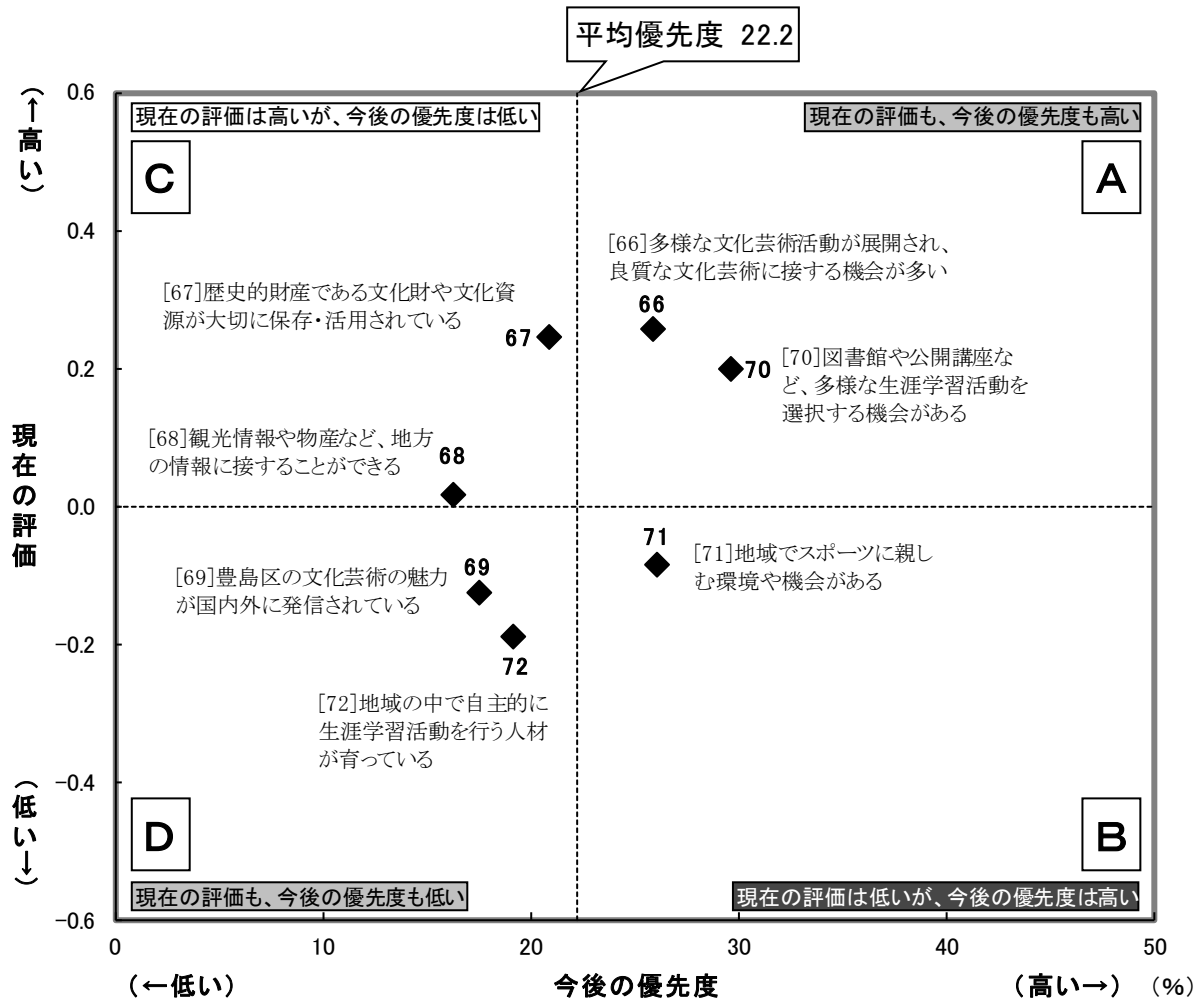
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

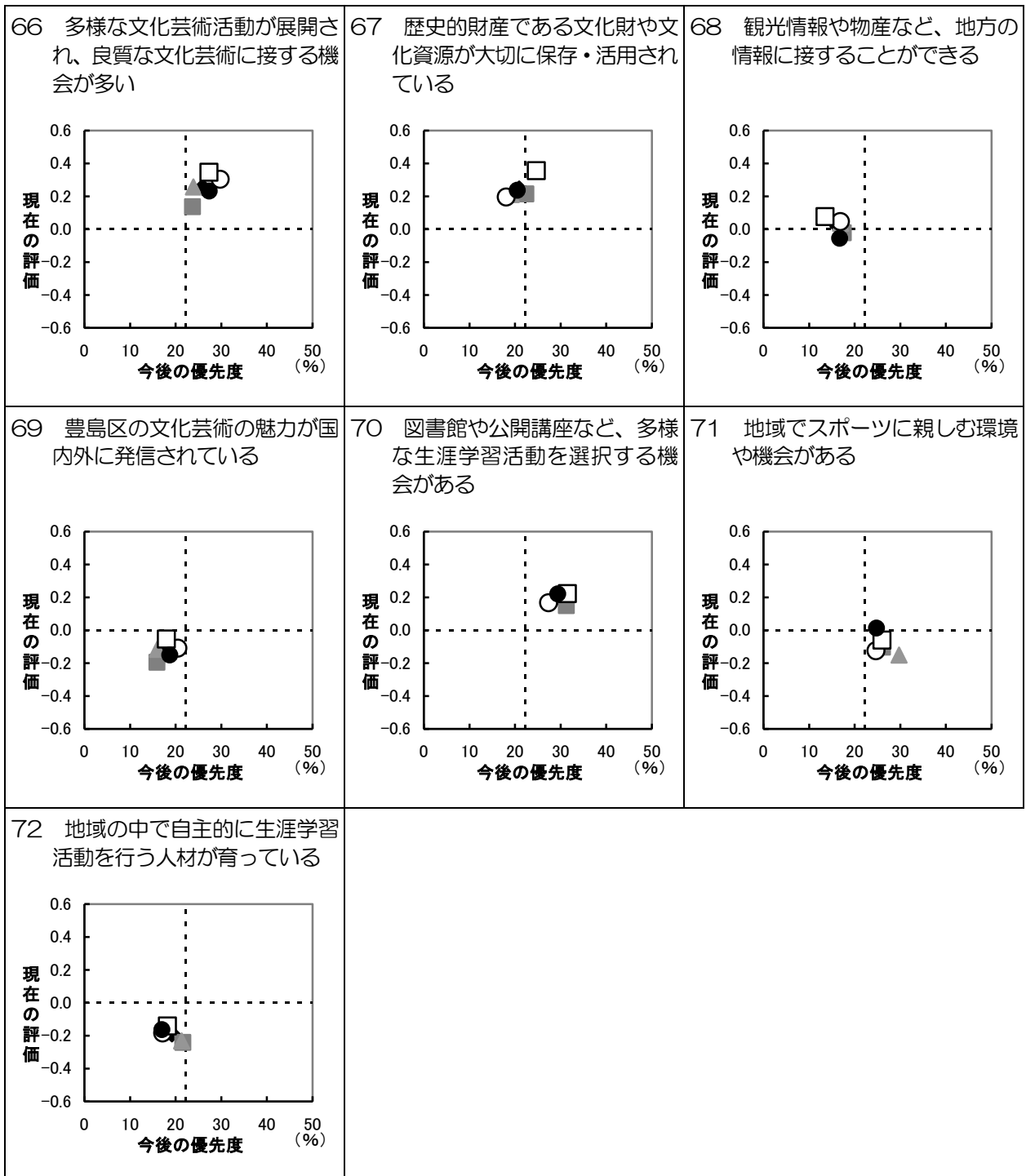
※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

⑪ 文化

- 文化に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。



【地域別比較】



【凡例】

- 全 (◆) : 区全体 東 (■) : 東部地域 西 (●) : 西部地域 南 (□) : 南部地域
 北 (▲) : 北部地域 中 (○) : 中央地域

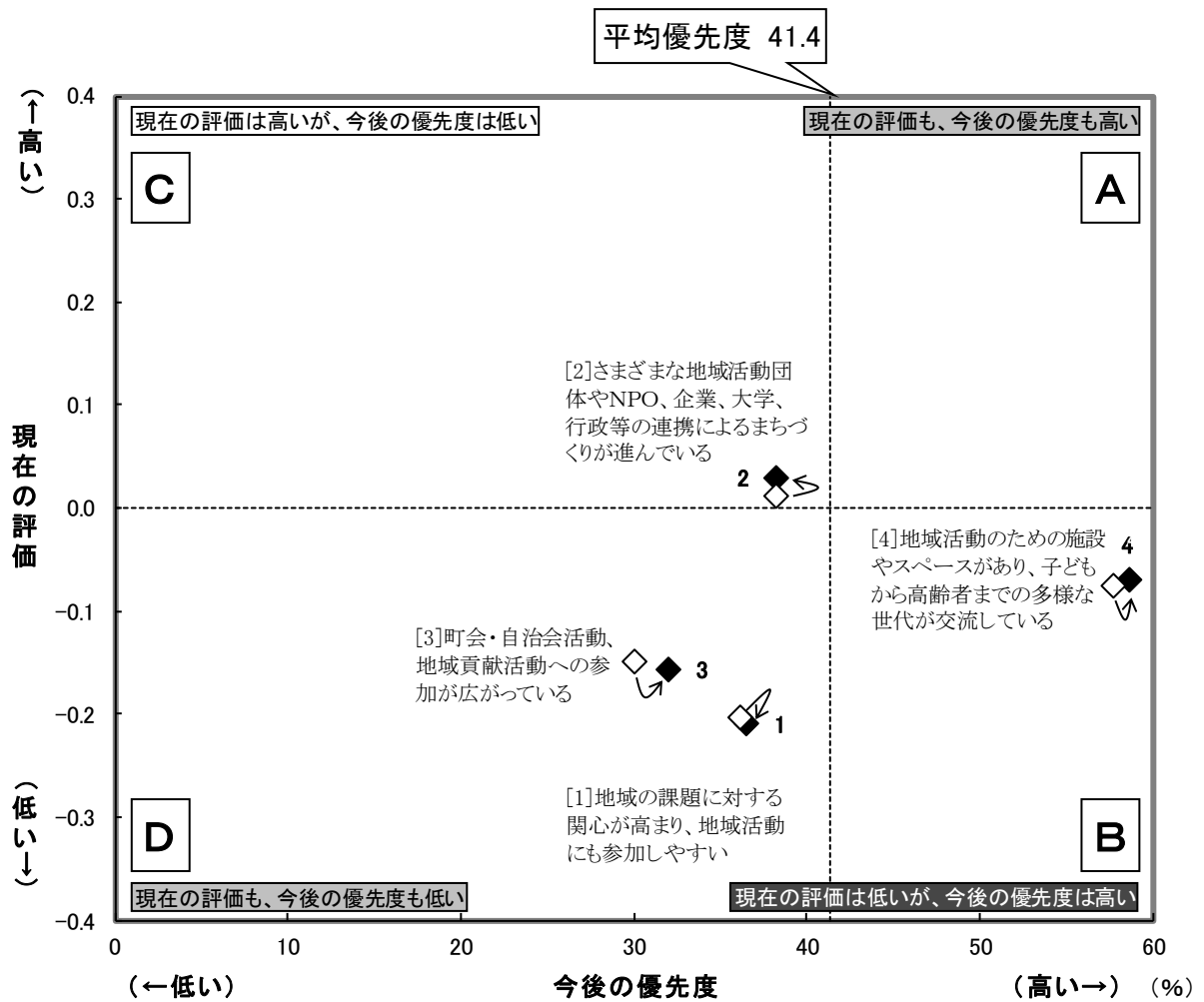
※ 地域の具体的な区分は4ページの(6)居住地域名を参照

4 総合分析の経年比較〔問6〕

総合分析を前回調査（平成28年度調査）と比較した。◆が今回調査、◇が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

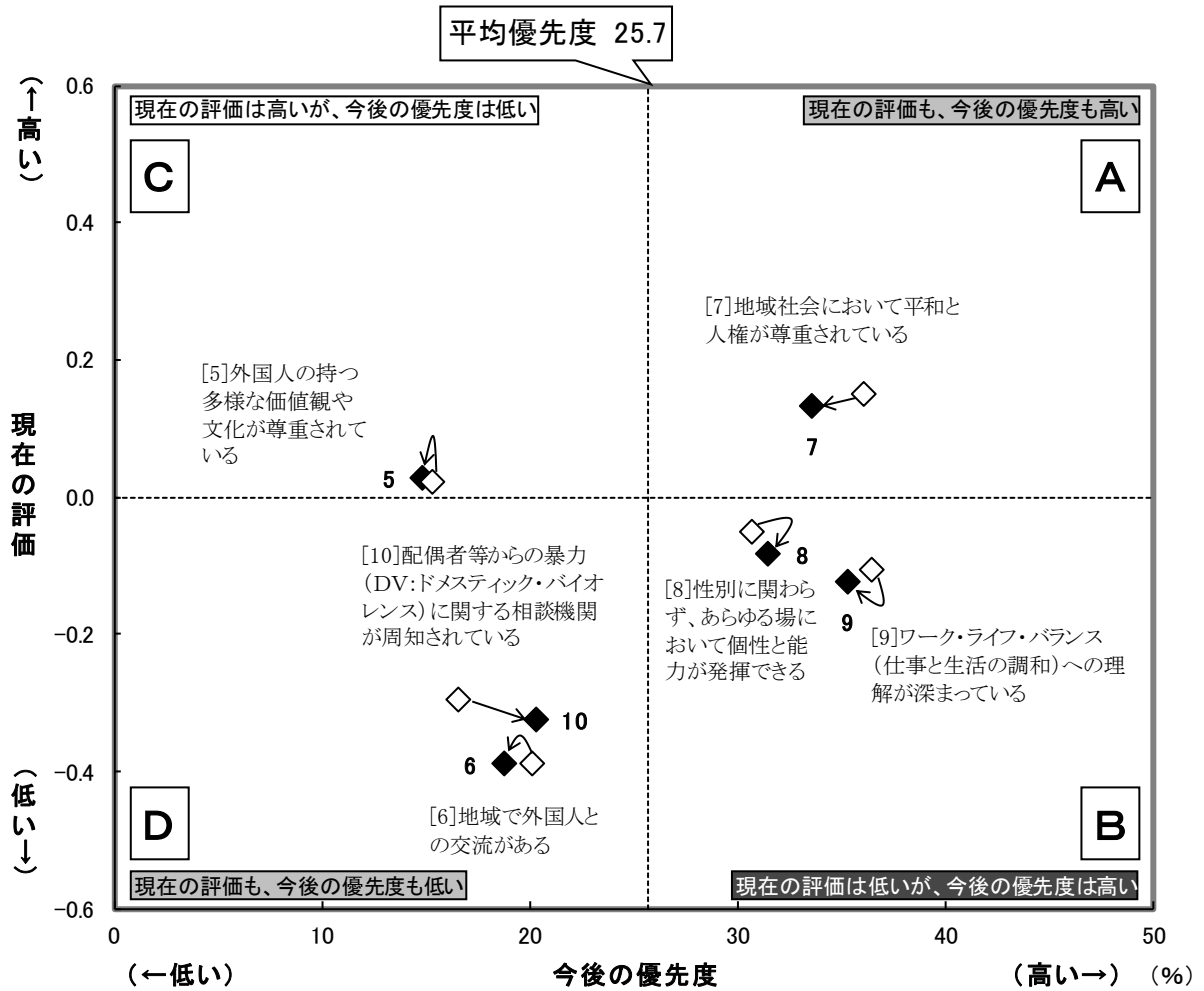
① 参画・協働

- 参画・協働に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



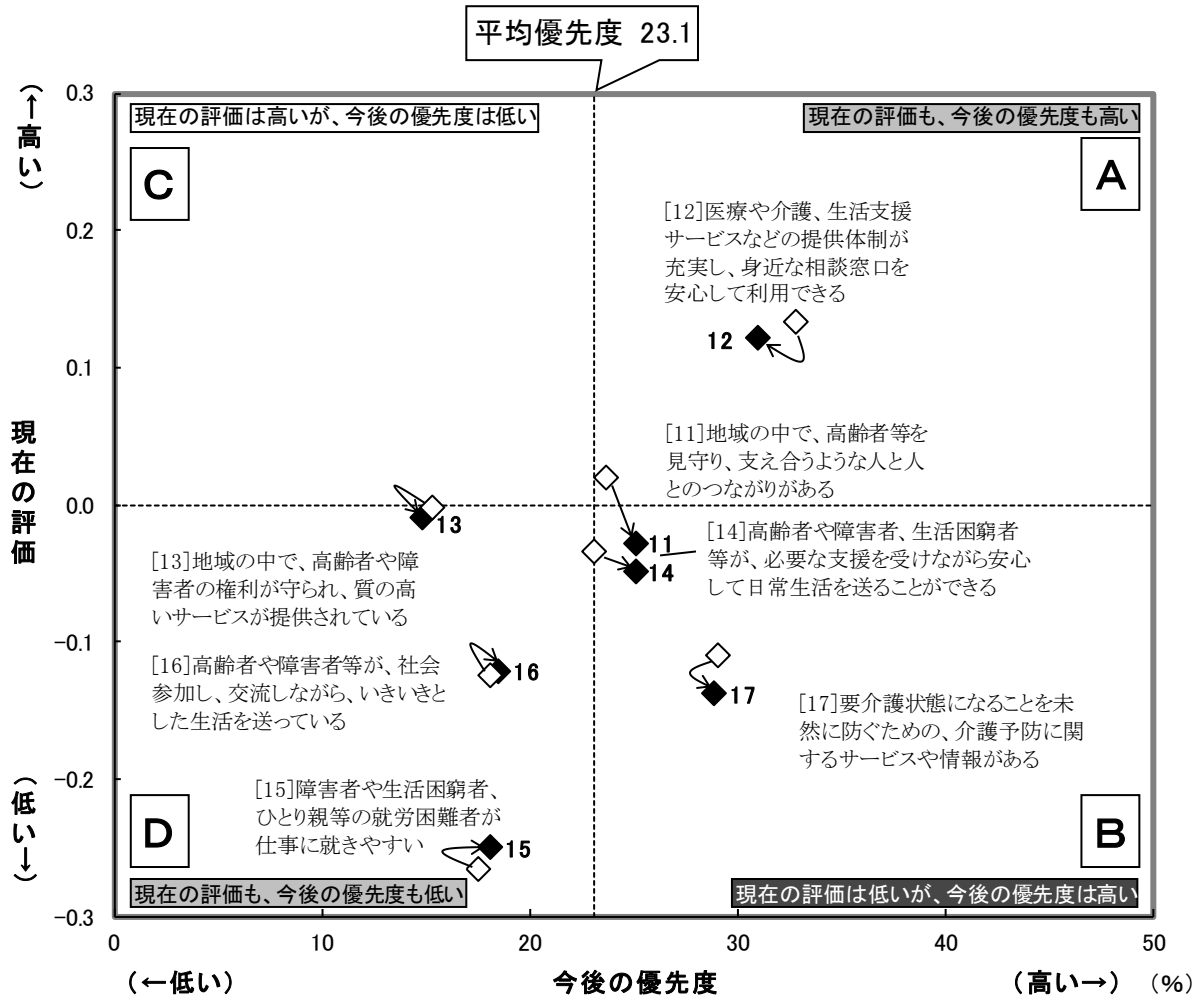
② 平和・人権

●平和・人権に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



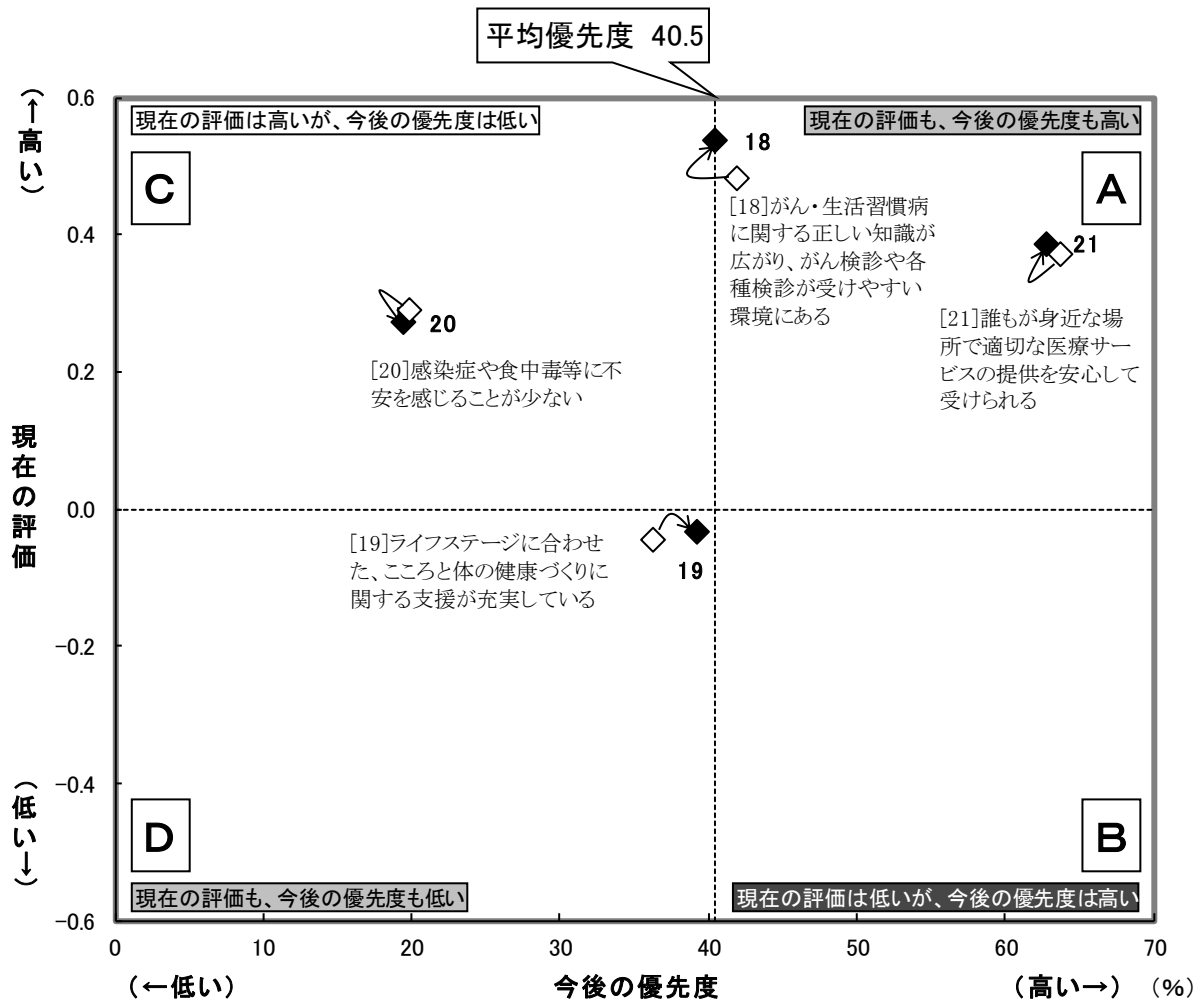
③ 福祉

- 福祉に関する生活環境では、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」へ移動した。



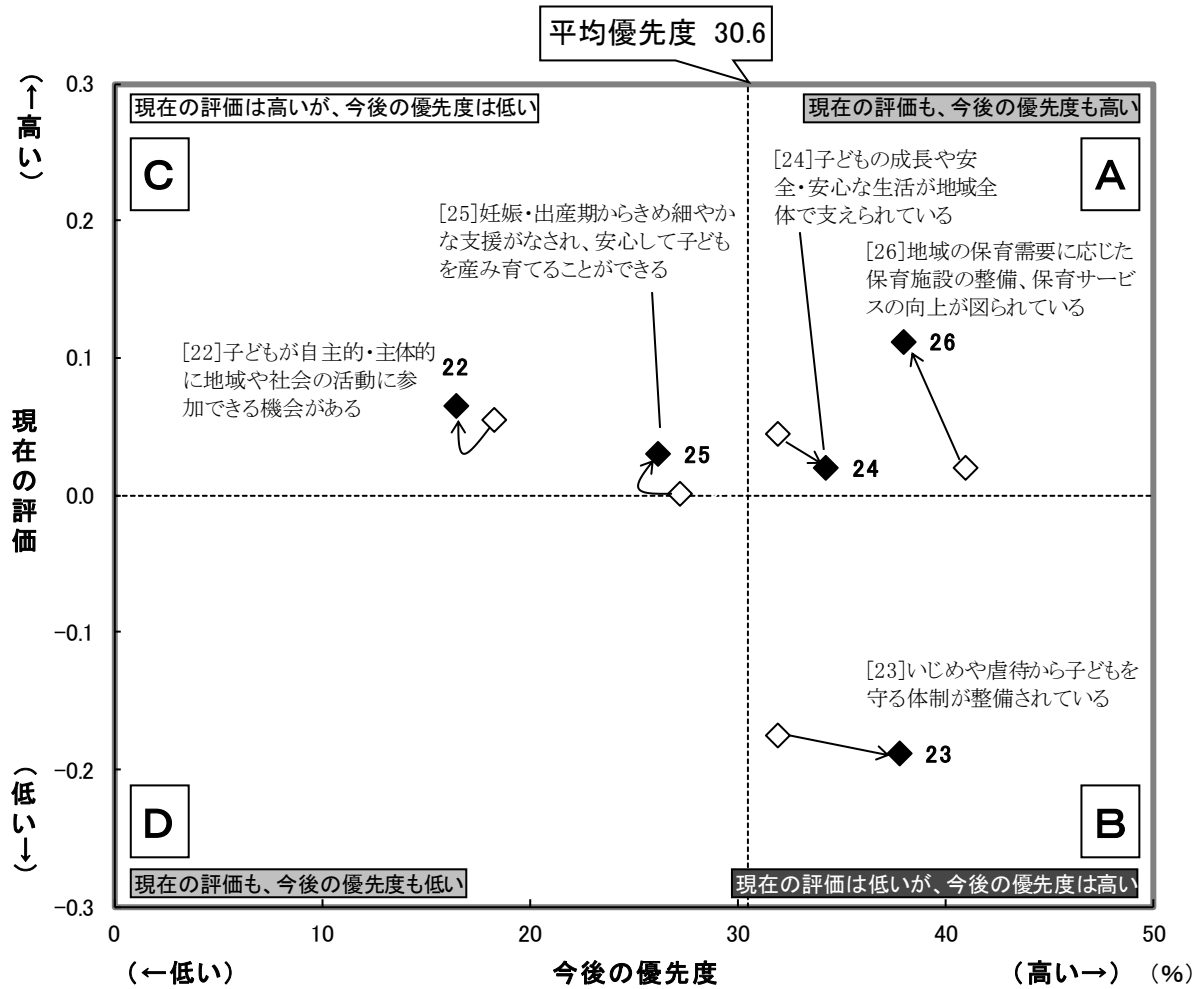
④ 健康・保健

●健康・保健に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



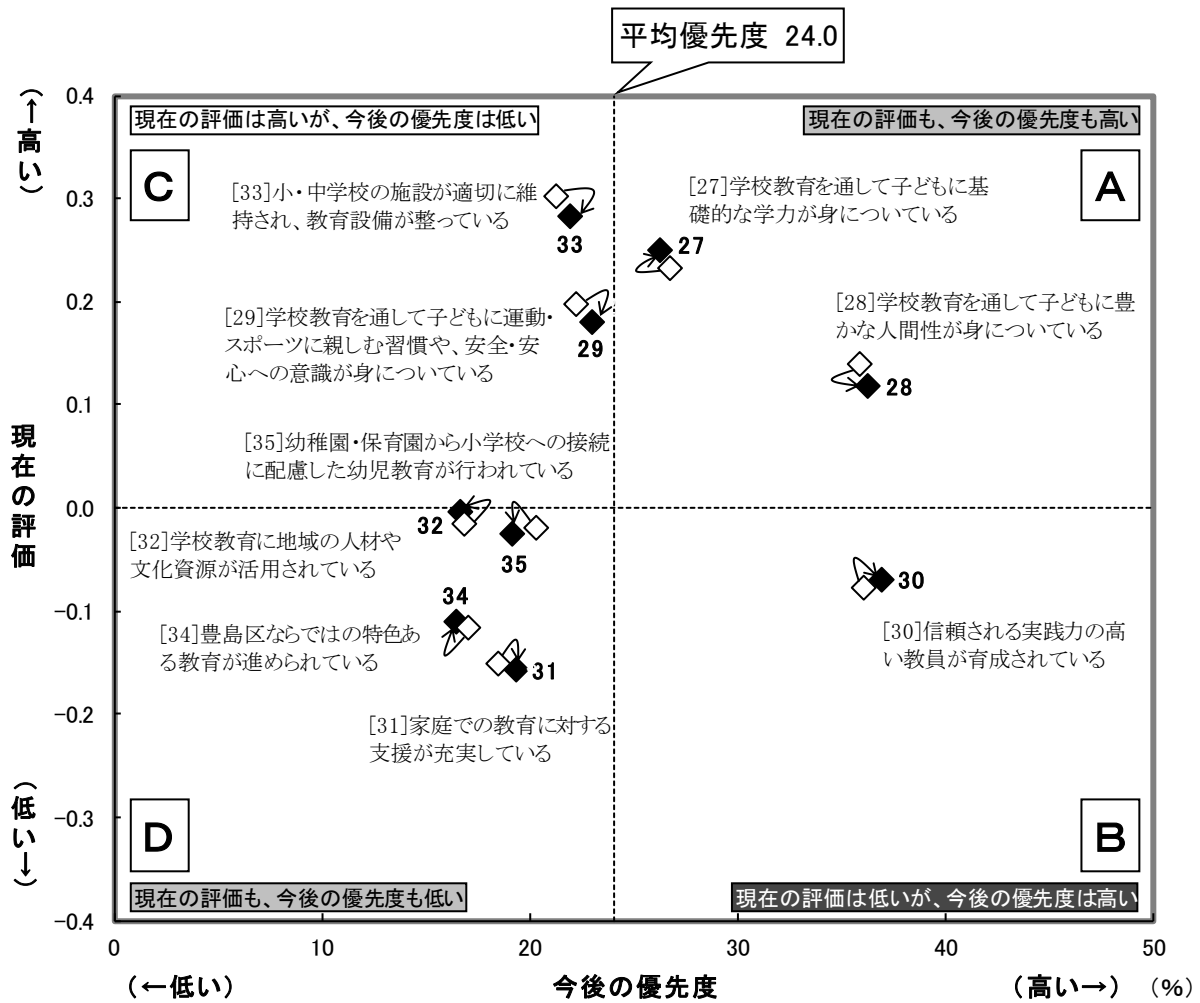
⑤ 子育て

●子育てに関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



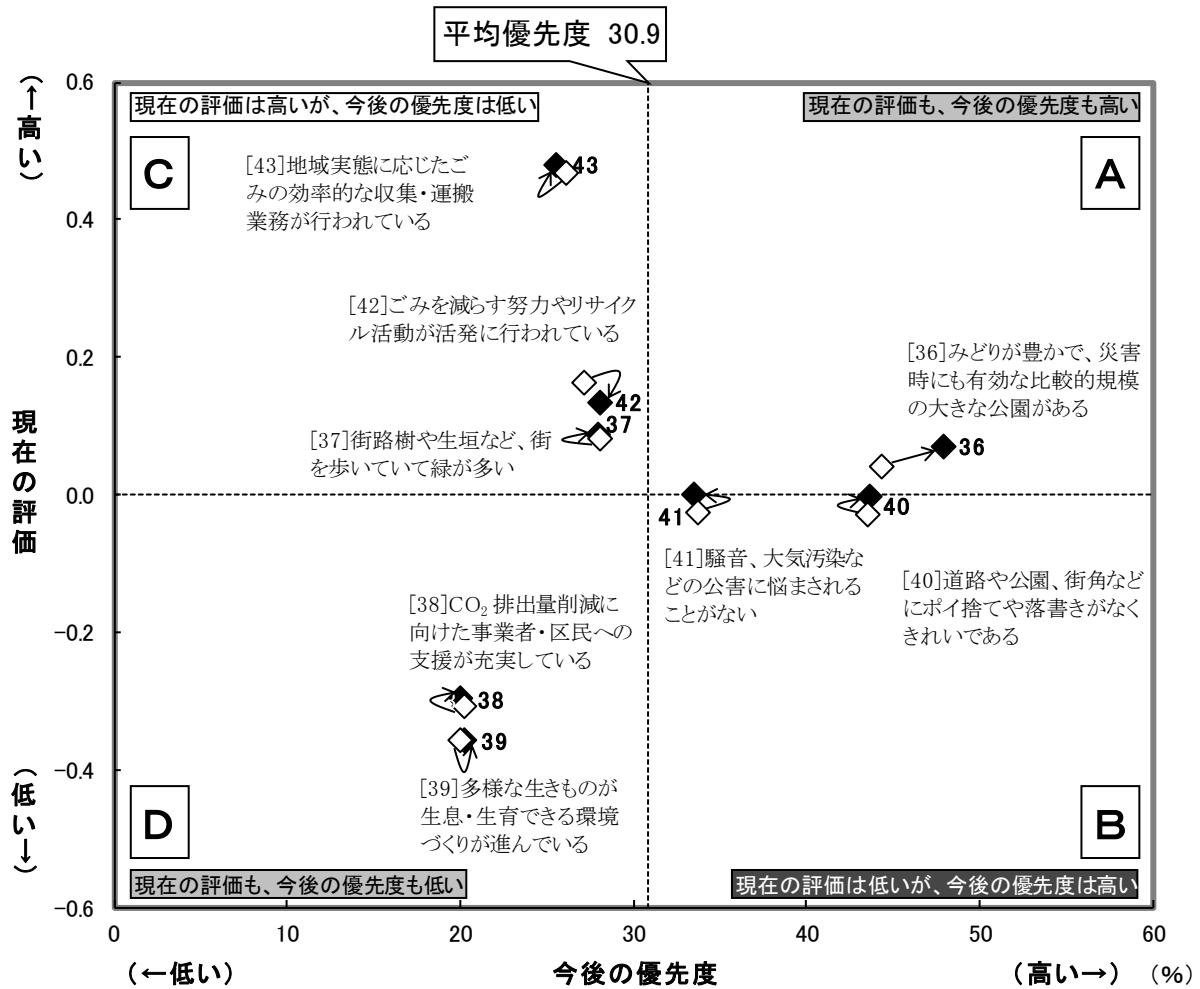
⑥ 教育

●教育に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



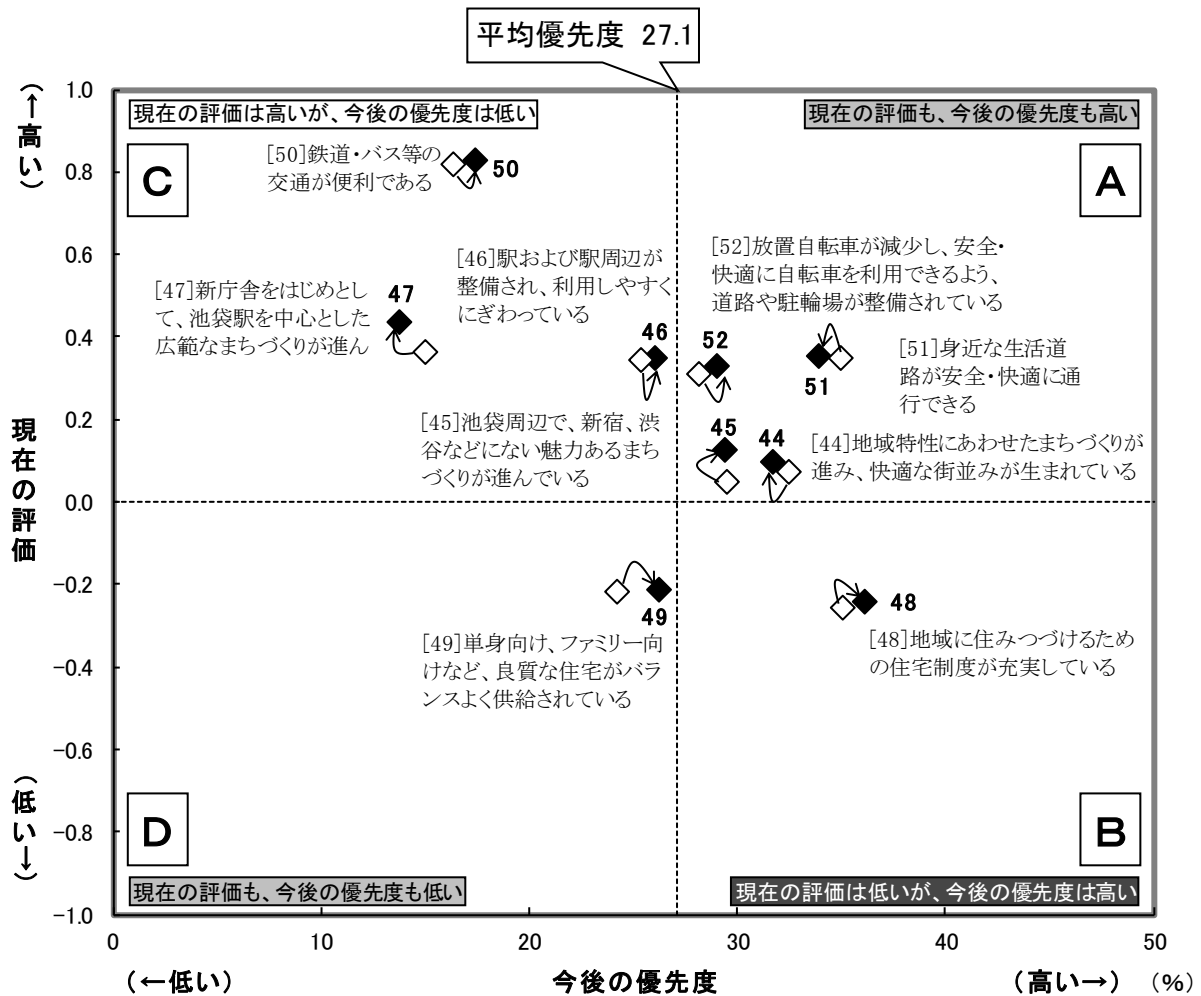
⑦ みどり・環境

- みどり・環境に関する生活環境では、「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。



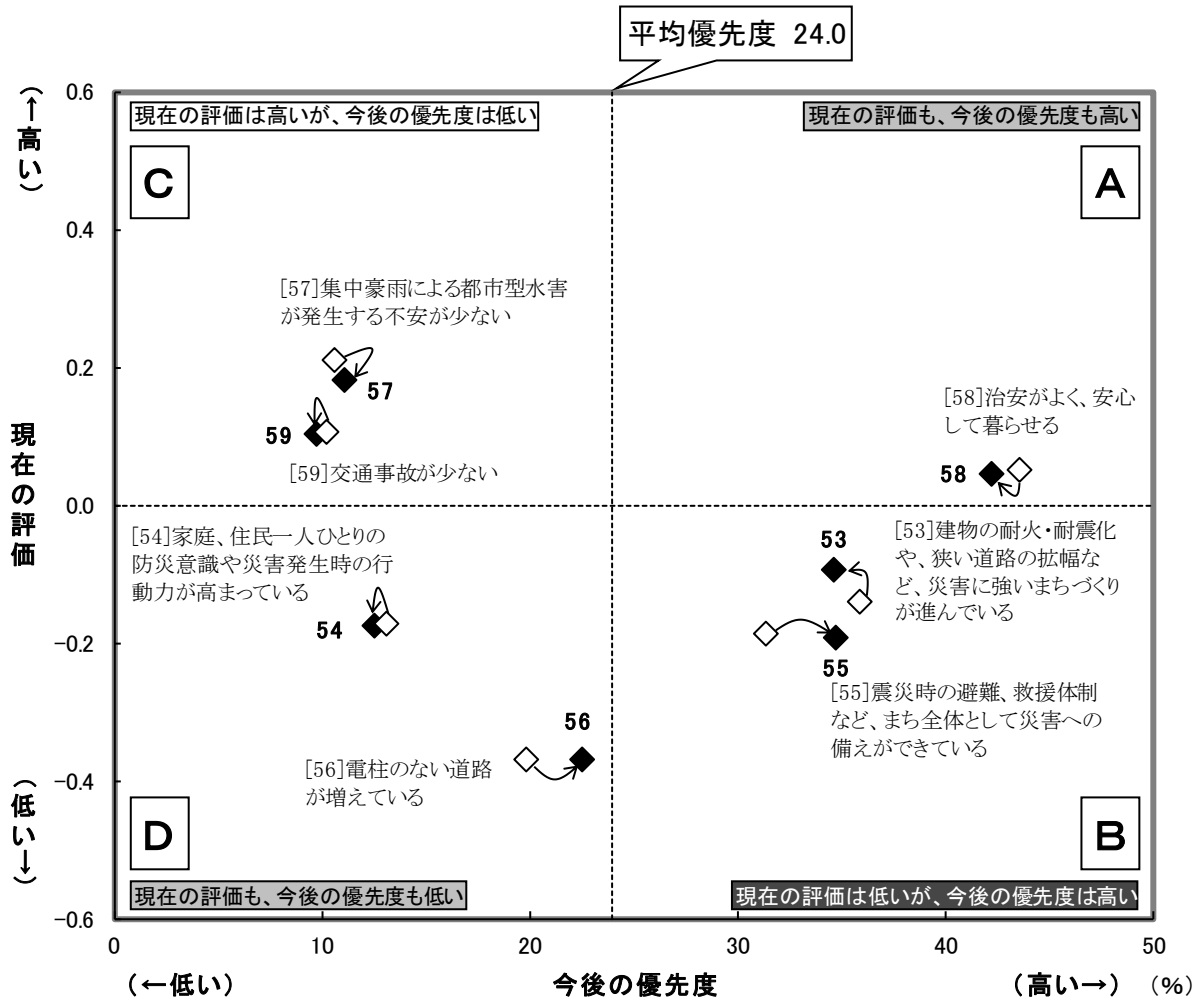
⑧ 都市再生・交通

●都市再生・交通に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



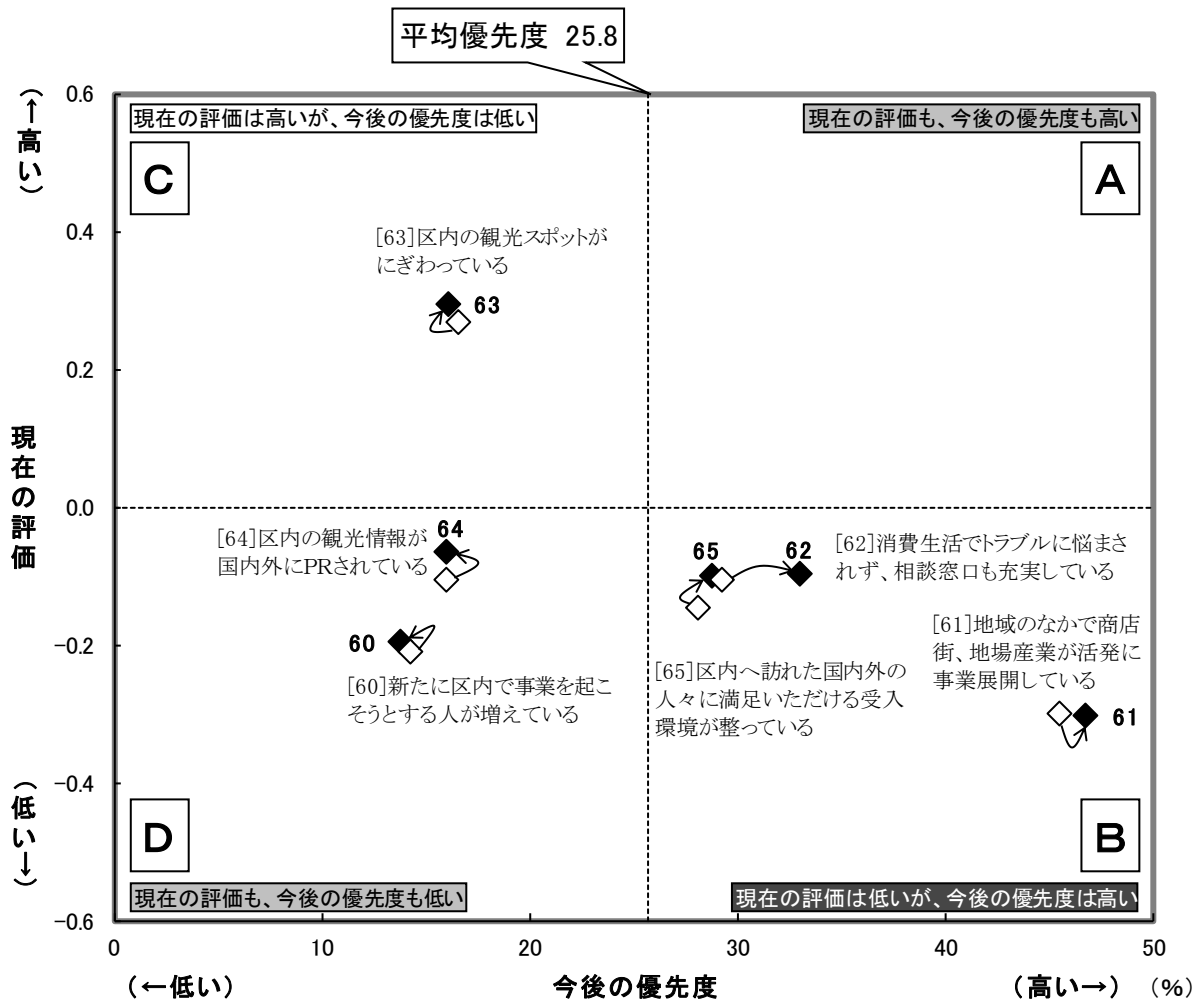
⑨ 防災・治安

●防災・治安に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



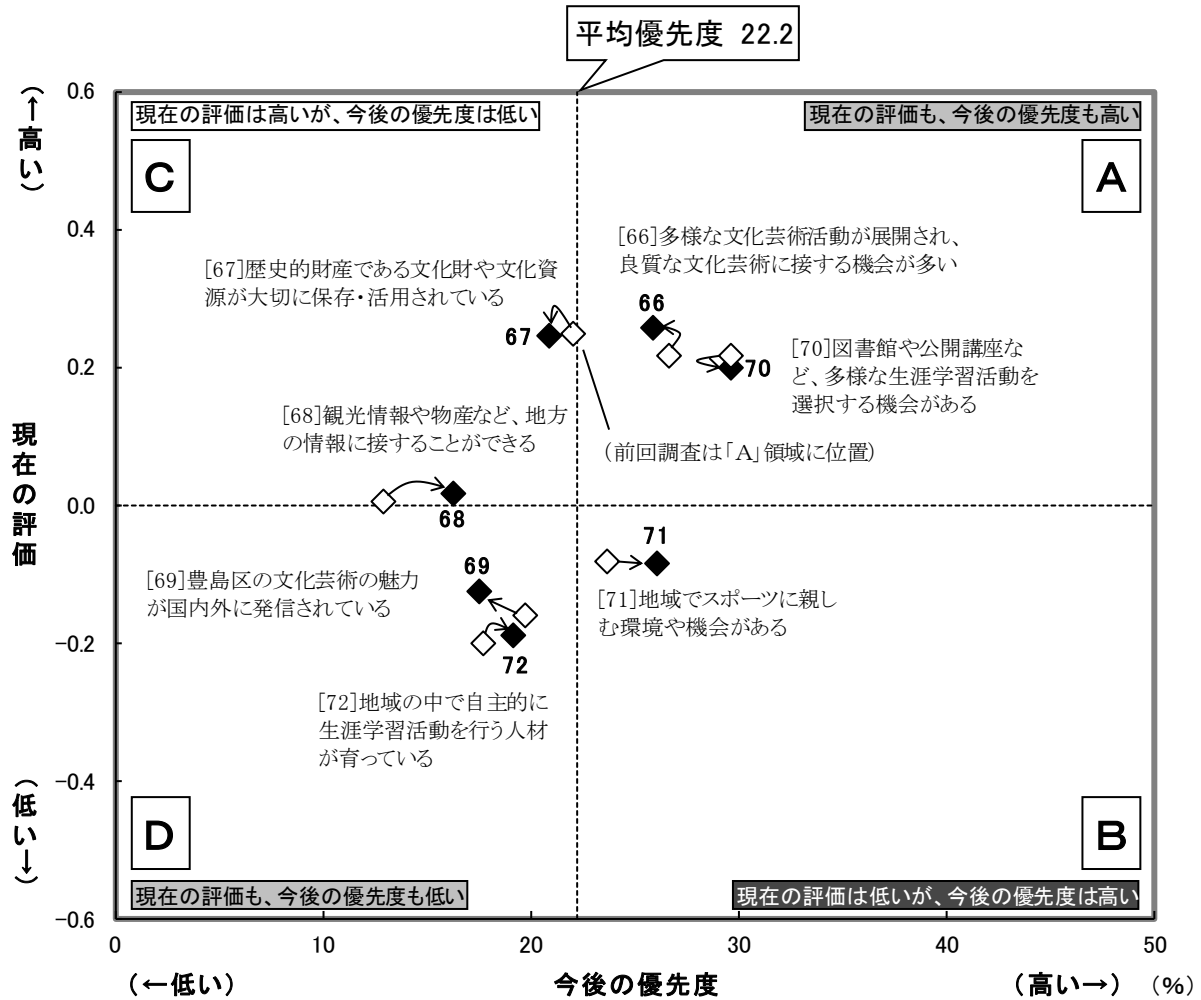
⑩ 商工・観光

●商工・観光に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



⑪ 文化

- 文化に関する生活環境では、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。



第3章

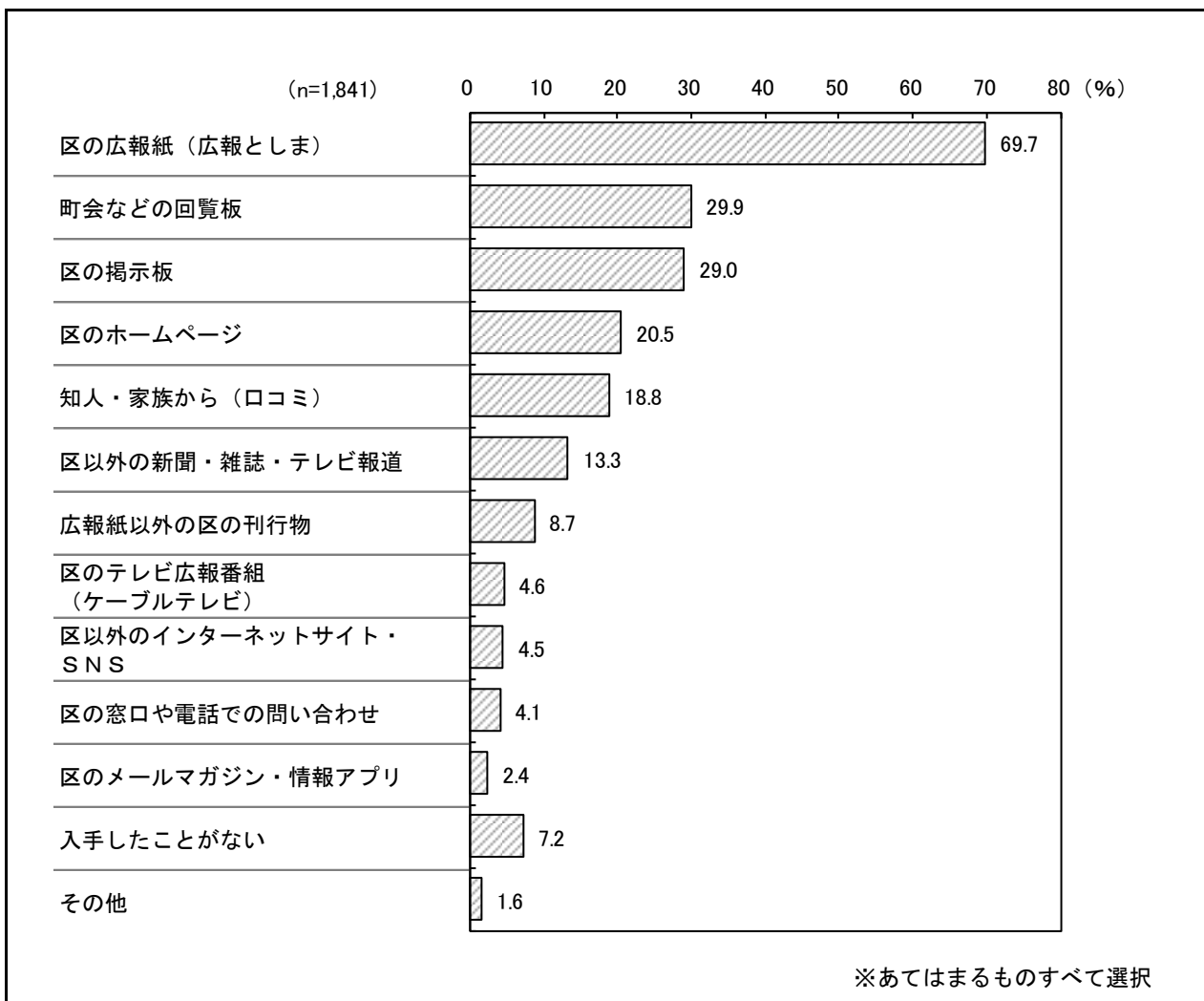
区の政策等について

第3章 区の政策等について

1 区政への参加について

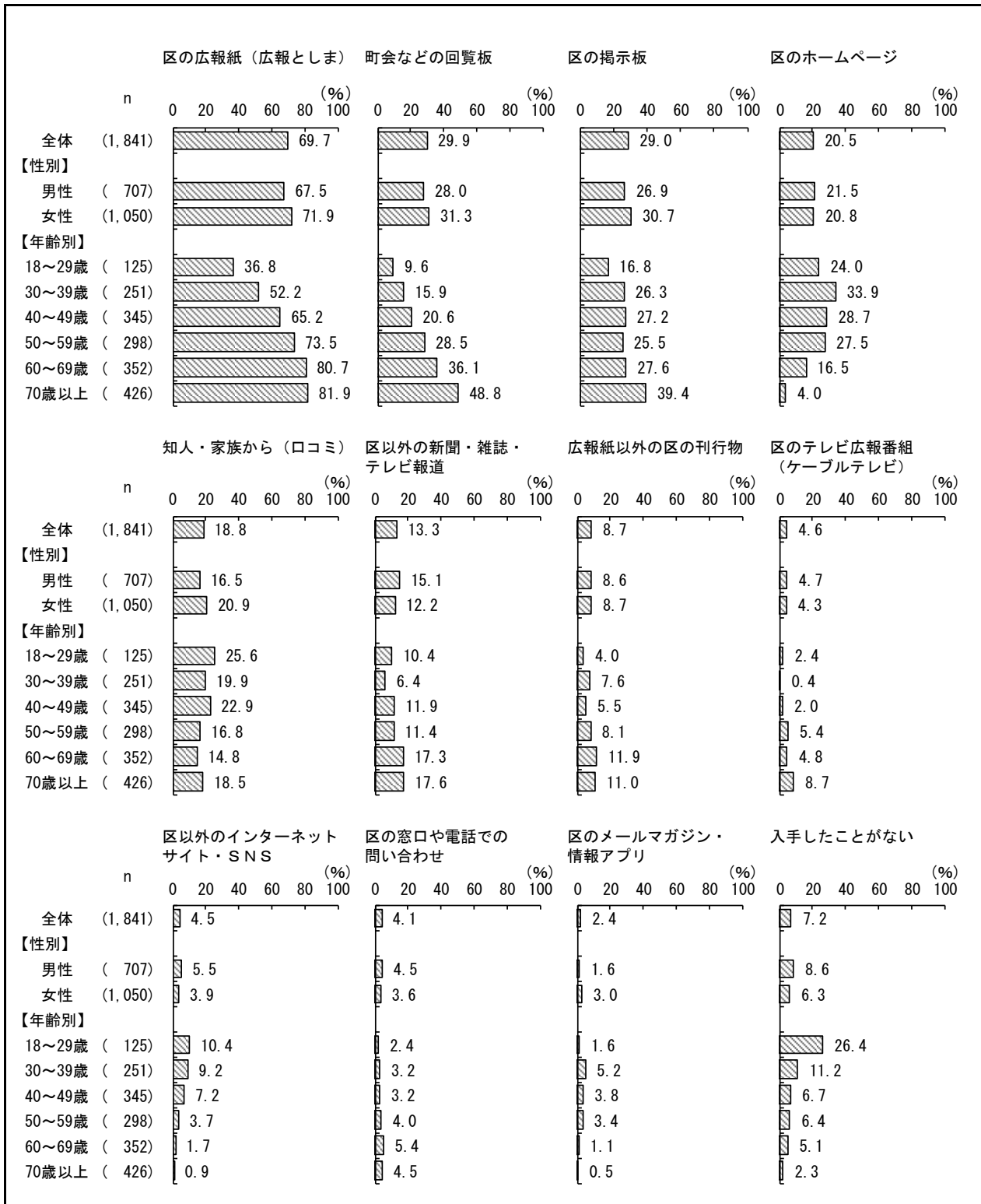
1-① 区に関する情報の入手方法〔問7〕

- 区に関する情報の入手方法を聞いたところ、「区の広報紙（広報としま）」（69.7%）が約7割と最も高く、以下、「町会などの回覧板」（29.9%）、「区の掲示板」（29.0%）、「区のホームページ」（20.5%）、「知人・家族から（口コミ）」（18.8%）などとなっている。



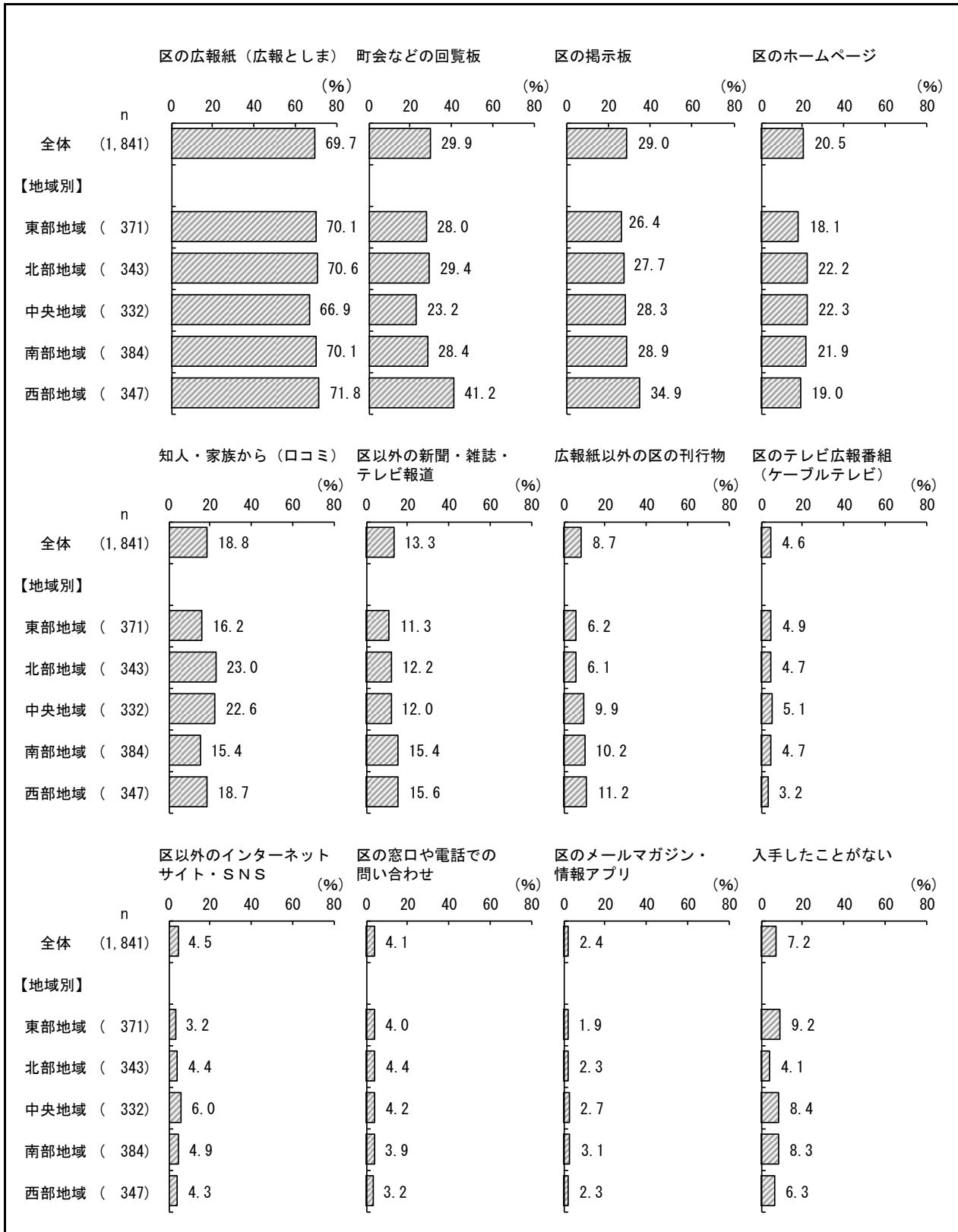
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「区の広報紙（広報としま）」は女性（71.9%）が男性（67.5%）に比べて4.4ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「区の広報紙（広報としま）」、「町会などの回覧板」は年齢があがるにつれて高くなっている。「区のホームページ」は30～39歳（33.9%）が3割台半ばと最も高く、次いで、40～49歳（28.7%）が3割弱となっている。



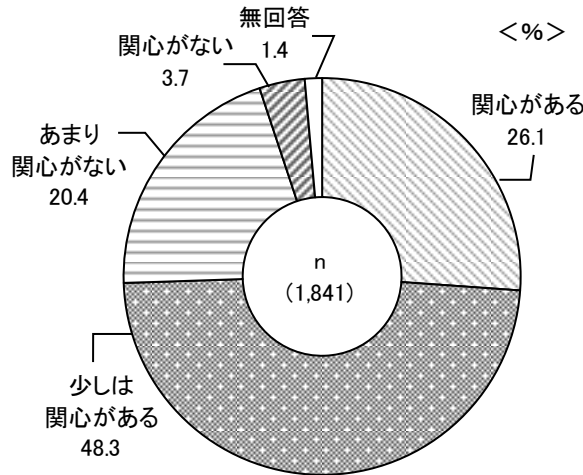
【地域別】

- 「町会などの回覧板」は西部地域（41.2%）が4割強と最も高くなっている。「区の掲示板」は西部地域（34.9%）が3割台半ばと最も高くなっている。「知人・家族から（口コミ）」は北部地域（23.0%）が2割台半ばと最も高くなっている。



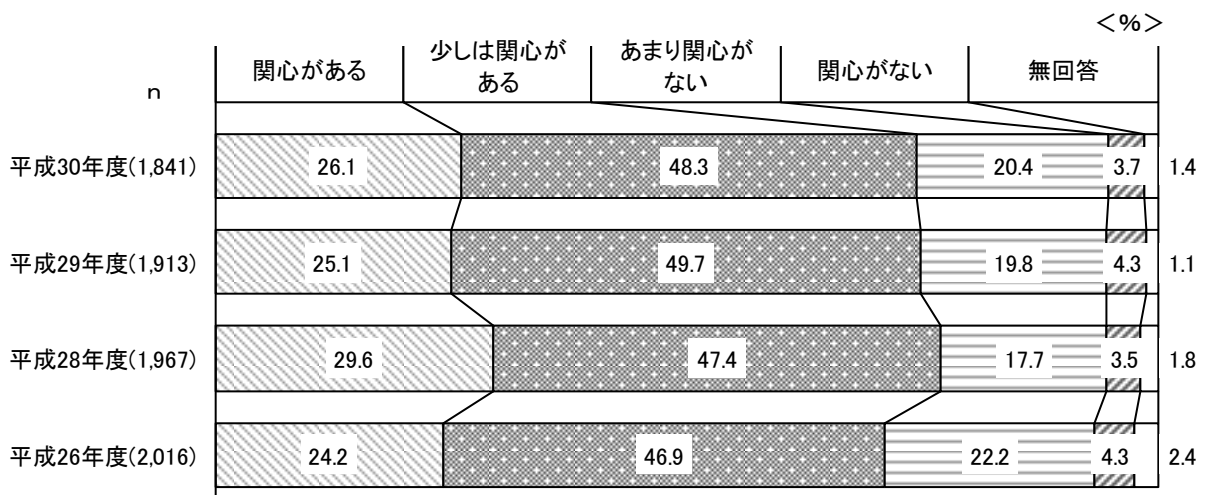
1-② 区政への関心〔問8〕

- 区政に関心があるかを聞いたところ、「少しは関心がある」(48.3%)が5割弱と最も高く、「関心がある」(26.1%)と合わせた“関心がある”(74.4%)としてみると、7割台半ばとなっている。
- 「あまり関心がない」(20.4%)と「関心がない」(3.7%)を合わせた“関心がない”(24.1%)としてみると、2割台半ばとなっている。



【経年比較】

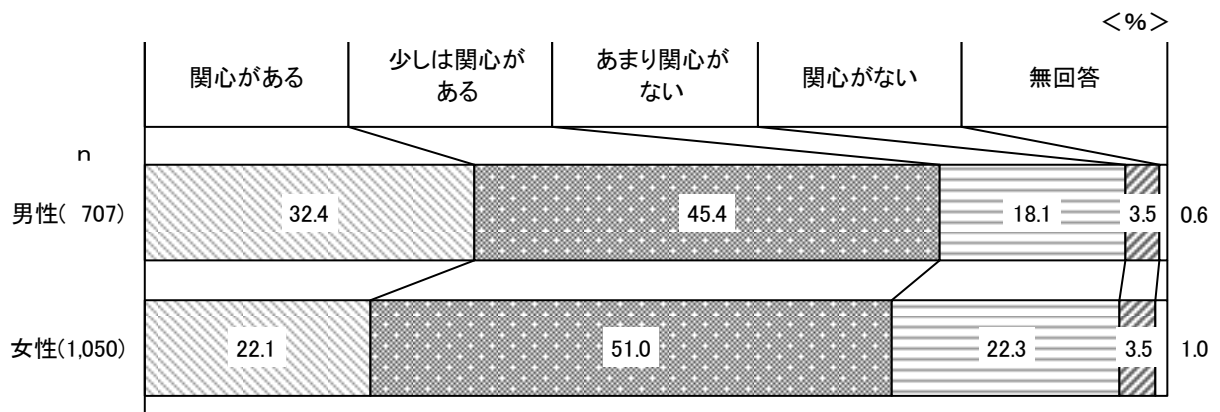
- 過去の調査と比較すると、平成29年度から大きな変化はみられない。



※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

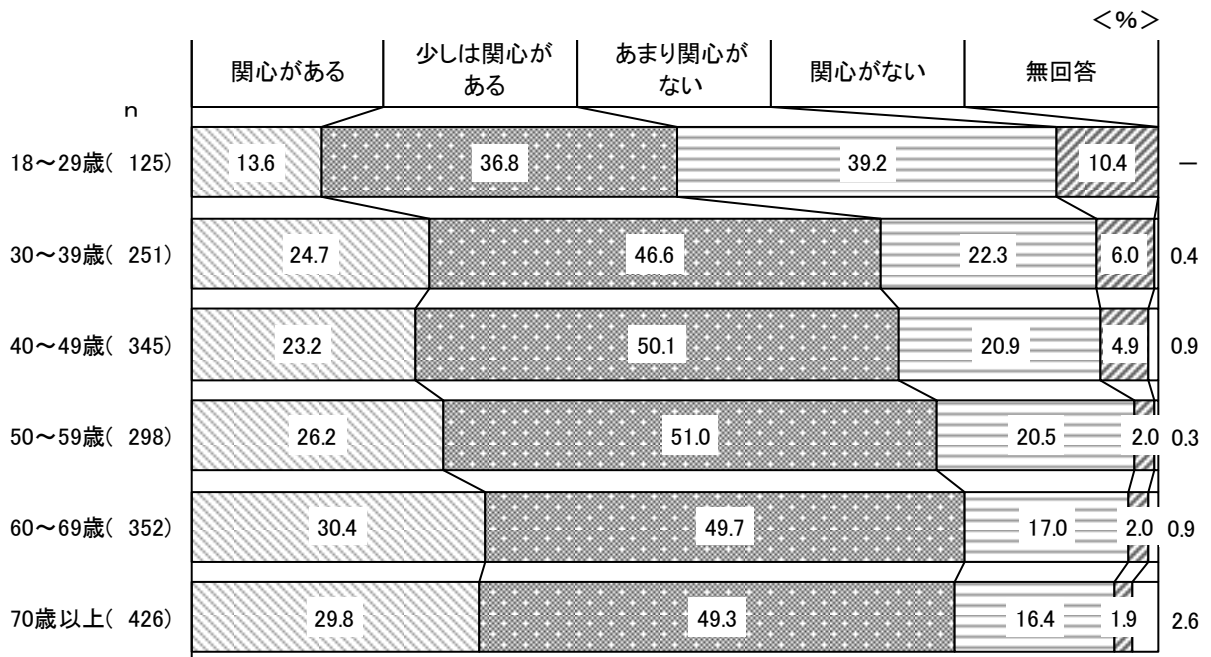
【性別】

● “関心がある” は男性（77.8%）が女性（73.1%）に比べて4.7ポイント高くなっている。



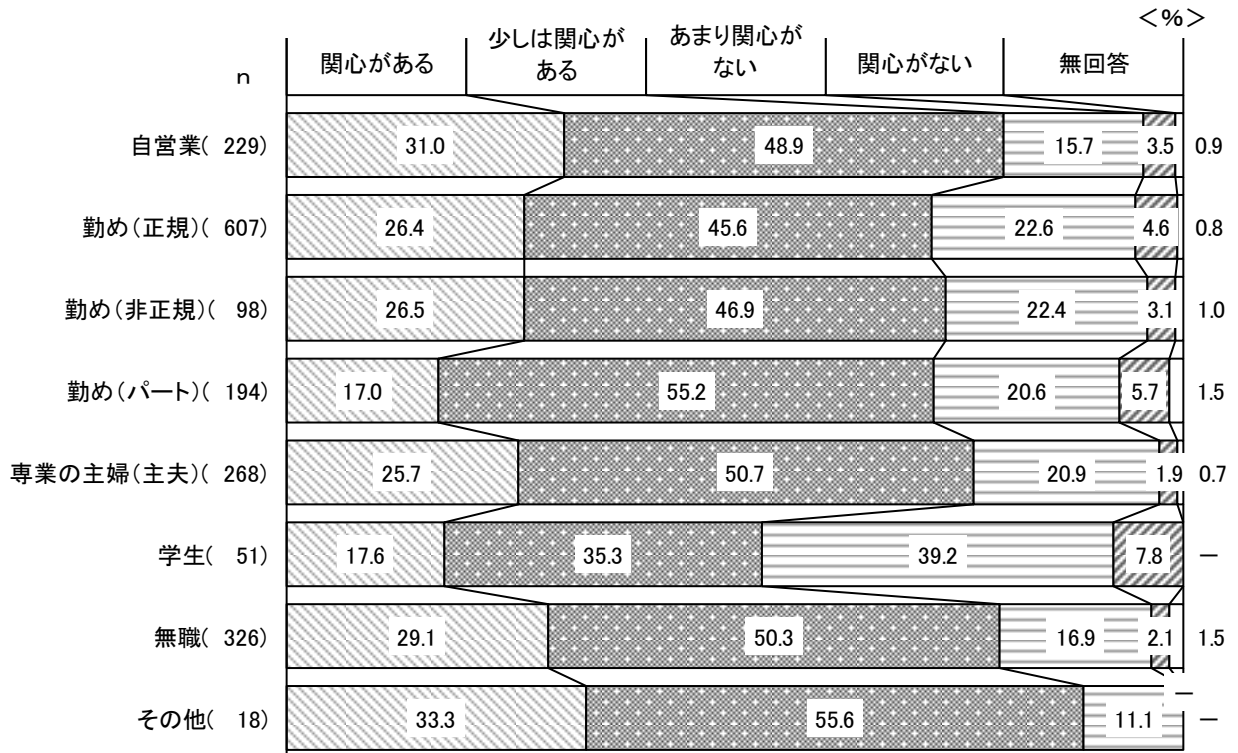
【年齢別】

● “関心がある” は60～69歳（80.1%）、70歳以上（79.1%）がともに約8割と高くなっている。



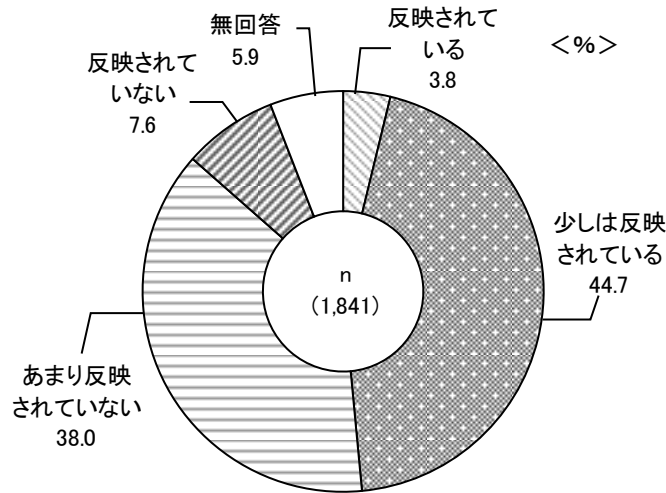
【職業別】

- “関心がある” は自営業（79.9%）、無職（79.4%）が約8割と高くなっている。
- “関心がない” は学生（47.0%）が5割弱と最も高く、次いで、勤め（正規）（27.2%）が3割弱となっている。



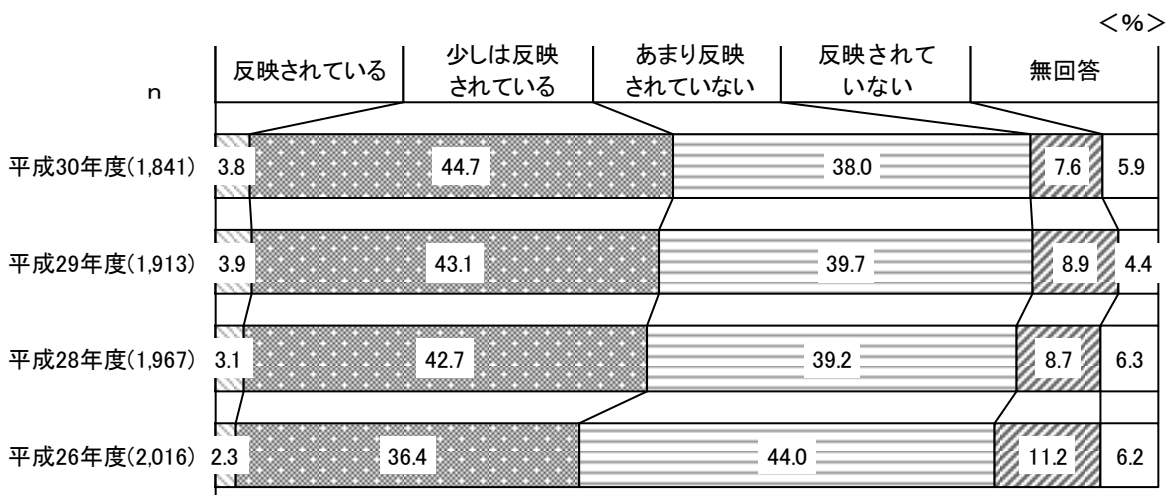
1－③ 区の政策に区民の意見が反映されているか〔問9〕

- 区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されているかを聞いたところ、「少しは反映されている」(44.7%)が4割台半ばと最も高く、「反映されている」(3.8%)と合わせた“反映されている” (48.5%)としてみると、5割弱となっている。
- 「あまり反映されていない」(38.0%)と「反映されていない」(7.6%)を合わせた“反映されていない” (45.6%)としてみると、4割台半ばとなっている。



【経年比較】

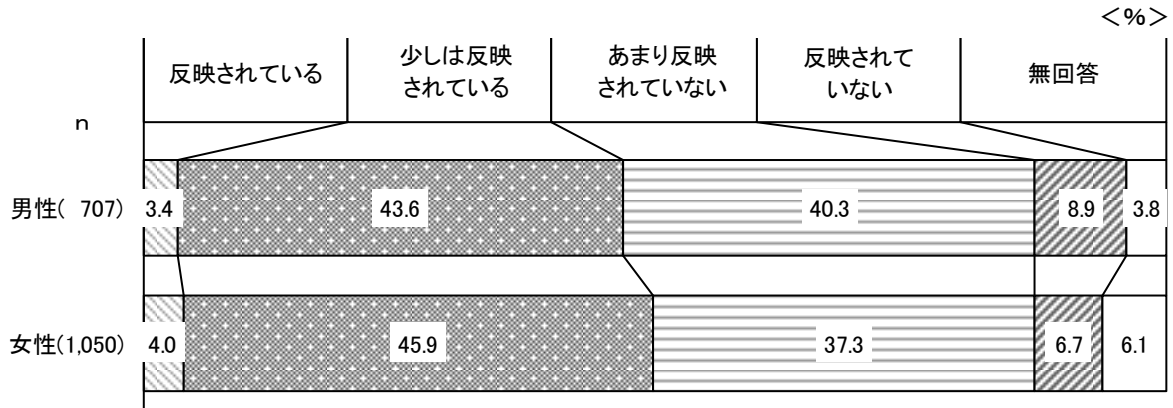
- 過去の調査と比較すると、「反映されている」は平成29年度から1.5ポイント高くなっている。



※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

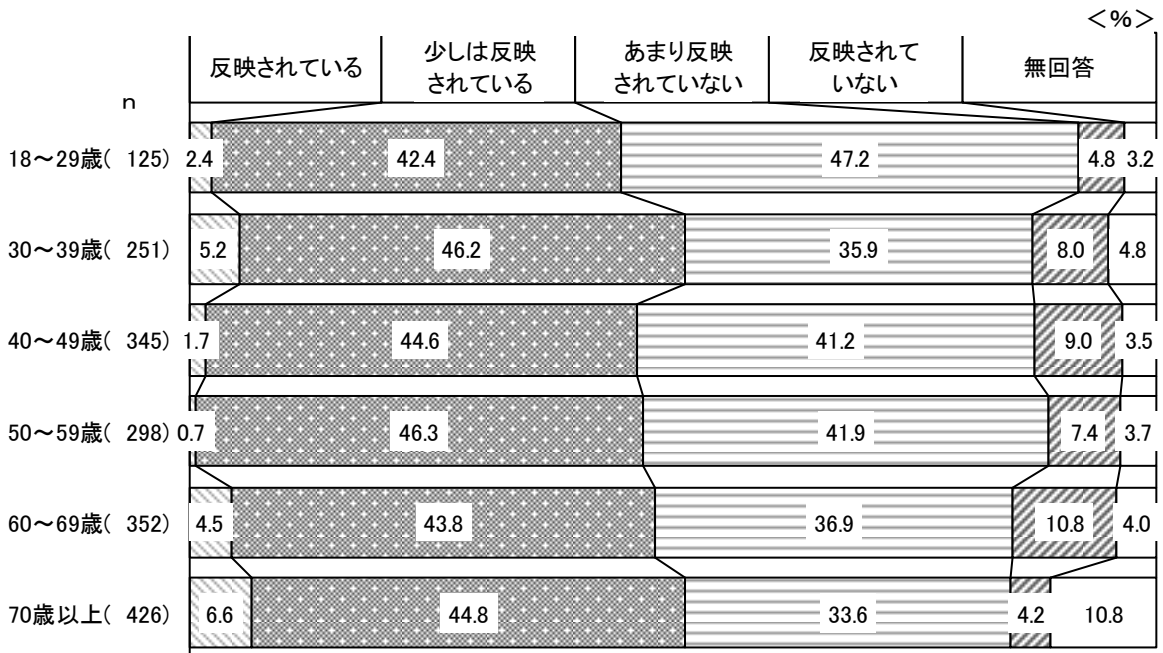
【性別】

● “反映されていない” は男性（49.2%）が女性（44.0%）に比べて5.2ポイント高くなっている。



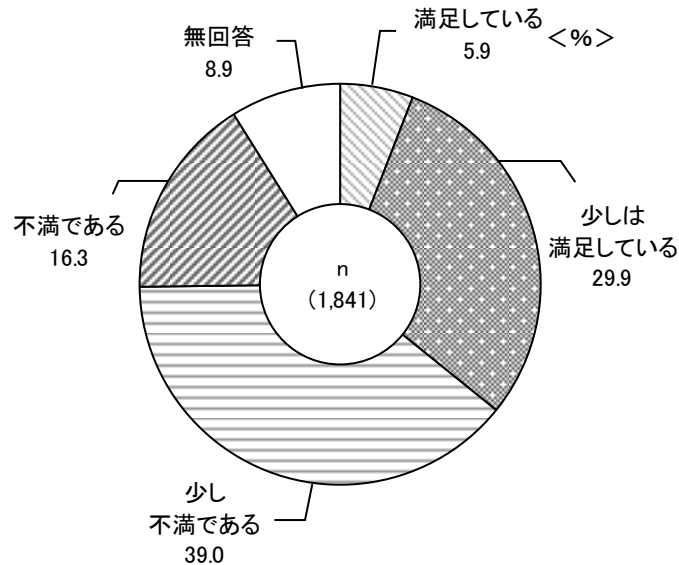
【年齢別】

● “反映されている” は30～39歳（51.4%）、70歳以上（51.4%）がともに5割強となっている。



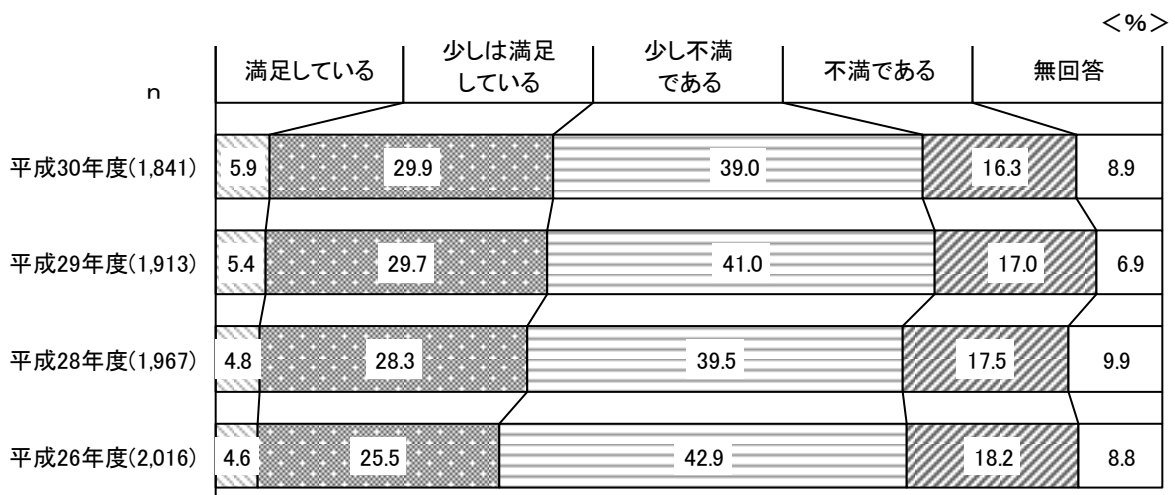
1-④ 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問 10〕

- 区に意見を述べる機会や手段、方法に満足しているかを聞いたところ、「満足している」(5.9%)と「少しは満足している」(29.9%)を合わせた“満足している”(35.8%)としてみると、3割台半ばとなっている。
- 「少し不満である」(39.0%)と「不満である」(16.3%)を合わせた“不満である”(55.3%)としてみると、5割台半ばとなっている。



【経年比較】

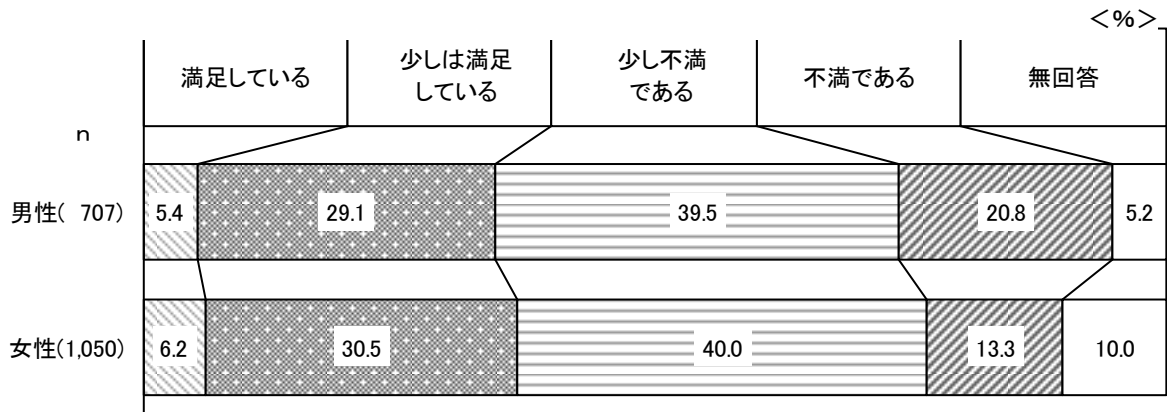
- 過去の調査と比較すると、“不満である”は平成29年度から2.7ポイント低くなっている。



※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

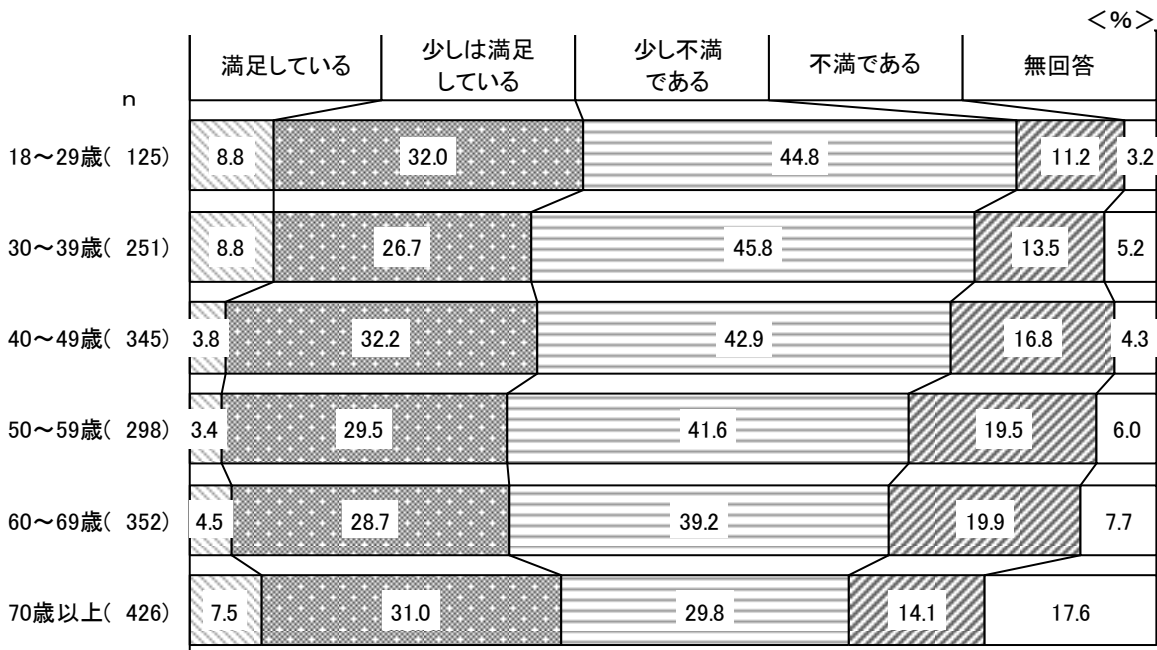
【性別】

- “満足している” は女性（36.7%）が男性（34.5%）に比べて2.2ポイント高くなっている。
- “不満である” は男性（60.3%）が女性（53.3%）に比べて7.0ポイント高くなっている。



【年齢別】

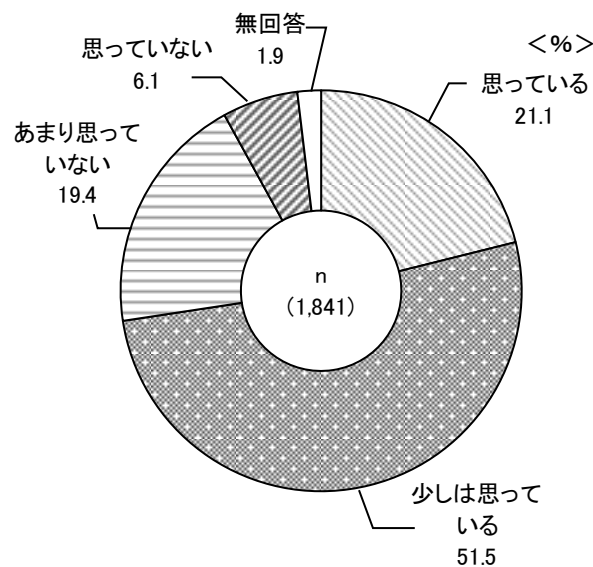
- “満足している” は18～29歳（40.8%）が約4割と最も高く、次いで、70歳以上（38.5%）が4割弱となっている。
- “不満である” は50～59歳（61.1%）が6割強と最も高く、次いで、40～49歳（59.7%）、30～39歳（59.3%）、60～69歳（59.1%）が約6割となっている。



2 地域との関わりについて

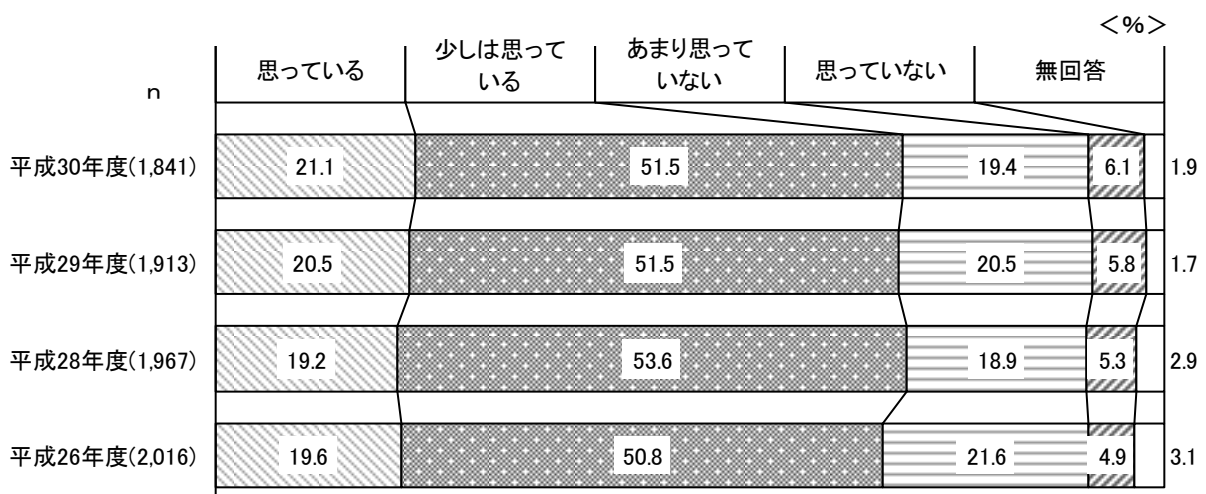
2-① 地域のために何か役に立ちたいか〔問11〕

- 日頃、地域の一員として、地域のために何か役に立ちたいと思っているかを聞いたところ、「少しは思っている」(51.5%)が5割強と最も高く、「思っている」(21.1%)と合わせた“思っている”(72.6%)としてみると、7割強となっている。
- 「あまり思っていない」(19.4%)と「思っていない」(6.1%)を合わせた“思っていない”(25.5%)としてみると、2割台半ばとなっている。



【経年比較】

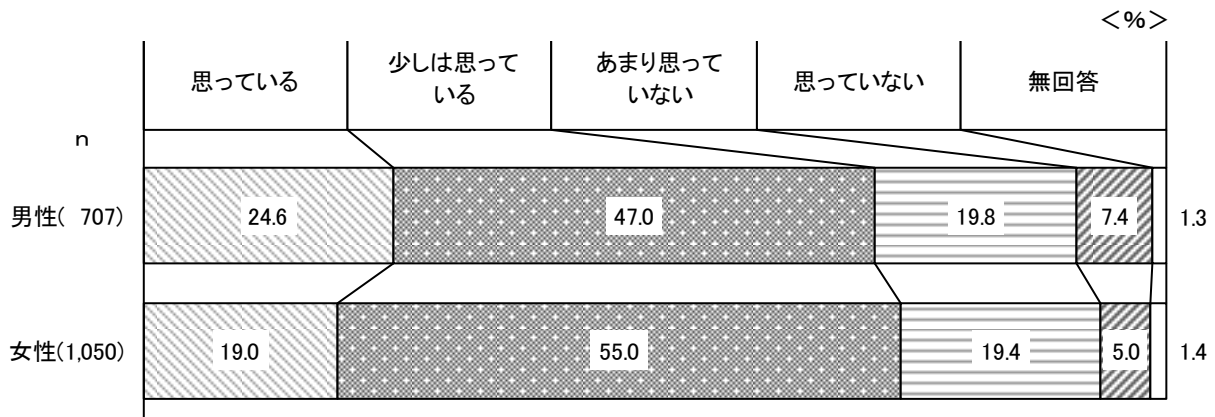
- 過去の調査と比較すると、平成28年度以降大きな変化はみられない。



※平成26年度調査「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

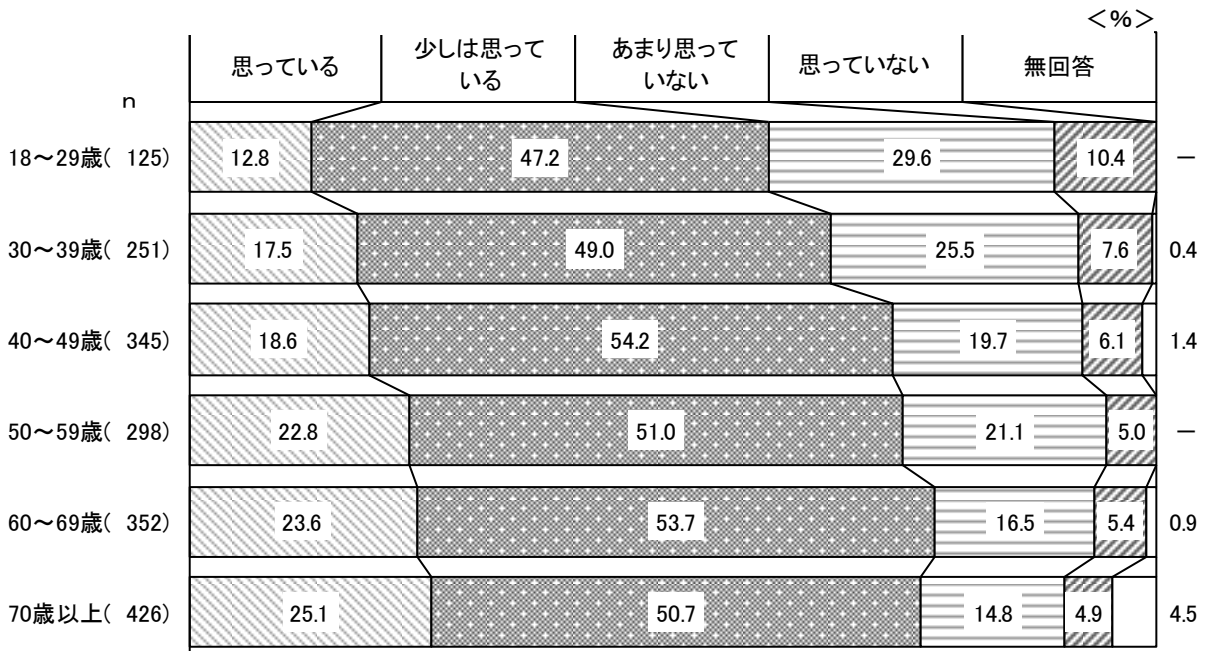
【性別】

- 「思っている」は男性（24.6%）が女性（19.0%）に比べて5.6ポイント高くなっている。



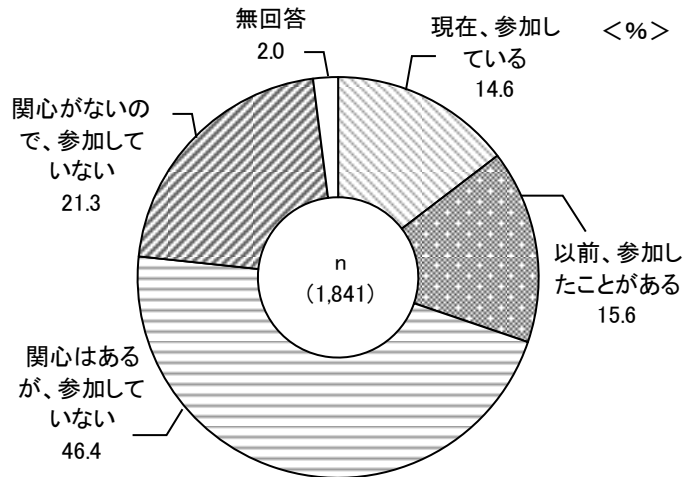
【年齢別】

- “思っている”は60～69歳（77.3%）が8割弱と最も高く、次いで、70歳以上（75.8%）が7割台半ばとなっている。
- “思っていない”は18～29歳（40.0%）が4割と最も高く、次いで、30～39歳（33.1%）が3割台半ばとなっている。



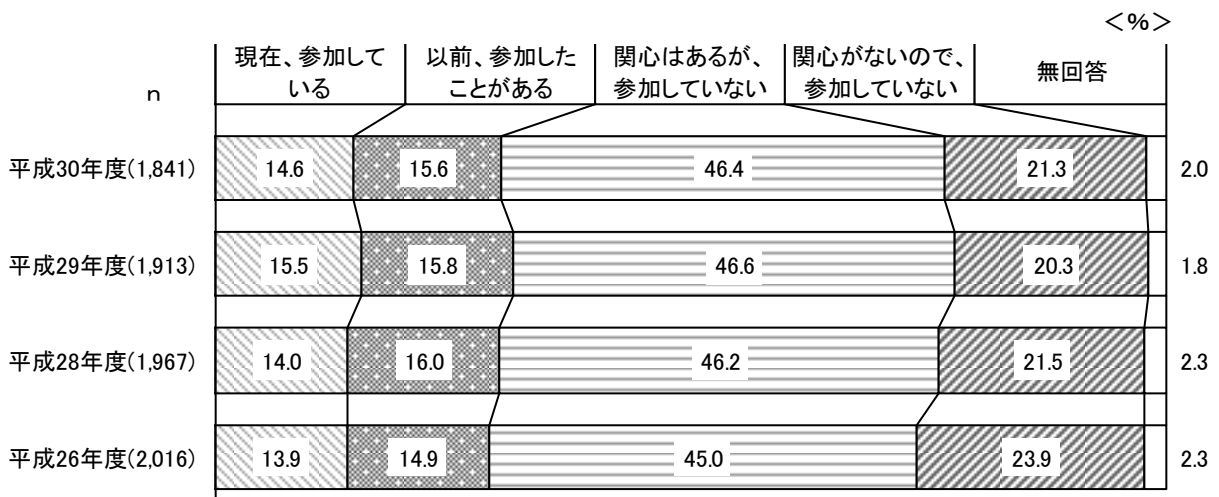
2-② 町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問 12〕

- 町会、自治会などの地域活動に参加しているかを聞いたところ、「関心はあるが、参加していない」(46.4%)が4割台半ばと最も多く、次いで、「関心がないので、参加していない」(21.3%)が2割強となっている。
- 「以前、参加したことがある」(15.6%)と「現在、参加している」(14.6%)が、それぞれ1割台半ばとなっている。



【経年比較】

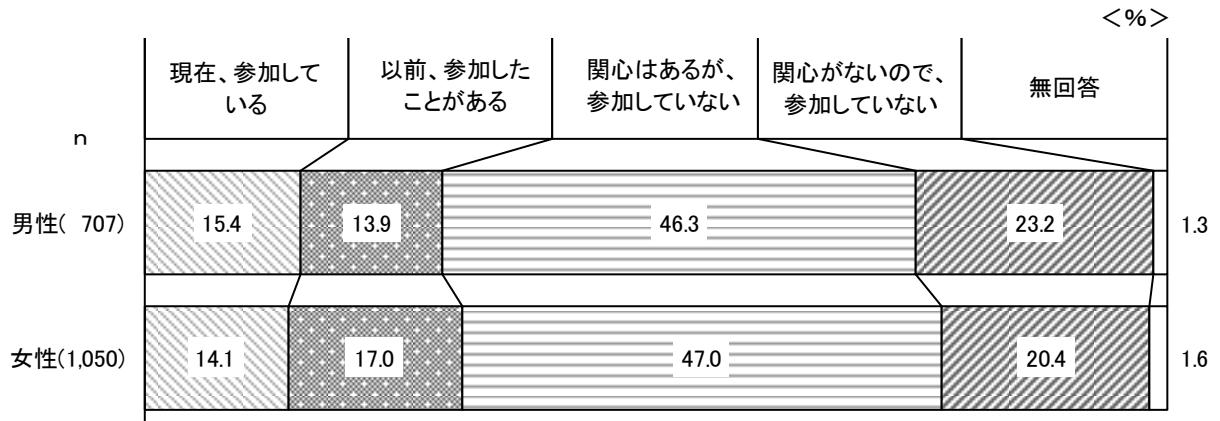
- 過去の調査と比較すると、平成28年度以降大きな変化はみられない。



※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

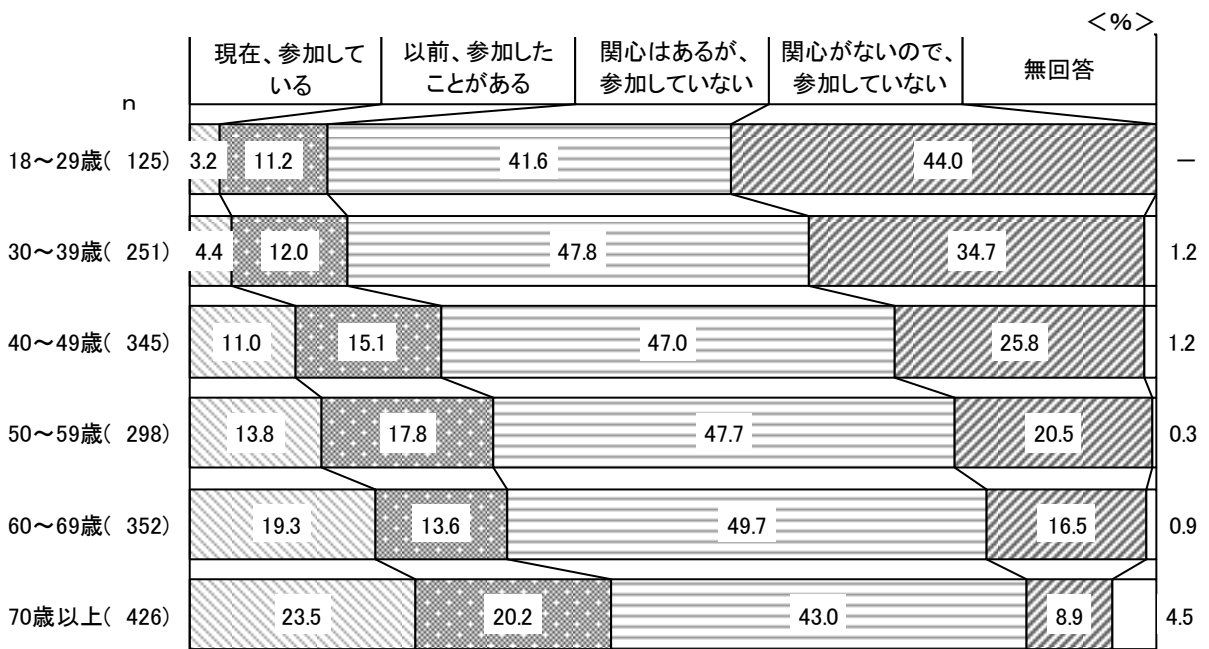
【性別】

- 「以前、参加したことがある」は女性（17.0%）が男性（13.9%）に比べて3.1ポイント高くなっている。
- 「関心がないので、参加していない」は男性（23.2%）が女性（20.4%）に比べて2.8ポイント高くなっている。



【年齢別】

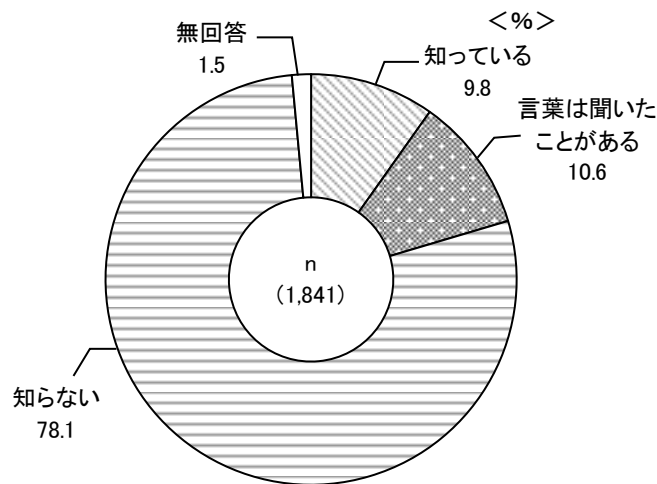
- 「現在、参加している」は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、70歳以上（23.5%）で2割台半ば、60～69歳（19.3%）で約2割となっている。
- 「関心がないので、参加していない」は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向がみられ、18～29歳（44.0%）で4割台半ば、30～39歳（34.7%）で3割台半ばとなっている。



3 東アジア文化都市について

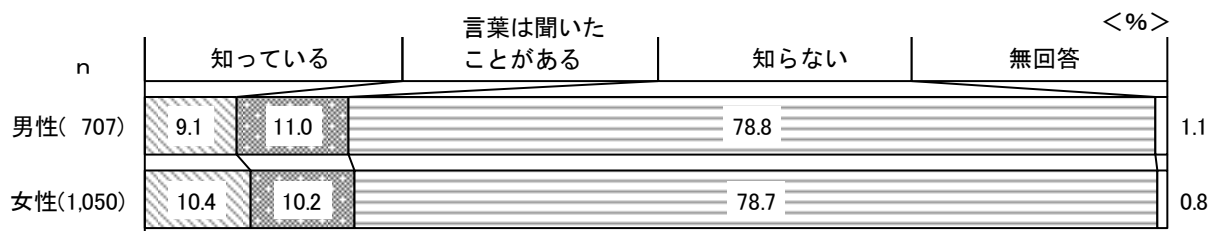
3-① 豊島区が2019年「東アジア文化都市」に決定したことの認知〔問13〕

- 豊島区が2019年「東アジア文化都市」に決定したことを知っているか聞いたところ、「知らない」(78.1%)が8割弱と最も高くなっている。
- 「知っている」(9.8%)と「言葉は聞いたことがある」(10.6%)を合わせた“認知度”(20.4%)は、約2割となっている。



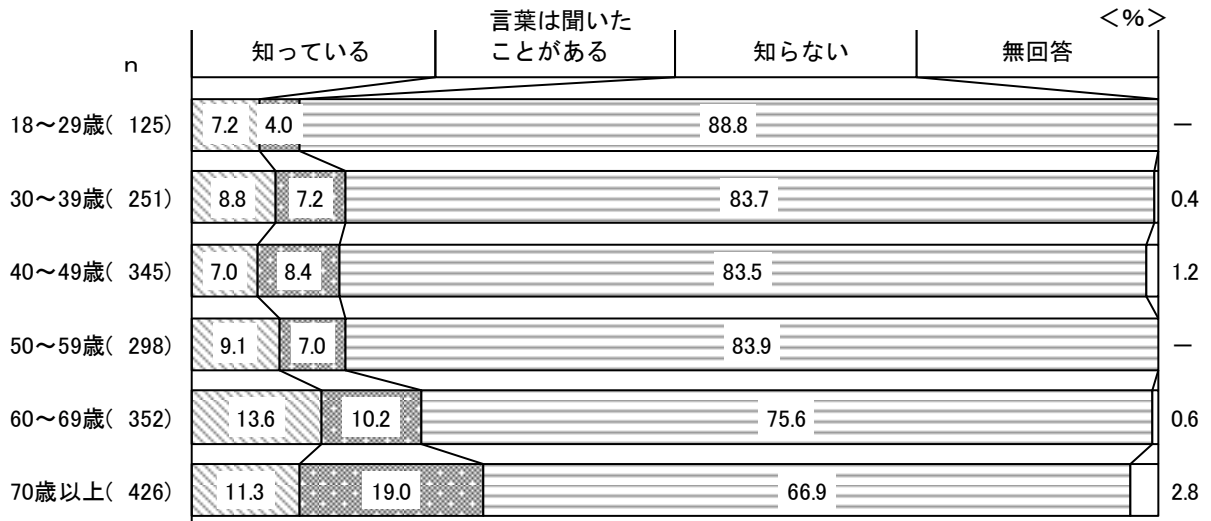
【性別】

- 大きな差異はみられない。



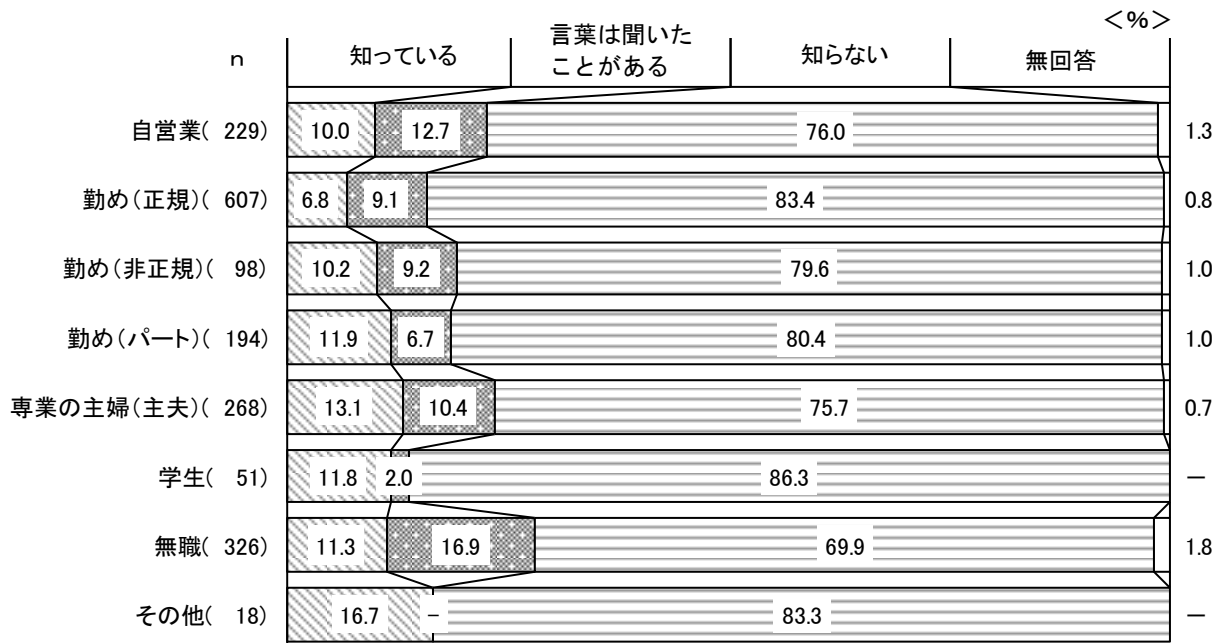
【年齢別】

● “認知度” は、“70 歳以上（30.3%）が約3割と最も高く、次いで、60～69 歳（23.8%）が2割台半ばとなっている。



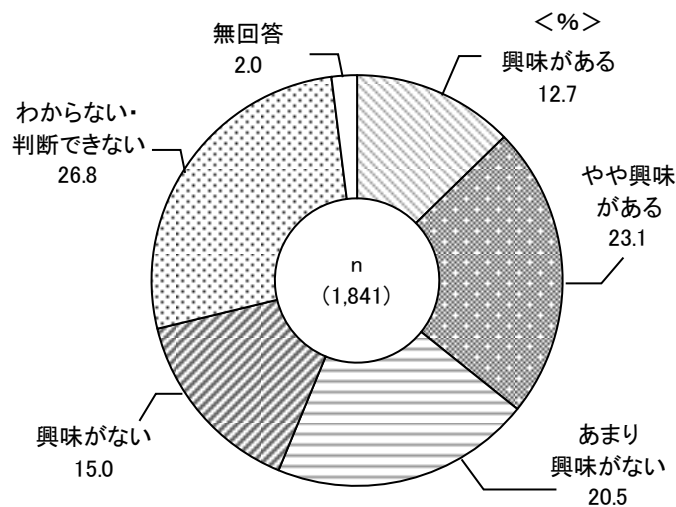
【職業別】

● “認知度” は無職（28.2%）が3割弱と最も高く、次いで、専業の主婦（主夫）（23.5%）、自営業（22.7%）が2割以上となっている。



3-② 「東アジア文化都市 2019 豊島」への興味関心〔問 14〕

- 「東アジア文化都市 2019 豊島」への興味関心を聞いたところ、「興味がある」(12.7%)と「やや興味がある」(23.1%)を合わせた“興味がある”(35.8%)としてみると、3割台半ばとなっている。
- 「あまり興味がない」(20.5%)と「興味がない」(15.0%)を合わせた“興味がない”(35.5%)としてみると、3割台半ばとなっている。



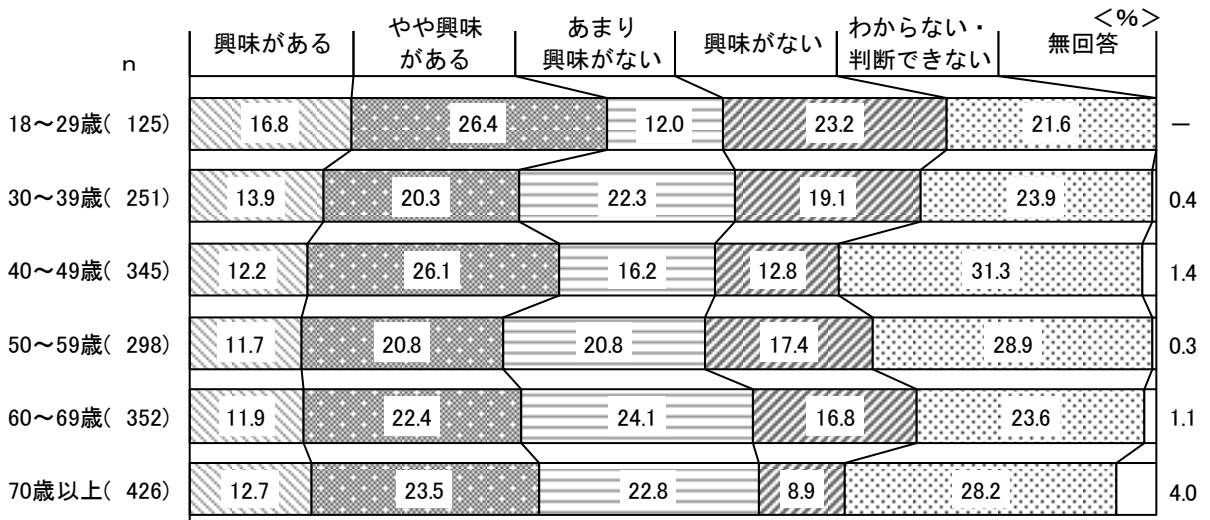
【性別】

- “興味がある”は女性(37.1%)が男性(33.5%)に比べて3.6ポイント高くなっている。

n	興味関心					<%>
	興味がある	やや興味がある	あまり興味がない	興味がない	わからない・判断できない	
男性(707)	11.9	21.6	21.4	18.8	25.0	1.3
女性(1,050)	13.2	23.9	20.4	12.5	28.4	1.6

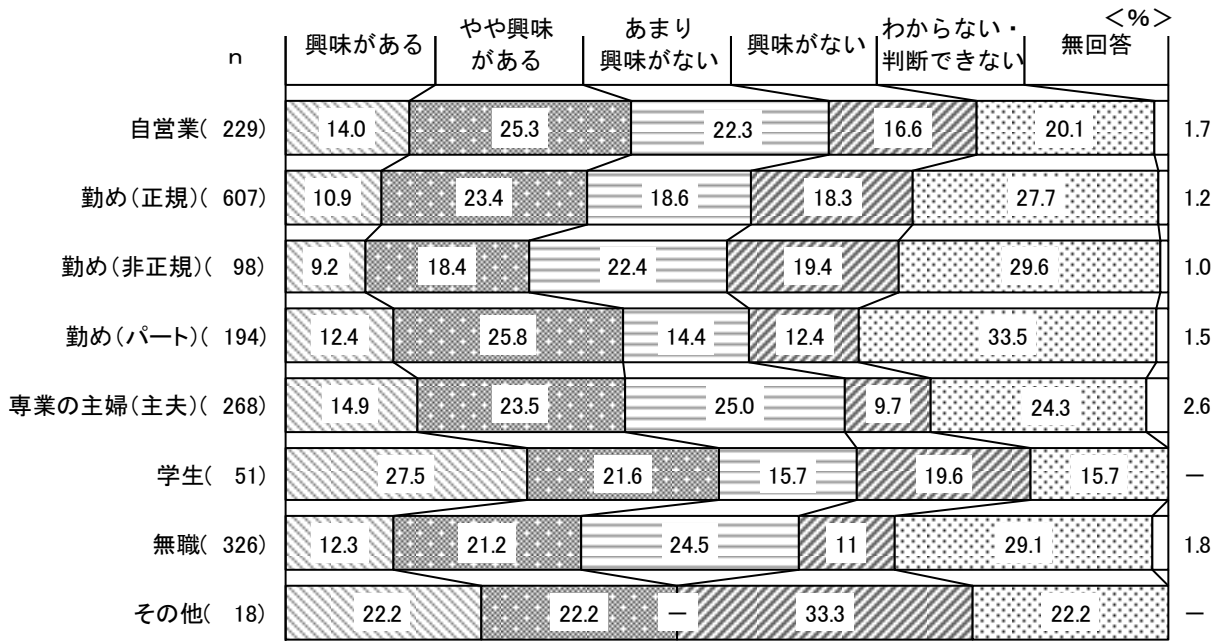
【年齢別】

● “興味がある”は18～29歳(43.2%)が4割台半ばと最も高く、次いで、40～49歳(38.3%)が4割弱となっている。



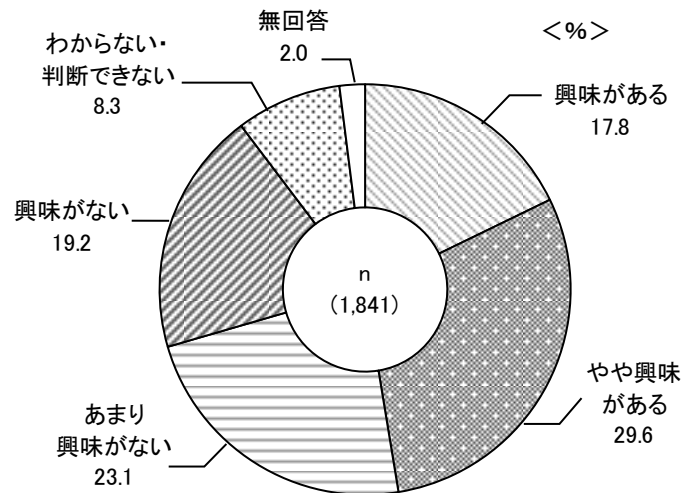
【職業別】

● “興味がある”は学生(49.1%)が約5割と最も高く、次いで、自営業(39.3%)が約4割となっている。



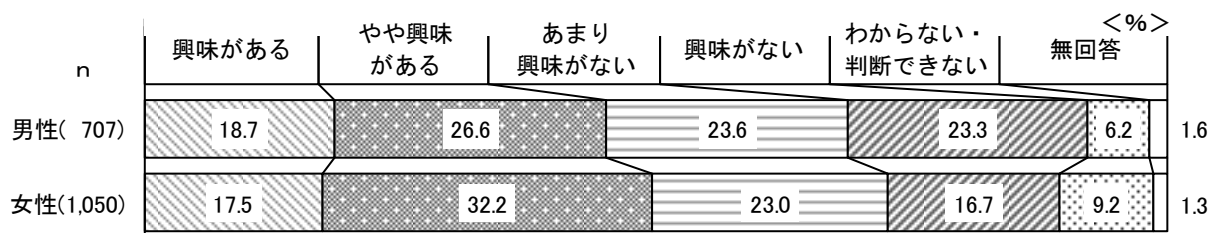
3-③ 中国、韓国の文化への興味関心〔問 15〕

- 中国、韓国の文化への興味関心を聞いたところ、「興味がある」(17.8%)と「やや興味がある」(29.6%)を合わせた“興味がある”(47.4%)としてみると、5割弱となっている。
- 「あまり興味がない」(23.1%)と「興味がない」(19.2%)を合わせた“興味がない”(42.3%)としてみると、4割強となっている。



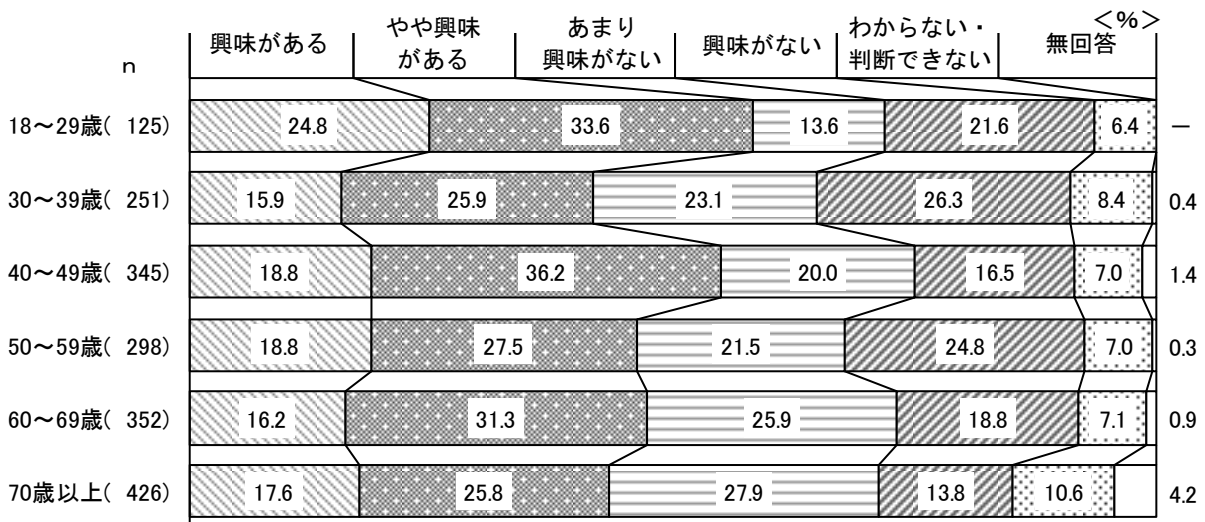
【性別】

- “興味がある”は女性(49.7%)が男性(45.3%)に比べて4.4ポイント高くなっている。



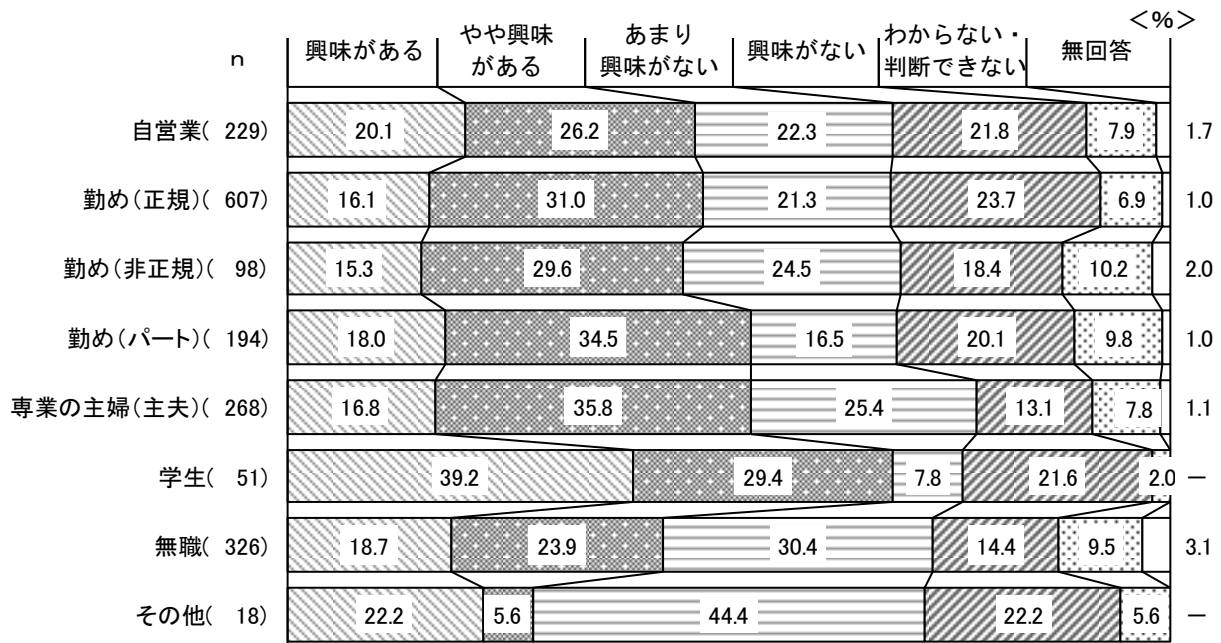
【年齢別】

● “興味がある”は18～29歳（58.4%）が6割弱と最も高く、次いで、40～49歳（55.0%）が5割台半ばとなっている。



【職業別】

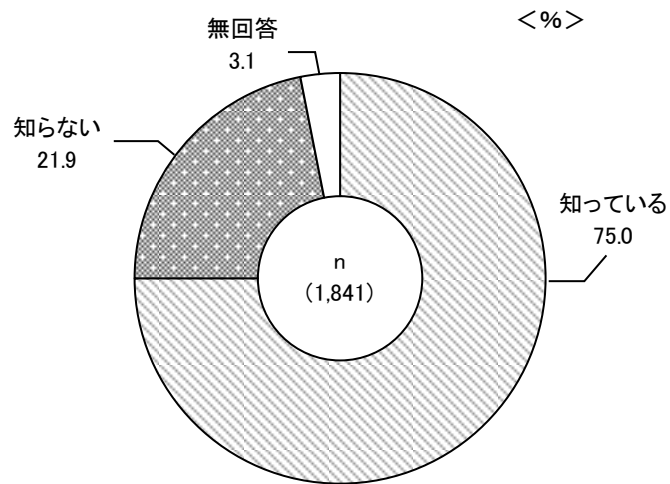
● “興味がある”は学生（68.6%）が7割弱と最も高く、次いで、専業の主婦（主夫）（52.6%）、勤め（パート）（52.5%）が5割強となっている。



4 多様な性自認・性的指向の人々（いわゆる性的少数者）について

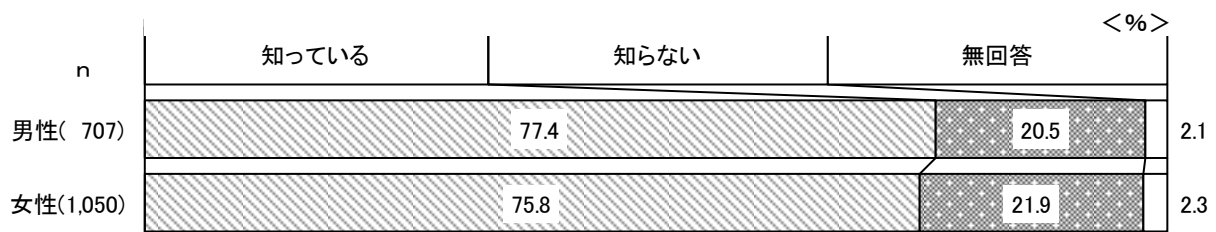
4-① 性的少数者（LGBT等）という言葉の認知〔問16〕

- 性的少数者（LGBT等）という言葉を知っているか聞いたところ、「知っている」（75.0%）が7割台半ば、「知らない」（21.9%）が2割強となっている。



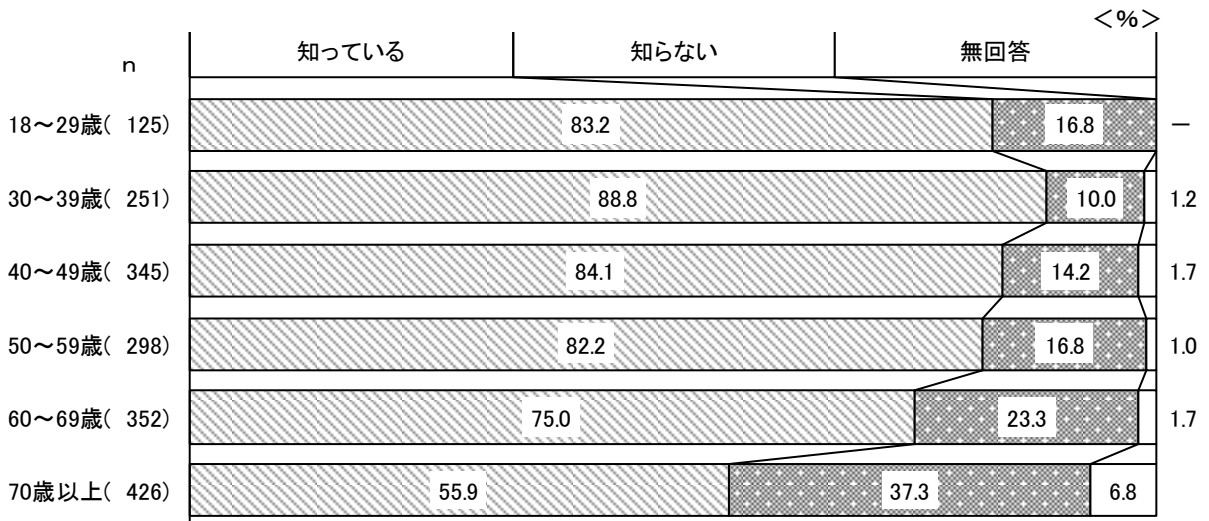
【性別】

- 大きな差異はみられない。



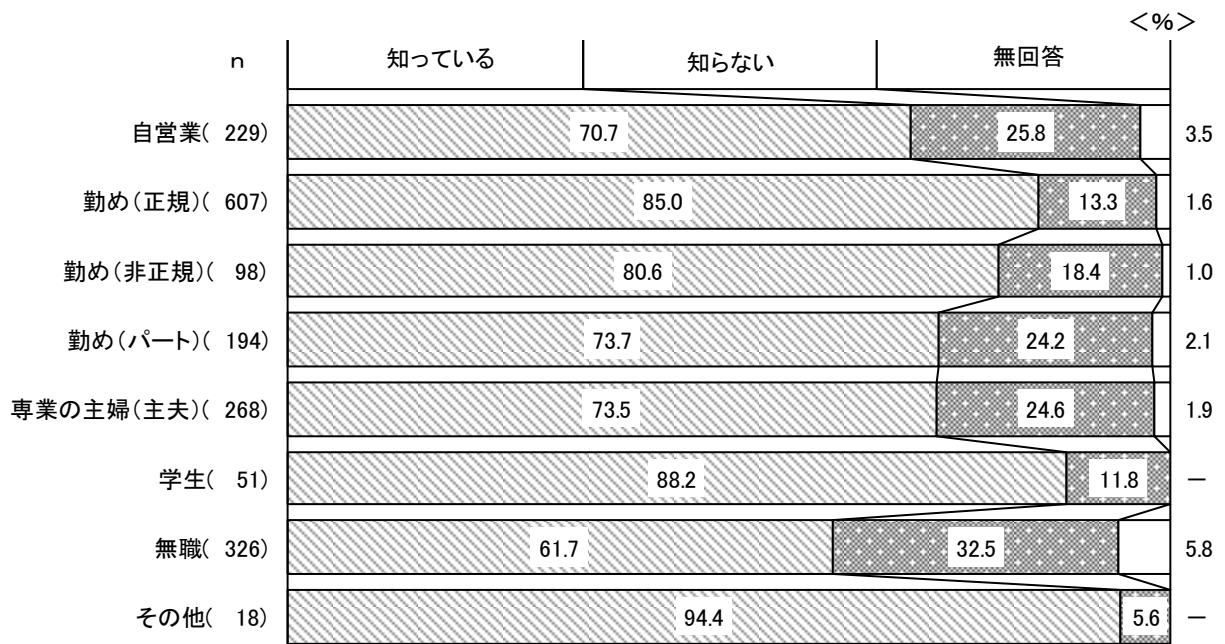
【年齢別】

●「知っている」は30～39歳（88.8%）が9割弱と最も高く、次いで、40～49歳（84.1%）が8割台半ばとなっている。



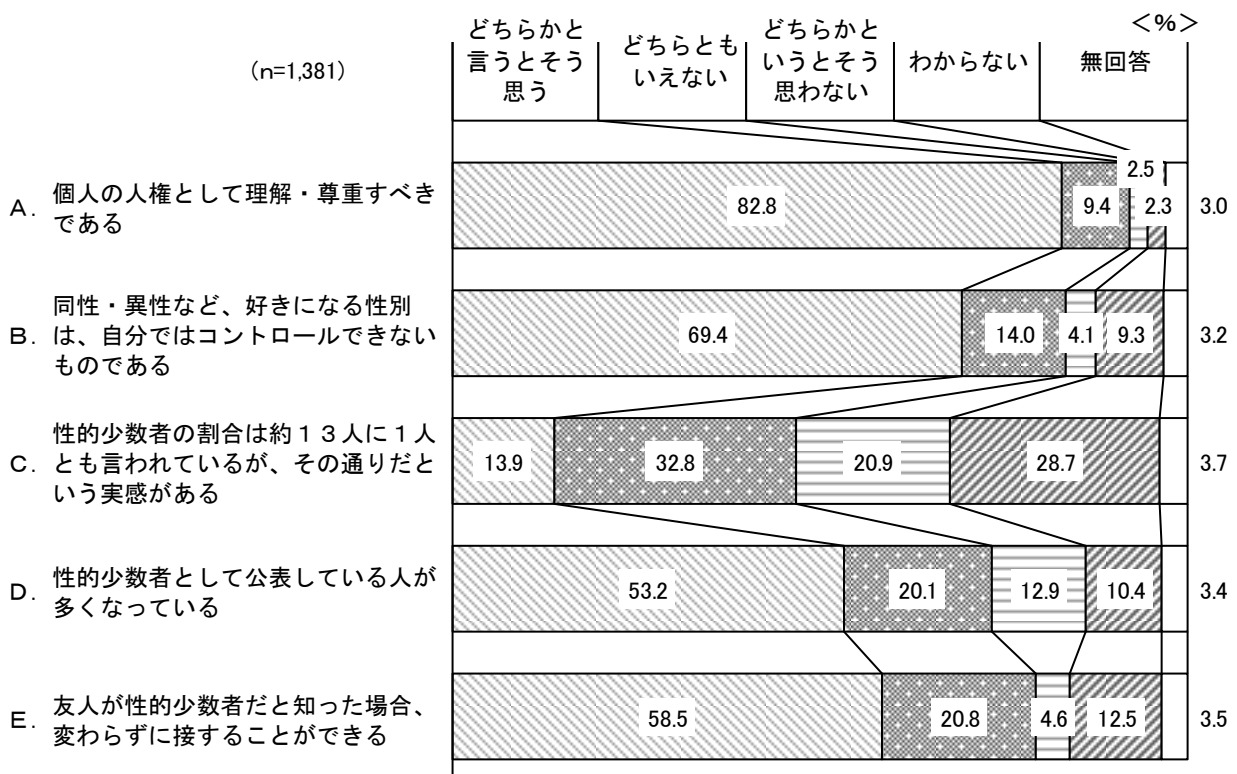
【職業別】

●「知っている」は学生（88.2%）が9割弱と最も高く、次いで、勤め（正規）（85.0%）が8割台半ばとなっている。



4-② 性的少数者（LGBT等）の考えやイメージ〔問17〕

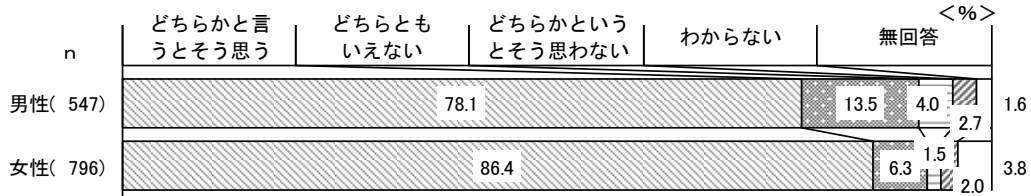
- この設問は、問16で性的少数者（LGBT等）という言葉を知っている」と回答した人に聞いている。
- 性的少数者（LGBT等）に関する考えやイメージを聞いたところ、「どちらかと言うとそう思う」は、「A. 個人の人権として理解・尊重すべきである」（82.8%）が8割強と最も高く、以下、「B. 同性・異性など、好きになる性別は、自分ではコントロールできないものである」（69.4%）が約7割、「E. 友人が性的少数者だと知った場合、変わらずに接することができる」（58.5%）が6割弱、「D. 性的少数者として公表している人が多くなっている」（53.2%）が5割台半ば、「C. 性的少数者の割合は約13人に1人とも言われているが、その通りだという実感がある」（13.9%）が1割台半ばとなっている。



A. 個人の人権として理解・尊重すべきである

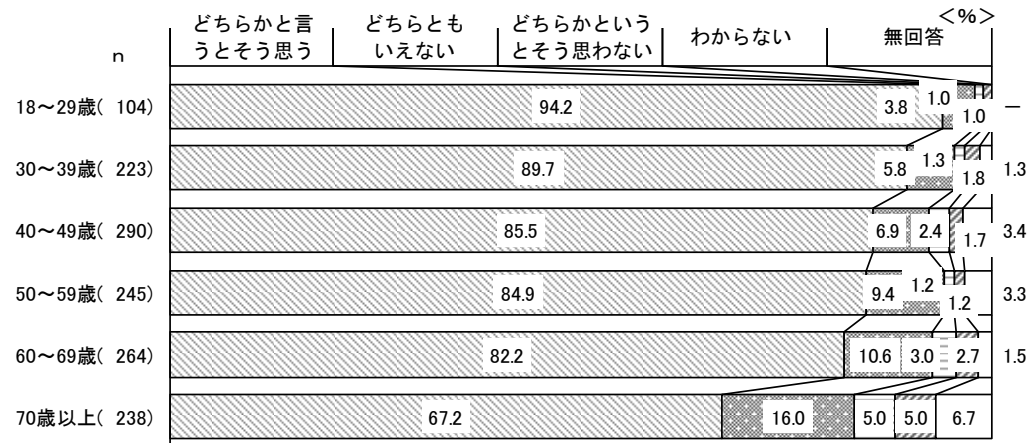
【性別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は女性（86.4%）が男性（78.1%）に比べて8.3ポイント高くなっている。



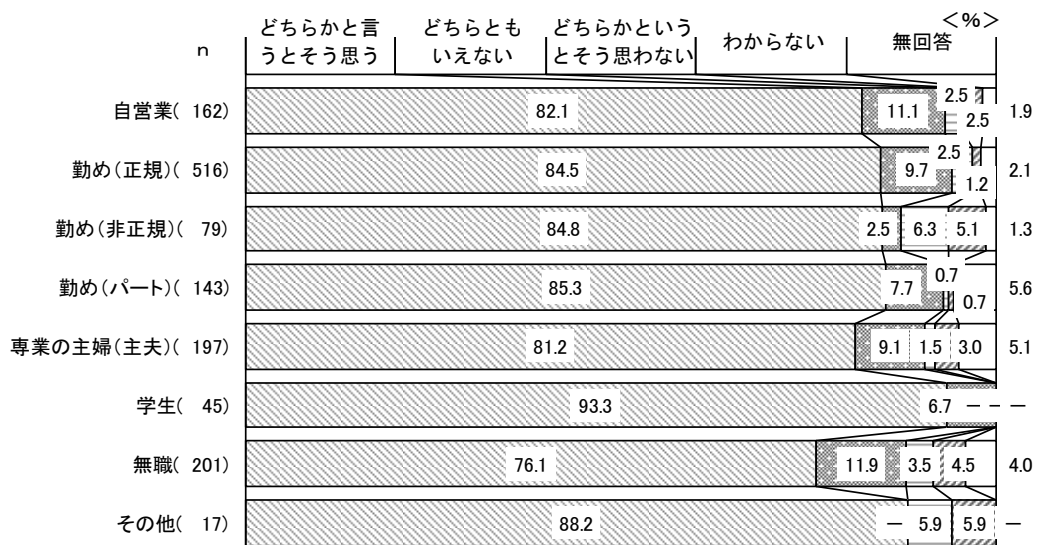
【年齢別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は18~29歳（94.2%）が9割台半ばと最も高く、次いで、30~39歳（89.7%）が約9割となっている。



【職業別】

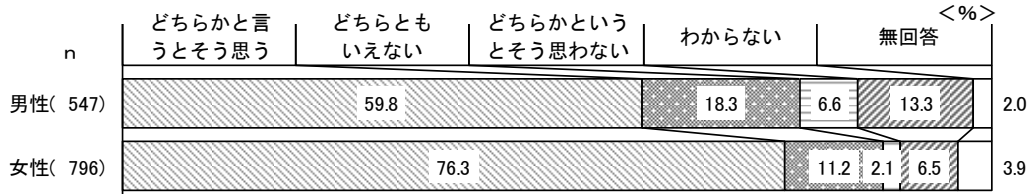
- 「どちらかと言うとそう思う」は学生（93.3%）が9割台半ばと最も高くなっている。



B. 同性・異性など、好きになる性別は、自分ではコントロールできないものである

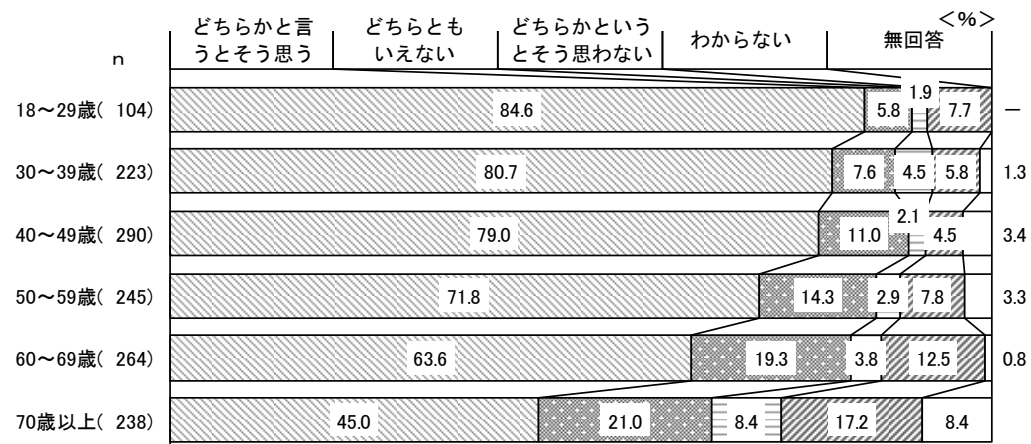
【性別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は女性（76.3%）が男性（59.8%）に比べて16.5ポイント高くなっている。



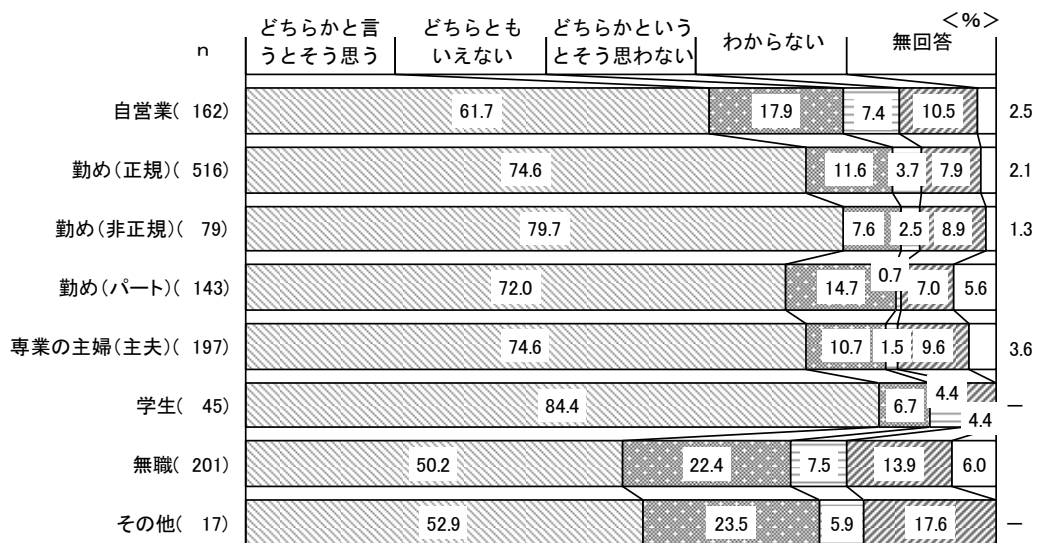
【年齢別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は18~29歳（84.6%）が8割台半ばと最も高く、次いで、30~39歳（80.7%）、40~49歳（79.0%）が約8割となっている。



【職業別】

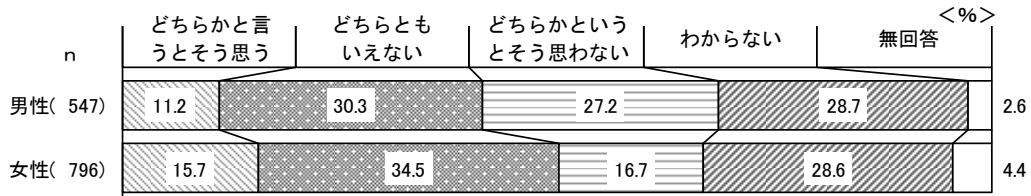
- 「どちらかと言うとそう思う」は学生（84.4%）が8割台半ばと最も高くなっている。



C. 性的少数者の割合は約13人に1人とも言われているが、その通りだという実感がある

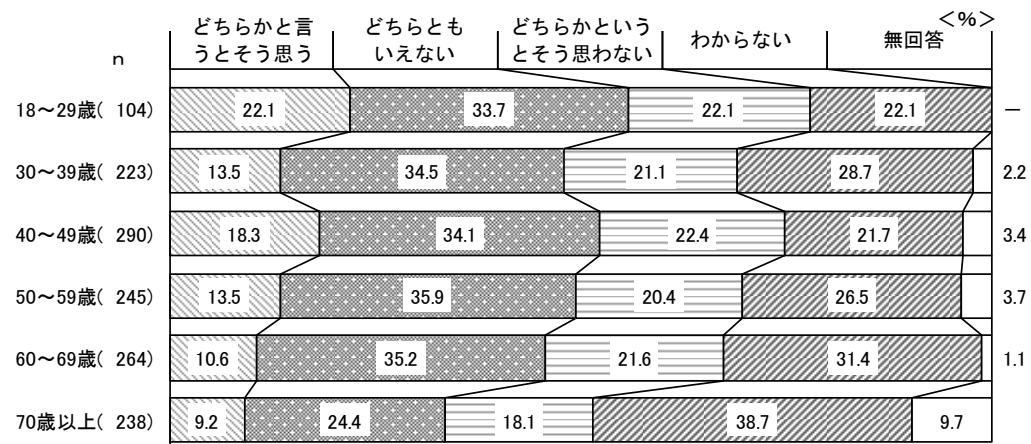
【性別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は女性（15.7%）が男性（11.2%）に比べて4.5ポイント高くなっている。



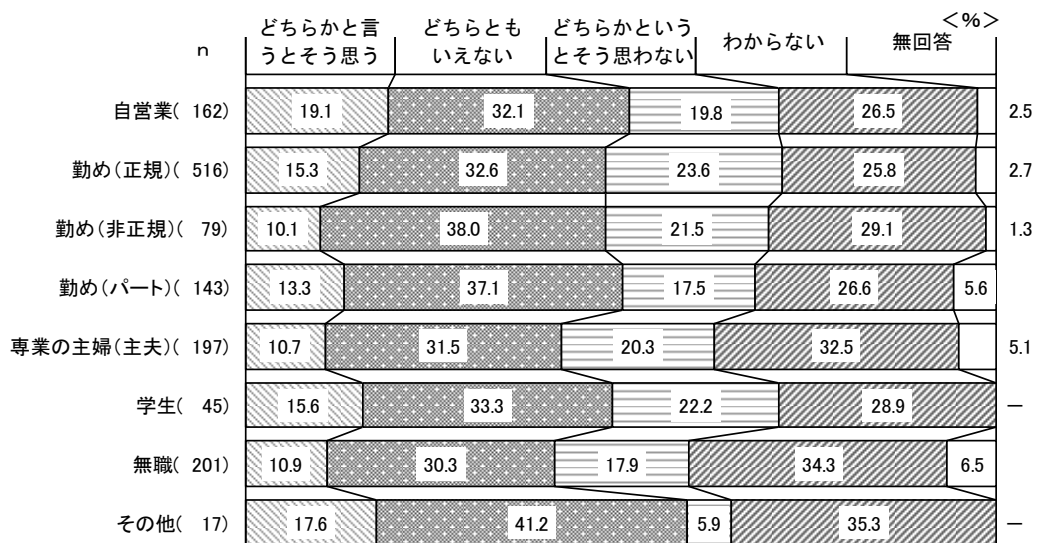
【年齢別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は18~29歳（22.1%）が2割強と最も高く、次いで、40~49歳（18.3%）が2割弱となっている。



【職業別】

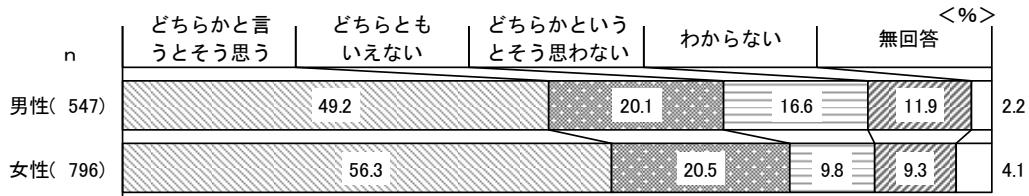
- 「どちらかと言うとそう思う」は自営業（19.1%）が約2割と最も高くなっている。



D. 性的少数者として公表している人が多くなっている

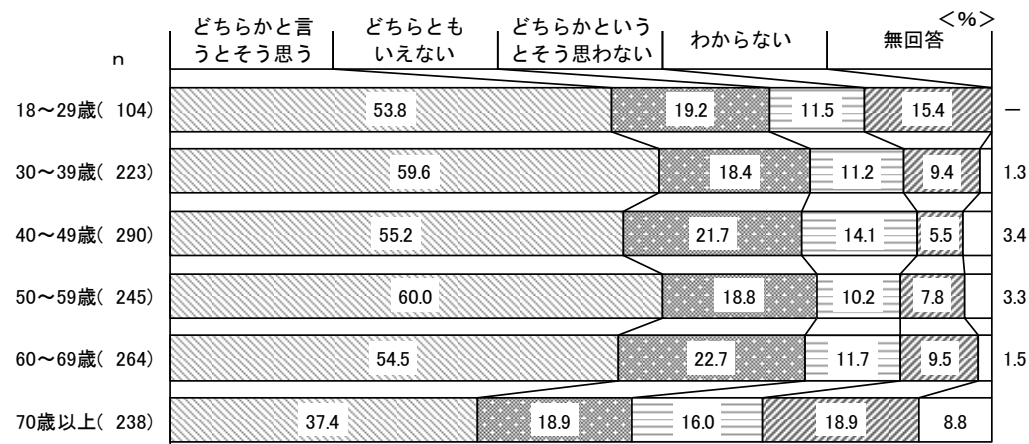
【性別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は女性（56.3%）が男性（49.2%）に比べて7.1ポイント高くなっている。



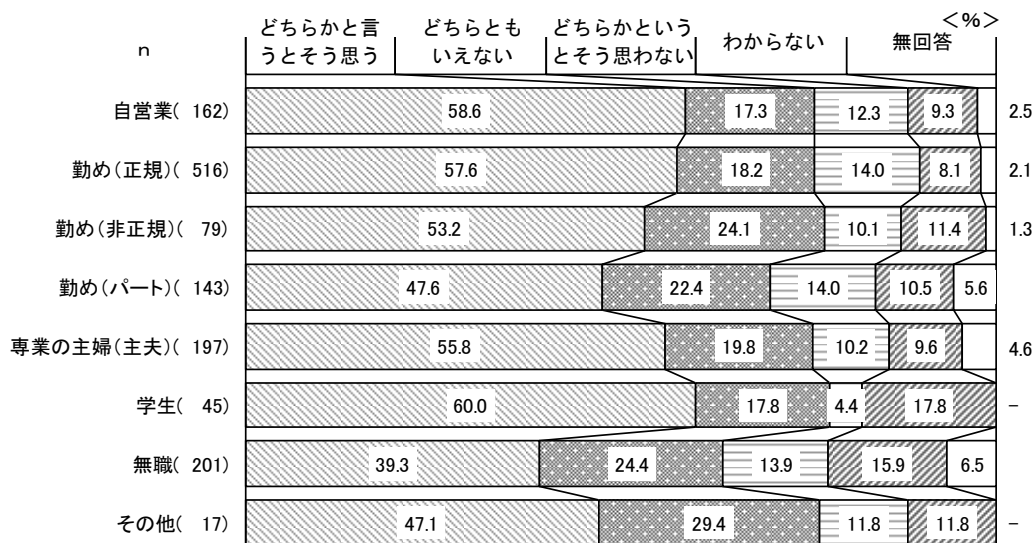
【年齢別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は50～59歳（60.0%）、30～39歳（59.6%）が約6割と高くなっている。



【職業別】

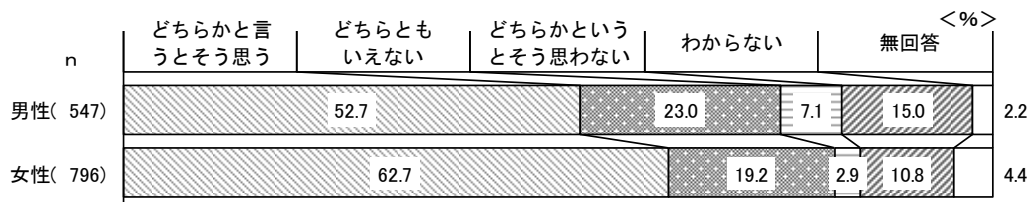
- 「どちらかと言うとそう思う」は学生（60.0%）が6割と最も高くなっている。



E. 友人が性的少数者だと知った場合、変わらずに接することができる

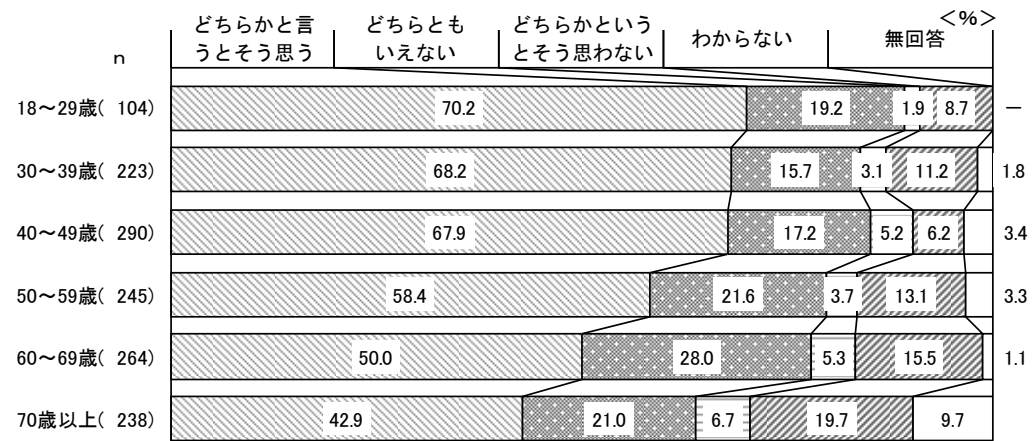
【性別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は女性（62.7%）が男性（52.7%）に比べて 10.0 ポイント高くなっている。



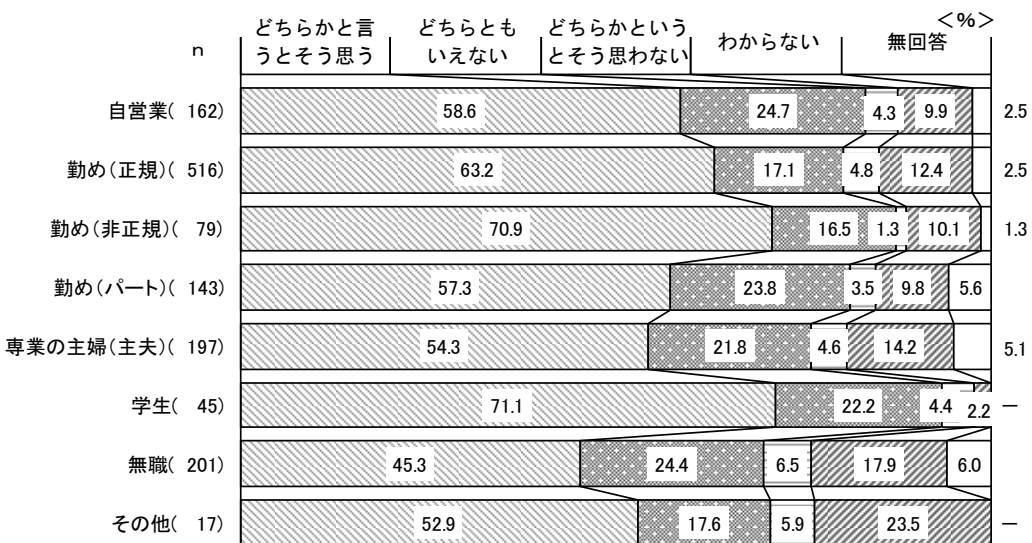
【年齢別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は 18~29 歳（70.2%）が約7割と最も高く、次いで、30~39 歳（68.2%）、40~49 歳（67.9%）が7割弱となっている。



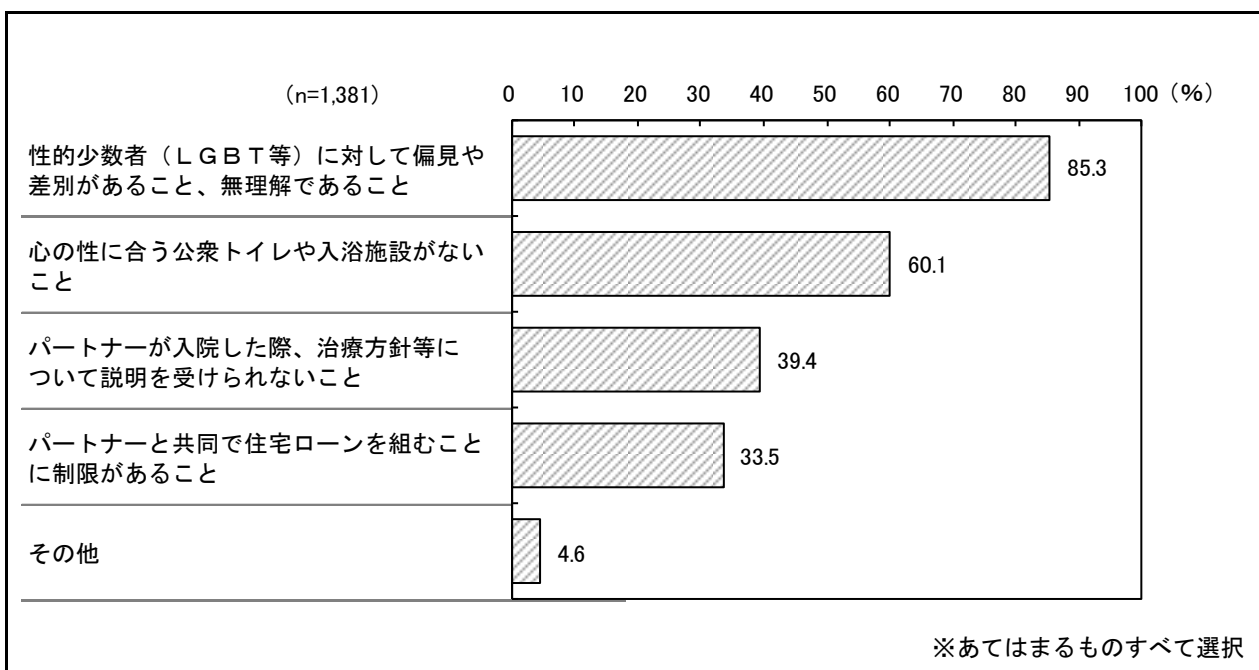
【職業別】

- 「どちらかと言うとそう思う」は学生（71.1%）、勤め（非正規）（70.9%）が7割以上と高くなっている。



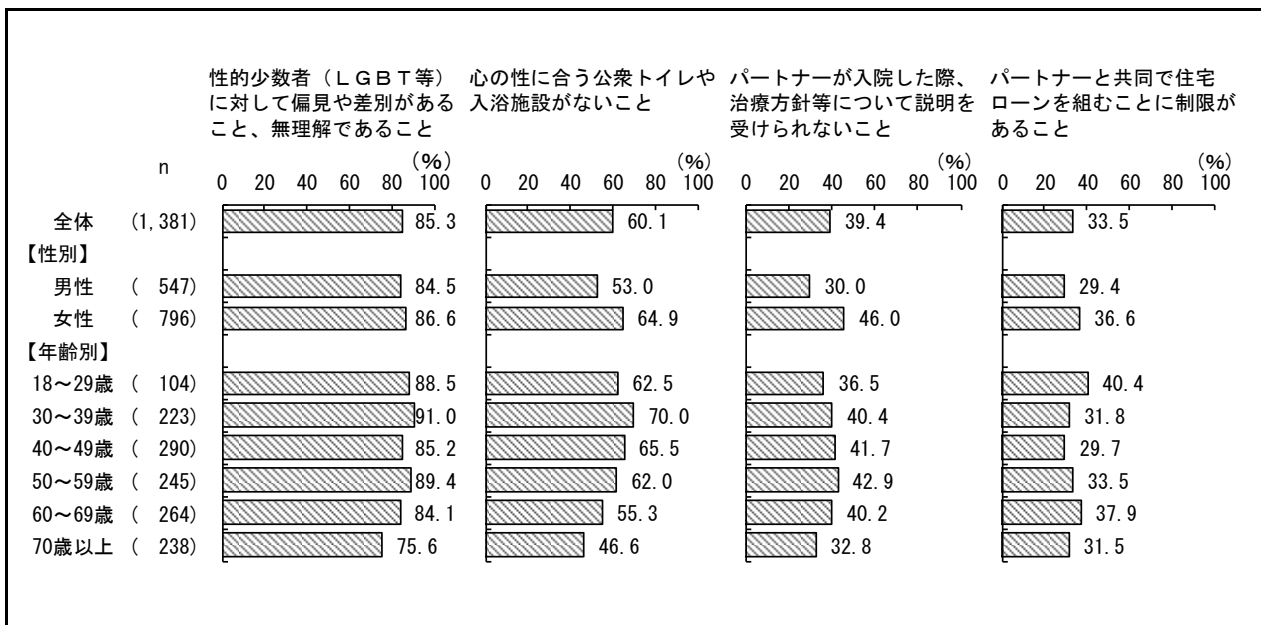
4－③ 性的少数者（LGBT等）が困っていること〔問18〕

- この設問は、問16で性的少数者（LGBT等）という言葉を知っている」と回答した人に聞いている。
- 性的少数者（LGBT等）が困っていることを知っているか聞いたところ、「性的少数者（LGBT等）に対して偏見や差別があること、無理解であること」（85.3%）が8割台半ばと最も高く、以下、「心の性に合う公衆トイレや入浴施設がないこと」（60.1%）、「パートナーが入院した際、治療方針等について説明を受けられないこと」（39.4%）、「パートナーと共同で住宅ローンを組むことに制限があること」（33.5%）となっている。



【性別・年齢別】

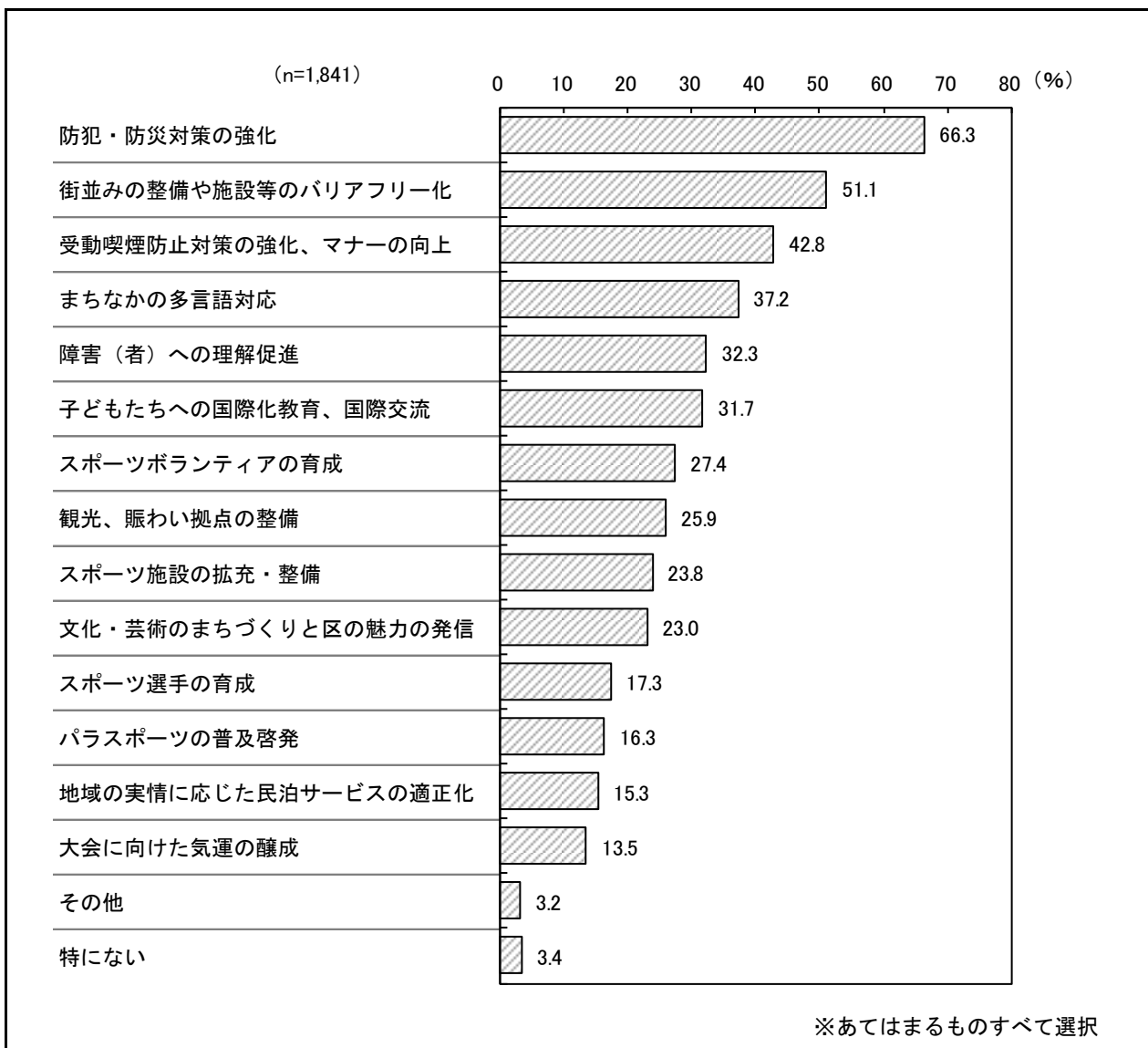
- 性別で見ると、「パートナーが入院した際、治療方針等について説明を受けられないこと」は女性（46.0%）が男性（30.0%）に比べて16.0ポイント、「心の性に合う公衆トイレや入浴施設がないこと」は女性（64.9%）が男性（53.0%）に比べて11.9ポイント、それぞれ高くなっている。
- 年齢別で見ると、「性的少数者（LGBT等）に対して偏見や差別があること、無理解であること」は30～39歳（91.0%）が9割強と最も高く、次いで、50～59歳（89.4%）が約9割となっている。「心の性に合う公衆トイレや入浴施設がないこと」は30～39歳（70.0%）が7割と最も高く、次いで、40～49歳（65.5%）が6割台半ばとなっている。



5 東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて

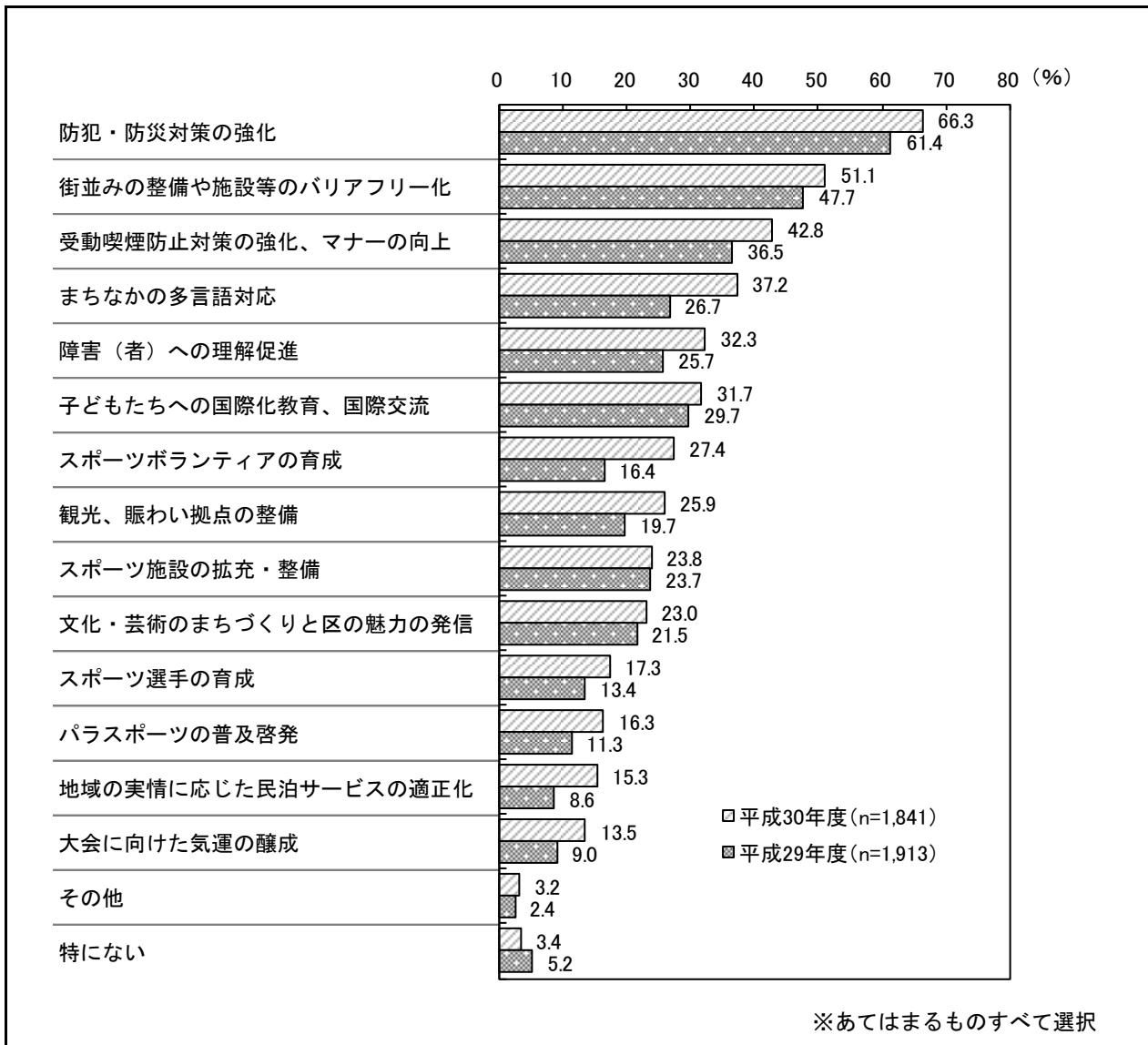
5-① 東京 2020 大会へ向けて区が力を入れること〔問 19〕

- 東京 2020 大会へ向けて区が力を入れることを聞いたところ、「防犯・防災対策の強化」(66.3%) が6割台半ばと最も高く、以下、「街並みの整備や施設等のバリアフリー化」(51.1%)、「受動喫煙防止対策の強化、マナーの向上」(42.8%)、「まちなかの多言語対応」(37.2%) などとなっている。



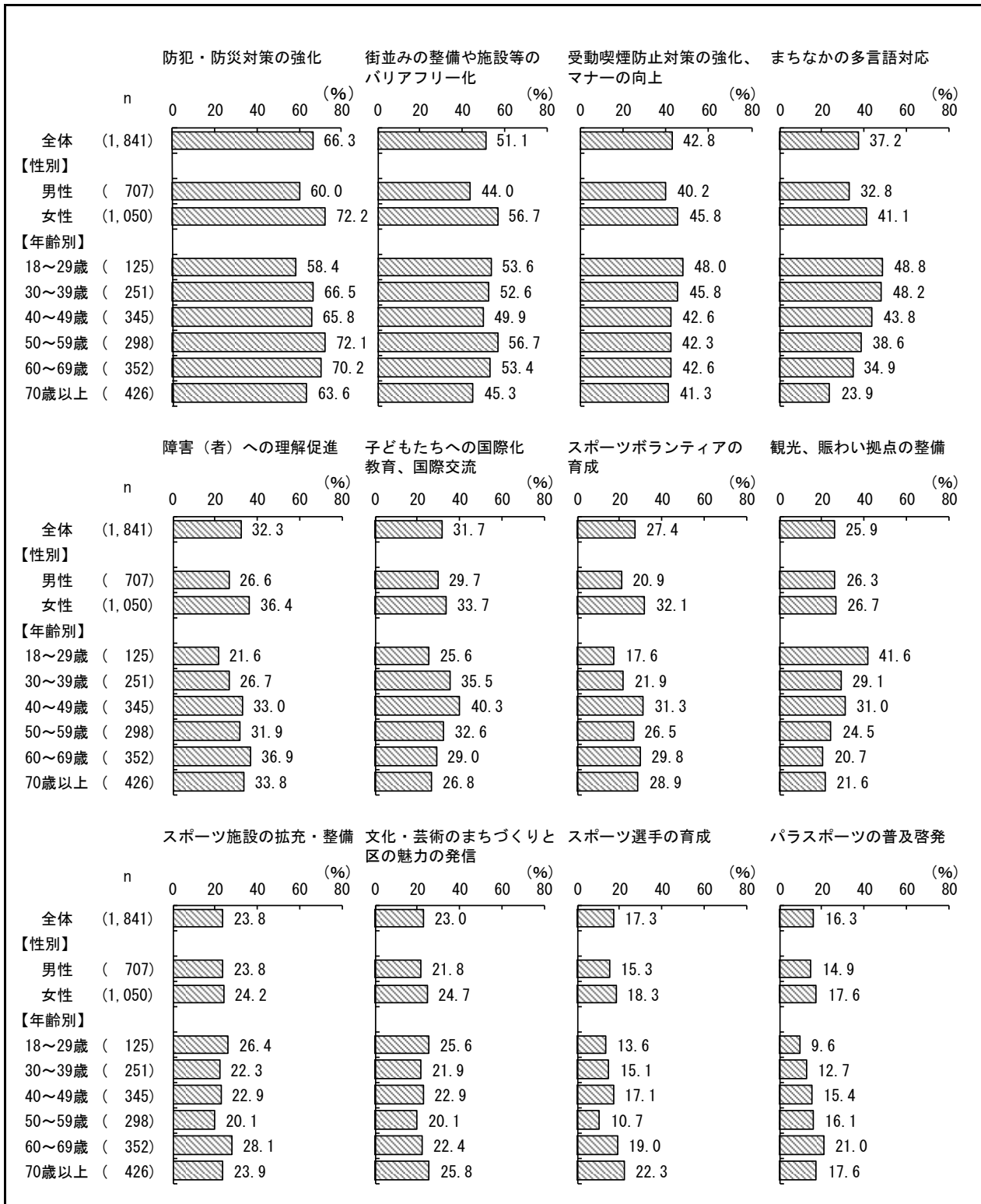
【経年比較】

●過去の調査と比較すると、平成29年度から「スポーツボランティアの育成」が11.0ポイント、「まちなかの多言語対応」が10.5ポイント、それぞれ高くなっている。



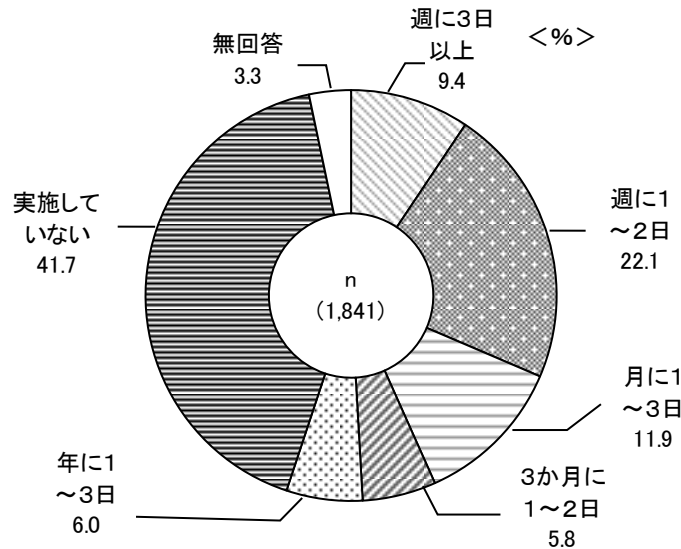
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「防犯・防災対策の強化」は女性（72.2%）が男性（60.0%）に比べて12.2ポイント、「街並みの整備や施設等のバリアフリー化」は女性（56.7%）が男性（44.0%）に比べて12.7ポイント、それぞれ高くなっている。
- 年齢別で見ると、「防犯・防災対策の強化」は50～59歳（72.1%）が7割強と最も高く、次いで、60～69歳（70.2%）が約7割となっている。



5-② スポーツの実施頻度〔問 20〕

- スポーツの実施頻度を聞いたところ、「週に3日以上」(9.4%)、「週に1～2日」(22.1%)、「月に1～3日」(11.9%)を合わせた“月1日以上実施している”(43.4%)は4割台半ばとなっている。
- 「実施していない」(41.7%)は4割強となっている。



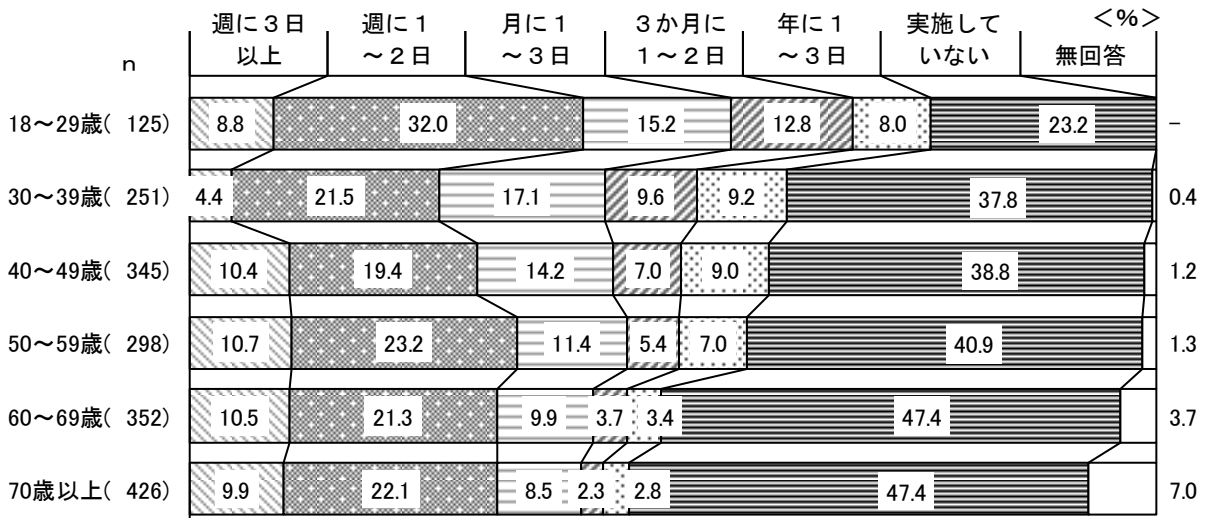
【性別】

- 「月に1～3日」は男性(16.5%)が女性(9.2%)に比べて7.3ポイント高くなっている。
- 「実施していない」は女性(45.0%)が男性(36.4%)に比べて8.6ポイント高くなっている。

n	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	3か月に1～2日	年に1～3日	実施していない	無回答	<%>
男性(707)	9.6	21.9	16.5	6.2	5.9	36.4		3.4
女性(1,050)	9.3	22.6	9.2	5.3	6.3	45.0		2.3

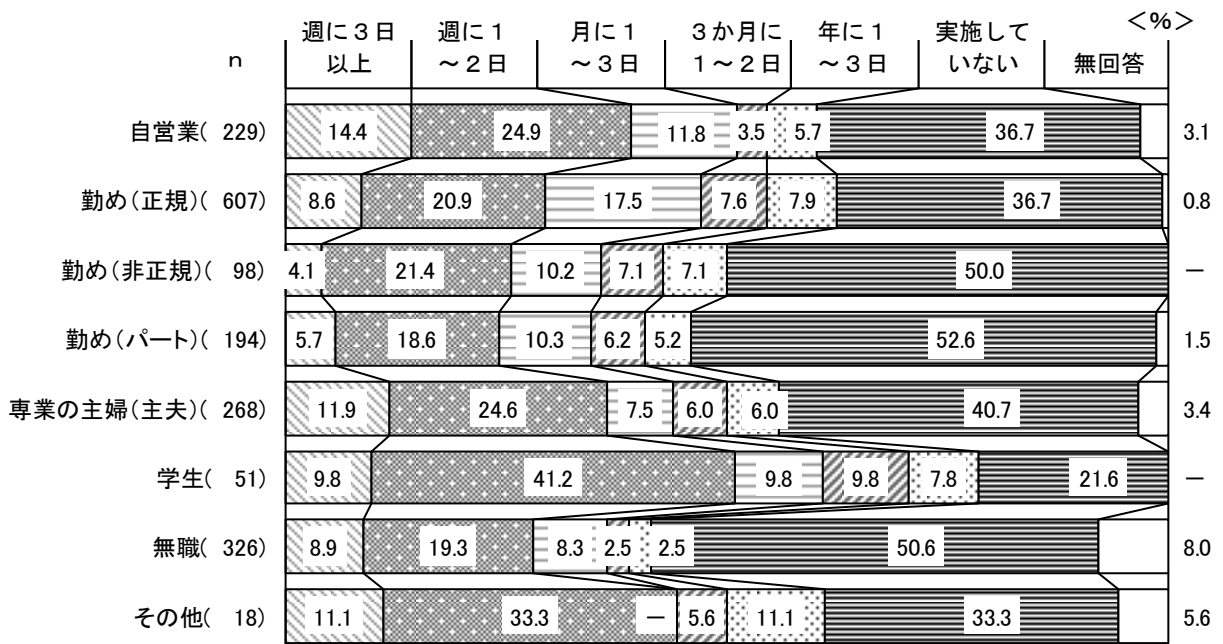
【年齢別】

- 「週に1～2日」は18～29歳（32.0%）が3割強と最も高くなっている。
- 「月に1～3日」は30～39歳（17.1%）が2割弱と最も高くなっている。
- 「実施していない」は60～69歳（47.4%）、70歳以上（47.4%）がともに5割弱と高くなっている。



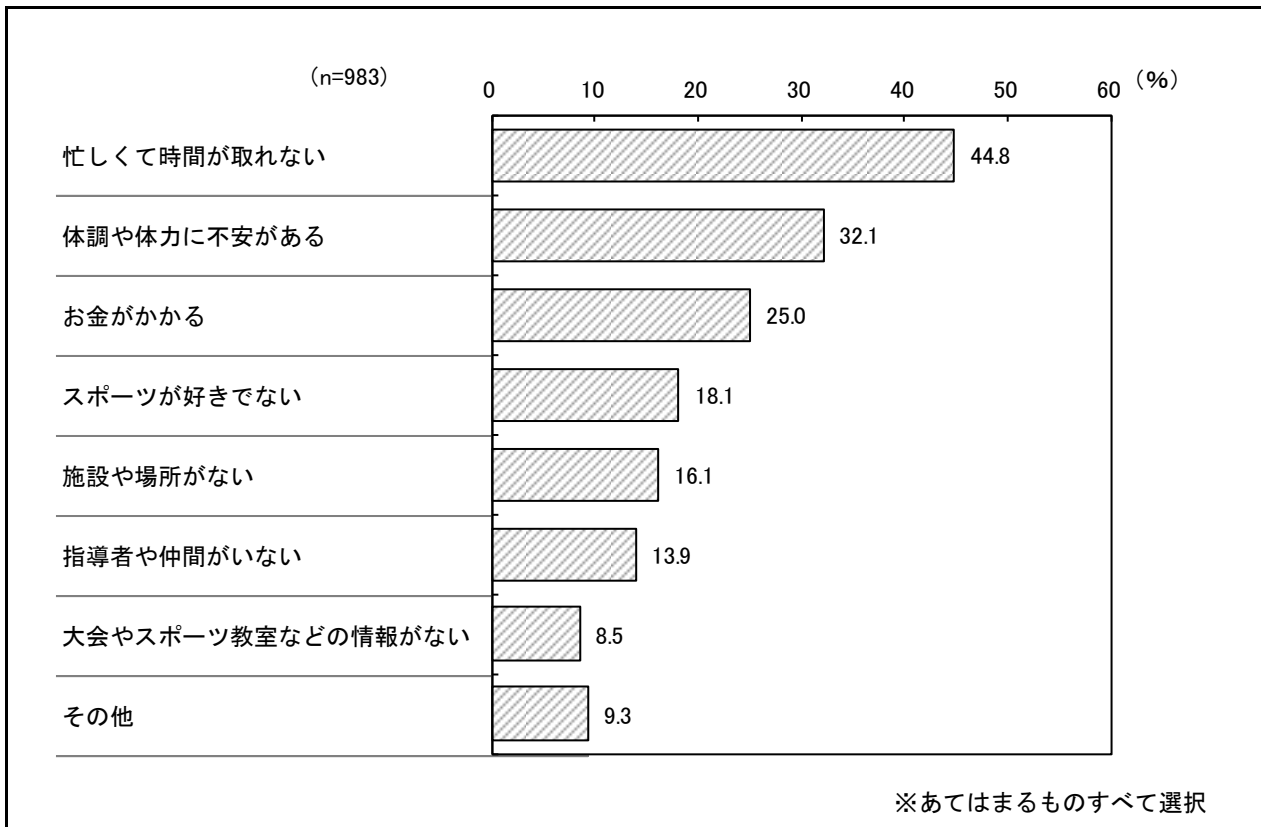
【職業別】

- 「週に1～2日」は学生（41.2%）が4割強と最も高く、次いで、自営業（24.9%）、専業主婦（主夫）（24.6%）がともに2割台半ばとなっている。
- 「月に1～3日」は勤め（正規）（17.5%）が2割弱と最も高くなっている。
- 「実施していない」は勤め（パート）（52.6%）が5割強と最も高く、次いで、無職（50.6%）、勤め（非正規）（50.0%）がともに5割以上となっている。



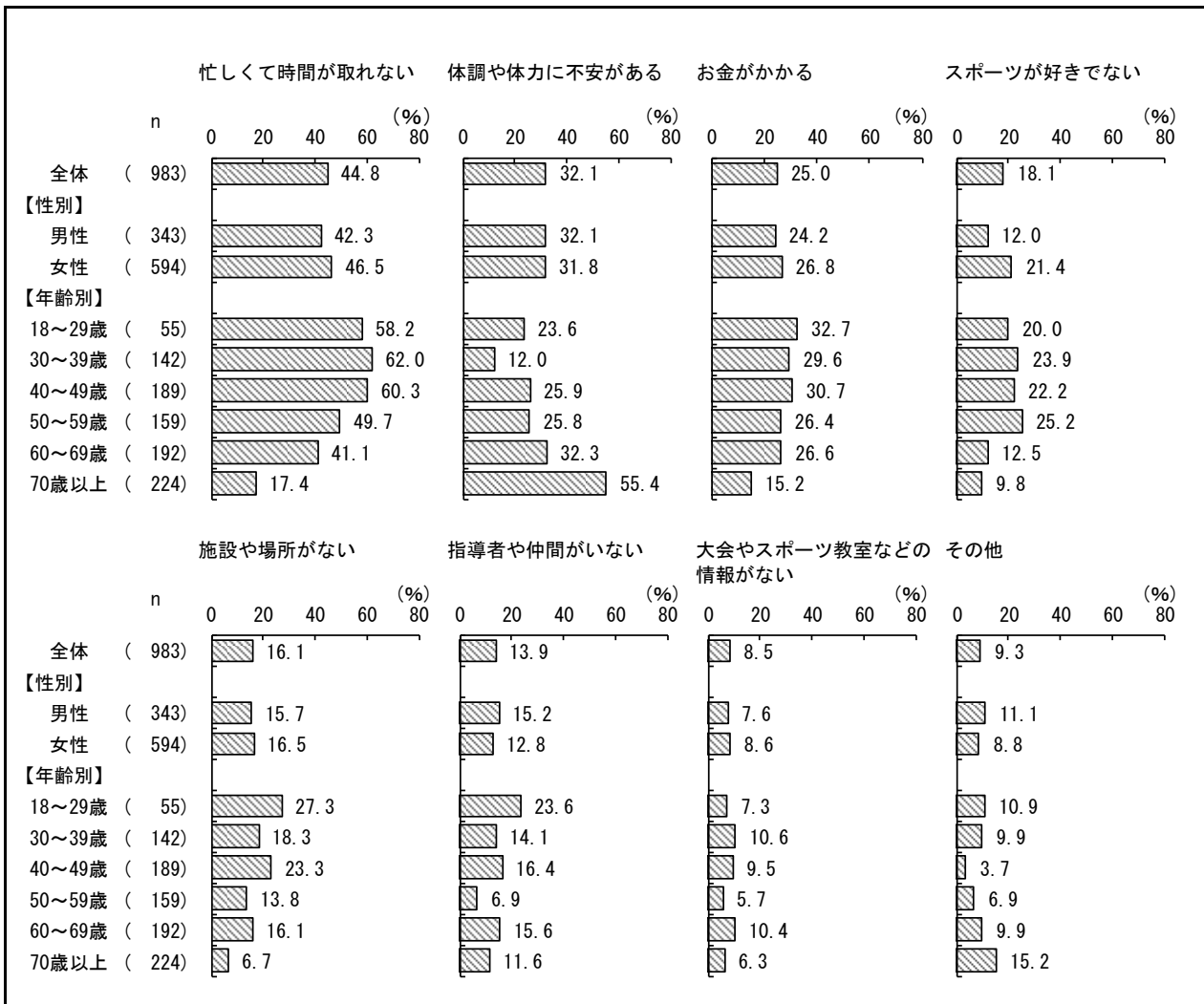
5-③ スポーツをしない理由〔問20-1〕

- この設問は、問20で「3か月に1～2日」、「年に1～3日」、「実施していない」と回答した人に聞いている。
- スポーツをしない理由を聞いたところ、「忙しくて時間が取れない」(44.8%)が4割台半ばと最も高く、以下、「体調や体力に不安がある」(32.1%)、「お金がかかる」(25.0%)、「スポーツが好きでない」(18.1%) などとなっている。



【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「スポーツが好きでない」は女性（21.4%）が男性（12.0%）に比べて9.4ポイント、「忙しくて時間が取れない」は女性（46.5%）が男性（42.3%）に比べて4.2ポイント、それぞれ高くなっている。
- 年齢別で見ると、「忙しくて時間が取れない」は30～39歳（62.0%）が6割強と最も高く、次いで、40～49歳（60.3%）が約6割となっている。「体調や体力に不安がある」は70歳以上（55.4%）が5割台半ばと最も高く、次いで、60～69歳（32.3%）が3割強となっている。

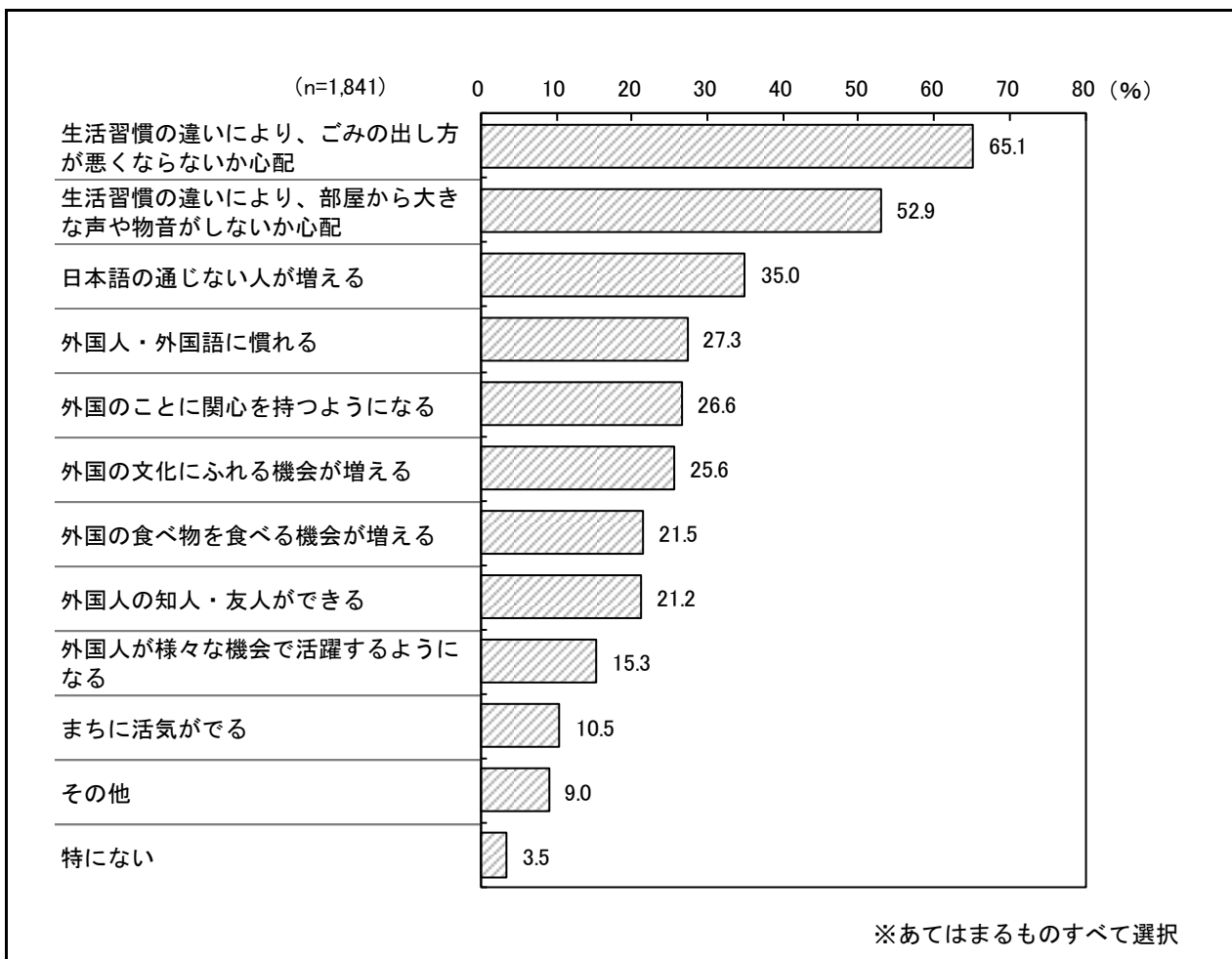


6 多文化共生のまちづくりについて

「多文化共生社会」とは、「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を言います。

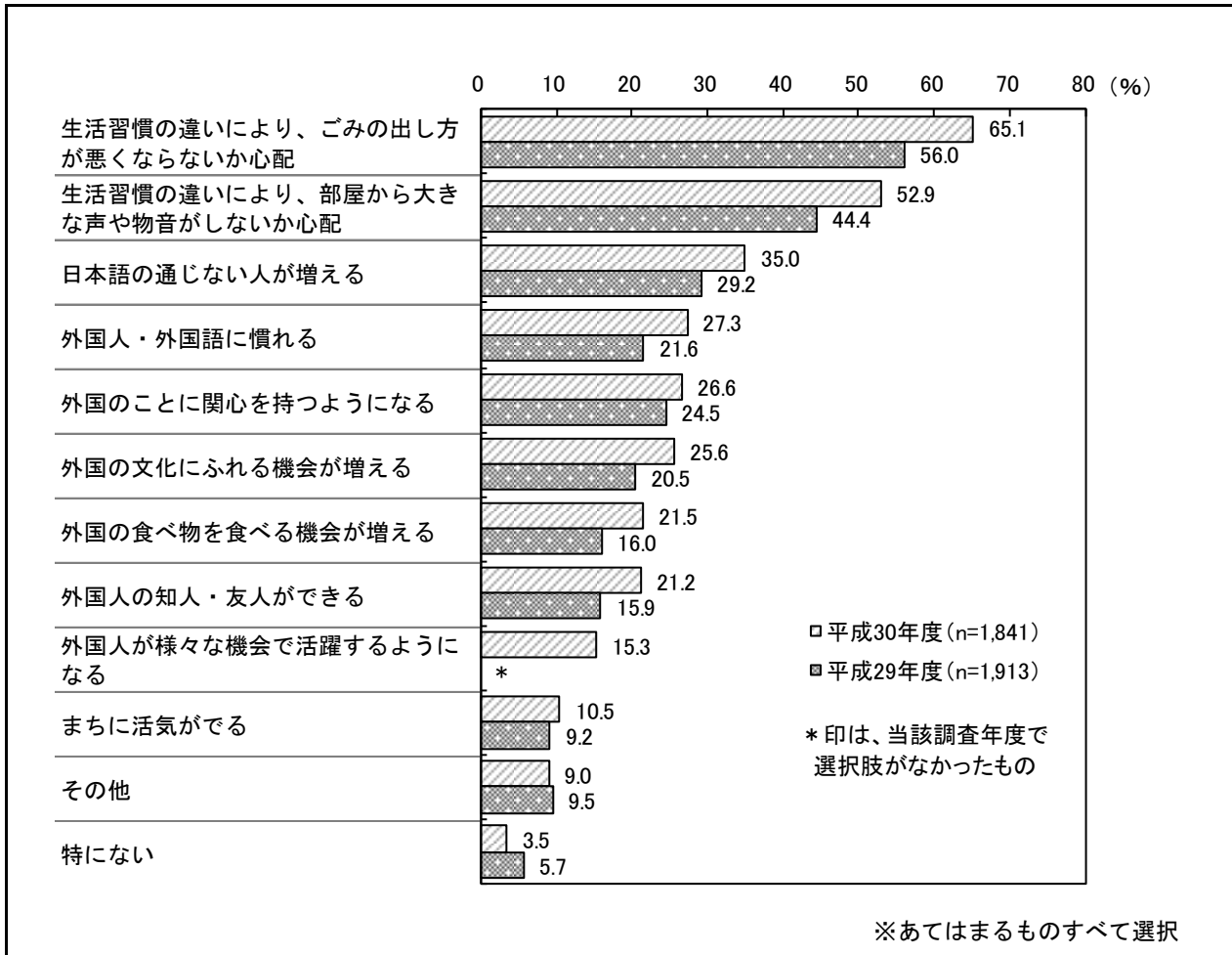
6-① 近所に外国人が住むことについてどう感じるか〔問 21〕

- 近所に外国人が住むことについてどう感じるかを聞いたところ、「生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配」(65.1%)が6割台半ばと最も高く、以下、「生活習慣の違いにより、部屋から大きな声や物音がしないか心配」(52.9%)、「日本語の通じない人が増える」(35.0%)、「外国人・外国語に慣れる」(27.3%)などとなっている。



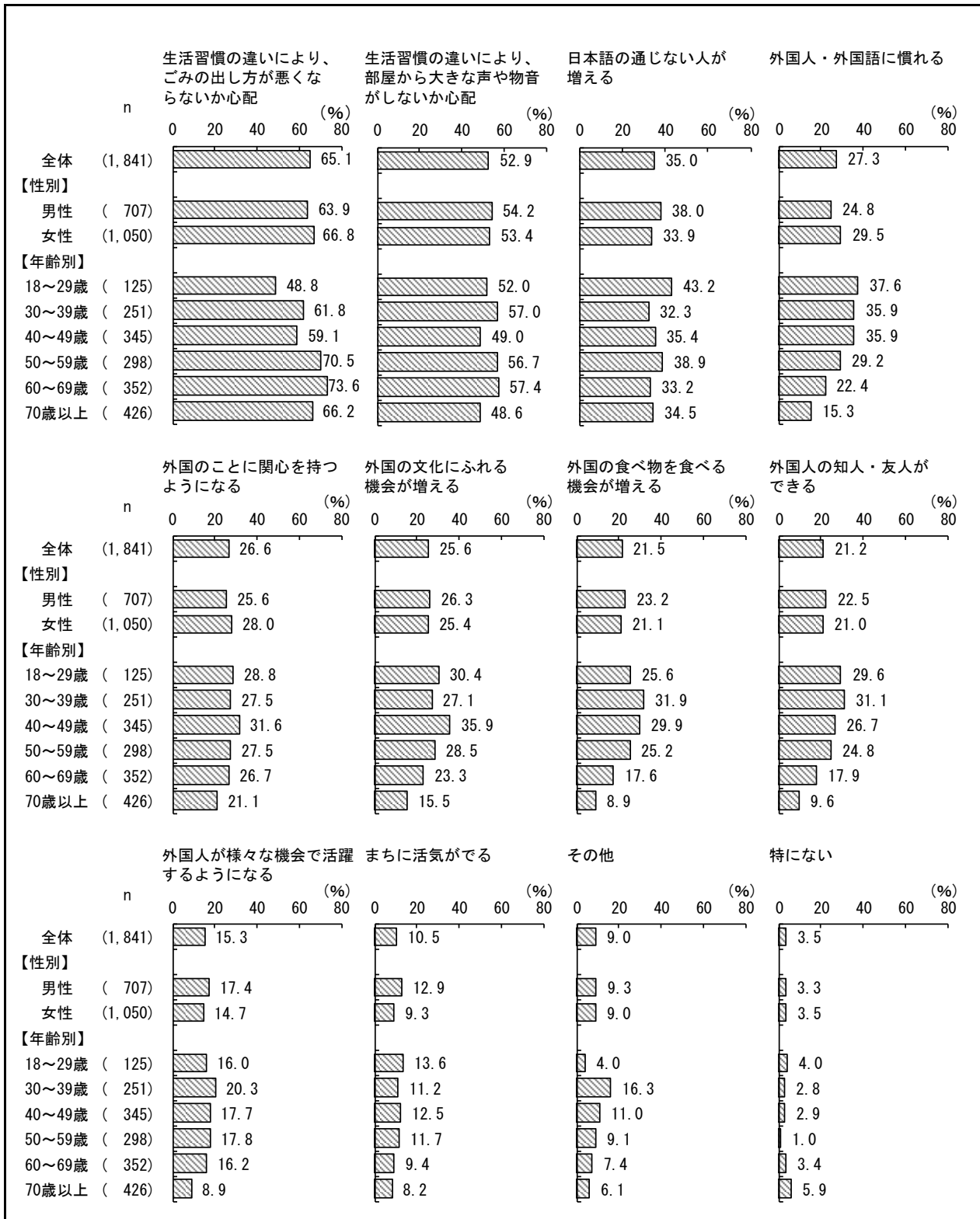
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成29年度から「生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配」が9.1ポイント、「生活習慣の違いにより、部屋から大きな声や物音がしないか心配」が8.5ポイント、それぞれ高くなっている。



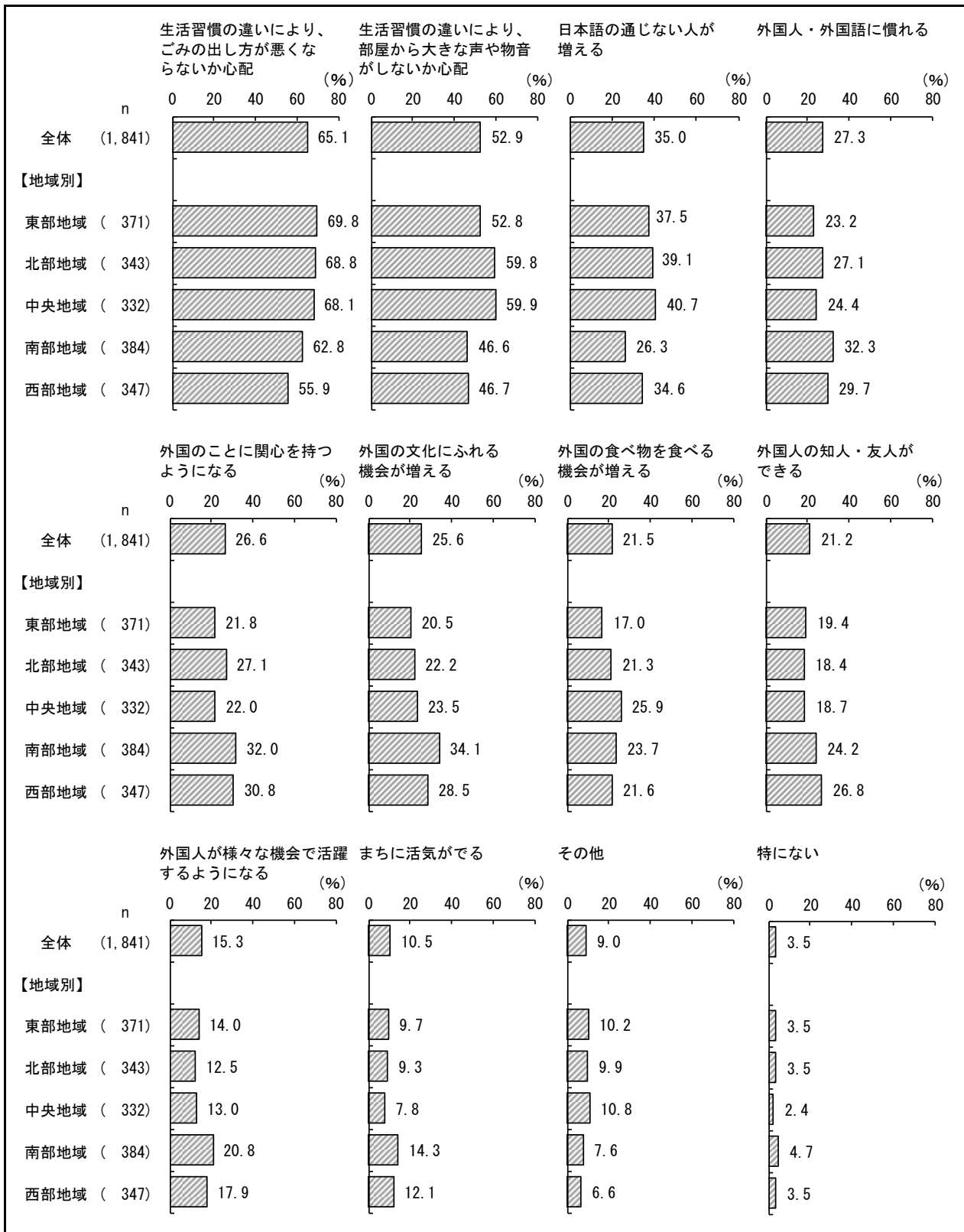
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「日本語の通じない人が増える」は男性（38.0%）が女性（33.9%）に比べて4.1ポイント高くなっている。「外国人・外国語に慣れる」は女性（29.5%）が男性（24.8%）に比べて4.7ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配」は60～69歳（73.6%）が7割台半ばと最も高く、次いで、50～59歳（70.5%）が約7割となっている。



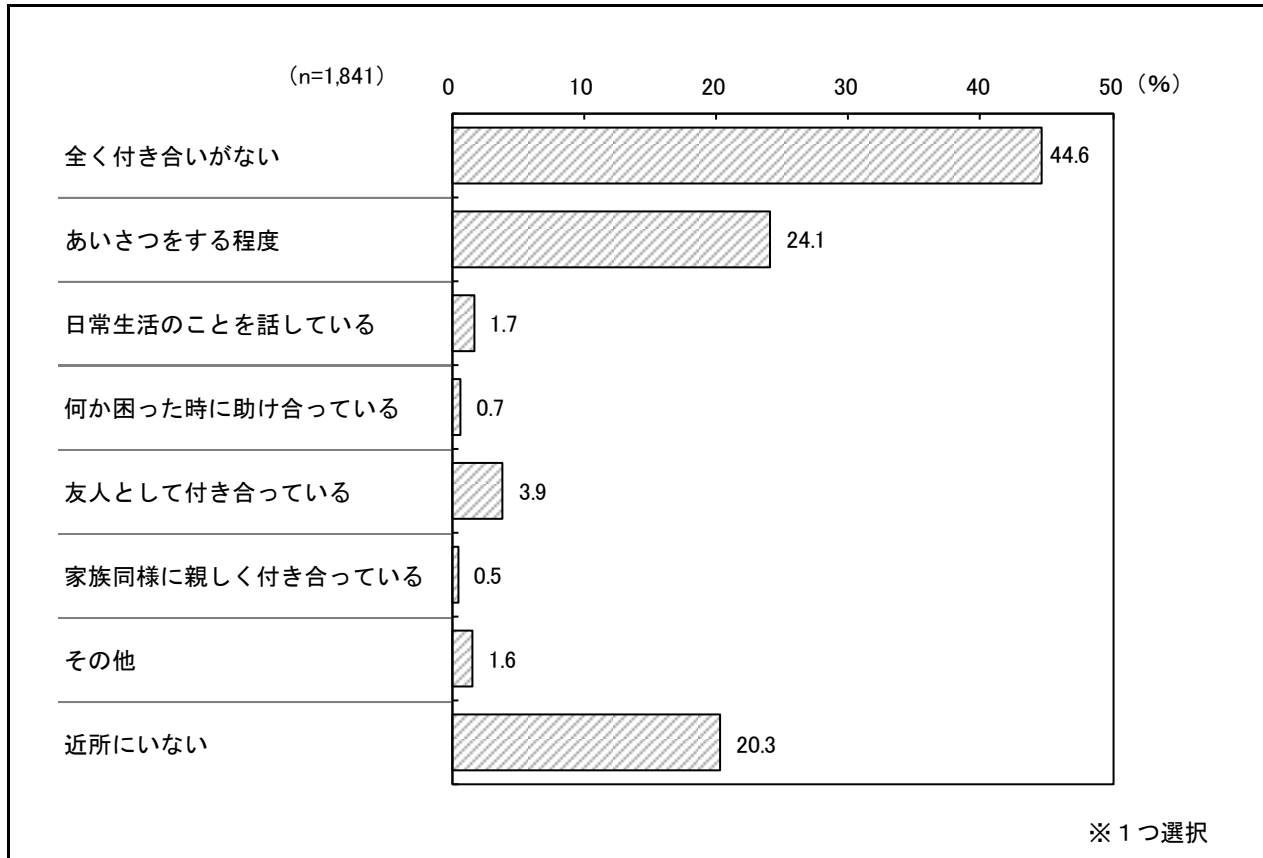
【地域別】

- 「生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配」は東部地域（69.8%）が約7割と最も高く、次いで、北部地域（68.8%）、中央地域（68.1%）が7割弱となっている。「生活習慣の違いにより、部屋から大きな声や物音がしないか心配」は中央地域（59.9%）、北部地域（59.8%）がともに約6割と高くなっている。



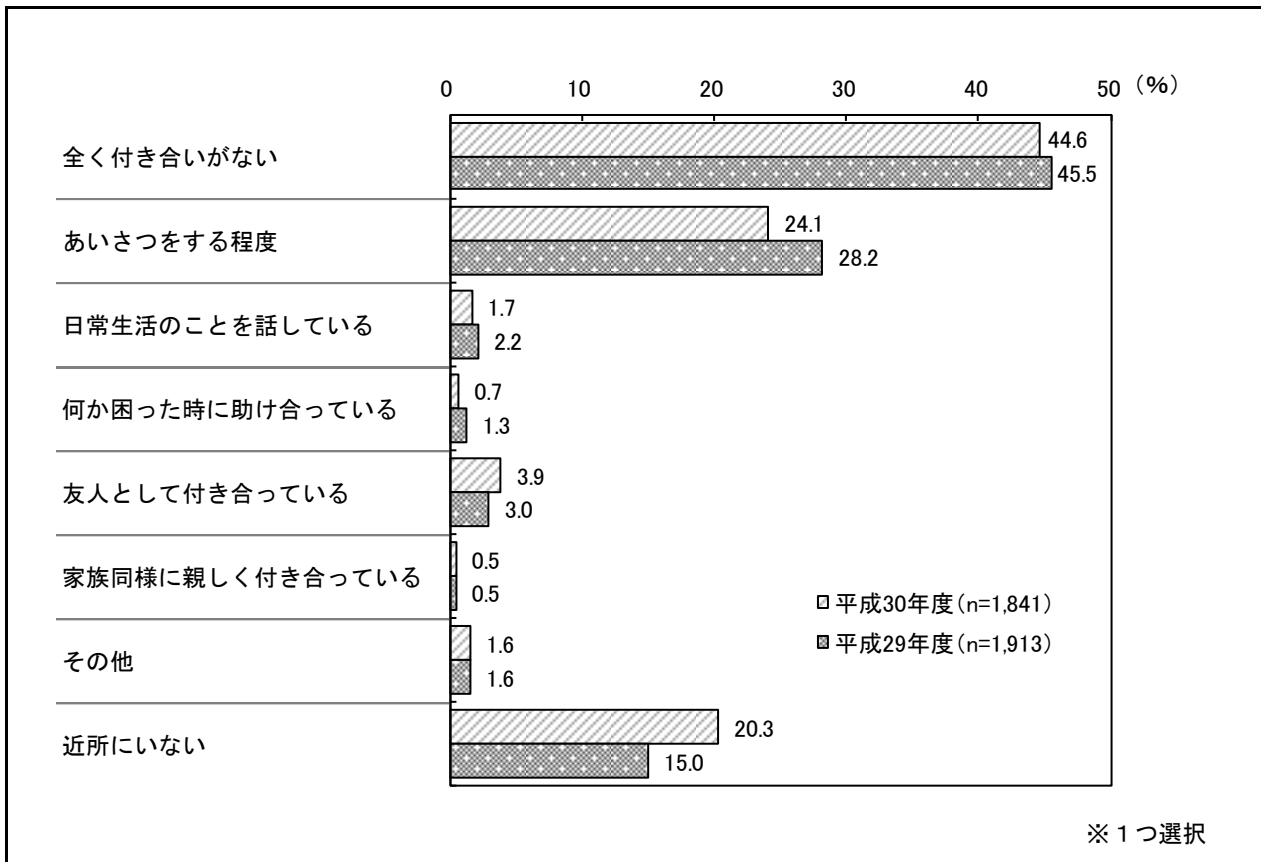
6-② 近所の外国人との付き合い〔問 22〕

- 近所の外国人とどんな付き合いがあるかを聞いたところ、「全く付き合いがない」(44.6%)が4割台半ばと最も高く、「あいさつをする程度」(24.1%)が2割台半ばとなっている。



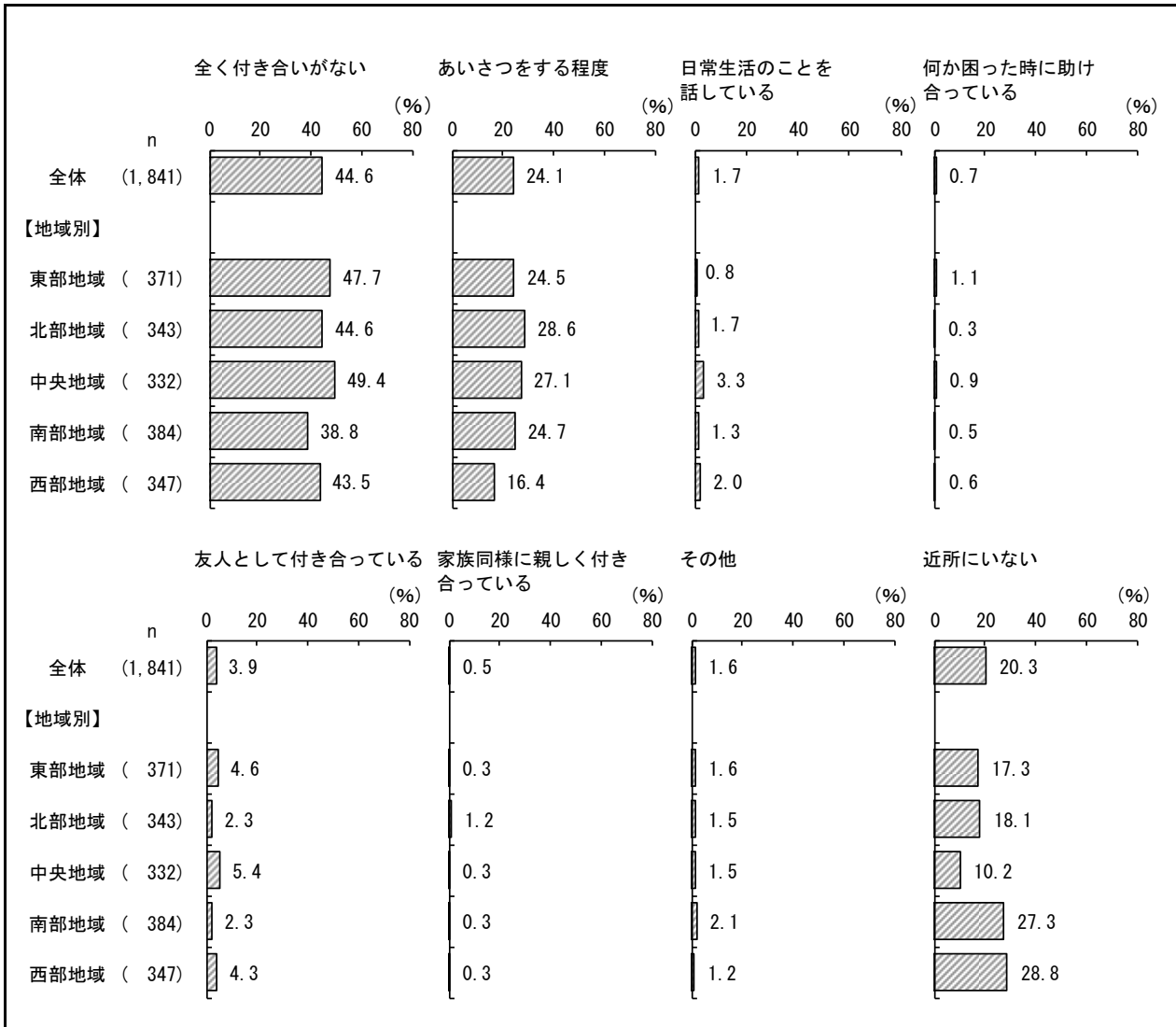
【経年比較】

●過去の調査と比較すると、平成29年度から「あいさつをする程度」が4.1ポイント低くなっている。



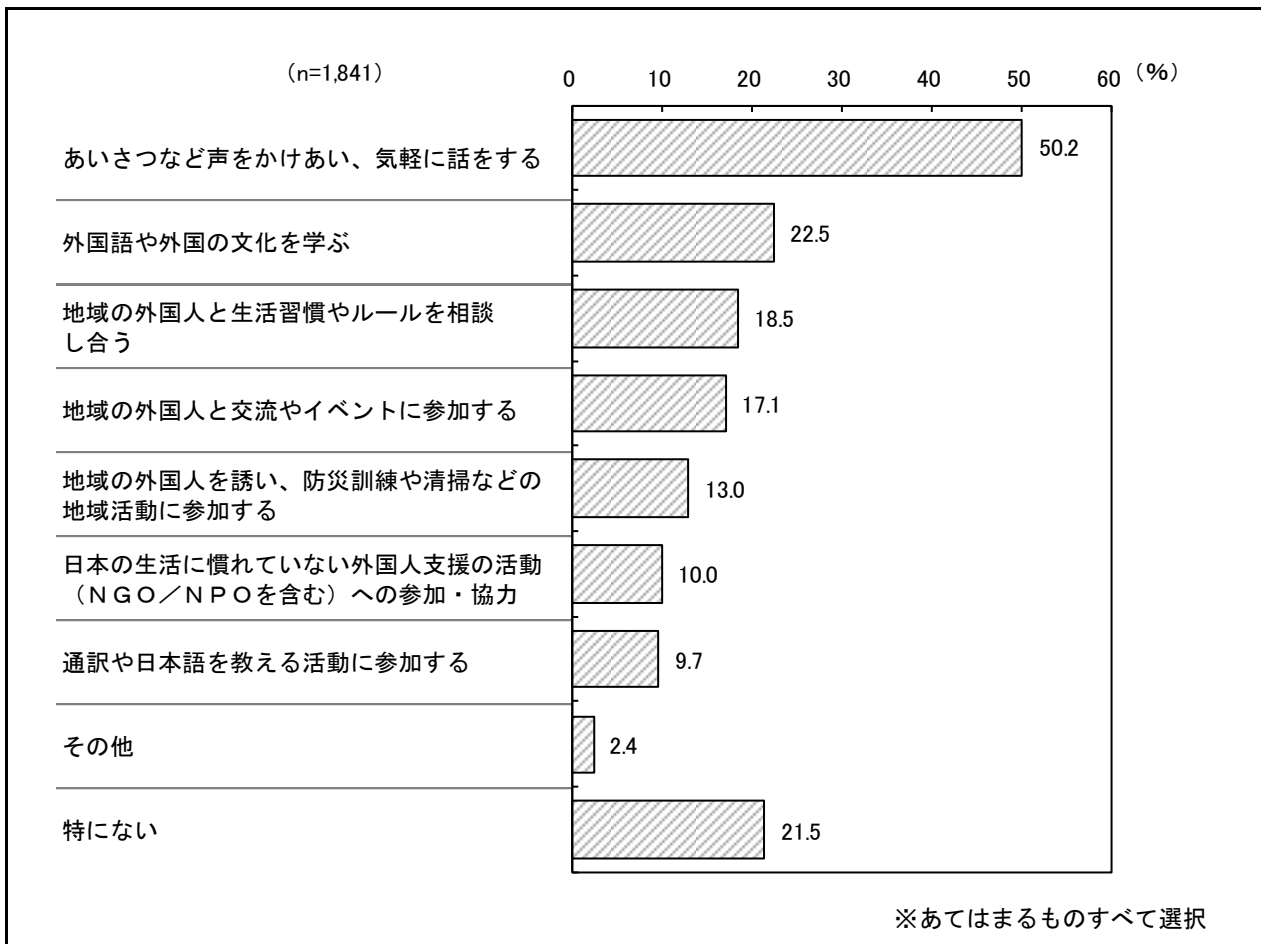
【地域別】

- 「全く付き合いがない」は中央地域（49.4%）が約5割と最も高く、次いで、東部地域（47.7%）が5割弱となっている。「あいさつをする程度」は北部地域（28.6%）、中央地域（27.1%）がともに3割弱と高くなっている。
- 「近所にいない」は西部地域（28.8%）、南部地域（27.3%）がともに3割弱と高くなっている。



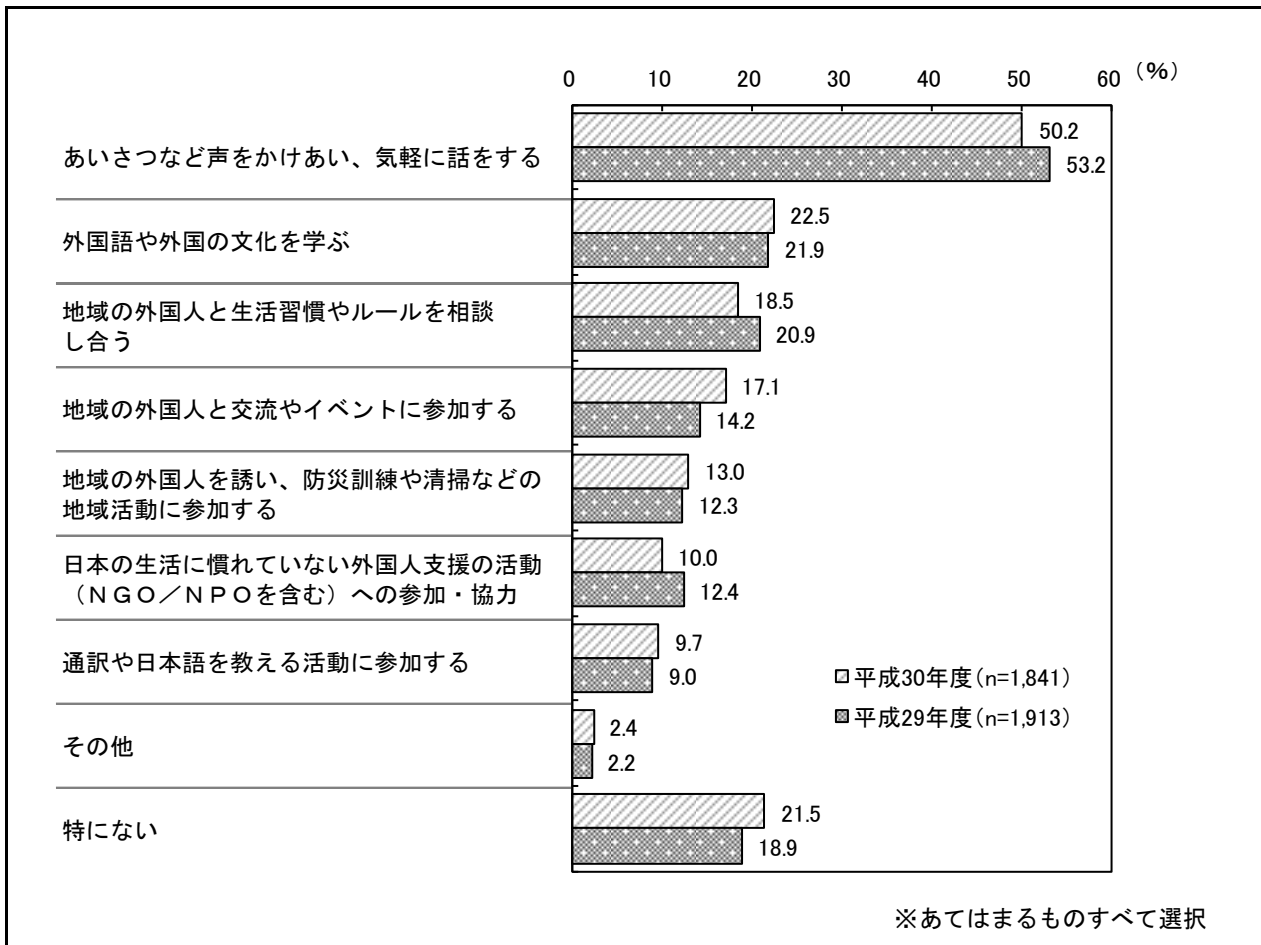
6-③ 「多文化共生のまちづくり」のためにできること〔問23〕

- 「多文化共生のまちづくり」のために、何ができると思うかを聞いたところ、「あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする」(50.2%)が約5割と最も高く、以下、「外国語や外国の文化を学ぶ」(22.5%)、「地域の外国人と生活習慣やルールを相談し合う」(18.5%)、「地域の外国人と交流やイベントに参加する」(17.1%) などとなっている。



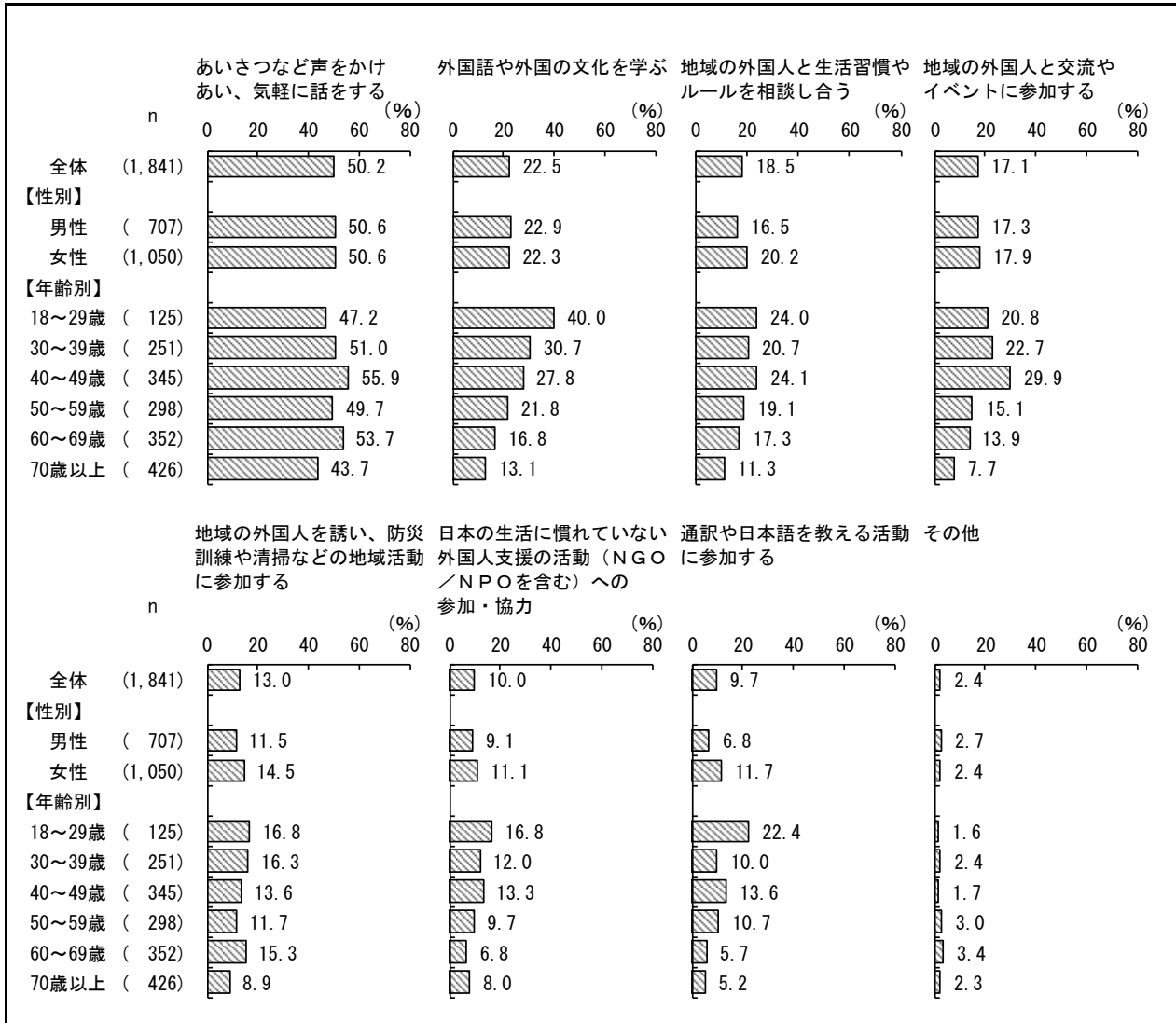
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成 29 年度から「地域の外国人と交流やイベントに参加する」が 2.9 ポイント高くなっている。



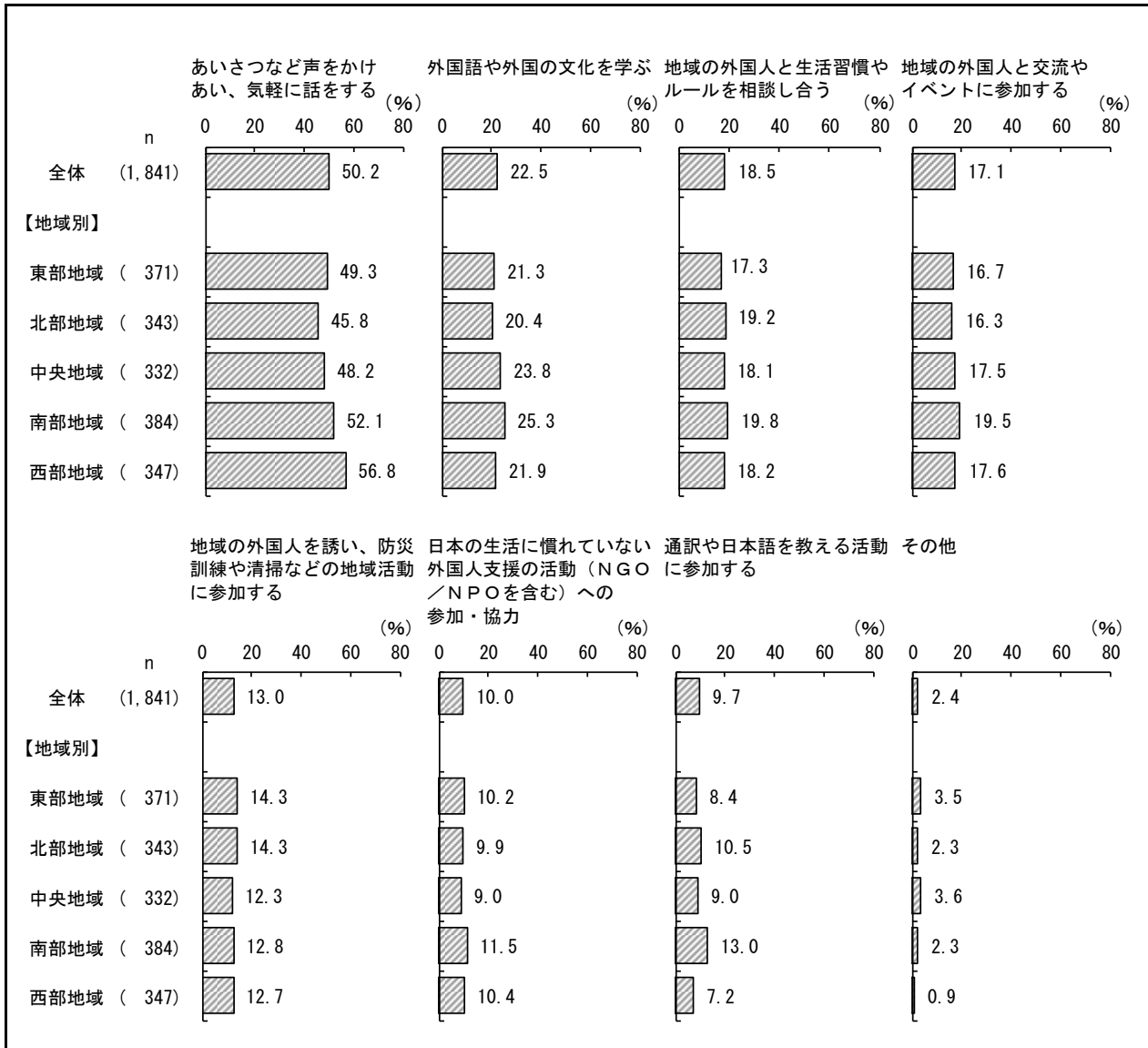
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「通訳や日本語を教える活動に参加する」は女性（11.7%）が男性（6.8%）に比べて4.9ポイント、「地域の外国人と生活習慣やルールを相談し合う」は女性（20.2%）が男性（16.5%）に比べて3.7ポイント、それぞれ高くなっている。
- 年齢別で見ると、「あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする」は40～49歳（55.9%）が5割台半ばと最も高く、次いで、60～69歳（53.7%）が5割台半ばとなっている。「外国語や外国の文化を学ぶ」は18～29歳（40.0%）が4割と最も高く、次いで、30～39歳（30.7%）が約3割となっている。



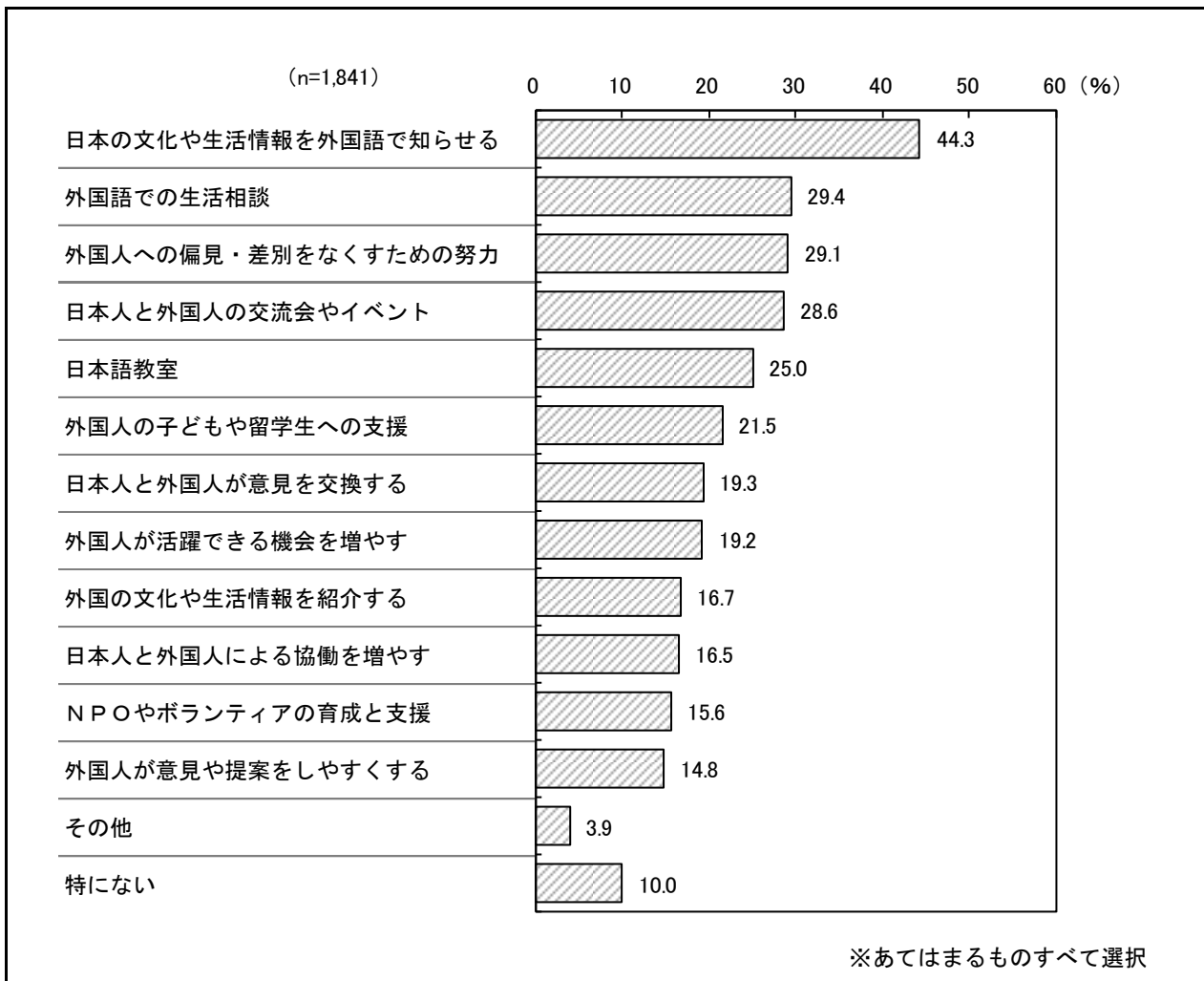
【地域別】

- 「あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする」は西部地域（56.8%）が5割台半ばと最も高く、次いで、南部地域（52.1%）が5割強となっている。「外国語や外国の文化を学ぶ」は南部地域（25.3%）、中央地域（23.8%）がともに2割台半ばとなっている。



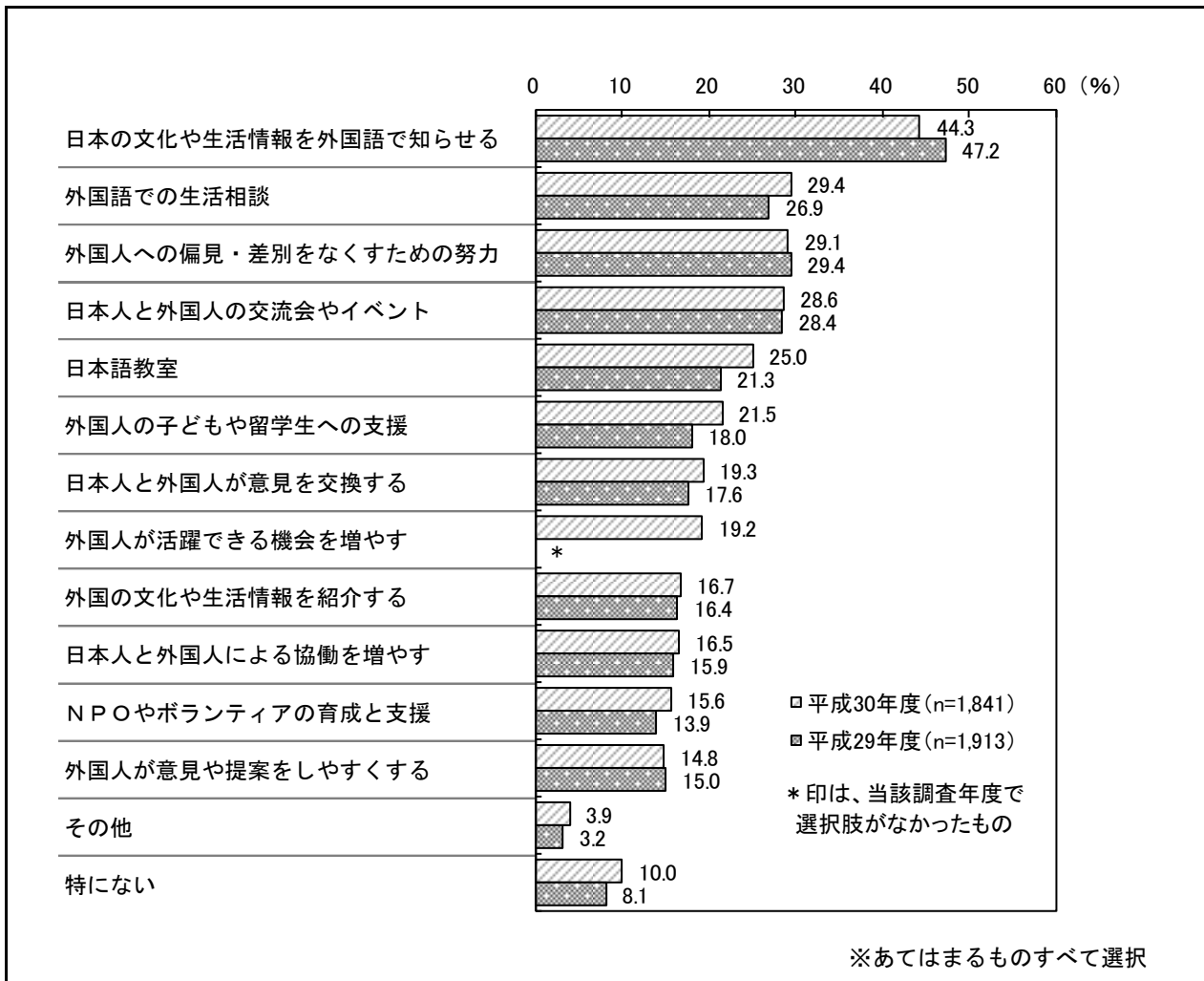
6-④ 「多文化共生のまちづくり」のために区が力を入れるべきこと〔問24〕

- 「多文化共生のまちづくり」のために、今後区の対応として力を入れるべきことを聞いたところ、「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」(44.3%)が4割台半ばと最も高く、以下、「外国語での生活相談」(29.4%)、「外国人への偏見・差別をなくすための努力」(29.1%)、「日本人と外国人の交流会やイベント」(28.6%)などとなっている。



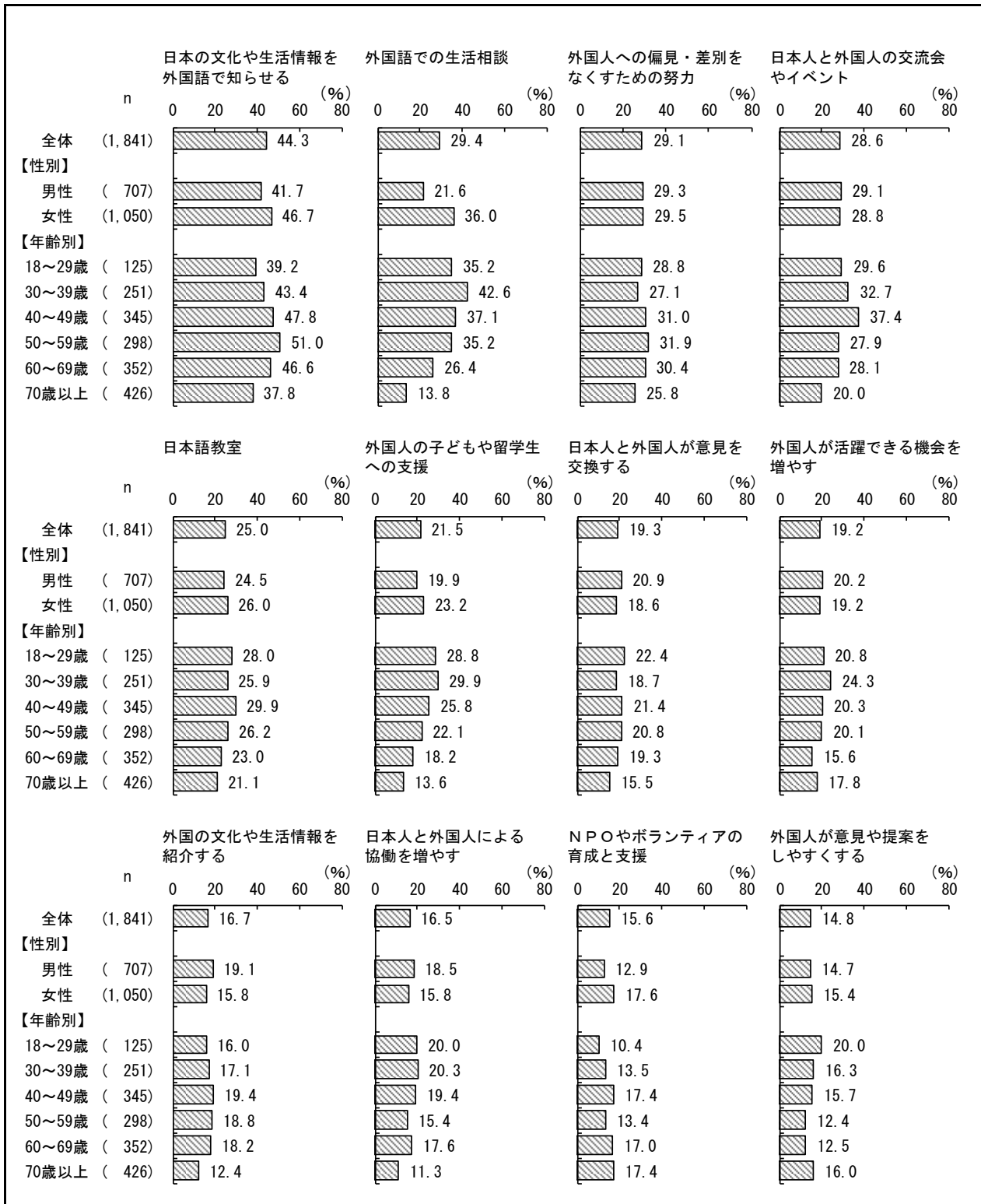
【経年比較】

●過去の調査と比較すると、平成 29 年度から「日本語教室」が 3.7 ポイント、「外国人の子どもや留学生への支援」が 3.5 ポイント、それぞれ高くなっている。



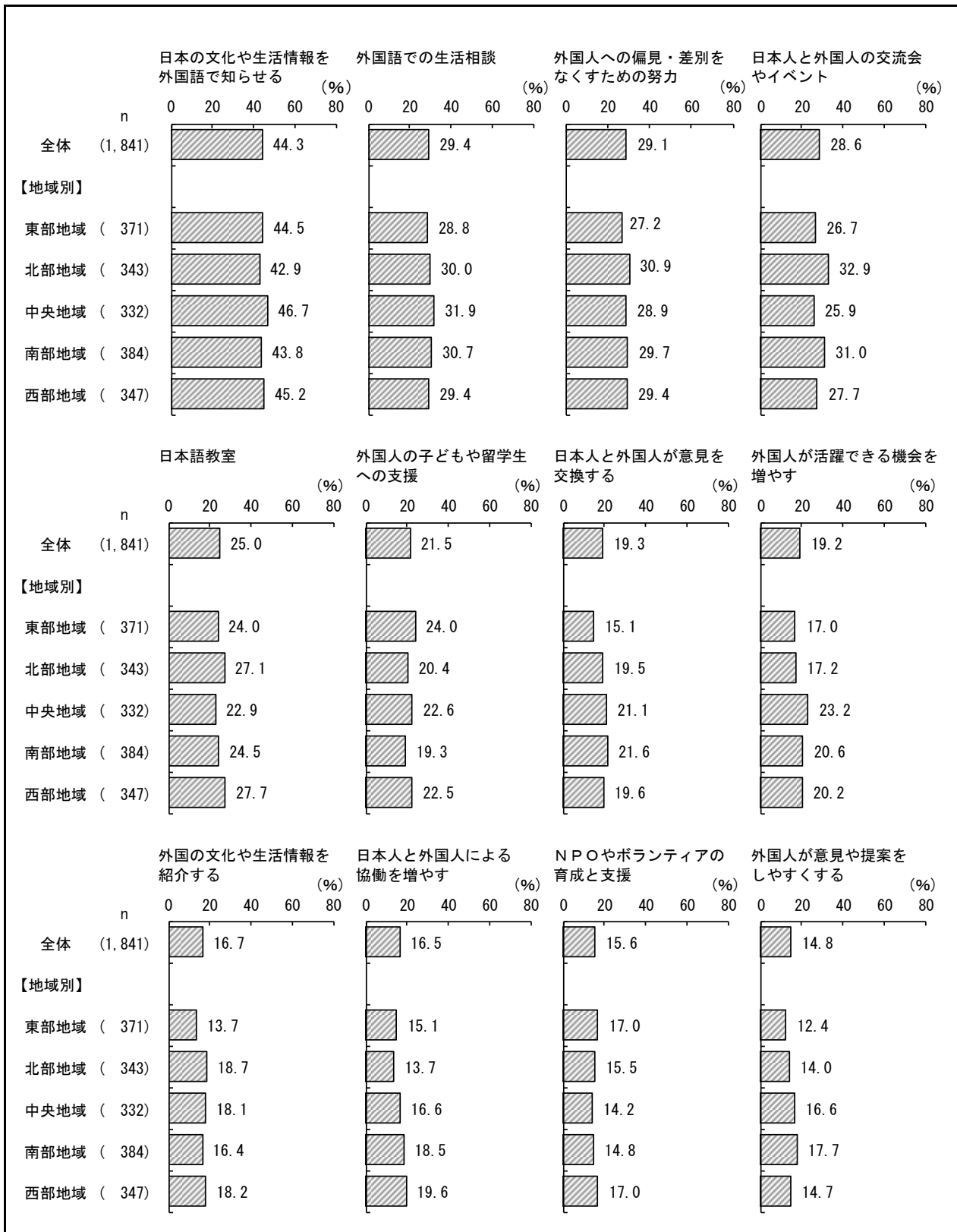
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「外国語での生活相談」は女性（36.0%）が男性（21.6%）に比べて14.4ポイント、「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」は女性（46.7%）が男性（41.7%）に比べて5.0ポイント、それぞれ高くなっている。
- 年齢別で見ると、「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」は50～59歳（51.0%）が5割強と最も高く、次いで、40～49歳（47.8%）が5割弱となっている。



【地域別】

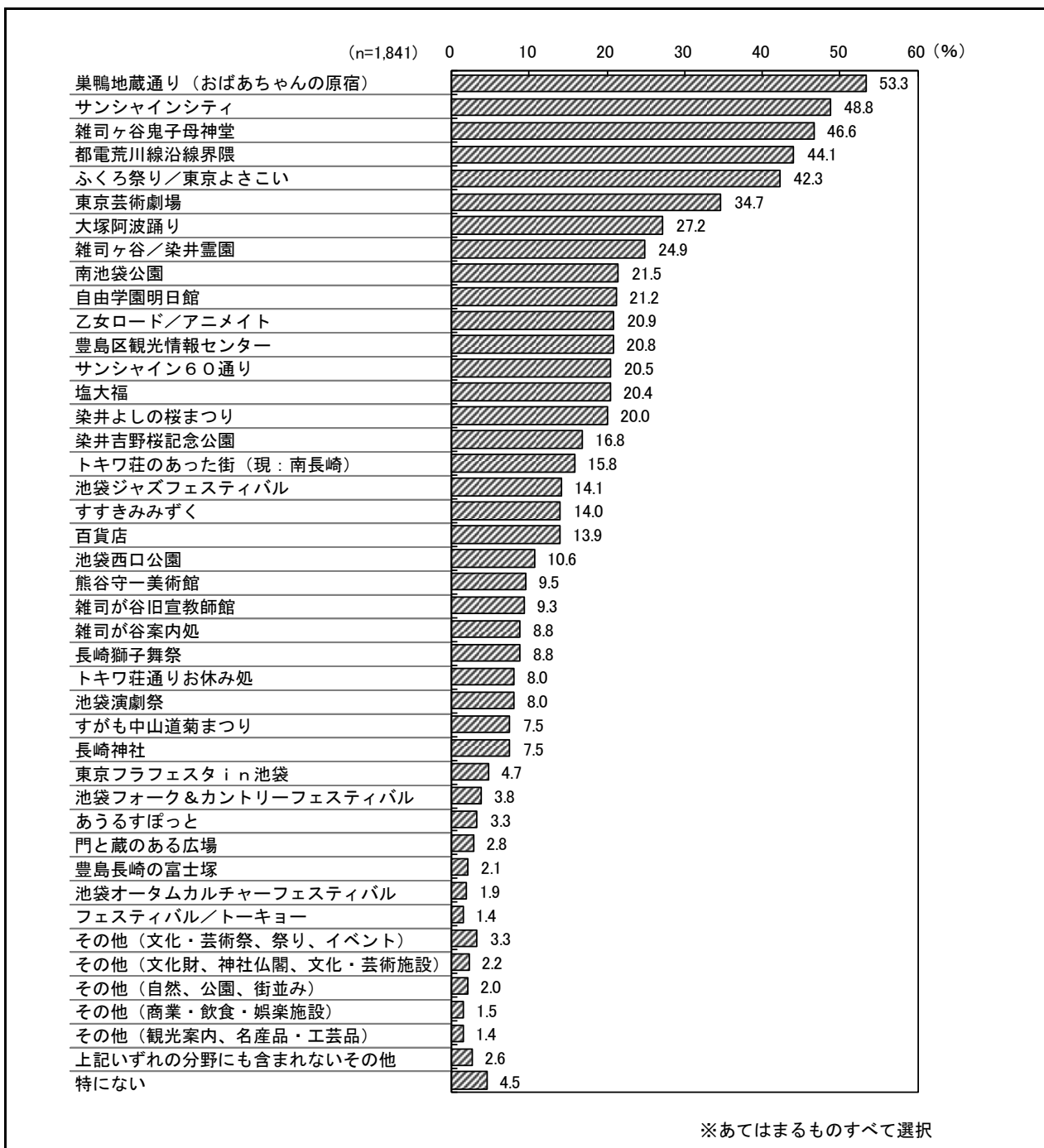
●「日本人と外国人の交流会やイベント」は北部地域（32.9%）、南部地域（31.0%）がともに3割強と高くなっている。



7 観光資源・イベントについて

7-① お薦めしたい区内の観光スポット・イベント等〔問 25〕

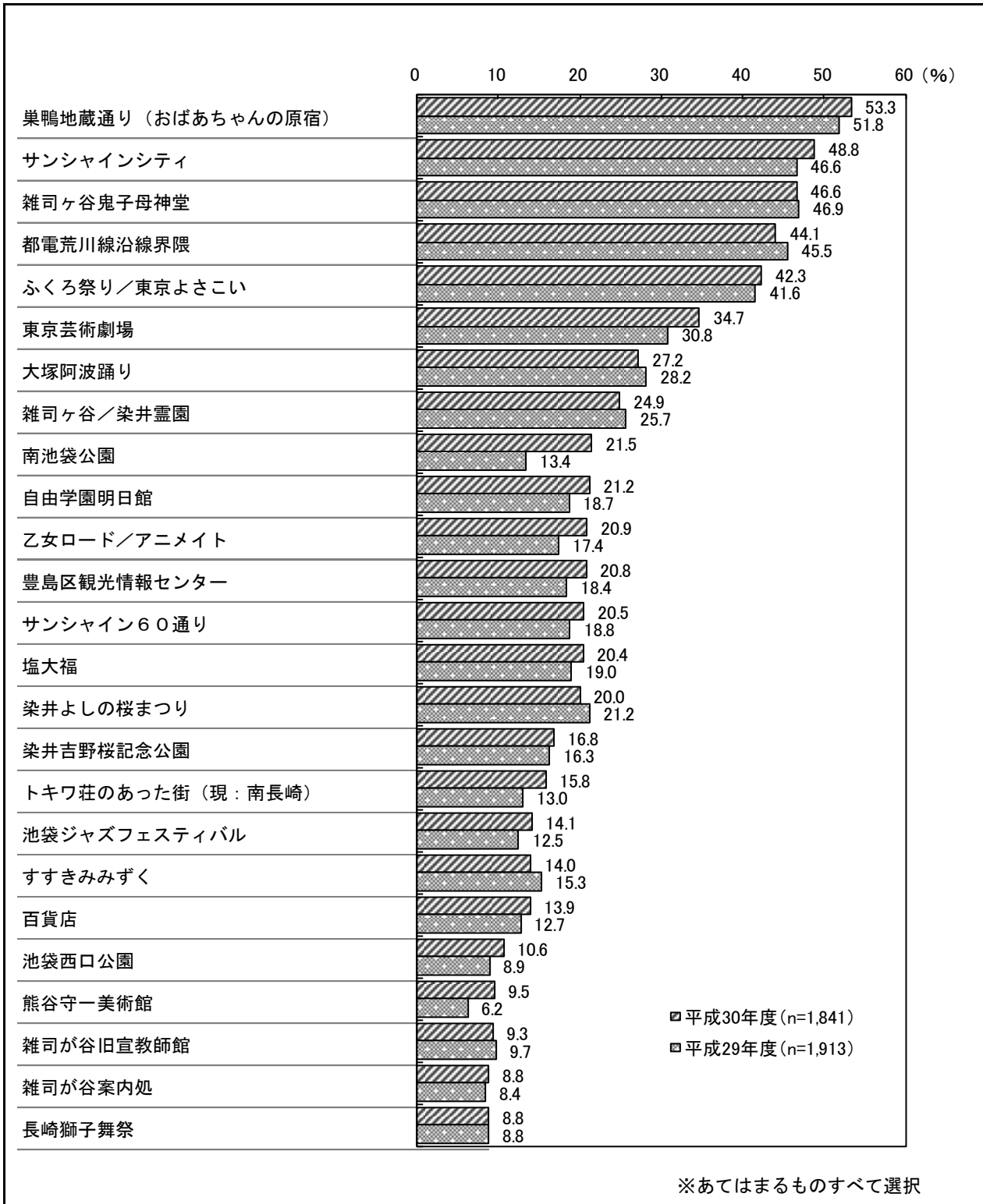
- 来街者や外国人観光客などにお薦めしたい区内の観光スポット、イベント等を聞いたところ、「巢鴨地蔵通り（おばあちゃんの原宿）」（53.3%）が5割台半ばと最も高く、以下、「サンシャインシティ」（48.8%）、「雑司ヶ谷鬼子母神堂」（46.6%）、「都電荒川線沿線界限」（44.1%）、「ふくろ祭り／東京よさこい」（42.3%）などとなっている。



※ 雑司ヶ谷鬼子母神堂の「鬼」の字は、正しくは1画目の点（ツノ）のない文字を用います。

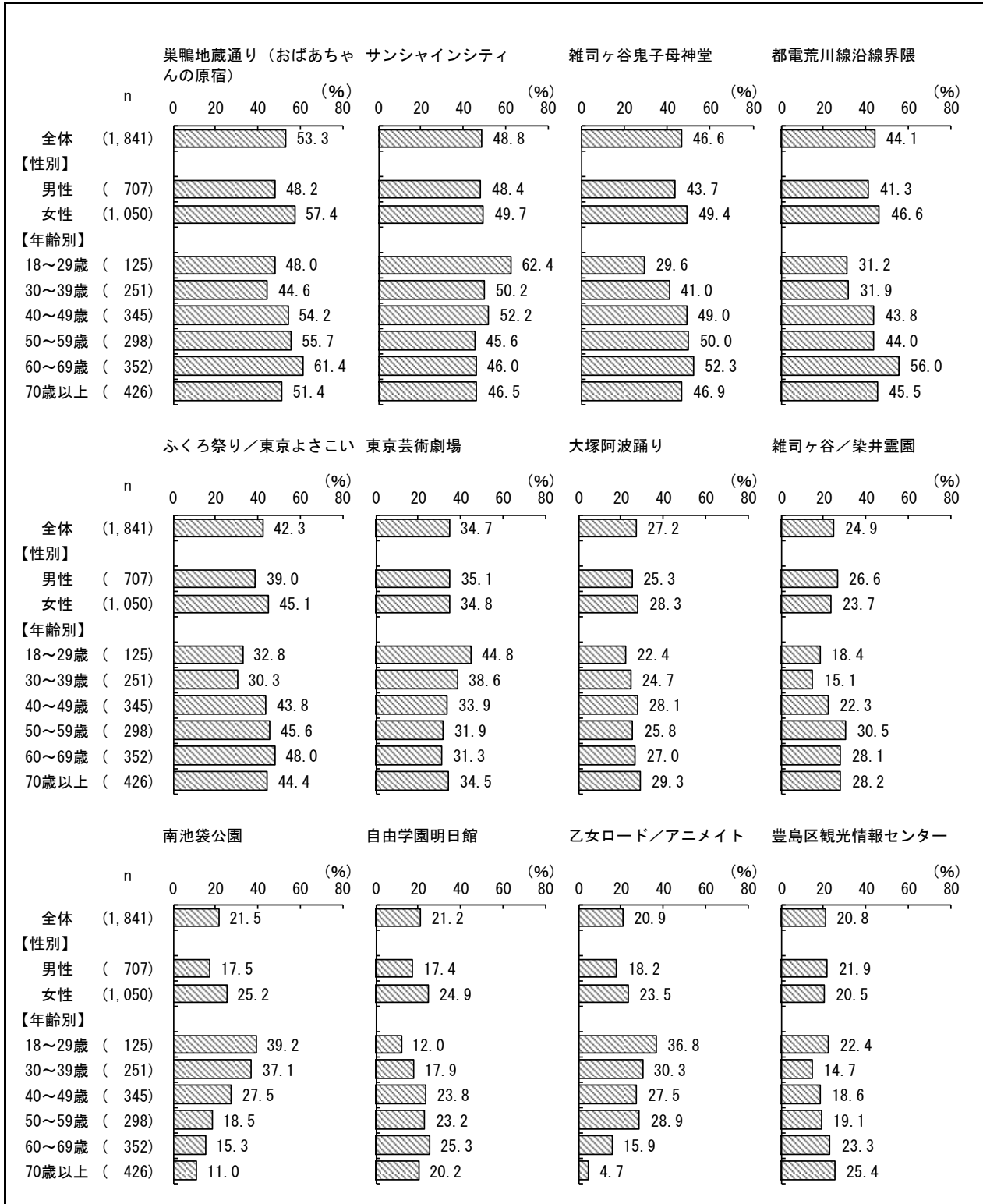
【経年比較】（上位 25 項目）

●過去の調査と比較すると、平成 29 年度から「南池袋公園」が 8.1 ポイント、「東京芸術劇場」が 3.9 ポイント、「乙女ロード／アニメイト」が 3.5 ポイント、「熊谷守一美術館」が 3.3 ポイント、それぞれ高くなっている。



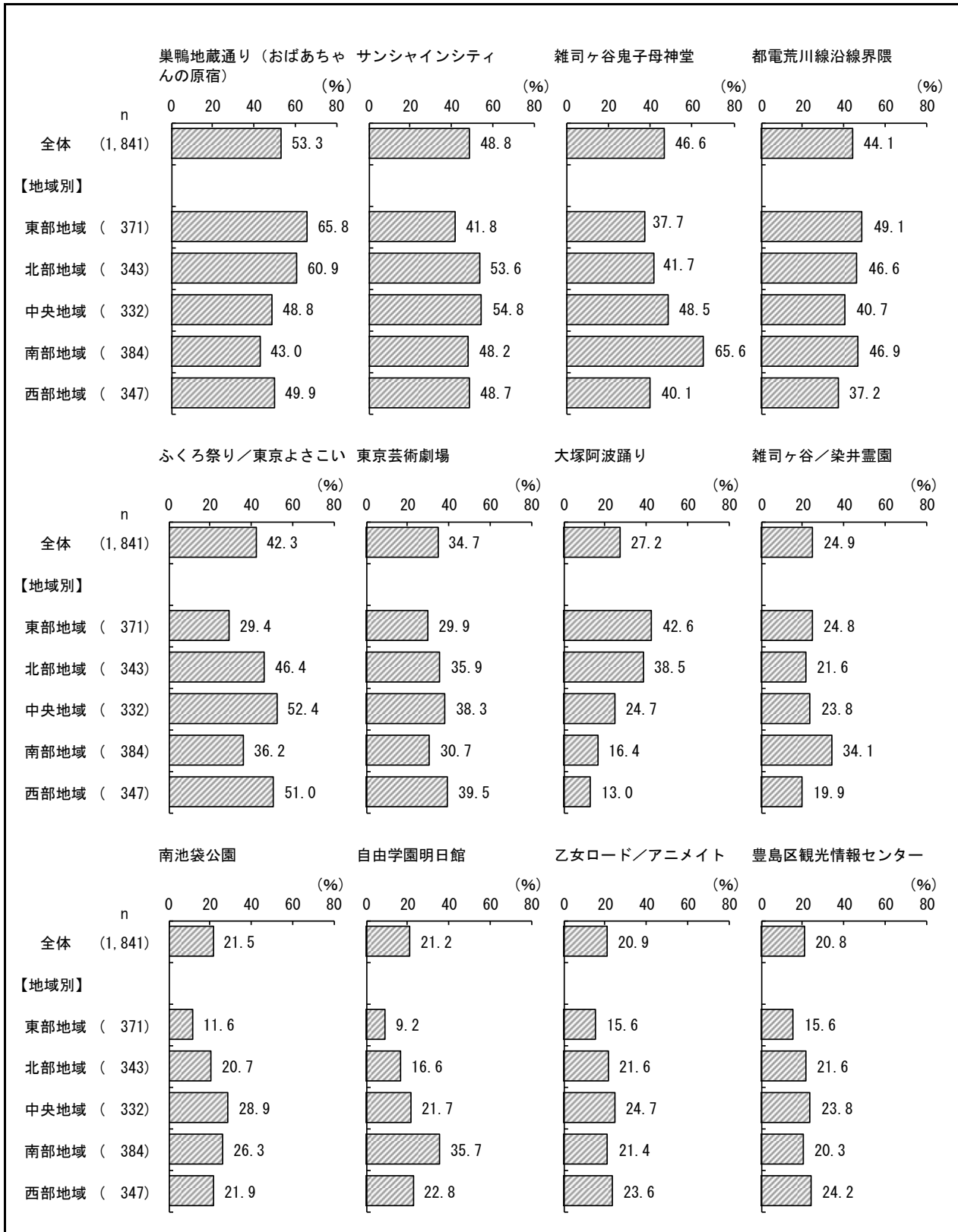
【性別・年齢別】（上位12項目）

- 性別で見ると、「巣鴨地蔵通り（おばあちゃんの原宿）」は女性（57.4%）が男性（48.2%）に比べて9.2ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「巣鴨地蔵通り（おばあちゃんの原宿）」は60～69歳（61.4%）が6割強と最も高くなっている。「サンシャインシティ」は18～29歳（62.4%）が6割強と最も高くなっている。



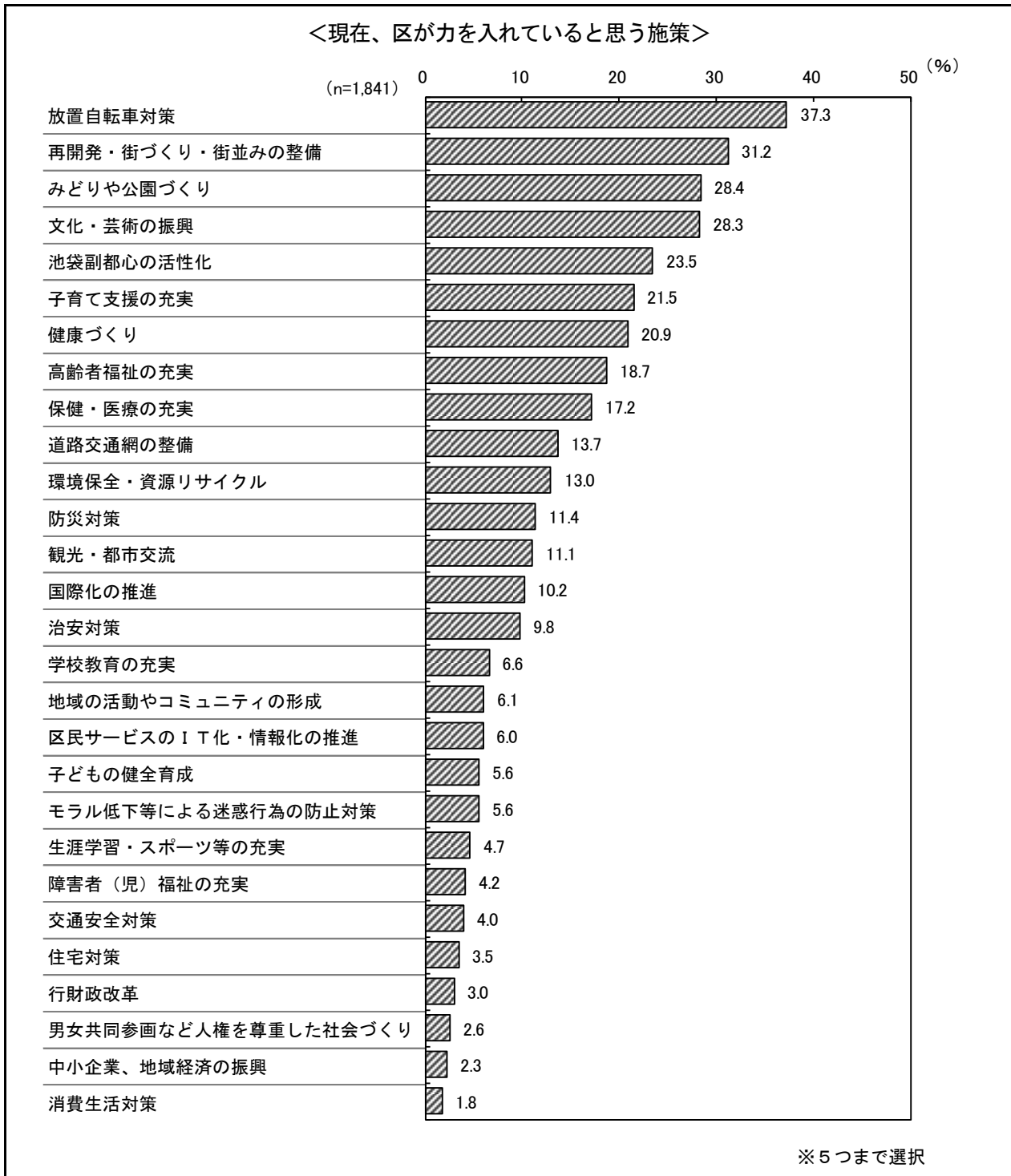
【地域別】（上位12項目）

●「巢鴨地藏通り（おばあちゃん原宿）」は東部地域（65.8%）が6割台半ばと最も高く、次いで、北部地域（60.9%）が約6割となっている。「雑司ヶ谷鬼子母神堂」は南部地域（65.6%）が6割台半ばと最も高く、次いで、中央地域（48.5%）が5割弱となっている。



8-① 区政全般への要望（現在、区が力を入れていると思う施策）〔問26〕

- 区政全般をみて、現在、区が力を入れていると思う施策を聞いたところ、「放置自転車対策」（37.3%）が4割弱と最も高く、以下、「再開発・街づくり・街並みの整備」（31.2%）、「みどりや公園づくり」（28.4%）、「文化・芸術の振興」（28.3%）、「池袋副都心の活性化」（23.5%）などとなっている。



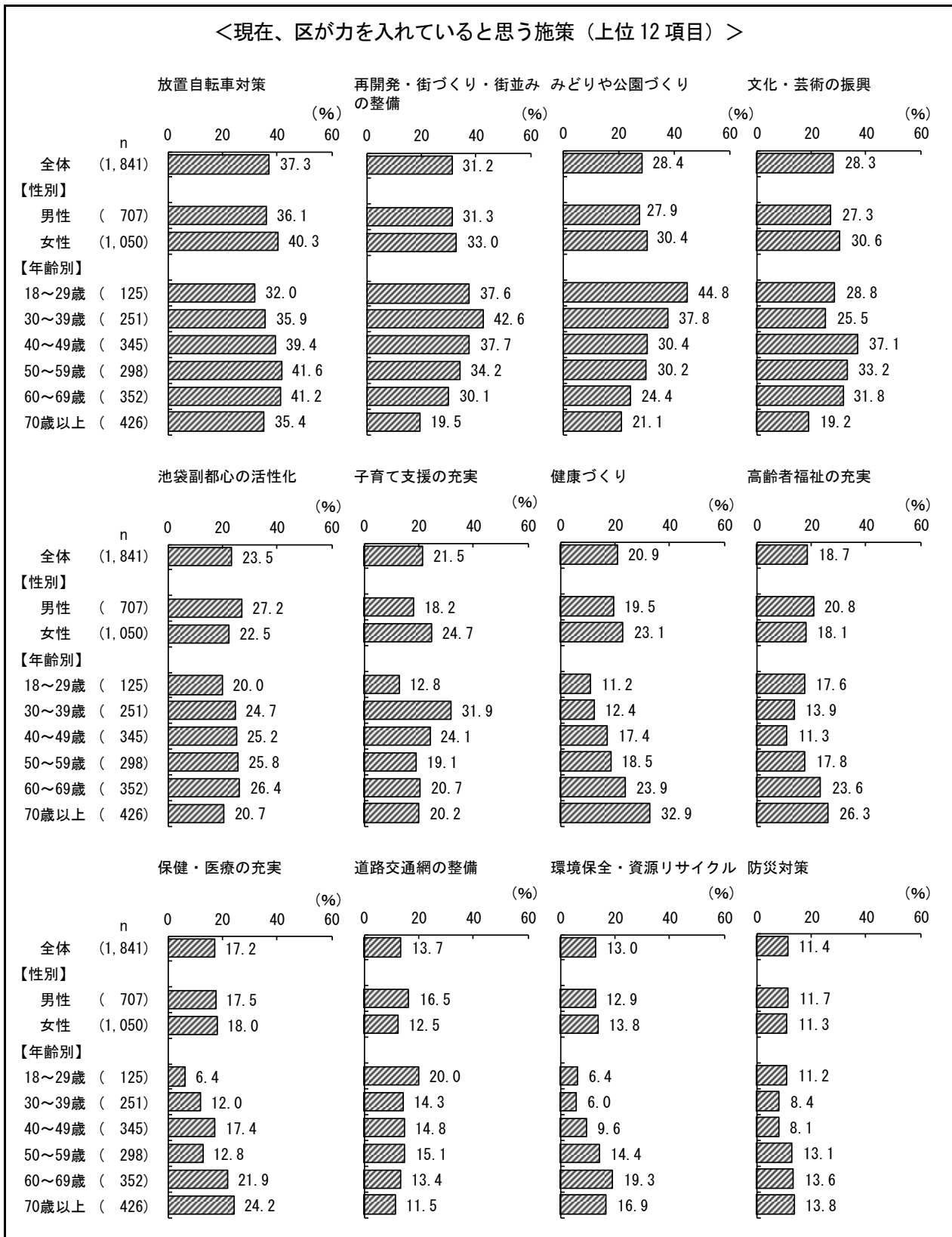
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、上位10項目中で、平成29年度よりも順位が高くなったものは、「みどりや公園づくり」「池袋副都心の活性化」「子育て支援の充実」「道路交通網の整備」の4項目となっている。
- 上位10項目中で、平成29年度よりも順位が低くなったものは、「文化・芸術の振興」「健康づくり」「高齢者福祉の充実」「保健・医療の充実」の4項目となっている。

<平成30年度>			順位比較	<平成29年度>	
順位		%		順位	%
1	放置自転車対策	37.3	←----	1	40.1
2	再開発・街づくり・街並みの整備	31.2	←----	2	29.8
3	みどりや公園づくり	28.4	↖	4	23.9
4	文化・芸術の振興	28.3	↖	3	24.0
5	池袋副都心の活性化	23.5	↖	6	21.8
6	子育て支援の充実	21.5	↖	9	17.4
7	健康づくり	20.9	↖	5	22.2
8	高齢者福祉の充実	18.7	↖	7	18.7
9	保健・医療の充実	17.2	↖	8	17.7
10	道路交通網の整備	13.7	↖	11	13.0
11	環境保全・資源リサイクル	13.0	↖	12	11.8
12	防災対策	11.4	↖	10	14.3
13	観光・都市交流	11.1	↖	18	6.6
14	国際化の推進	10.2	↖	17	6.8
15	治安対策	9.8	↖	13	10.7
16	学校教育の充実	6.6	↖	15	7.1
17	地域の活動やコミュニティの形成	6.1	↖	14	7.6
18	区民サービスのIT化・情報化の推進	6.0	↖	23	4.3
19	子どもの健全育成	5.6	↖	16	7.0
20	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	5.6	↖	19	5.4
21	生涯学習・スポーツ等の充実	4.7	←----	21	5.0
22	障害者（児）福祉の充実	4.2	↖	20	5.3
23	交通安全対策	4.0	↖	24	4.1
24	住宅対策	3.5	↖	26	2.6
25	行財政改革	3.0	←----	25	3.7
26	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	2.6	↖	22	4.9
27	中小企業、地域経済の振興	2.3	←----	27	2.5
28	消費生活対策	1.8	←----	28	1.2

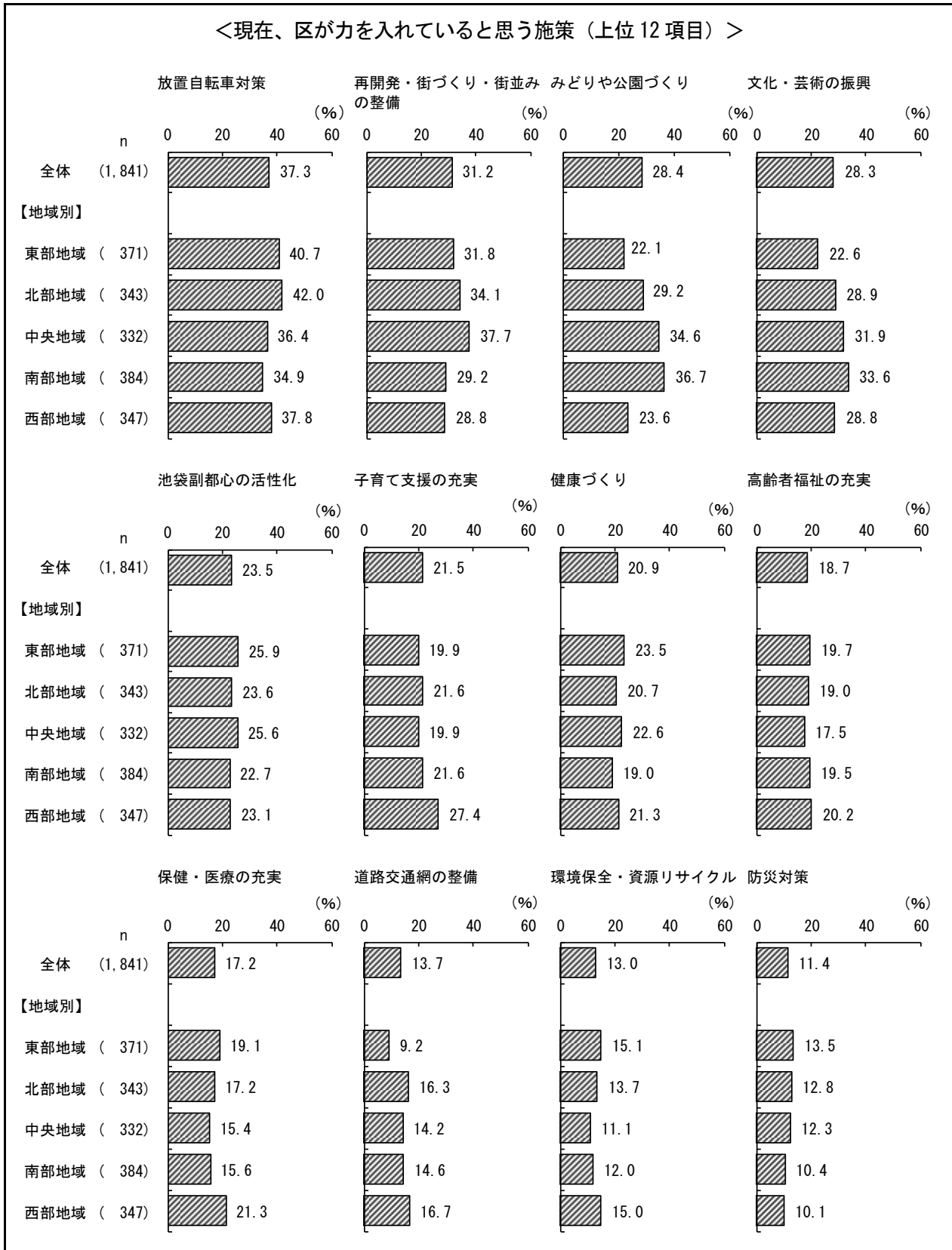
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「放置自転車対策」は女性（40.3%）が男性（36.1%）に比べて 4.2 ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は 30～39 歳（42.6%）が 4 割強と最も高く、次いで、40～49 歳（37.7%）、18～29 歳（37.6%）が 4 割弱となっている。



【地域別】

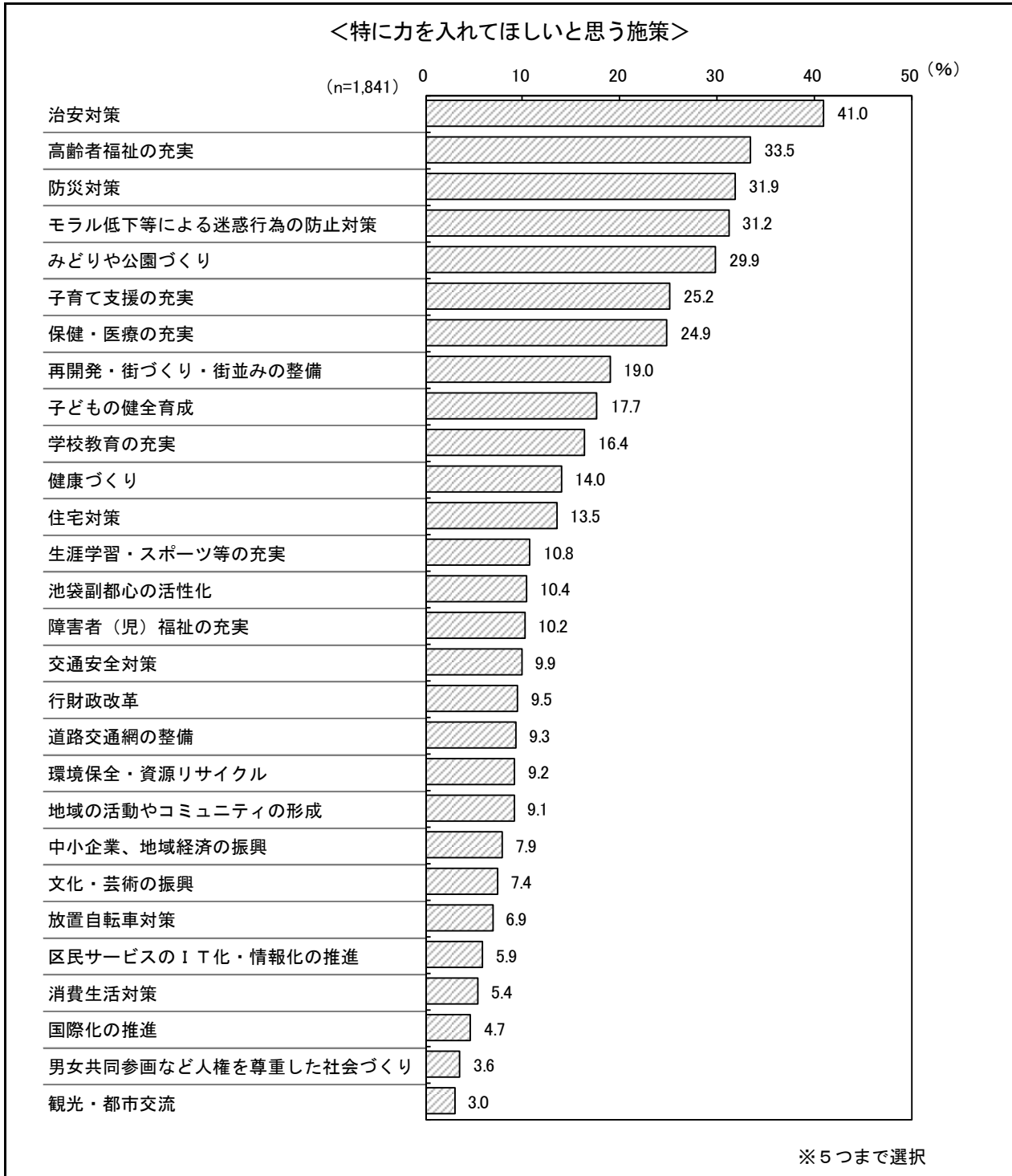
- 「放置自転車対策」は北部地域（42.0%）、東部地域（40.7%）が4割以上と高くなっている。「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（37.7%）が4割弱と最も高くなっている。「みどりや公園づくり」は南部地域（36.7%）、中央地域（34.6%）が3割台半ばと高くなっている。



※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

8-② 区政全般への要望（特に力を入れてほしいと思う施策）〔問26〕

- 区政全般をみて、特に力を入れてほしいと思う施策を聞いたところ、「治安対策」（41.0％）が4割強と最も高く、以下、「高齢者福祉の充実」（33.5％）、「防災対策」（31.9％）、「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」（31.2％）、「みどりや公園づくり」（29.9％）などとなっている。



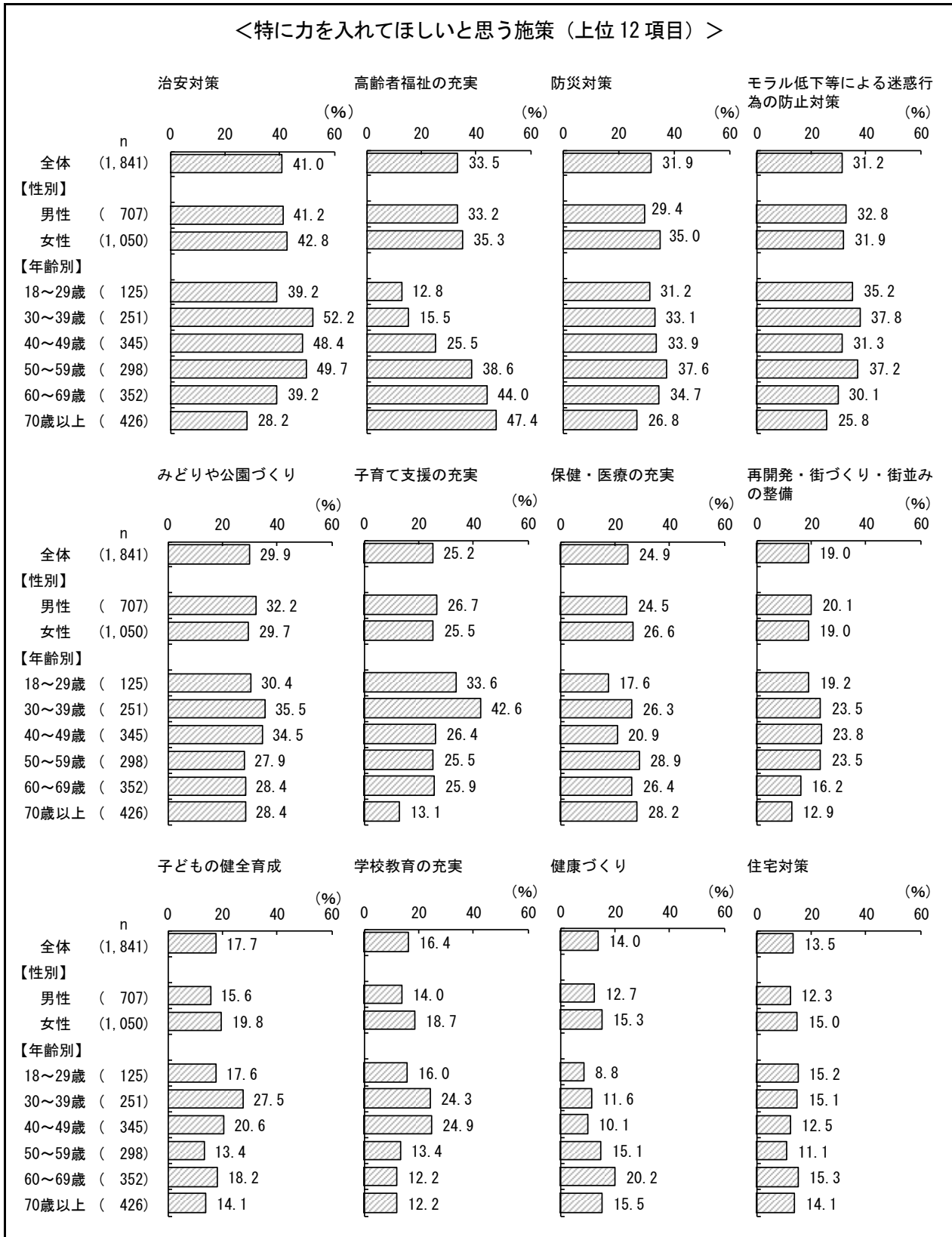
【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、上位10項目中で、平成29年度よりも順位が高くなったものは、「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」の1項目となっている。
- 上位10項目中で、平成29年度よりも順位が低くなったものは、「みどりや公園づくり」「子育て支援の充実」の2項目となっている。

<平成30年度>			順位比較	<平成29年度>	
順位		%		順位	%
1	治安対策	41.0	←----	1	39.9
2	高齢者福祉の充実	33.5	←----	2	33.3
3	防災対策	31.9	←----	3	30.6
4	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	31.2	↖	6	28.3
5	みどりや公園づくり	29.9	↖	4	28.7
6	子育て支援の充実	25.2	↖	5	28.4
7	保健・医療の充実	24.9	←----	7	26.8
8	再開発・街づくり・街並みの整備	19.0	←----	8	19.6
9	子どもの健全育成	17.7	←----	9	16.4
10	学校教育の充実	16.4	←----	10	15.6
11	健康づくり	14.0	↖	12	12.2
12	住宅対策	13.5	↖	11	14.1
13	生涯学習・スポーツ等の充実	10.8	↖	14	10.7
14	池袋副都心の活性化	10.4	↖	15	10.1
15	障害者（児）福祉の充実	10.2	↖	13	11.8
16	交通安全対策	9.9	←----	16	9.7
17	行財政改革	9.5	←----	17	8.9
18	道路交通網の整備	9.3	↖	20	8.2
19	環境保全・資源リサイクル	9.2	↖	22	7.5
20	地域の活動やコミュニティの形成	9.1	↖	17	8.9
21	中小企業、地域経済の振興	7.9	↖	19	8.4
22	文化・芸術の振興	7.4	↖	20	8.2
23	放置自転車対策	6.9	←----	23	7.2
24	区民サービスのIT化・情報化の推進	5.9	←----	24	6.8
25	消費生活対策	5.4	←----	25	5.9
26	国際化の推進	4.7	↖	27	4.3
27	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	3.6	↖	26	4.4
28	観光・都市交流	3.0	←----	28	3.1

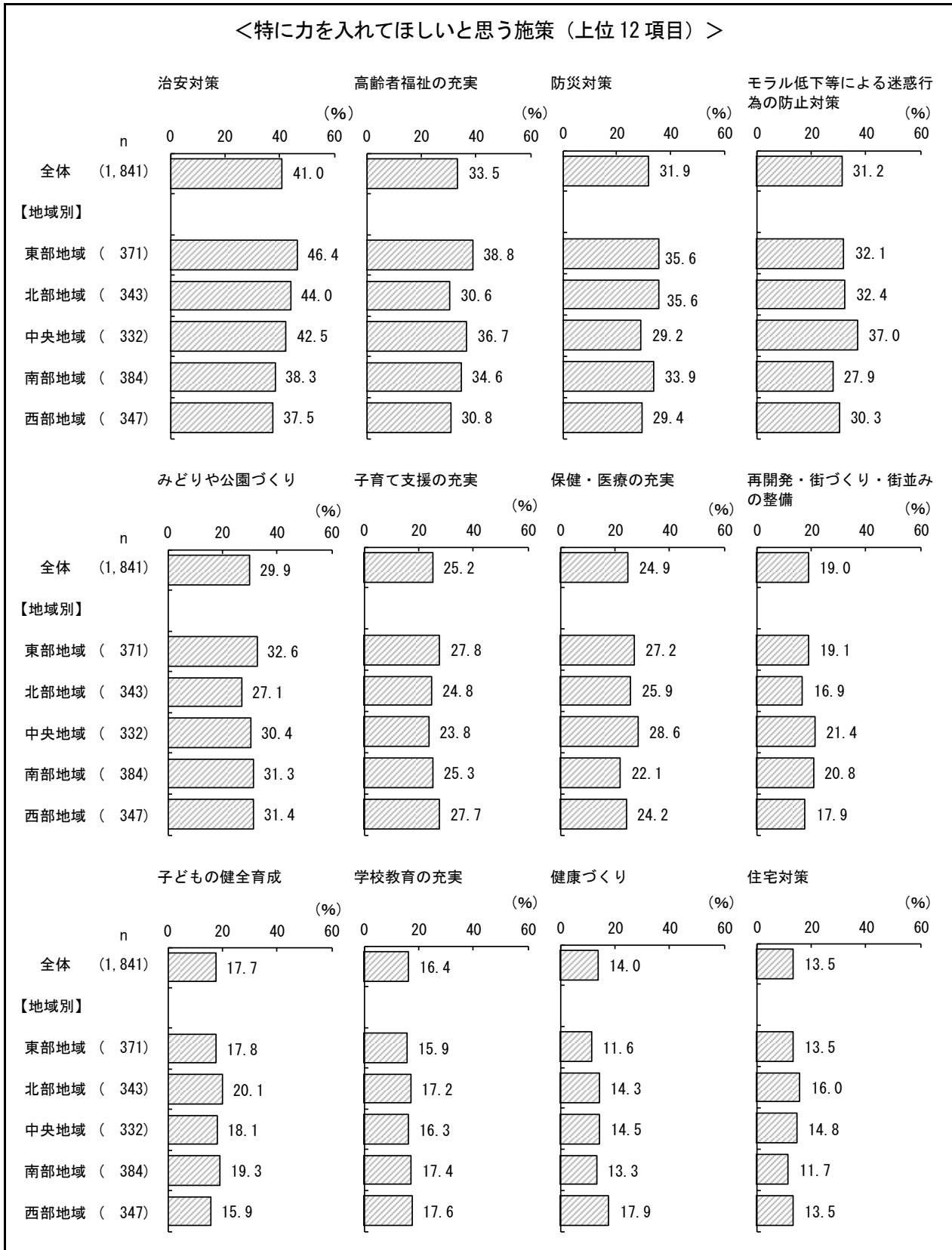
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「防災対策」は女性（35.0%）が男性（29.4%）に比べて 5.6 ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「治安対策」は30～39歳（52.2%）が5割強と最も高く、次いで、50～59歳（49.7%）が約5割となっている。



【地域別】

- 「治安対策」は東部地域（46.4%）、北部地域（44.0%）が4割台半ばと高くなっている。「高齢者福祉の充実」は東部地域（38.8%）が4割弱と最も高くなっている。「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」は中央地域（37.0%）が4割弱と最も高くなっている。



※ 地域の具体的区分は4ページの(6)居住地域名を参照

●総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査と比較するため、◆が今回調査、◇が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

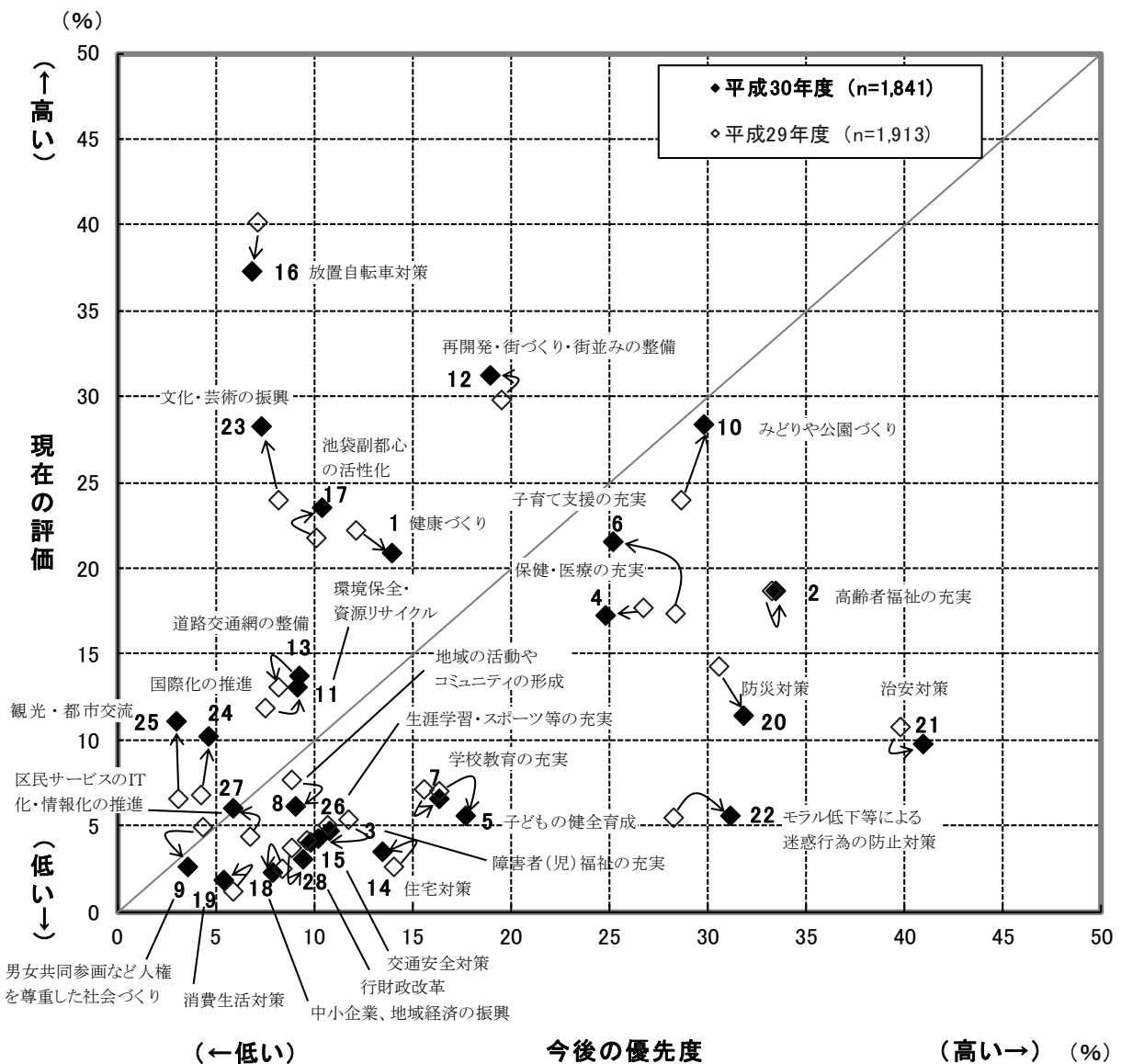
《数値化の方法》

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

- 現在の評価
各項目の回答割合 (%)
- 今後の優先度
各項目の回答割合 (%)

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

●現在の評価は低いが、今後の優先度は高い項目は、優先度が高い順に「治安対策」「高齢者福祉の充実」「防災対策」「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」「みどりや公園づくり」となっている。



9 自由意見

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。1,841 人の回答者中、703 件からの回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は1,215 件となっている。意見の分類は、問6：地域の生活環境の評価と今後の優先度の項目に沿って行った。

分野	意見件数
①参画・協働	59
②平和・人権	115
③福祉	86
④健康・保健	36
⑤子育て	88
⑥教育	26
⑦みどり・環境	184
⑧都市再生・交通	204
⑨防災・治安	151
⑩商工・観光	57
⑪文化	56
⑫区政について	88
⑬その他	30
⑭本調査について	35
合計	1,215

Ⅲ. 調査票

協働のまちづくりに関する区民意識調査

－ 調査ご協力をお願い －

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、一人ひとりの区民をはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかでお感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

これからの豊島区をつくるのは、ほかでもない、区民の皆さま一人ひとりのまちづくりへの参加、そして協働であると思います。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成30年6月

豊島区長 高野之夫

《ご記入にあたって》

1. この調査は、区内に2年以上お住まいの18歳以上の方から無作為に選ばせていただいた5,000人を対象として実施するものです。
2. 同封のアンケートへのご回答は、原則として封筒のあて名のご本人が行ってください。
(ご本人の回答が困難な場合には、ご家族の方に相談いただいても結構です。)
3. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
4. 質問で、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合や自由回答には、具体的な内容をご記入ください。
5. 回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。また、郵送に使用した皆さまの個人情報、他の目的に流用することはありません。お考えになっていることや、お感じになっていることをお答えください。

◎ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

6月30日（土）までに 郵便ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒にはバーコードがついていますが、これは返送先（区）の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-4566-2511（直通）

【FAX】 03-3980-5093

協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票

I. 豊島区の印象について

1. 住み心地

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地ごこちはどうか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 住み良い | 3. どちらかといえば住みにくい | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい | |

問2 以前と比べて住み心地ごこちに変化はありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

2. 定住意向

問3 あなたは、これからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. いつまでも住み続けたいと思っている |
| 2. 当分住み続けたいと思っている |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている |
| 5. わからない |

3. 地域への愛着

問4 あなたは、現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------|
| 1. 愛着を感じている | 3. あまり愛着を感じていない | 5. どちらともいえない |
| 2. やや愛着を感じている | 4. 愛着を感じていない | |

4. 豊島区のイメージ

問5 現在の豊島区の「イメージ」を表すとしたら、どのような表現がふさわしいと思いますか。

(○は3つまで)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 賑わいのあるまち | 5. 多様なまち | 9. 安全・安心なまち |
| 2. 閑静なまち | 6. 成熟したまち | 10. 清潔なまち |
| 3. 文化・歴史のあるまち | 7. 温かみのあるまち | 11. その他 |
| 4. 国際的なまち | 8. 落ち着いたまち | () |

II. 地域の生活環境の評価と今後の優先度について

問6 以下の設問は、地域の生活環境を 11 グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。(「現在の評価」欄は、項目ごとに一つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。)

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	1	2	3	※1~4の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	1	2	3	
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
② 平和・人権	5	外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている	1	2	3	※5~10の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	6	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	8	性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる	1	2	3	
	9	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への理解が深まっている	1	2	3	
	10	配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている	1	2	3	
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	※11~17の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている	1	2	3	
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる	1	2	3	
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	1	2	3	
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
④健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある	1	2	3	※18～21の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している	1	2	3	
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	
⑤子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある	1	2	3	※22～26の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	23	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	24	子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている	1	2	3	
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる	1	2	3	
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている	1	2	3	
⑥教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている	1	2	3	※27～35の中から3つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	28	学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	29	学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている	1	2	3	
	30	信頼される実践力の高い教員が育成されている	1	2	3	
	31	家庭での教育に対する支援が充実している	1	2	3	
	32	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている	1	2	3	
	33	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	
	34	豊島区ならではの特色ある教育が進められている	1	2	3	
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑦みどり・環境	36	みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	1	2	3	<p>各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。</p> <p>※36～43の中から3つ選んで、番号を書いてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	38	CO ₂ 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	1	2	3	
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	1	2	3	
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない	1	2	3	
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	43	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	1	2	3	
⑧都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	<p>※44～52の中から3つ選んで、番号を書いてください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	47	新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	50	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	1	2	3	
52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	1	2	3		

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑨ 防災・治安	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	※53～59の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています	1	2	3	
	56	電柱のない道路が増えている	1	2	3	
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	58	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	59	交通事故が少ない	1	2	3	
⑩ 商工・観光	60	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	※60～65の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	61	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	1	2	3	
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
	63	区内の観光スポットがにぎわっている	1	2	3	
	64	区内の観光情報が国内外にPRされている	1	2	3	
	65	区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている	1	2	3	
⑪ 文化	66	多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い	1	2	3	※66～72の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	68	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	69	豊島区の文化芸術の魅力が国内外に発信されている	1	2	3	
	70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある	1	2	3	
	71	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	
	72	地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	

Ⅲ. 区の政策等について

1. 区政への参加について

問7 あなたは、区に関する情報をどのような方法で入手していますか。(いくつでも○)

1. 区の広報紙(広報としま)	8. 区の掲示板
2. 広報紙以外の区の刊行物	9. 町会などの回覧板
3. 区のホームページ	10. 知人・家族から(口コミ)
4. 区のメールマガジン・情報アプリ	11. 区の窓口や電話での問い合わせ
5. 区以外のインターネットサイト・SNS	12. 入手したことがない
6. 区のテレビ広報番組(ケーブルテレビ)	13. その他
7. 区以外の新聞・雑誌・テレビ報道	()

問8 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

1. 関心がある	3. あまり関心がない
2. 少しは関心がある	4. 関心がない

問9 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

1. 反映されている	3. あまり反映されていない
2. 少しは反映されている	4. 反映されていない

問10 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

1. 満足している	3. 少し不満である
2. 少しは満足している	4. 不満である

2. 地域との関わりについて

問11 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。(1つに○)

1. 思っている	3. あまり思っていない
2. 少しは思っている	4. 思っていない

問12 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。(1つに○)

1. 現在、参加している	3. 関心はあるが、参加していない
2. 以前、参加したことがある	4. 関心がないので、参加していない

3. 東アジア文化都市について

「東アジア文化都市」とは、2014年から始まった文化庁による国家プロジェクトです。日中韓3か国で、毎年各国1都市を選定し、文化・芸術分野での相互交流を行います。

これにより、東アジアの多様な文化を世界により強く発信し、文化芸術やクリエイティブ・観光産業が継続的に発展することを目指します。

問 13 豊島区は、日中韓3か国による文化交流事業「東アジア文化都市」の2019年国内都市に決定し、2019年の開催に向け準備をしています。

あなたは、区が2019年「東アジア文化都市」に決定したことを知っていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 言葉は聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------|----------------|---------|

問 14 あなたは「東アジア文化都市2019豊島」に興味関心がありますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|-----------------|
| 1. 興味がある | 3. あまり興味がない | 5. わからない・判断できない |
| 2. やや興味がある | 4. 興味がない | |

問 15 中国、韓国の文化に興味関心がありますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|-----------------|
| 1. 興味がある | 3. あまり興味がない | 5. わからない・判断できない |
| 2. やや興味がある | 4. 興味がない | |

4. 多様な性自認・性的指向の人々(いわゆる性的少数者)について

問 16 性的少数者(LGBT等)という言葉を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない ⇒問 19 へ |
|----------|-----------------|

性的少数者(LGBT等)とは
恋愛対象が同性や女性・男性どちらも対象だったり、どのような対象にも恋愛感情を持たなかったり、体の性別と心の性別が一致しなかったりする人がいます。体の性別、心の性別、好きになる対象の性別は人それぞれです。

▶ <<問 16 で「1. 知っている」とお答えの方におたずねします。>>

問 17 性的少数者(LGBT等)に関して、どのような考えやイメージをお持ちですか。

(A~Eの項目ごとに1つに○)	どちらかと言うとそう思う	どちらともいえない	どちらかというと思う	わからない
A. 個人の人権として理解・尊重すべきである	1	2	3	4
B. 同性・異性など、好きになる性別は、自分ではコントロールできないものである	1	2	3	4
C. 性的少数者の割合は約13人に1人とも言われているが、その通りだという実感がある	1	2	3	4
D. 性的少数者として公表している人が多くなっている	1	2	3	4
E. 友人が性的少数者だと知った場合、変わらずに接することができる	1	2	3	4

▶ <<問 16 で「1. 知っている」とお答えの方におたずねします。>>

問 18 性的少数者(LGBT等)は日常生活で、下記のようなことに困っていると言われています。

次のうち、あなたが知っているものはどれですか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 性的少数者(LGBT等)に対して偏見や差別があること、無理解であること |
| 2. 心の性に合う公衆トイレや入浴施設がないこと |
| 3. パートナーと共同で住宅ローンを組むことに制限があること |
| 4. パートナーが入院した際、治療方針等について説明を受けられないこと |
| 5. その他() |

5. 東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて

問 19 あなたは、東京 2020 大会へ向けて、区は何に力を入れるべきと考えますか。(いくつでも○)

1. スポーツ選手の育成	9. まちなかの多言語対応
2. スポーツボランティアの育成	10. 防犯・防災対策の強化
3. パラスポーツの普及啓発	11. 受動喫煙防止対策の強化、マナーの向上
4. スポーツ施設の拡充・整備	12. 地域の実情に応じた民泊サービスの適正化
5. 大会に向けた気運の醸成	13. 子どもたちへの国際化教育、国際交流
6. 文化・芸術のまちづくりと区の魅力の発信	14. 障害(者)への理解促進
7. 街並みの整備や施設等のバリアフリー化	15. その他()
8. 観光、賑わい拠点の整備	16. 特にない

問 20 あなた自身は、どの程度スポーツを実施していますか。(1つに○)

1. 週に3日以上	4. 3か月に1～2日
2. 週に1～2日	5. 年に1～3日
3. 月に1～3日	6. 実施していない

→ 《問 20 で「4」～「6」とお答えの方におたずねします。》

問 20-1 あまりスポーツを実施しない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 忙しくて時間が取れない	5. 大会やスポーツ教室などの情報がない
2. お金がかかる	6. 体調や体力に不安がある
3. 施設や場所がない	7. スポーツが好きでない
4. 指導者や仲間がいない	8. その他()

6. 多文化共生のまちづくりについて

「多文化共生社会」とは、「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を言います。

問 21 近所にさまざまな国籍の外国人が住むことについて、どのようなことを感じますか。(いくつでも○)

1. 外国の食べ物を食べる機会が増える	8. 日本語の通じない人が増える
2. 外国人・外国語に慣れる	9. 生活習慣の違いにより、ごみの出し方が悪くならないか心配
3. 外国の文化にふれる機会が増える	10. 生活習慣の違いにより、部屋から大きな声や物音がしないか心配
4. 外国人の知人・友人ができる	11. その他()
5. 外国のことに興味を持つようになる	12. 特にない
6. まちに活気がでる	
7. 外国人が様々な機会活躍するようになる	

問 22 現在、あなたは近所の外国人とどんな付き合いがありますか。(1つに○)

1. 全く付き合いがない	5. 友人として付き合っている
2. あいさつをする程度	6. 家族同様に親しく付き合っている
3. 日常生活のことを話している	7. その他()
4. 何か困った時に助け合っている	8. 近所にいない

問 23 「多文化共生のまちづくり」のために、あなたは何かができますか。 (いくつでも○)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. あいさつなど声をかけあい、気軽に話をする | 6. 通訳や日本語を教える活動に参加する |
| 2. 地域の外国人と生活習慣やルールを相談し合う | 7. 日本の生活に慣れていない外国人支援の活動(NGO/NPOを含む)への参加・協力 |
| 3. 外国語や外国の文化を学ぶ | 8. その他 |
| 4. 地域の外国人と交流やイベントに参加する | () |
| 5. 地域の外国人を誘い、防災訓練や清掃などの地域活動に参加する | 9. 特にない |

問 24 「多文化共生のまちづくり」のために、今後、区の対応として、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。 (いくつでも○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 日本の文化や生活情報を外国語で知らせる | 8. NPOやボランティアの育成と支援 |
| 2. 日本人と外国人の交流会やイベント | 9. 外国人への偏見・差別をなくすための努力 |
| 3. 外国の文化や生活情報を紹介する | 10. 外国人の子どもや留学生への支援 |
| 4. 外国語での生活相談 | 11. 外国人が意見や提案をしやすくする |
| 5. 日本語教室 | 12. 外国人が活躍できる機会を増やす |
| 6. 日本人と外国人が意見を交換する | 13. その他() |
| 7. 日本人と外国人による協働を増やす | 14. 特にない |

7. 観光資源・イベントについて

問 25 あなたは、来街者や外国人観光客など豊島区を訪れる人にお薦めしたい区内の観光スポット、イベント等がありますか。あてはまるものに○をつけ、その他については具体的な名称を()内にご記入ください。 (いくつでも○)

記入例: 【自然・公園・街並み】

17. 雑司ヶ谷/染井霊園 18. 門と蔵のある広場 19. 南池袋公園 …… 23. その他(○○○)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 【文化財、神社仏閣、文化・芸術施設】 | |
| 1. 自由学園明日館 | 2. 雑司ヶ谷鬼子母神堂 |
| 3. 豊島長崎の富士塚 | 4. 長崎神社 |
| 5. 東京芸術劇場 | 6. あうるすぽっと |
| 7. 熊谷守一美術館 | 8. 雑司が谷旧宣教師館 |
| 9. トキワ荘のあった街(現:南長崎) | 10. その他() |
| 【商業・飲食・娯楽施設】 | |
| 11. サンシャインシティ | 12. サンシャイン 60 通り |
| 13. 巣鴨地藏通り(おばあちゃんの原宿) | |
| 14. 百貨店 | 15. 乙女ロード/アニメイト |
| 16. その他() | |
| 【自然、公園、街並み】 | |
| 17. 雑司ヶ谷/染井霊園 | 18. 門と蔵のある広場 |
| 19. 南池袋公園 | 20. 池袋西口公園 |
| 21. 染井吉野桜記念公園 | 22. 都電荒川線沿線界限 |
| 23. その他() | |
| 【文化・芸術祭、祭り、イベント】 | |
| 24. ふくろ祭り/東京よさこい | 25. 大塚阿波踊り |
| 26. 長崎獅子舞祭 | 27. 池袋演劇祭 |
| 28. フェスティバル/トーキョー | 29. 東京フラフェスタ in 池袋 |
| 30. 池袋フォーク&カントリーフェスティバル | |
| 31. 池袋ジャズフェスティバル | 32. 池袋オータムカルチャーフェスティバル |
| 33. 染井よしの桜まつり | 34. すがも中山道菊まつり |
| 35. その他() | |
| 【観光案内、名産品・工芸品】 | |
| 36. 豊島区観光情報センター | 37. 雑司が谷案内処 |
| 38. トキワ荘通りお休み処 | |
| 39. すずきみみずく | 40. 塩大福 |
| 41. その他() | |
| 【その他、特にない】 | |
| 42. 上記いずれの分野にも含まれないその他() | 43. 特にない |

8. 区政全般への要望

問 26 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。(○はそれぞれ5つまで)

施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
健康づくり	1	1
高齢者福祉の充実	2	2
障害者(児)福祉の充実	3	3
保健・医療の充実	4	4
子どもの健全育成	5	5
子育て支援の充実	6	6
学校教育の充実	7	7
地域の活動やコミュニティの形成	8	8
男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
みどりや公園づくり	10	10
環境保全・資源リサイクル	11	11
再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
道路交通網の整備	13	13
住宅対策	14	14
交通安全対策	15	15
放置自転車対策	16	16
池袋副都心の活性化	17	17
中小企業、地域経済の振興	18	18
消費生活対策	19	19
防災対策	20	20
治安対策	21	21
モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
文化・芸術の振興	23	23
国際化の推進	24	24
観光・都市交流	25	25
生涯学習・スポーツ等の充実	26	26
区民サービスのIT化・情報化の推進	27	27
行財政改革	28	28

IV. あなたご自身のことについて（※統計的に分析するために使用します。）

①あなたの性別を()内にご記入ください。記入例 (女)

()

②あなたの年齢について、お答えください。(1つに○)

1. 18～19 歳	6. 40～44 歳	11. 65～69 歳
2. 20～24 歳	7. 45～49 歳	12. 70～74 歳
3. 25～29 歳	8. 50～54 歳	13. 75～79 歳
4. 30～34 歳	9. 55～59 歳	14. 80 歳以上
5. 35～39 歳	10. 60～64 歳	

③あなたの職業について、お答えください。(1つに○)

1. 自営業 (家族従業含む)	5. 専業の主婦(主夫)
2. 勤め(全日・正規)	6. 学 生
3. 勤め(全日・非正規)	7. 無 職
4. 勤め(パートタイム)	8. その他()

④あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

1. ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)
2. 他の地域からきた

⑤あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。(1つに○)

1. 2年以上～3年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 15年以上～20年未満
2. 3年以上～5年未満	4. 10年以上～15年未満	6. 20年以上

⑥あなたのお住まいの町名について、お答えください。(町名の番号に○印を付け、()内に何丁目かお書きください。) 記入例 (1)駒込(2)丁目

1. 駒 込()丁目	8. 南池袋()丁目	15. 南長崎()丁目
2. 巢 鴨()丁目	9. 西池袋()丁目	16. 長 崎()丁目
3. 西巢鴨()丁目	10. 池 袋()丁目	17. 千 早()丁目
4. 北大塚()丁目	11. 池袋本町()丁目	18. 要 町()丁目
5. 南大塚()丁目	12. 雑司が谷()丁目	19. 高 松()丁目
6. 上池袋()丁目	13. 高 田()丁目	20. 千 川()丁目
7. 東池袋()丁目	14. 目 白()丁目	

⑦あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	()

→ ≪⑦で「3」または「4」とお答えの方におたずねします≫

⑧あなたの家族に中学生以下のお子さんは、何人いらっしゃいますか。(1つに○)

1. いない	3. 2人
2. 1人	4. 3人以上

⑨あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

1. 一戸建て	3. 集合住宅(賃貸)	5. その他
2. 集合住宅(分譲)	4. 社宅・官舎、寮	()

⑩あなたの世帯の年収(税込)について、差し支えなければ、お答えください。(1つに○)

1. 200万円未満	5. 800万円～1,000万円未満
2. 200万円～400万円未満	6. 1,000万円～1,500万円未満
3. 400万円～600万円未満	7. 1,500万円以上
4. 600万円～800万円未満	

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて **6月30日(土)** までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)

協働のまちづくりに関する区民意識調査

平成 30（2018）年 11 月発行
（平成 30 年 6 月実施）

豊島区政策経営部企画課

〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1
電話 03（3981）1111（代表）

